

第4次城陽市総合計画策定に係る まちづくり市民アンケート

調査結果報告書

別紙1 調査結果報告書（概要）

別紙2 調査結果報告書（本編）

平成28年2月
城 陽 市

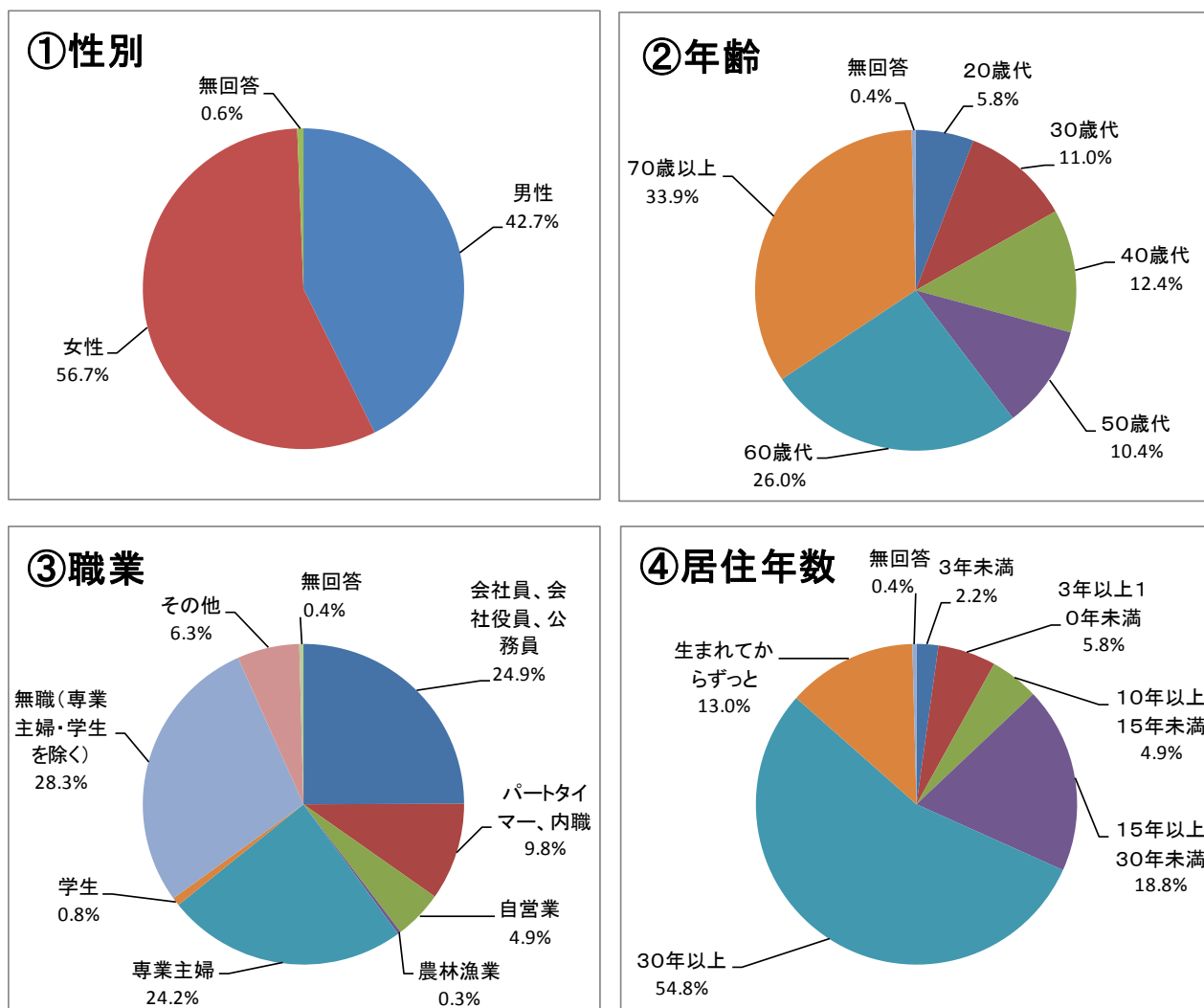
第4次城陽市総合計画策定に係るまちづくり市民アンケートの調査結果報告書（概要）

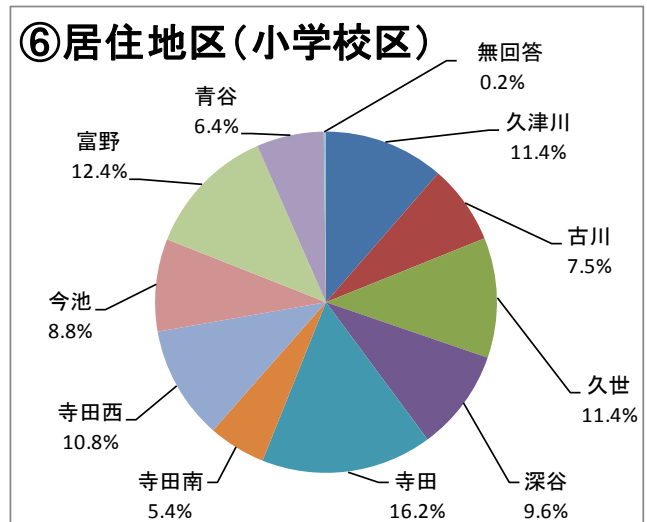
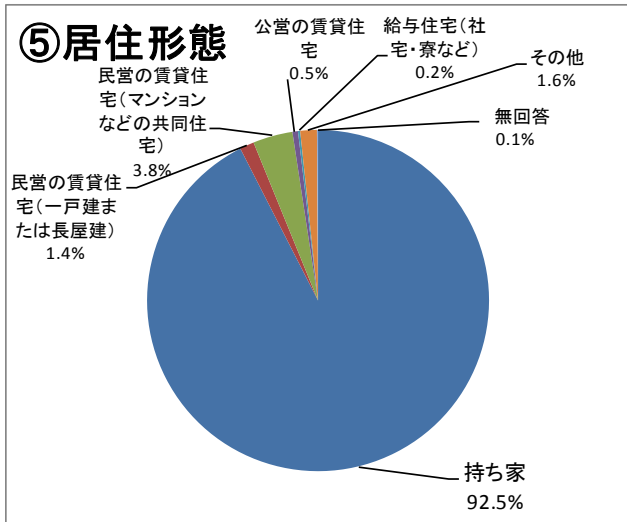
1. 調査概要

	市民意識調査	まちづくり指標
調査期間	平成27年7月24日発送、8月7日投函期限	※8月17日回収分まで集計
対象者	市内に居住する20歳以上の男女から無作為抽出	
調査方法	郵送による配布、回収	
配布数	2,000人	2,000人
回収数	958人	953人
回収率	47.9%	47.7%
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者自身について ・城陽市のことについて（住みよさ、魅力等） ・市民参画のあり方について ・公共施設の更新のあり方について ・若年層の定住化に向けた取り組みについて ・空き家対策について ・就業意向について ・出産・子育てについて ・定年後の活動について ・自由意見 	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者自身について ・城陽市のことについて（満足度） ・城陽市における施策について（満足度、重要度等） ・日常生活について ・自由意見

2. 市民意識調査編結果

○回答者の属性



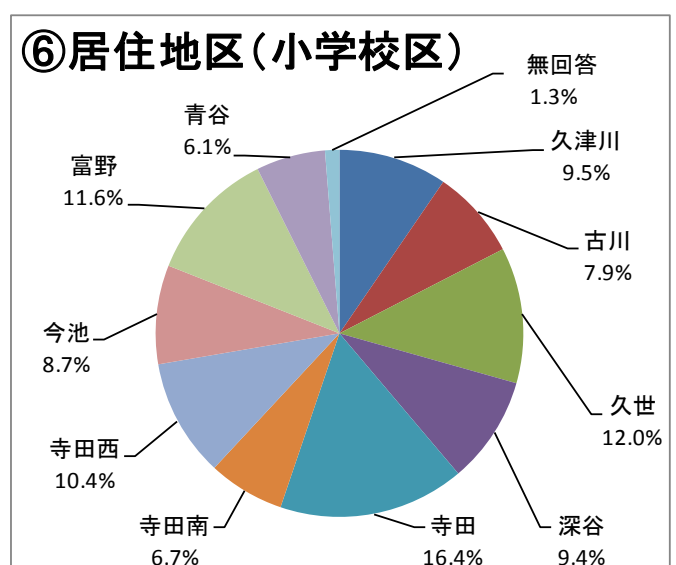
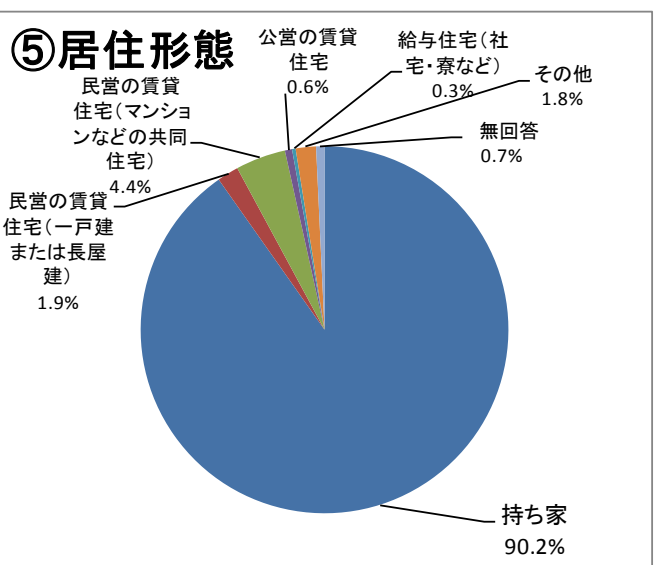
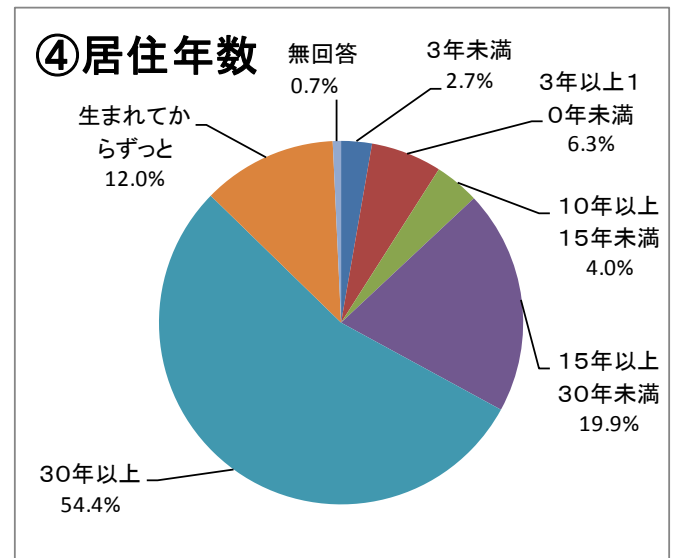
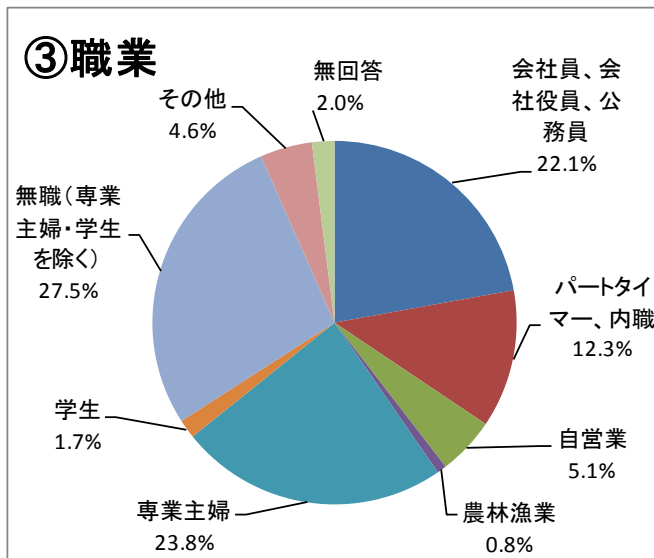
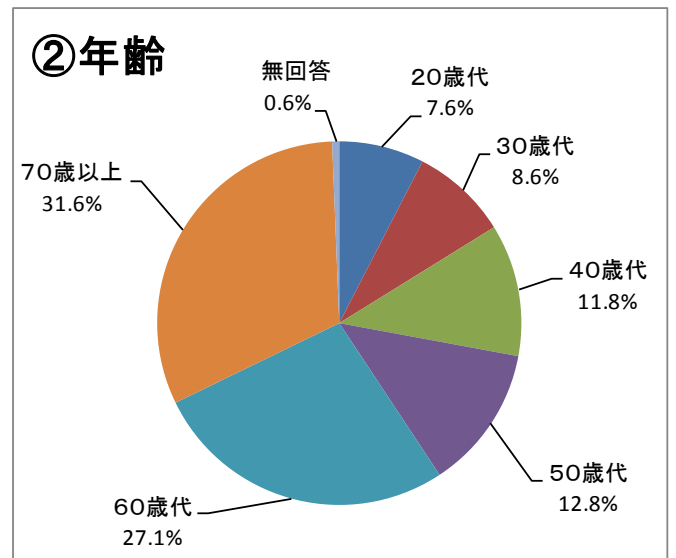
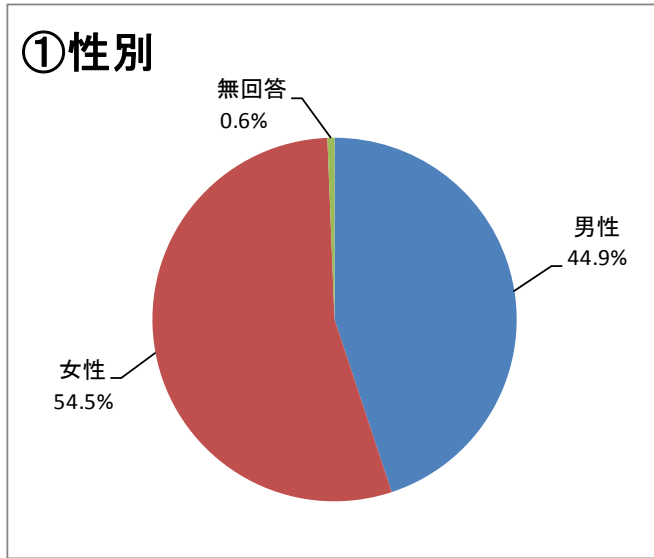


項目	概要
城陽市のことについて(住みよさ、魅力、永住意向)	<ul style="list-style-type: none"> 「どちらかといえば住みよい」が 49.7%で最も多く、次いで「住みよい」が 32.7%であり、8割以上が住みよいと感じている。 城陽市の魅力は、「住宅地として住みやすい」が 49.0%、次いで「自然環境に恵まれている」が 47.5%、「通勤・通学・買い物などが便利である」が 38.8%となっている。 「現在のところずっと住みつづけたい」は 66.0%であり、約7割の人が永住意向を持っている。なお、「移りたい理由」では、「交通が不便」が 27.8%、「買い物が不便」が 24.6%、「家が古い、設備が悪い」が 21.4%となっている。 前回の調査(平成17年度)と比べて、「現在のところずっと住みつづけたい」は 61.2%から 66.0%に増加している。
市民参画のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> 市政運営にかかる情報提供の強化について、「市の広報紙、回覧板等による情報提供の充実を図る」が 46.7%で最も多く、次いで「住民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会を充実する」が 28.5%、「シンポジウムなど、興味を持てるような交流イベントの開催機会を充実する」が 21.3%となっている。 市民による地域活動等への行政の支援のあり方について、「特定の団体や地域にかたよらずに、市民を広く支援するよう、公平性を重視して行うべき」という考え方に近い人が約7割(66.9%)となっている。 市政への参加について、「機会があれば参加したい」が 57.5%で最も多くなっている。
公共施設の更新のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の老朽化が進む中、財政(税)負担に配慮した施設の更新のあり方について、「施設の統廃合や複合施設化等を検討するべきである」が 48.2%で最も多く、次いで「近隣自治体と連携し、施設の相互利用及び重複施設の廃止や縮小を検討するべきである」が 38.4%、「民間施設で代替可能な施設は廃止や縮小を検討するべきである」が 27.5%となっている。 全体としては、単に既存施設の規模・機能を縮小したり、施設使用料等の引き上げにより既存施設を維持するよりも、施設の複合化や近隣自治体との連携、民間代替施設の活用等、合理化による対応を優先する意向がうかがえる。
若年層の定住化に向けた取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> 若年層の定住化に向けては、「女性が働ける環境づくりや子育て支援環境の充実」が 38.3%で最も多く、次いで「地場産業や新たな産業振興による雇用の受け皿づくり、ベンチャー企業などの起業支援」が 31.3%、「通勤や通学に便利な交通体系の充実」が 26.2%となっている。

<p>空き家対策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家については、「近所にある」が44.4%で最も多く、次いで「市内で見たことはない」が24.3%、「市内で見たことがある」が24.2%となっており、空き家を見たことがある人が約7割となっている。 ・これらの空き家による支障については、「防犯上不安である」が49.6%で最も多く、次いで「草木が生い茂り周辺に悪影響を及ぼしている」が39.7%、「見た目が悪い」が26.3%となっている。 ・空き家への対応については、「所有者に働きかけ、新たな住人（管理者）を探すほうが良い」が43.6%、「所有者の管理に属する問題であり、所有者の判断に任せるほうが良い」が20.8%となっている。
<p>就業意向について（現在就業していない方のみ回答）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「就業意向はある」が18.1%となっており、その中でも「現在は働けない事情があるが、条件が整えば働きたい」が38.5%、「特に就職活動等はしていないが、良い仕事が見つれば働きたい」が37.4%となっている。 ・必要な就業条件としては、「勤務地が近いこと・通勤の便が良いこと」が73.6%で最も多く、次いで「希望する職種・仕事内容であること」が37.4%、「一定の収入が確保できること」が35.2%となっている。 ・行政の就業支援で必要・効果的であると思う施策については、「ハローワークなどの就職情報の提供や斡旋、相談の場の提供」が36.6%、次いで「保育サービスや介護サービス等の充実」が26.0%、「企業誘致による雇用機会の創出」が23.7%となっている。
<p>出産・子育てについて（中学生以下のお子さまがいる方のみ回答）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを産み、育てやすくするために必要なことは、「産婦人科や小児科等の充実」が42.1%で最も多く、次いで「男女ともに子育てしやすい職場の制度・環境整備」が39.1%、「延長保育や病児保育など、保育サービスの充実」が36.1%となっている。 ・出産・子育てに関する施策についての満足度は、「子育てしやすい環境の整備（子育て支援医療費の助成）」で“満足している”が26.3%、“やや満足している”が19.5%となっており、約5割の人の満足度が高くなっている。一方、「子育てしやすい環境の整備（出産できる医療施設の確保）」は“不満である”が40.6%、“やや不満である”が23.3%となっており、約6割の人の満足度が低くなっている。 ・出産・子育てに関する施策についての重要度は、「子育てしやすい環境の整備（子育て支援医療費の助成）」で“重要である”が67.7%、“やや重要である”14.3%となっており、約8割の人の重要度が高くなっている。また、「仕事と家庭の両立支援」で“重要である”が55.6%、“やや重要である”が21.8%となっており、約8割の人の重要度が高くなっている。
<p>定年後の活動について（50歳以上の方のみ回答）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定年後の活動については、「自分の趣味・興味のために文化教室・サークル活動へ参加する」が50.9%で最も多く、次いで「何もせずに、のんびりと暮らしたい」が22.6%、「家庭菜園も含む農業へ従事する」が15.7%となっている。 ・その活動に取り組むために必要な行政からの支援は、「文化教室やサークル活動の充実と情報提供」が40.7%で最も多く、次いで「活動するための施設整備や施設を借りるときの優遇制度の充実」が18.4%、「ボランティア団体、各種団体の活動や参加募集の情報提供」が18.1%となっている。

3. まちづくり指標編結果

○回答者の属性



○城陽市のことについて（満足度）

- ・以下の項目で「満足」（“満足”＋“やや満足”）の割合が高くなっている

項目名	H27	H22
鉄道の利用しやすさ	71.7%	70.6%
水や緑などの自然環境の豊かさ	75.2%	76.7%
居住環境のよさ	75.9%	77.7%
市からの情報発信や情報提供	61.9%	62.7%

- ・以下の項目で「不満」（“不満”＋“やや不満”）の割合が高くなっている

項目名	H27	H22
路線バス(※)の利用しやすさ	55.9%	60.8%
道路の利用しやすさ・安全性	59.0%	58.6%
歩道の利用しやすさ・安全性	67.8%	68.4%

※路線バス：市が補助金を交付して運行している近鉄寺田駅と市内北東部、プラムイン城陽を結ぶ路線及びプラムイン城陽と水主地域、長池地域を結ぶ路線をいう。

○城陽市における施策について（満足度、重要度等）

4 5種の取り組みに対する満足度、重要度について、「満足している」「重要である」を5点、「どちらかといえば満足している」「やや重要である」を4点、「ふつう」を3点、「やや不満である」「あまり重要でない」を2点、「不満である」「重要ではない」を1点として配点し、これにそれぞれの選択数を乗じ、指数化した。数値が大きいほど評価が高く、また、満足度の平均値は2.95、重要度の平均値は3.92となっている。

- ・重要度が「高い」施策のうち、以下の施策で「満足」が多くなっている。

施策名	満足度	重要度
消防・救急体制の充実したまちをつくる取り組み	3.12	4.45
健康診査の充実など市民の健康づくりを推進する取り組み	3.38	4.27
安全な水道水を安定供給する取り組み	3.33	4.35
下水道の整備を進め生活環境の向上を図る取り組み	3.27	4.15
ごみの減量化、再資源化など持続可能な資源循環型社会の構築を推進する取り組み	3.23	4.24

- ・重要度が「高い」施策のうち、以下の施策で「満足」が低くなっている。

施策名	満足度	重要度
駅周辺整備を推進し公共交通対策を充実する取り組み	2.55	4.19
安全で快適な道づくりを推進する取り組み	2.58	4.23
交通安全対策を推進する取り組み	2.81	4.11
浸水被害の軽減と環境に優しい川づくりを推進する取り組み	2.82	4.19
持続可能な財政運営を実現する取り組み	2.74	4.05

○日常生活について

概要
<ul style="list-style-type: none"> ・地震などの災害が起きたときに、何をすべきか理解しているかについては、“十分に理解している”が6.5%、“どちらかといえば理解している”が55.2%となっており、理解している人が約6割を占めている。 ・かかりつけ医を持っているかについては、“持っている”が68.3%となっている。 ・地球環境問題に対する関心については、“おおいに関心がある”が22.1%、“どちらかといえば関心がある”が55.2%となっており、関心がある人が約8割を占めている。 ・困ったときに近所に相談できる人や手助けを求められる人がいるかについては、“いる”が57.5%となっている。 ・自主的な健康づくり活動を行っているかについては、“ほとんど毎日（週3～4日以上）”が28.2%、“ときどき（週1～2日程度）”が25.8%、“ときたま（月1～3日程度）”が22.4%となっており、約8割の人が月1日以上健康づくり活動を行っている。

第 4 次城陽市総合計画策定に係る
まちづくり市民アンケート
調査結果報告書

平成 2 8 年 2 月
城 陽 市

はじめに

本市では、市の計画的なまちづくりの根幹となる総合計画を昭和59年に策定し、以降、現在の総合計画に至るまで2回の改定を行ってまいりました。

現在の第3次総合計画は、当初からの「緑と太陽、やすらぎのまち・城陽」を目指すべき都市像とし、平成19年3月に策定したもので、平成28年度に目標年次を迎えます。

その間、わが国は、平成20年をピークとして人口減少局面に入るとともに、出生率の低迷と高齢化の進行により、生産年齢以下の層が大きく減少しています。

本市においても、少子高齢化や若者の市外流出による年齢構成などの人口構造の変化は避けがたく、この動向を踏まえた子育て支援や高齢者福祉施策などの見直し、地域社会の維持に向けた取り組みを進める必要があります。

また、市を取り巻く社会環境は、平成35年度に新名神高速道路の全線開通という大きな転換期を迎えるとともに、新市街地の整備、東部丘陵地〔山砂利採取跡地〕の土地利用、JR奈良線の複線化事業が進行するなど、これからの10年間で大きく変化していこうとしています。

これらの要因を踏まえ、平成29年度からの新しい10年を見通し、各分野においてめざすべき目標を描き、計画的に施策を推進するため、第4次総合計画を策定する必要があります。

このアンケートは、市民の皆さんの意識やまちづくりに対する意向などを調査させていただき、新たな総合計画策定の基礎資料として活用することを目的に実施いたしました。

調査にご協力いただきました皆様方にお礼申し上げますとともに、今後一層の市政に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成28年（2016年）2月

城陽市長 **奥田敏晴**

目 次

<市民意識調査編>

1. アンケート調査の概要	1
2. アンケート調査結果	3
I. 回答者自身について	
(1) 性別	3
(2) 年齢	3
(3) 職業	4
(4) 居住期間	4
(5) 住居形態	5
(6) 校区	5
II. 城陽市のことについて	
(1) 住みよさ	6
(2) 魅力	8
(3) ふるさと感	11
(4) 永住意向	13
(5) 移りたい理由	15
III. 外出時の移動手段について	
(1) 移動手段	19
(2) 頻度	20
(3) 満足度	21
IV. 市民参画のあり方について	
(1) 市政運営に係る情報提供	22
(2) 行政の役割	26
(3) 市政への参加	30
V. 今後の公共サービスのあり方について	
(1) 公共サービスの提供のあり方	31
(2) 公共施設の更新のあり方	35

VI. 若年層の定住化に向けた取り組みについて	
(1) 強化が必要な施策	39
VII. 空き家対策について	
(1) 地域の空き家	43
(2) 空き家の支障や危険	45
(3) 空き家の管理のあり方	48
VIII. 就業意向について	
(1) 今後の就業意向	50
(2) 現在の状況	52
(3) 必要な就業条件	53
(4) 必要な就業支援策	54
IX. 出産・子育てについて	
(1) 子どもの人数	58
(2) 同居している人	59
(3) 理想の子どもの人数	60
(4) 実現できない理由	61
(5) 子どもを産み育てやすくする施策	62
(6) 出産・子育てに関する施策の満足度・重要度	63
X. 定年後の活動について	
(1) 取り組みたい活動	65
(2) 活動に取り組むための行政支援	69
資料 アンケート調査票	73

<まちづくり指標編>

1. アンケート調査の概要	86
---------------	----

2. アンケート調査結果

I. 回答者自身について

(1) 性別	87
(2) 年齢	87
(3) 職業	88
(4) 居住年数	88
(5) 住居形態	89
(6) 校区	89

II. 城陽市のことについて

(1) 満足度	90
①鉄道の利用しやすさ	90
②路線バスの利用しやすさ	92
③道路の利用しやすさ・安全性	94
④歩道の利用しやすさ・安全性	96
⑤水や緑などの自然環境の豊かさ	98
⑥居住環境のよさ	100
⑦川の水のきれいさ	102
⑧市からの情報発信や情報提供	104

III. 城陽市における施策について

(1) 認知度・満足度・重要度	106
①認知度	106
②満足度・重要度	110

IV. 日常生活について

(1) 普段の生活	112
①防犯の面からみて、安全に暮らせるまちだと思いますか	112
②市内を流れる川について、親しみやすいと感じていますか	114
③高齢になっても、地域で安心して暮らせるまちだと思いますか	116
④働くことと子育てが両立できる環境が整っていると思いますか	118
⑤育児について相談できる場が整っていると思いますか	120
⑥青少年が安全で健やかに育つ環境が整っていると思いますか	122
⑦男女は平等であると思いますか	124
⑧人権は尊重されていると思いますか	126
⑨市役所職員の仕事や対応に満足していますか	128

(2) 災害時	130
(3) かかりつけ医	132
(4) 地球環境問題	134
(5) 近所との密接性	136
(6) 活動	138
①自主的な健康づくり活動	138
②運動・スポーツの実施状況	140
③生涯学習に係わる様々な講座	142
④文化・芸術活動	144
資料 アンケート調査票	146

<市民意識調査編>

1 アンケート調査の概要

(1) 調査目的

市政運営の総合的な指針である「城陽市総合計画」の策定にあたり、市民が日常生活の中で感じていることや、城陽市のまちづくりについての意見を把握し、計画に反映することを目的に調査を行った。

※国が定めた「まち・ひと・しごと創生法」に基づく地方版人口ビジョン及び総合戦略の策定に係る設問もあわせて実施した。

(2) 調査対象

- ・市内に居住する20歳以上の男女から無作為抽出で2,000人を抽出

(3) 調査方法

- ・郵送による配布、回収

(4) 調査時期

- ・配布開始：平成27年7月24日
- ・回収終了：平成27年8月7日

(5) 回収状況

- ・回収数：958件
- ・回収率：47.9%

(6) 調査内容

- I. 回答者自身について
 - (1)性別、(2)年齢、(3)職業、(4)居住期間、(5)住居形態、(6)校区
- II. 城陽市のことについて
 - (1)住みよさ、(2)魅力、(3)ふるさと感、(4)永住意向、(5)移りたい理由
- III. 外出時の移動手段について
 - (1)移動手段、(2)頻度、(3)満足度
- IV. 市民参画のあり方について
 - (1)市政運営に係る情報提供、(2)行政の役割、(3)市政への参加
- V. 今後の公共サービスのあり方について
 - (1)公共サービスの提供のあり方、(2)公共施設の更新のあり方
- VI. 若年層の定住化に向けた取り組みについて
 - (1)強化が必要な施策

VII. 空き家対策について

(1) 地域の空き家、(2) 空き家の支障や危険、(3) 空き家の管理のあり方

VIII. 就業意向について

(1) 今後の就業意向、(2) 現在の状況、(3) 必要な就業条件、(4) 必要な就業支援策

IX. 出産・子育てについて

(1) 子どもの人数、(2) 同居している人、(3) 理想の子どもの人数、(4) 実現できない理由、
(5) 子どもを産み育てやすくする施策、(6) 出産・子育てに関する施策の満足度・重要度

X. 定年後の活動について

(1) 取り組みたい活動、(2) 活動に取り組むための行政支援

XI. 自由意見

(7) 集計結果について

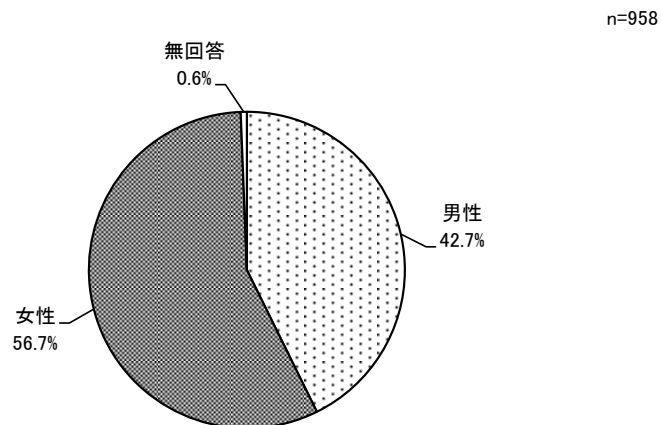
- 回答は、原則として各質問の回答者数を基礎とした百分率(%)で表示している。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどの程度の比率であるかという見方になるため、比率の合計が100.0%を超える場合がある。

2 アンケート調査結果

I. 回答者自身について

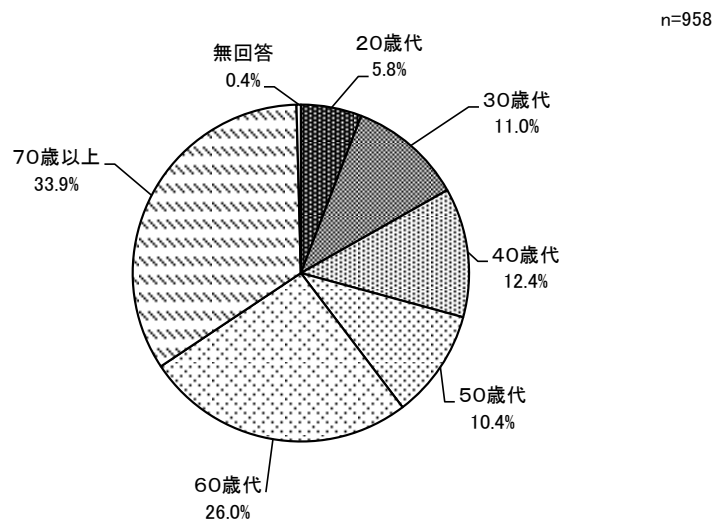
(1) あなたの性別は。

回答者の性別は、「男性」が42.7%、「女性」が56.7%で「女性」がやや多くなっている。



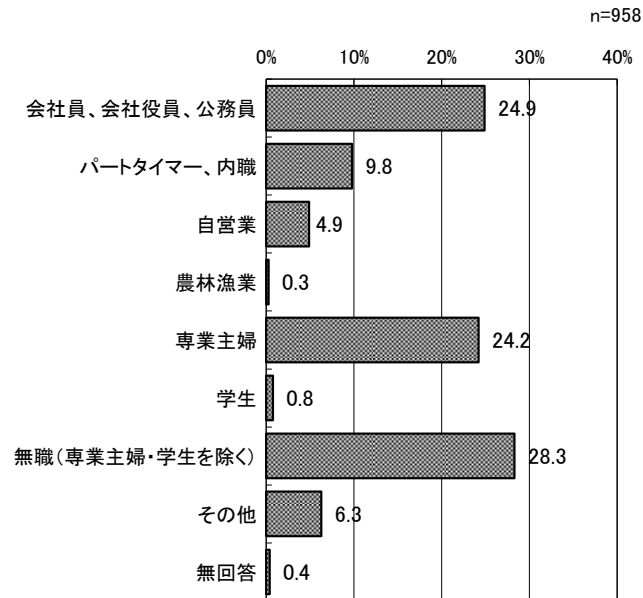
(2) あなたの年齢は。

回答者の年齢は、「70歳以上」が33.9%で最も多く、次いで「60歳代」が26.0%、「40歳代」が12.4%、「30歳代」が11.0%、「50歳代」が10.4%となっており、回答者の約6割が60歳以上となっている。



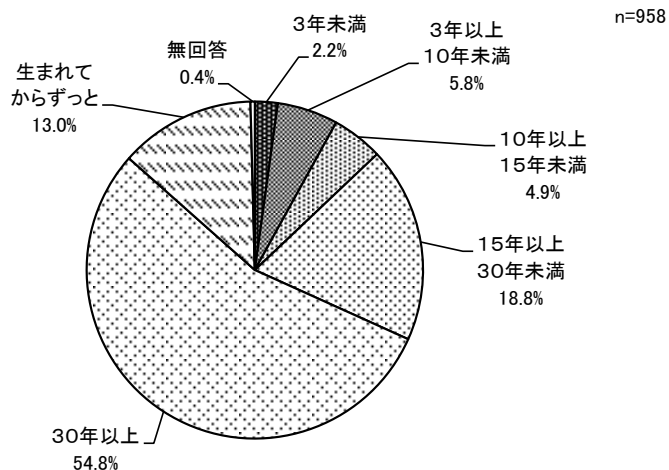
(3) あなたの職業は。

回答者の職業は、「無職（専業主婦・学生を除く）」が28.3%で最も多く、次いで「会社員、会社役員、公務員」が24.9%、「専業主婦」が24.2%となっている。



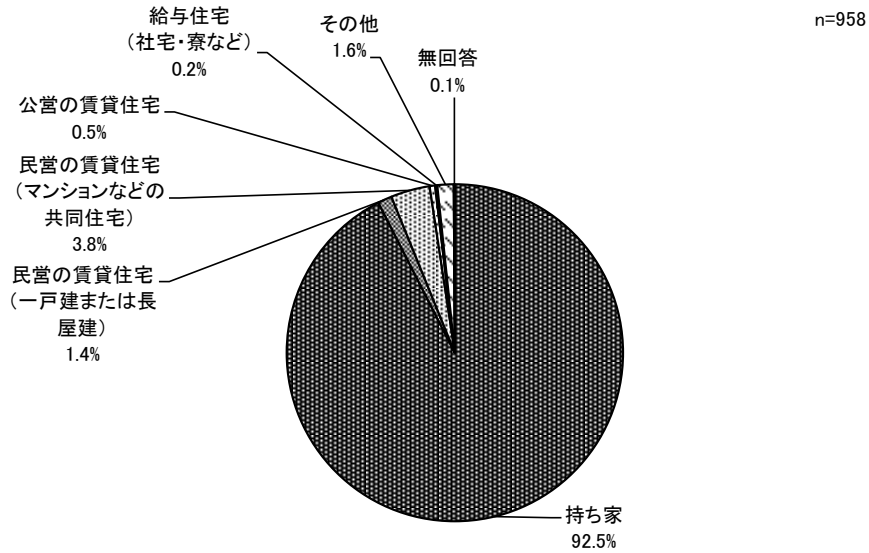
(4) あなたは城陽市にお住みになって何年になりますか。

回答者の居住年数は、「30年以上」が54.8%、次いで「15年以上30年未満」が18.8%となっており、回答者の約7割が、15年以上城陽市に住んでいる。



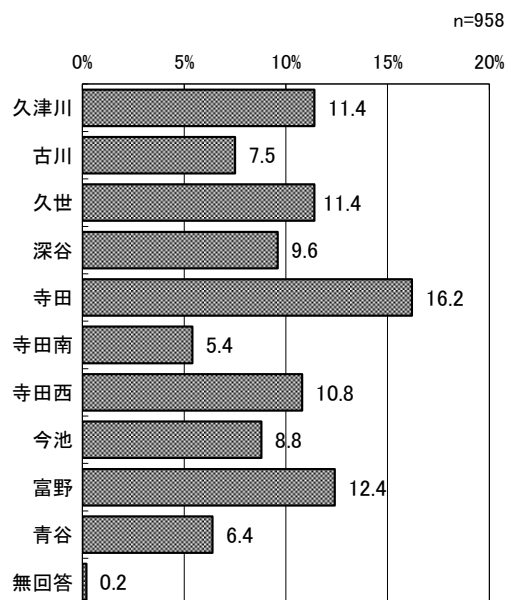
(5) あなたのお住まいは。

回答者の住居の形態は、「持ち家」が92.5%と、9割以上を占めている。



(6) あなたのお住まいの小学校区は。

回答者の住んでいる地域は、「寺田」が16.2%で最も多く、次いで「富野」が12.4%、「久世」と「久津川」が11.4%となっている。

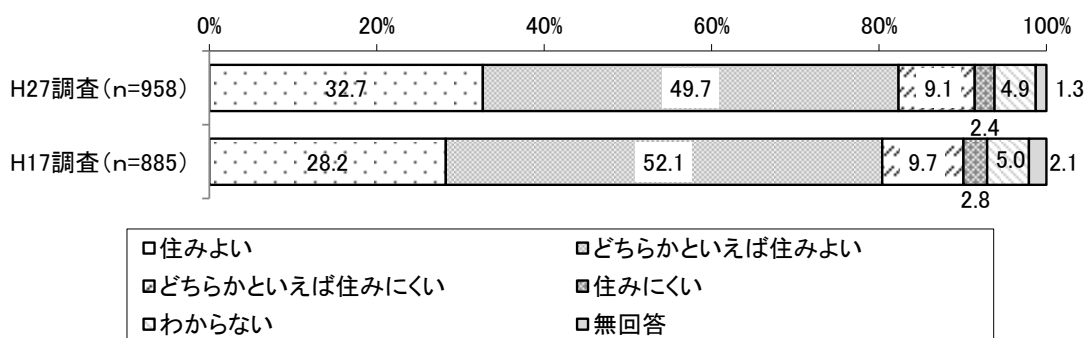


II. 城陽市のことについて

(1) あなたは城陽市を住みよいと感じておられますか。

「どちらかといえば住みよい」が49.7%で最も多く、次いで「住みよい」が32.7%であり、約8割が住みよいと感じている。

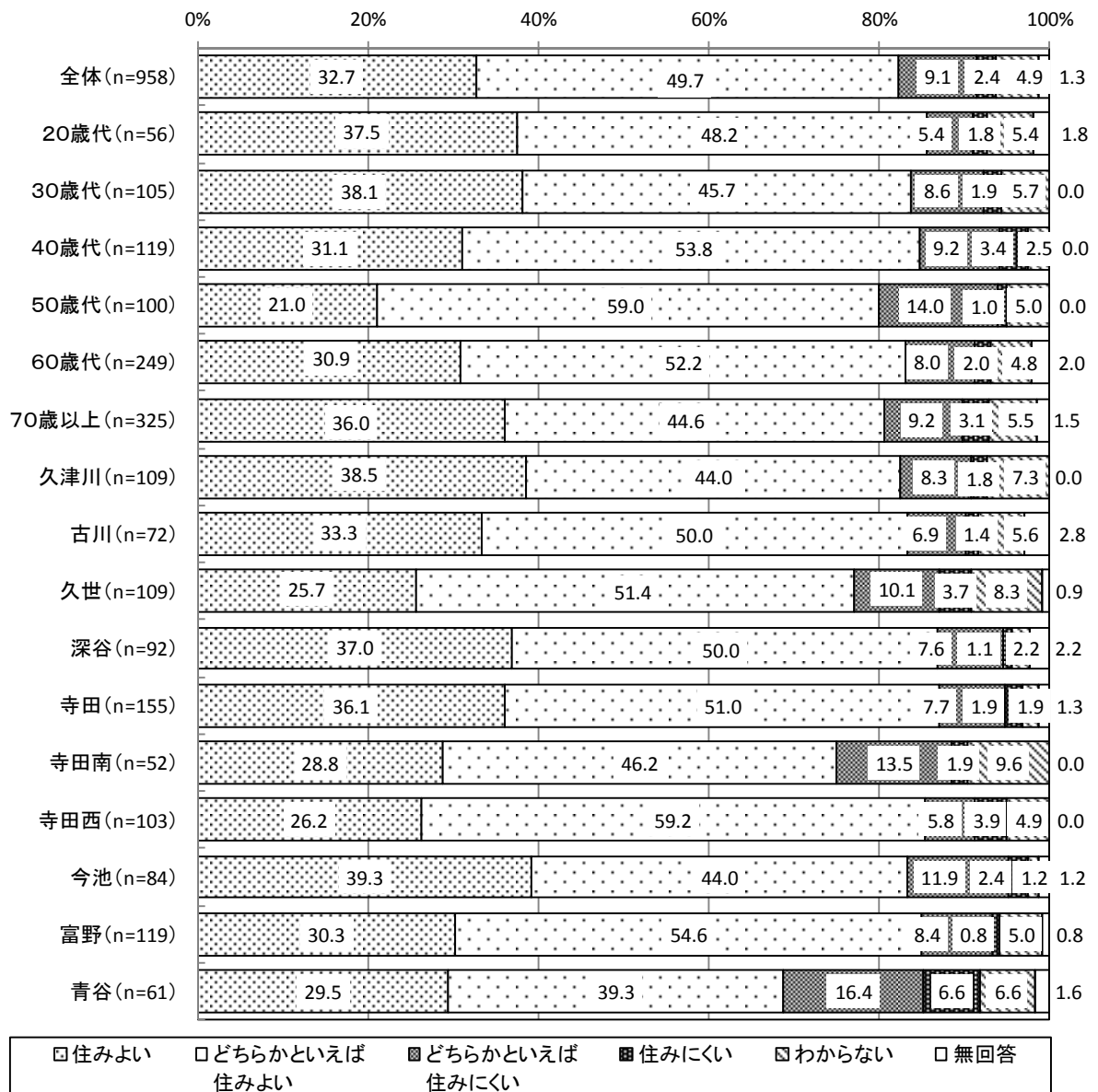
前回の調査と比較すると、「住みよい」が前回より4.5ポイント増加しており、「どちらかといえば住みよい」が2.4ポイント減少している。



年齢別では、全体と比べて、50歳代では「住みよい」が低く、「どちらかといえば住みよい」が高くなっている。

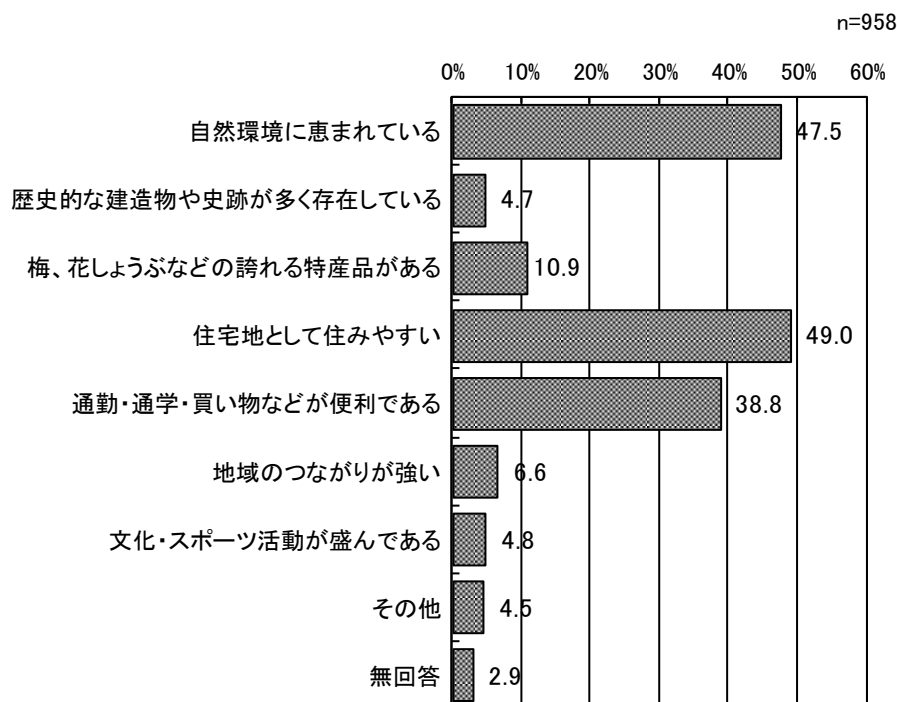
居住地区別では、全体と比べて、青谷では「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計が低くなっている。

2-1. あなたは城陽市を住みよいと感じておられますか。



(2) 城陽市のどのような所に魅力を感じられますか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。
(複数回答)

城陽市の魅力は、「住宅地として住みやすい」が49.0%で最も多く、次いで「自然環境に恵まれている」が47.5%、「通勤・通学・買い物などが便利である」が38.8%となっている。

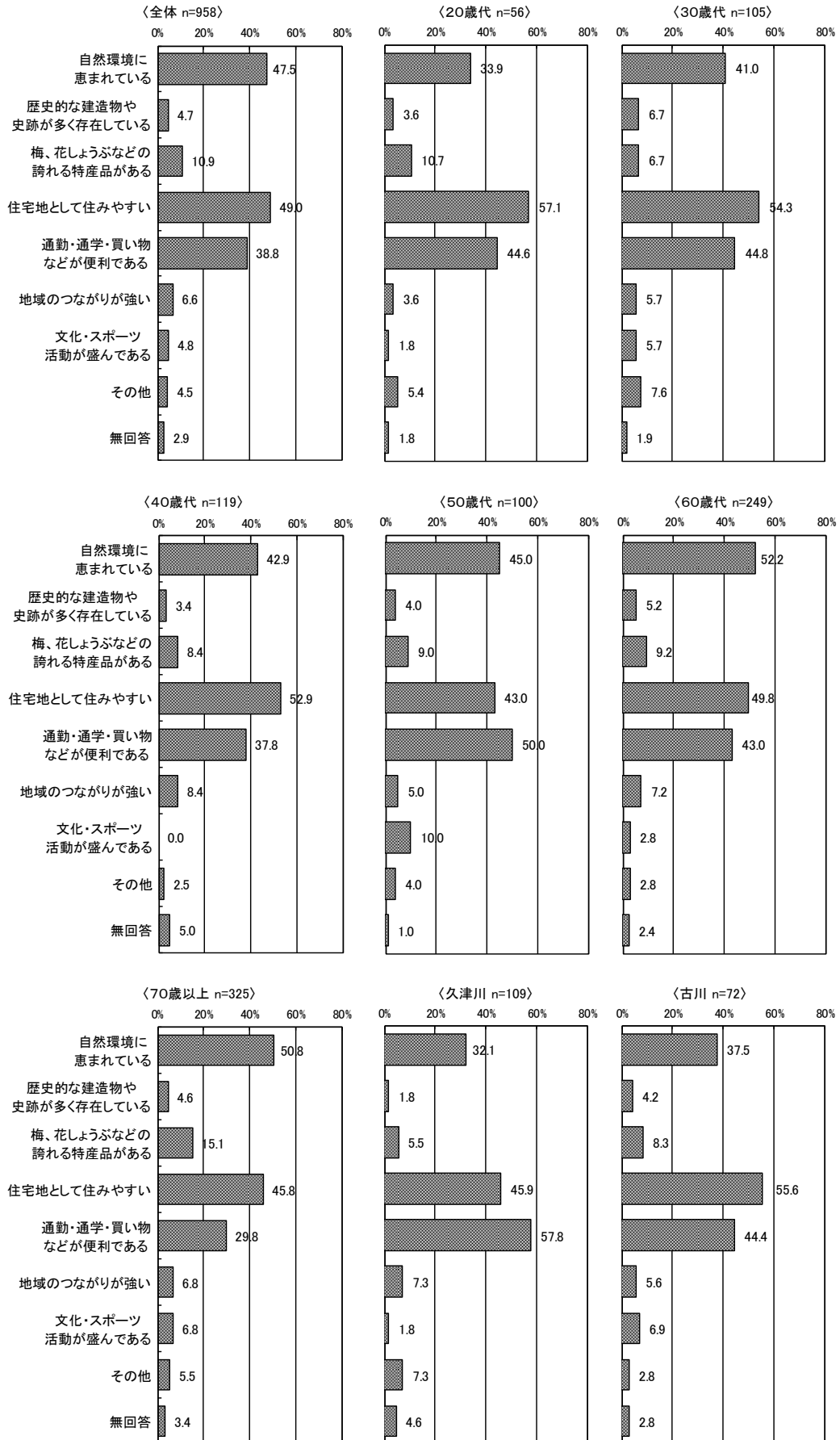


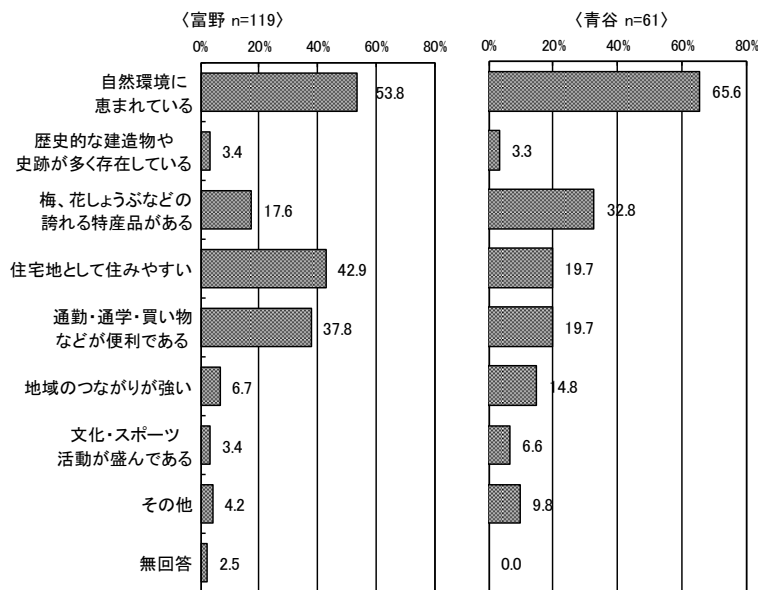
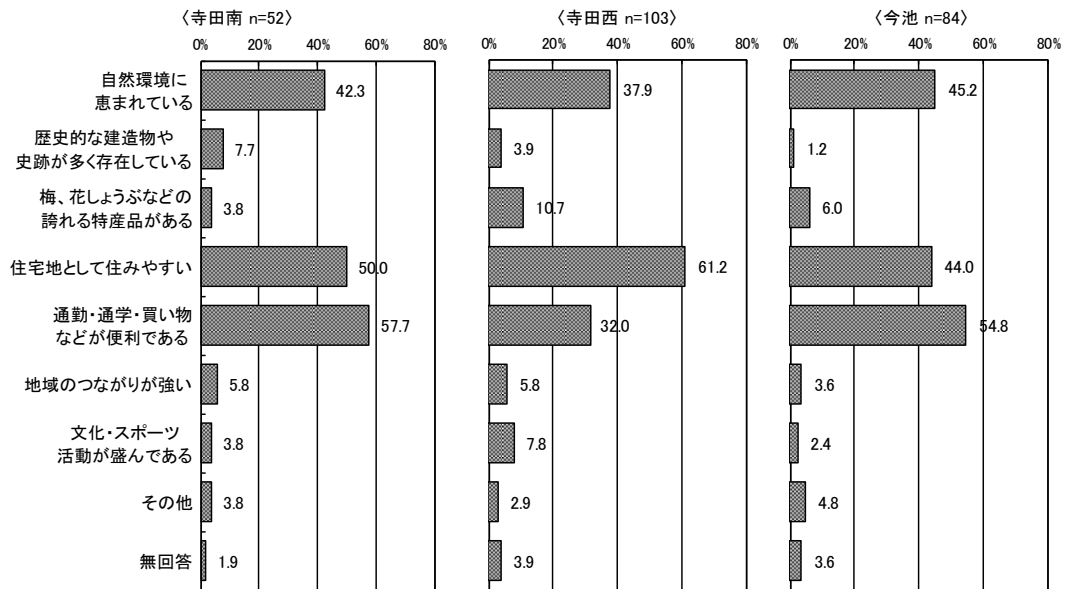
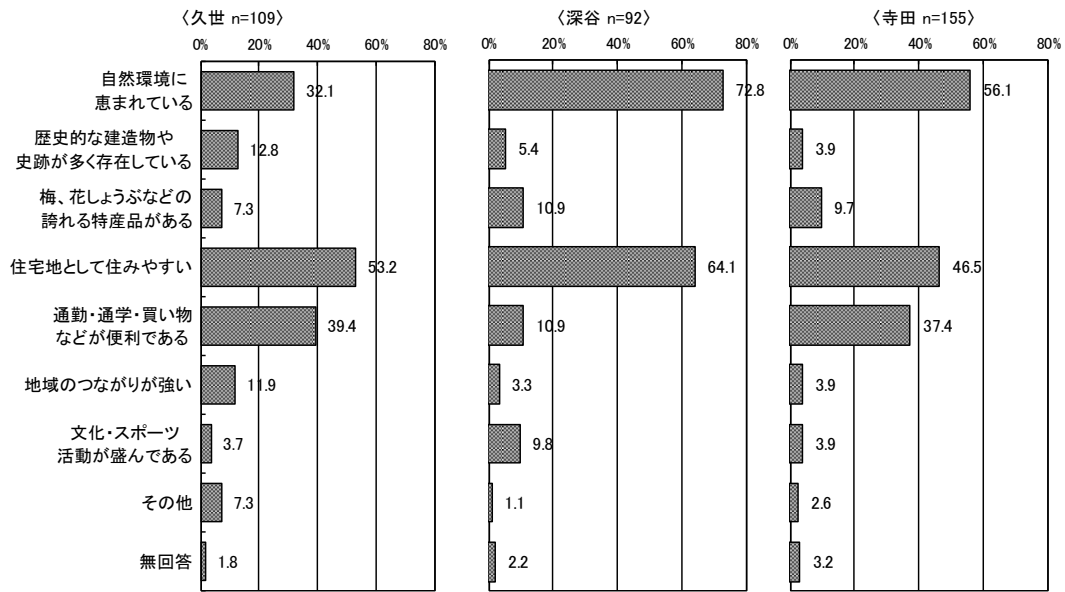
年齢別では、全体と比べて20歳代では「自然環境に恵まれている」が低く、50歳代では「通勤・通学・買い物などが便利である」が高くなっている。

居住地区別では、全体と比べて深谷、青谷では「自然環境に恵まれている」が高く、久津川、古川、久世では低くなっている。対して、久津川、寺田南、今池では「通勤・通学・買い物などが便利である」が高く、深谷、青谷では低くなっている。

深谷、寺田西では「住宅地として住みやすい」が高く、青谷では低くなっている。また、青谷では「梅、花しょうぶなどの誇れる特産品がある」が高くなっている。

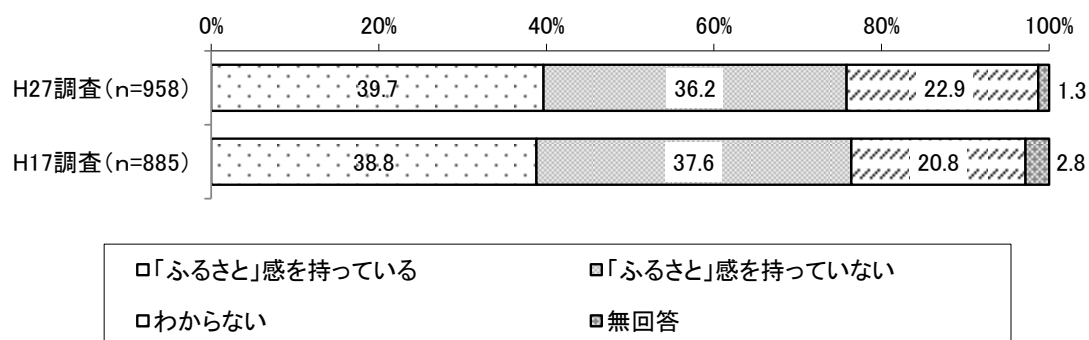
2-2. 城陽市のどのような所に魅力を感じられますか。





(3) あなたは城陽市に「ふるさと」であるといった感じをお持ちですか。

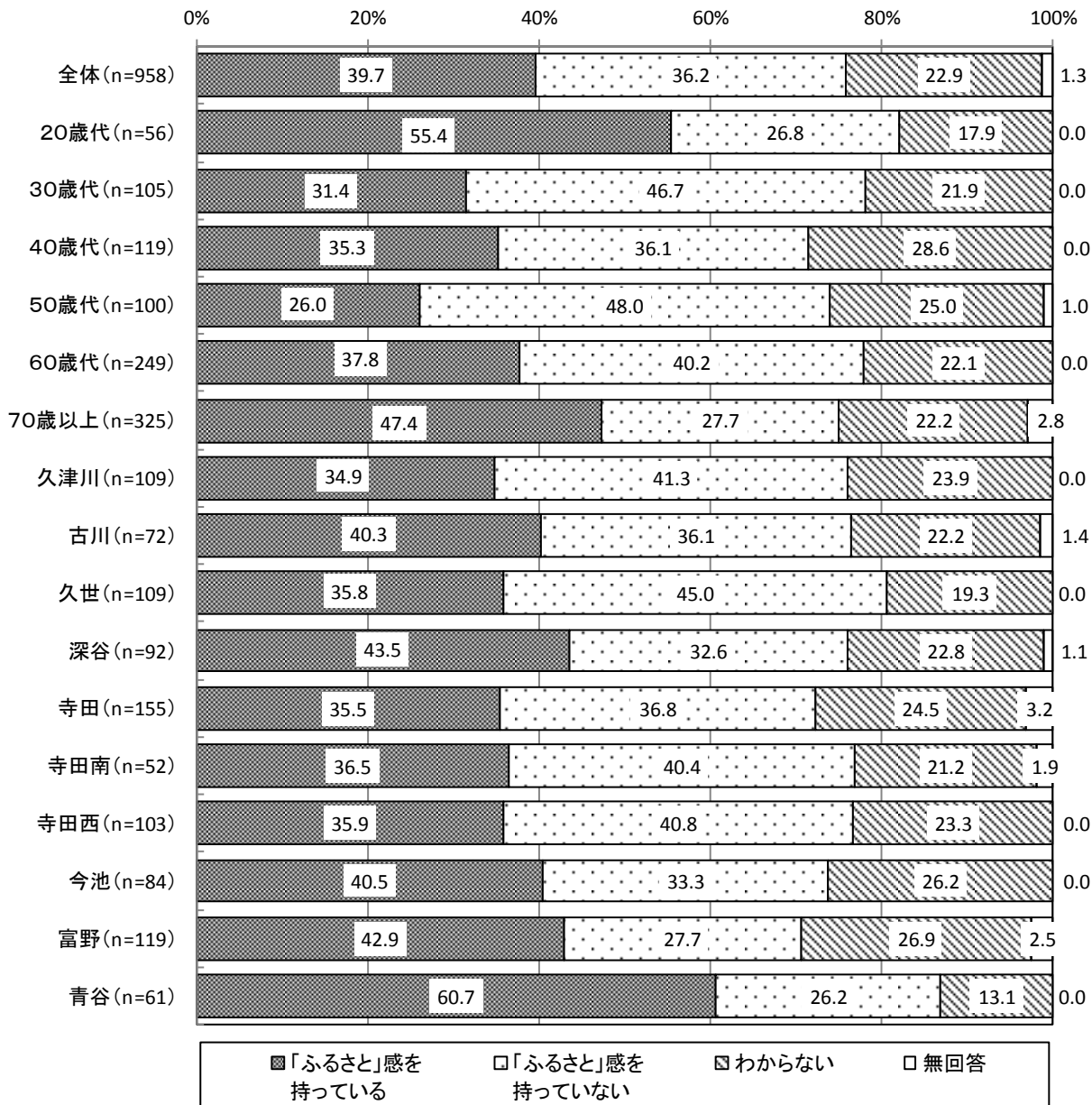
ふるさと感については、「持っている」が39.7%、「持っていない」が36.2%となっている。
 前回調査と比較すると、「持っている」が前回より0.9ポイント増加しており、「持っていない」が1.4ポイント減少している。



年齢別では、全体と比べて20歳代では「ふるさと」感を持っているが高くなっており、30歳代、50歳代では「ふるさと」感を持っていないが高くなっている。

居住地区別では、全体と比べて青谷では「ふるさと」感を持っているが高くなっている。

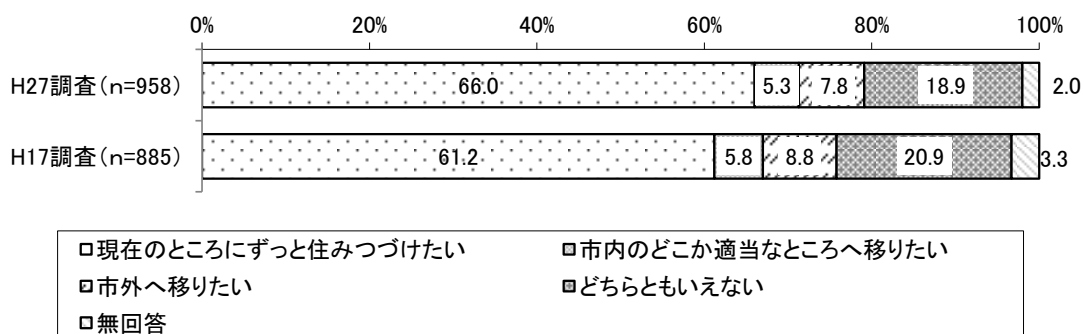
2-3. あなたは城陽市に「ふるさと」であるといった感じをお持ちですか。



(4) あなたは今後も現在のところに住みつづけたいと思われませんか。

「現在のところにずっと住みつづけたい」は66.0%であり、約7割の人が今後も城陽市に住み続けたいと考えている。

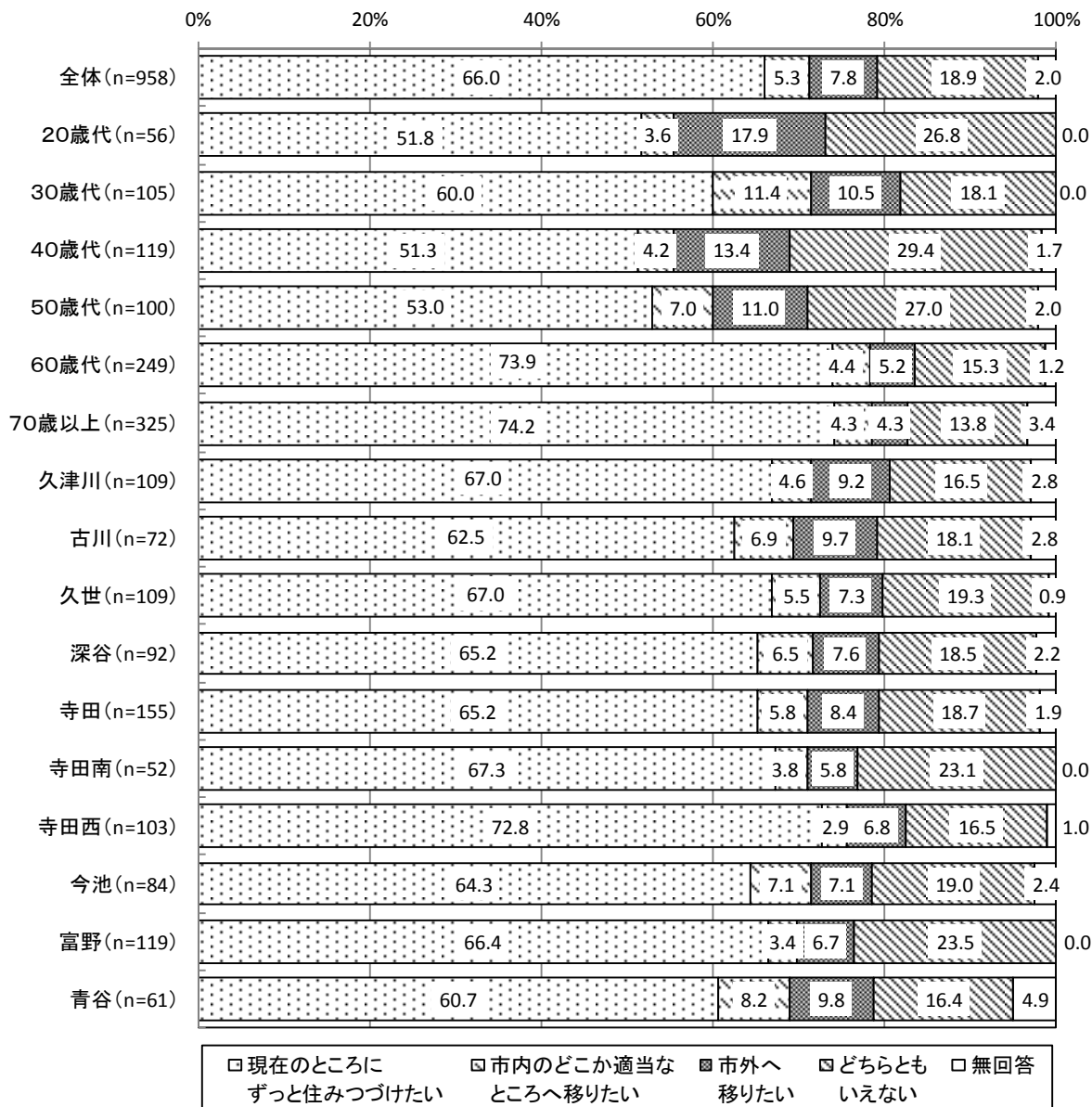
前回調査と比較すると、「現在のところにずっと住みつづけたい」が前回より4.8ポイント増加している。



年齢別では、全体と比べて20歳代、40歳代、50歳代では「現在のところにずっと住みつづけたい」が低くなっている。

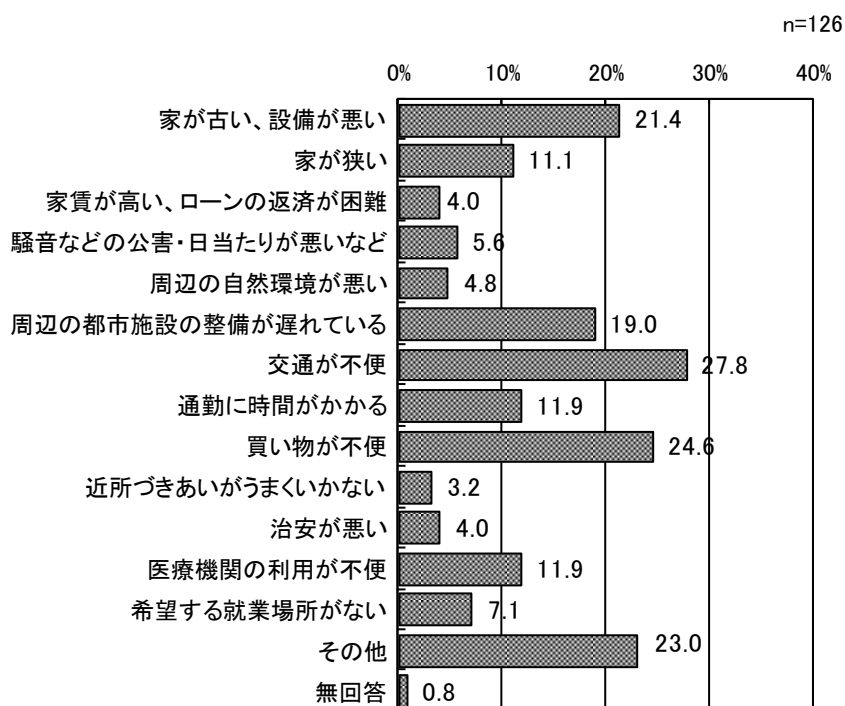
居住地区別では、全体と同じ傾向となっている。

2-4. あなたは今後も現在のところに住みつづけたいと思われませんか。



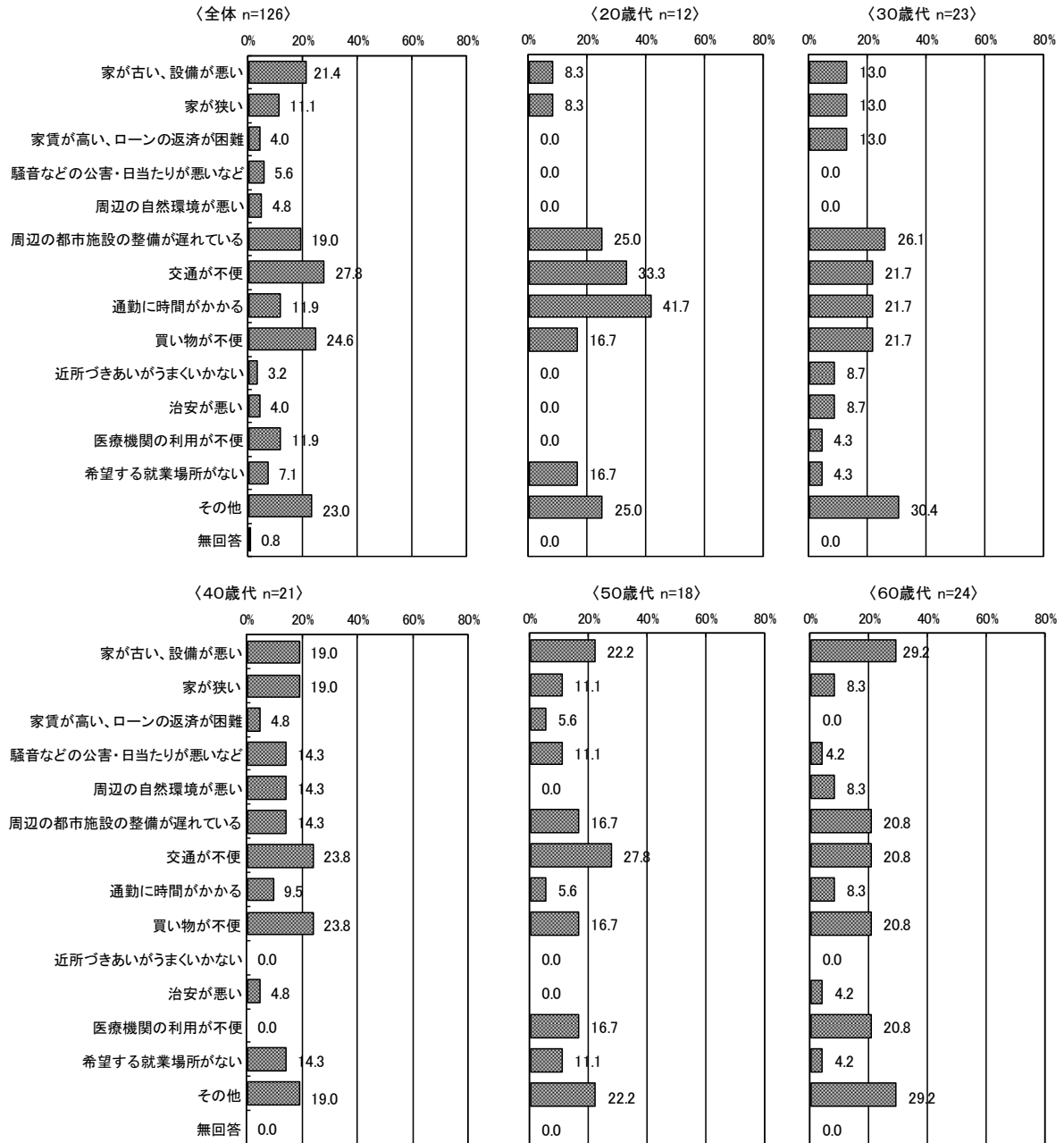
(4) -1 (4)で「2. 市内のどこか適当なところへ移りたい」「3. 市外へ移りたい」と回答された方におたずねします。移りたい理由は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。(複数回答)

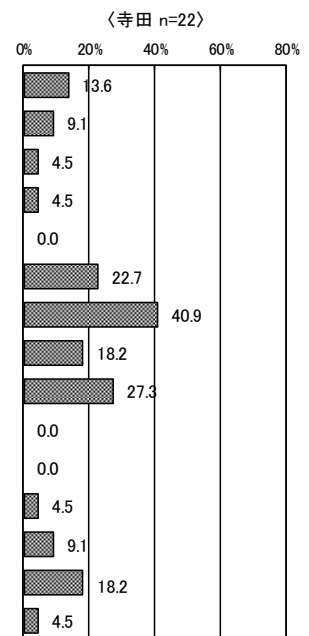
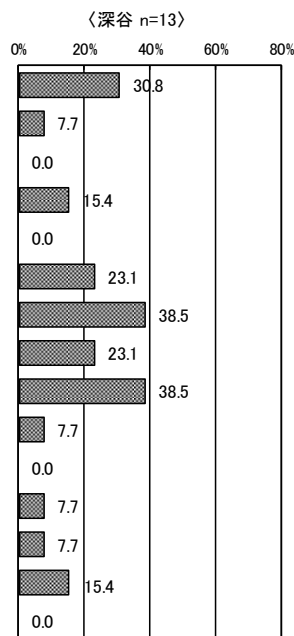
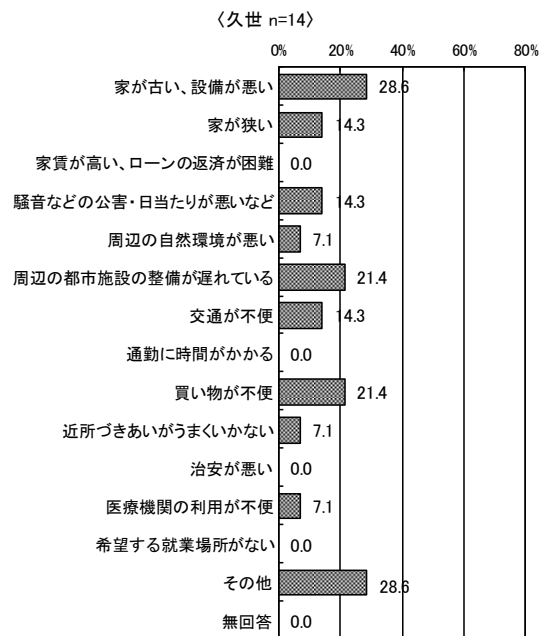
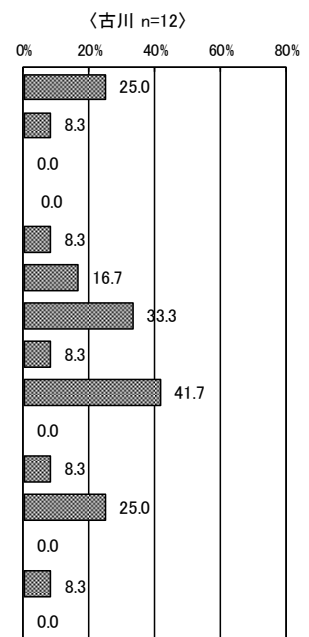
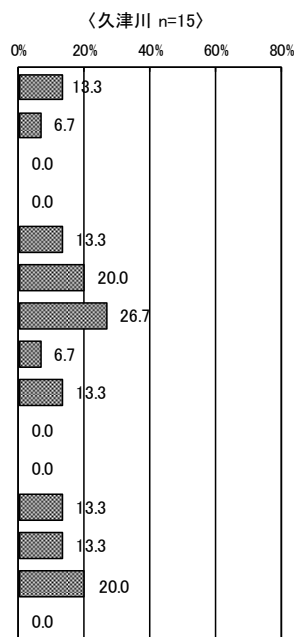
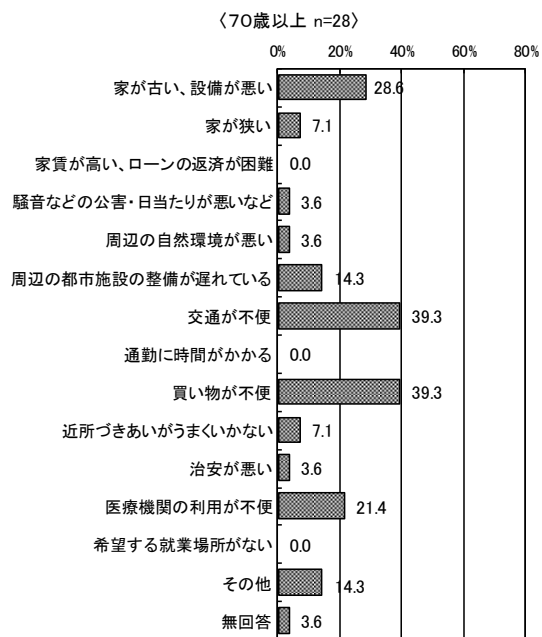
「移りたい理由」では、「交通が不便」が27.8%、「買い物が不便」が24.6%、「家が古い、設備が悪い」が21.4%となっている。

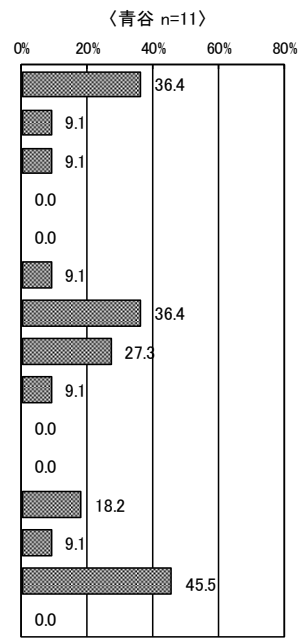
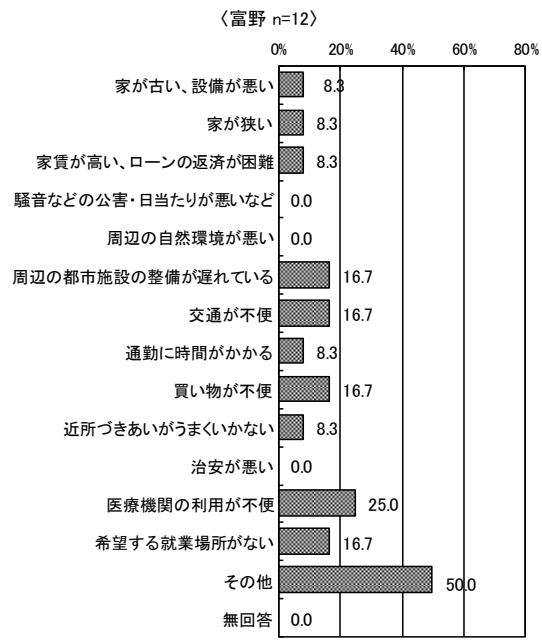
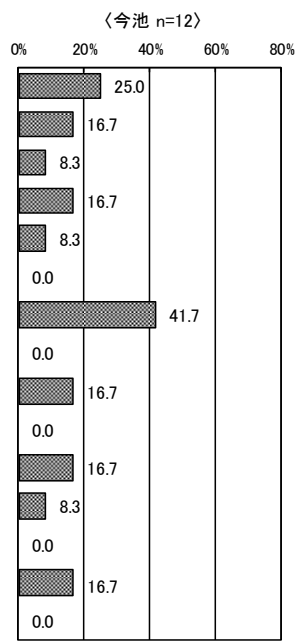
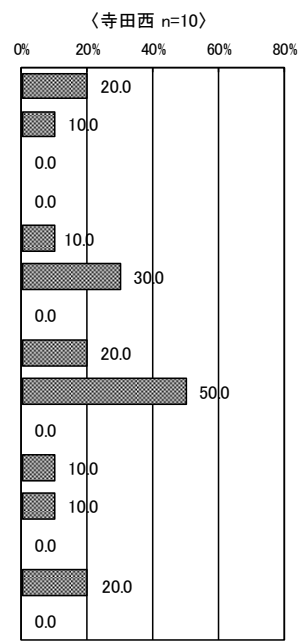
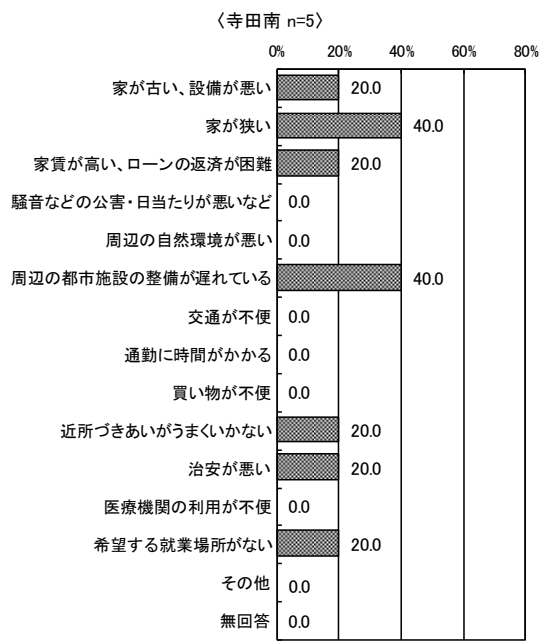


回答数が少ないため正確に比較できないが、年齢別では、全体と比べて20歳代では「通勤に時間がかかる」が高く、「家が古い、設備が悪い」が低くなっている。また、70歳代では「交通が不便」と「買い物が不便」がいずれも高くなっている。

2-4-1. 移りたい理由は何ですか。





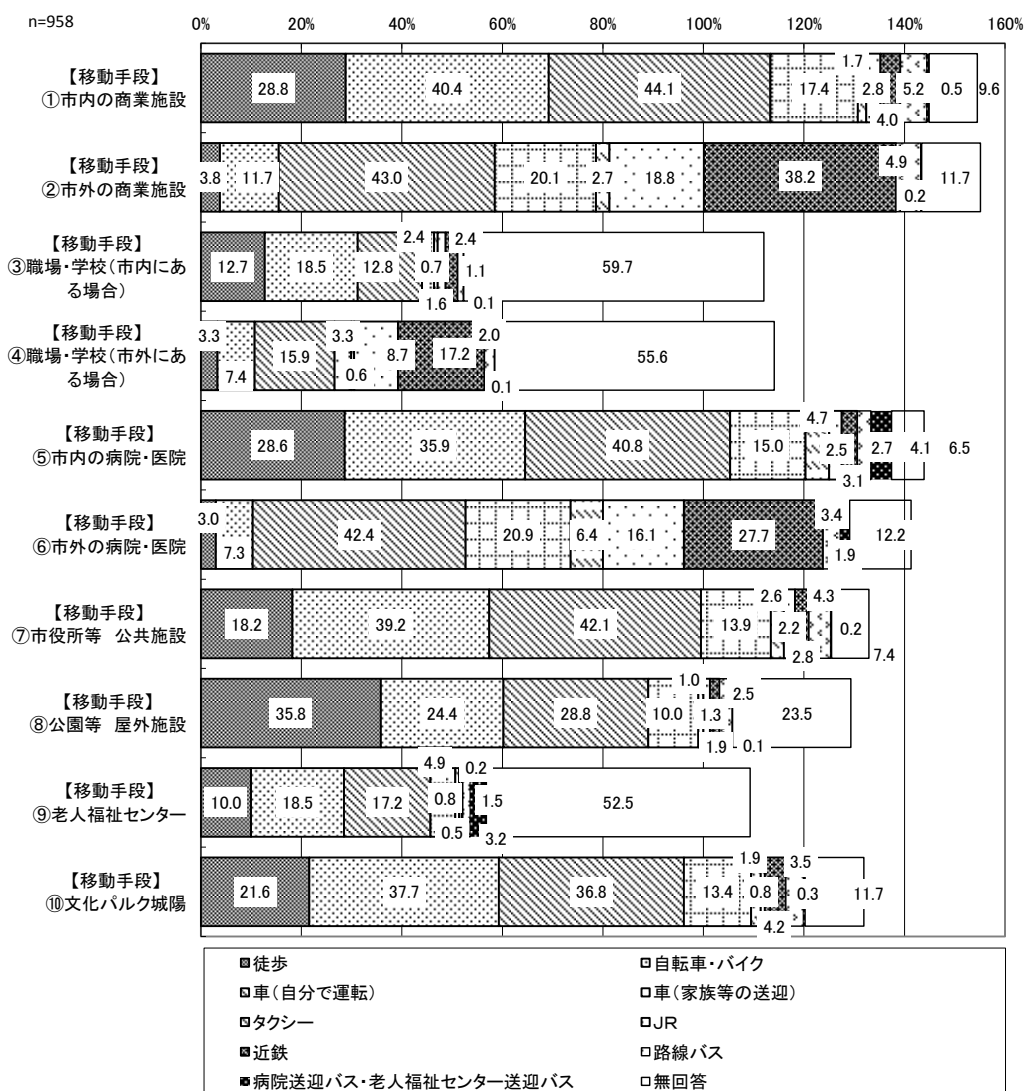


Ⅲ. 外出時の移動手段について

(1) あなたは①～⑩の目的地に行く際にどのような移動手段を利用されていますか。
関係するものすべてに○をつけてください。 (複数回答)

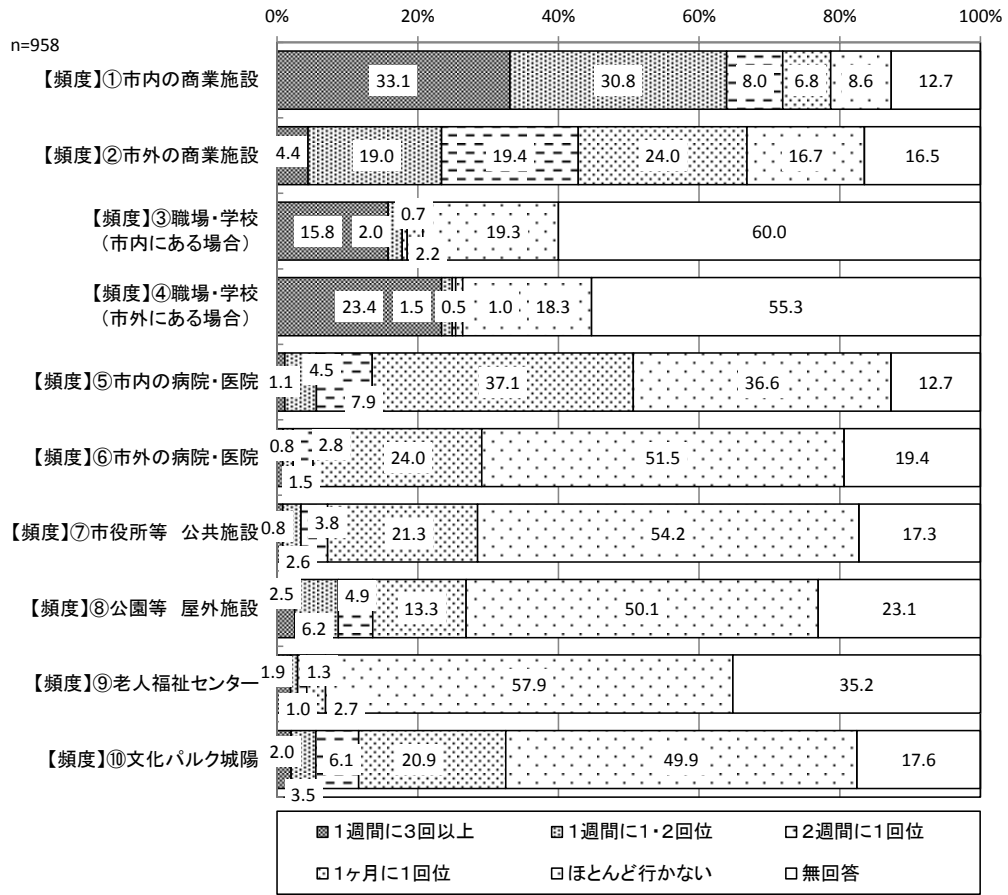
主要な移動手段としては「車（自分で運転）」がほとんどの施設で多くなっており、次いで「自転車・バイク」となっている傾向がうかがえる。

また、①市内の商業施設、⑤市内の病院・医院、⑧公園等屋外施設などへは「徒歩」も多く、②市外の商業施設や⑥市外の病院・医院については、「近鉄」の利用が多くなっている。



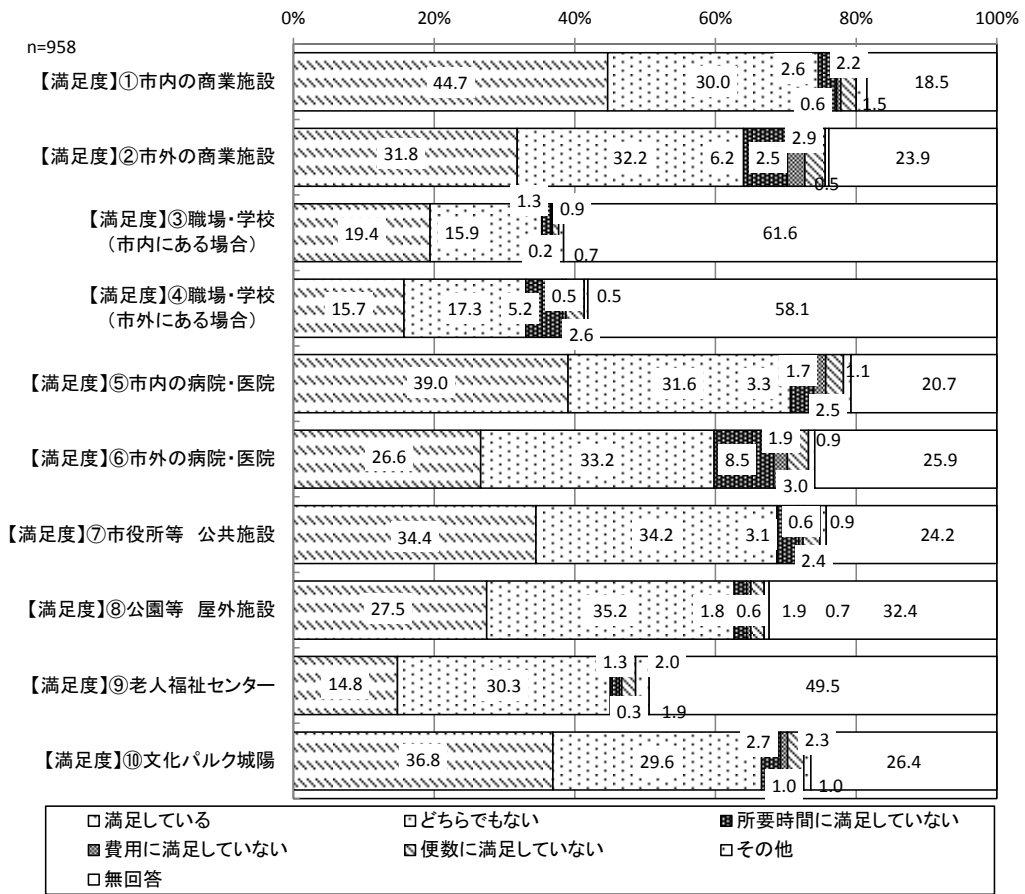
(2) ①～⑩へはどのくらいの頻度で行きますか。①～⑩それぞれについて1つまで○をつけてください。

移動手段の利用頻度は、①市内の商業施設、④職場・学校（市外にある場合）で「1週間に3回以上」、②市外の商業施設、⑤市内の病院・医院では「1ヶ月に1回位」が最も多くなっている。



(3) ①～⑩への移動手段には満足していますか。①～⑩それぞれについて1つまで○をつけてください。

移動手段の満足度は、「満足している」または「どちらでもない」が多く、満足していないは少なくなっている。①市内の商業施設、③職場・学校（市内にある場合）、⑤市内の病院・医院、⑦市役所等公共施設、⑩文化パーク城陽で「満足している」が最も多くなっている。

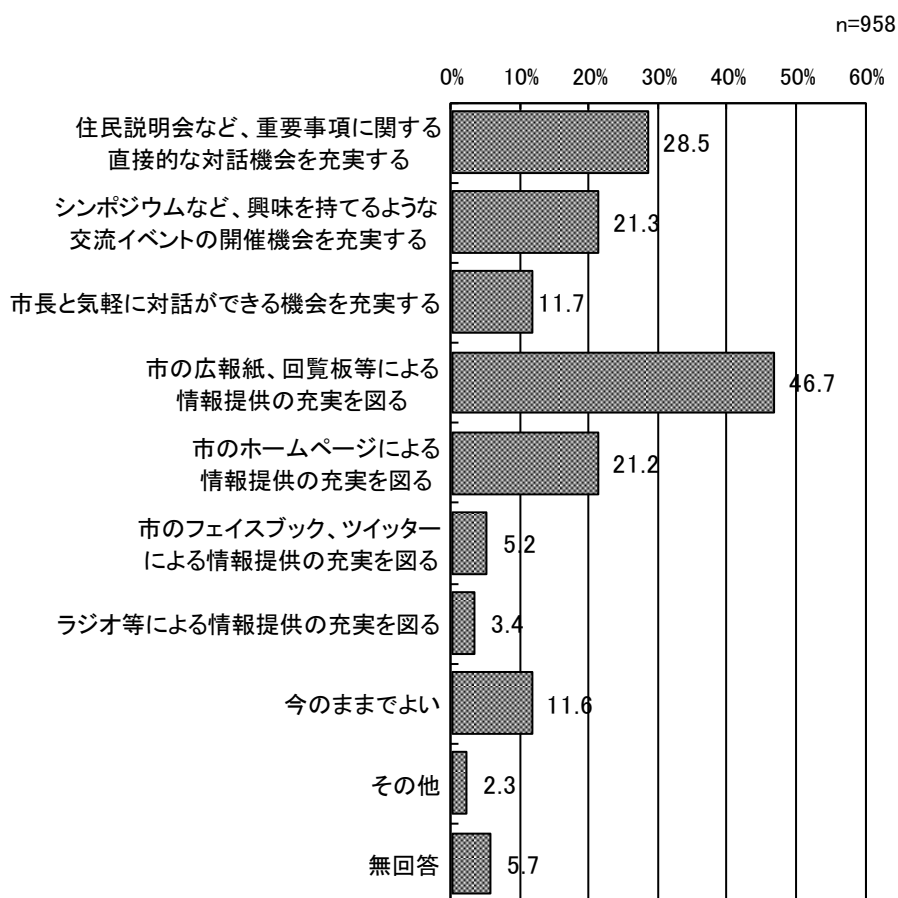


IV. 市民参画のあり方について

(1) 今後の市政運営にかかる情報提供について、どのような取り組みを強化すべきと考えますか。特に重要と考えるものに2つまで○をつけてください。

(複数回答)

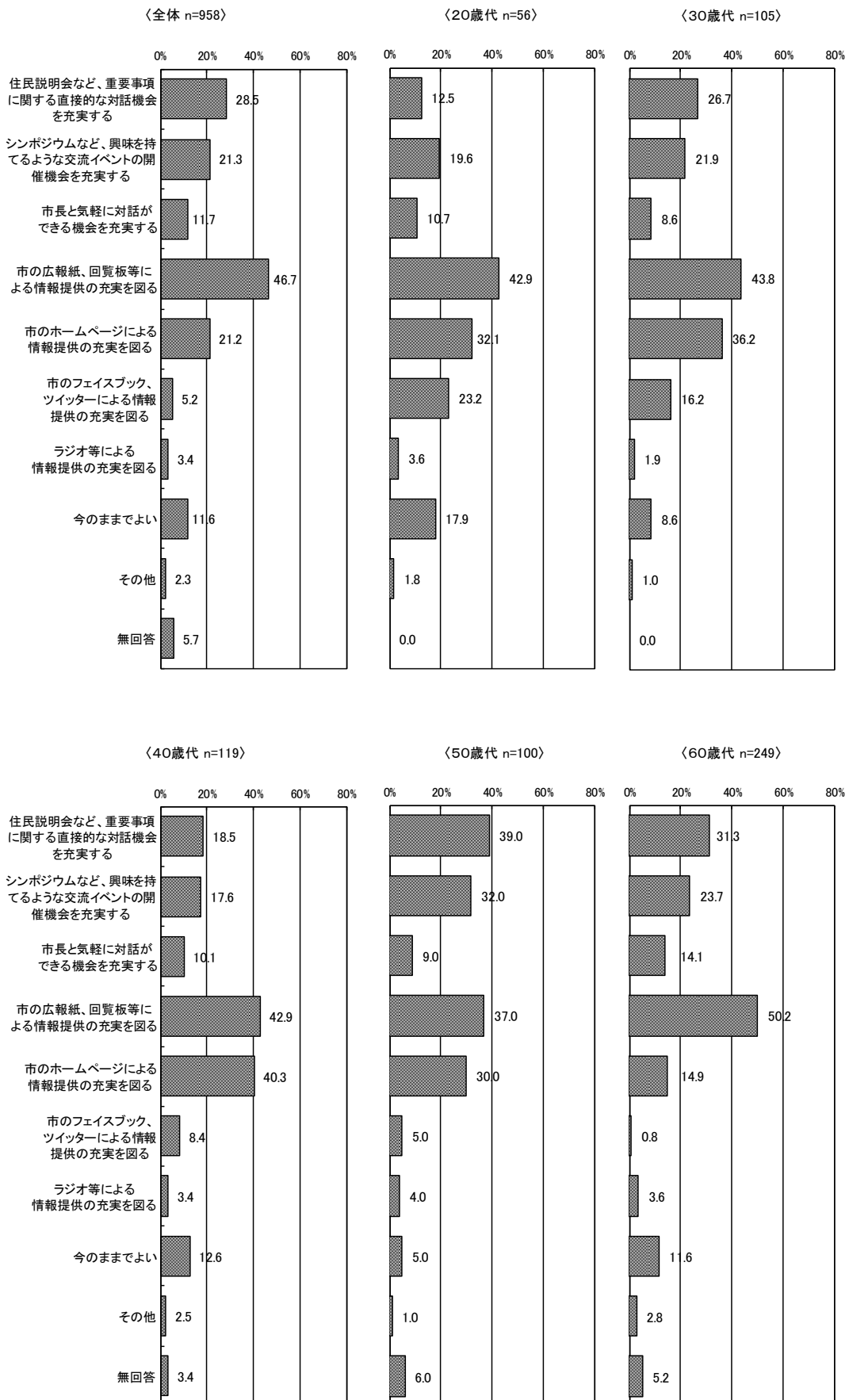
「市の広報紙、回覧板等による情報提供の充実を図る」が46.7%と最も多くなっており、次いで「住民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会を充実する」が28.5%、「シンポジウムなど、興味を持てるような交流イベントの開催機会を充実する」が21.3%となっている。

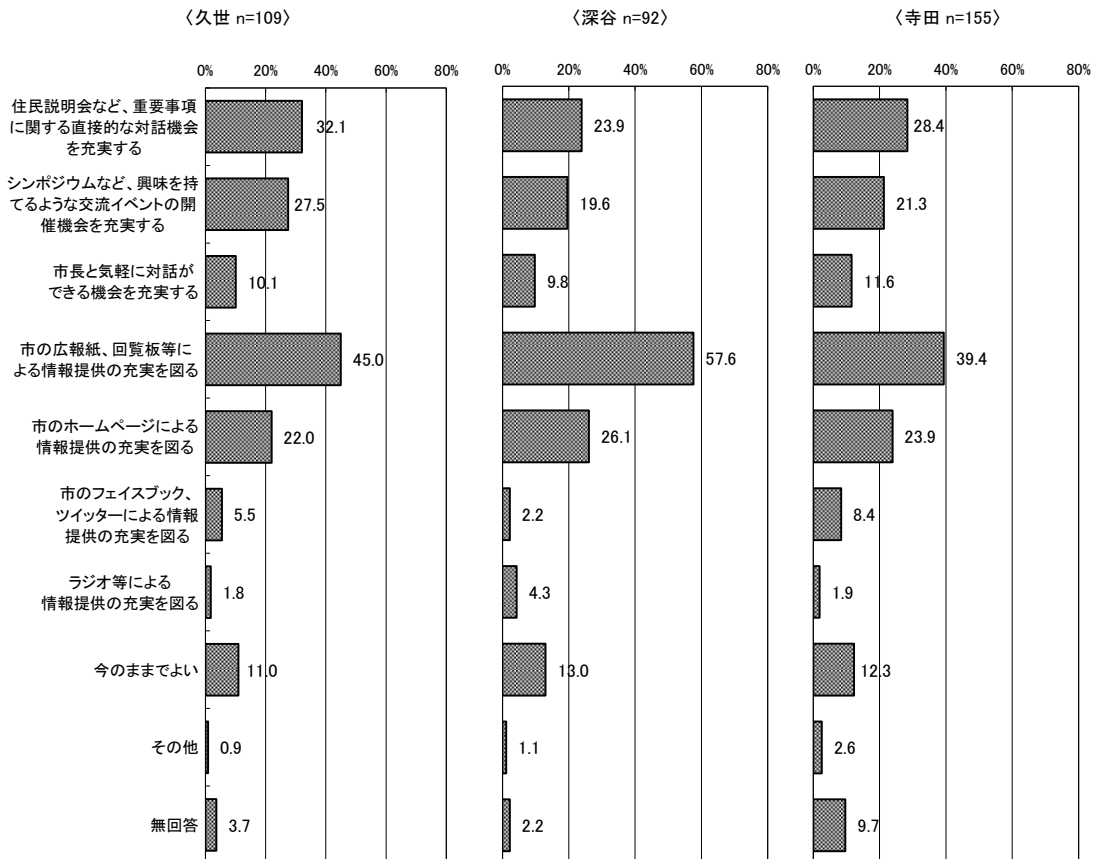
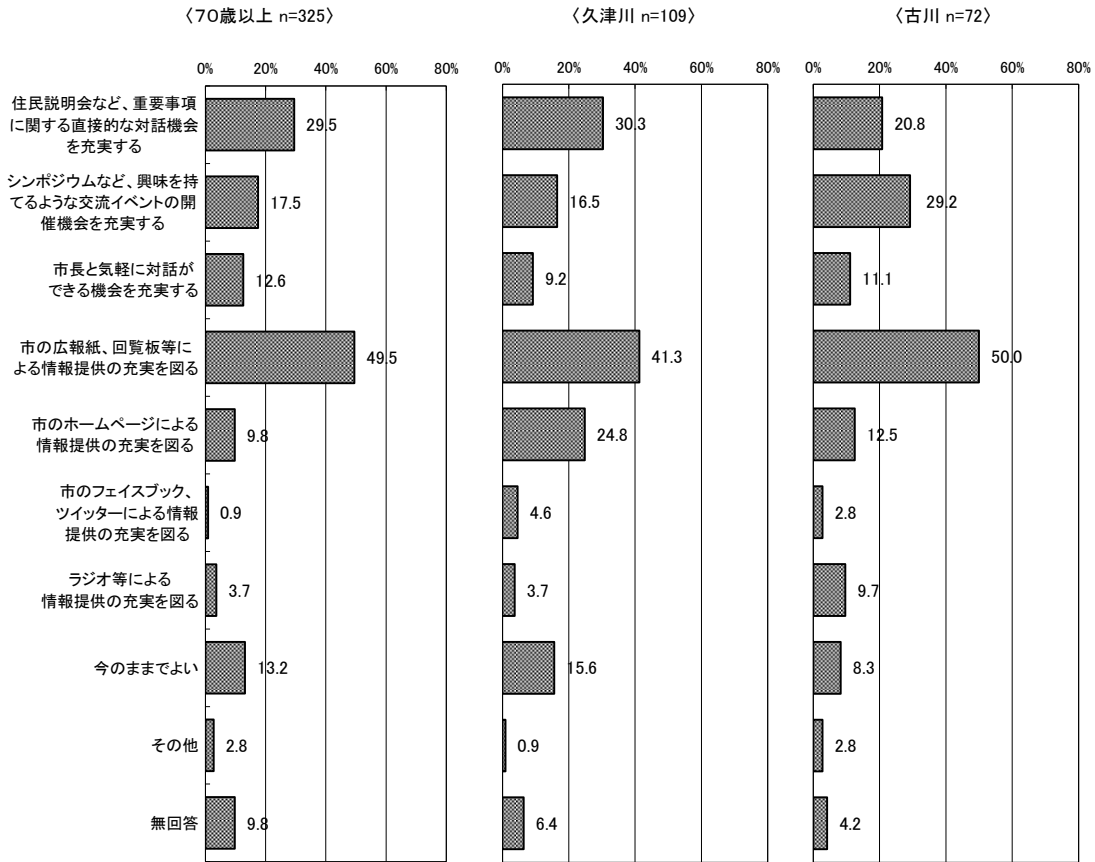


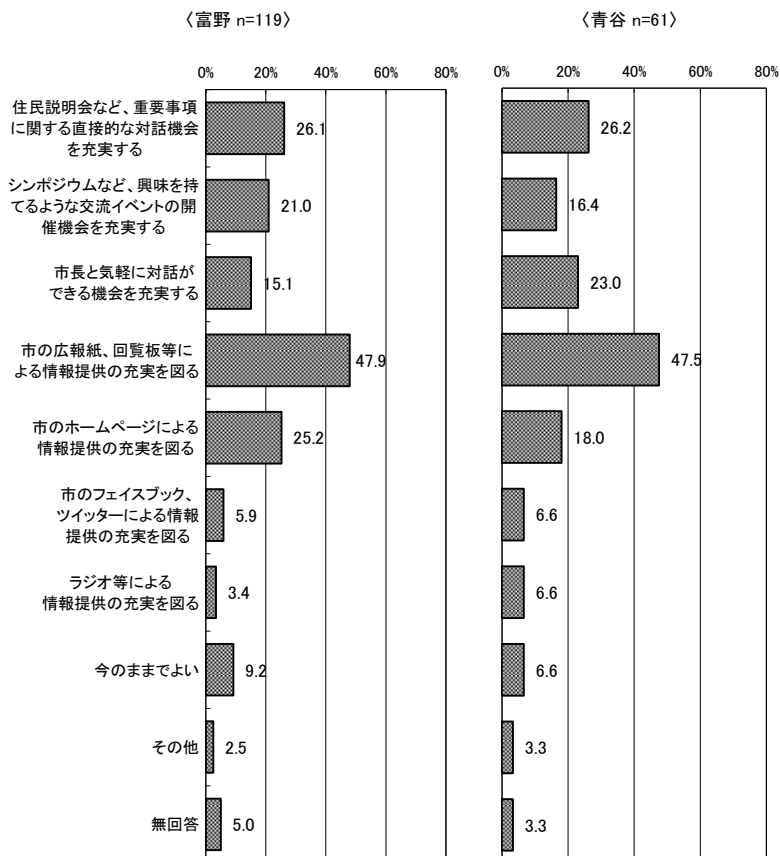
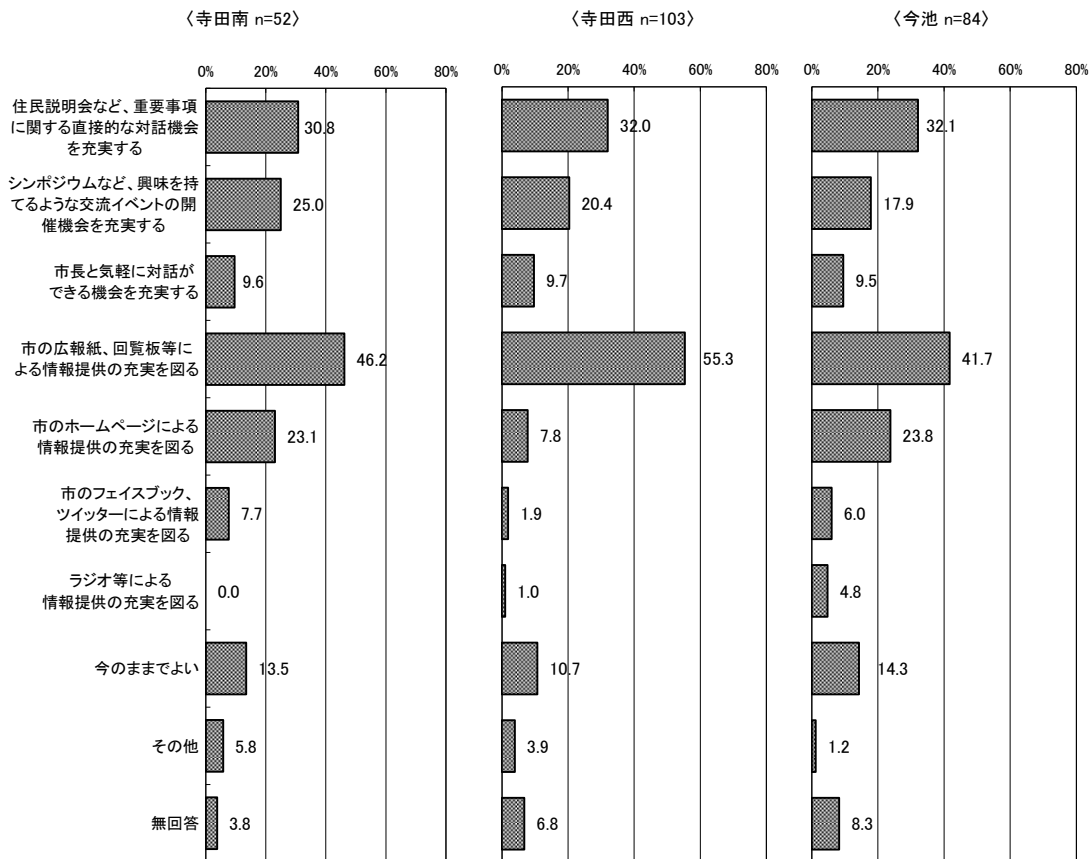
年齢別では、全体と比べて20歳代、30歳代、40歳代では「市のホームページによる情報提供の充実を図る」と「市のフェイスブック、ツイッターによる情報提供の充実を図る」が、50歳代では「住民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会を充実する」と「シンポジウムなど、興味を持てるような交流イベントの開催機会を充実する」が高くなっており、若年層では情報通信技術を活用した手法を、50歳代では直接対話を重視する傾向がある。なお、全ての年齢層で「市の広報紙、回覧板等による情報提供の充実を図る」が高くなっている。

居住地区別では、全体と比べて深谷では「市の広報紙、回覧板等による情報提供の充実を図る」が、青谷では「市長と気軽に対話ができる機会を充実する」が高くなっている。

4-1. 今後の市政運営にかかる情報提供について、どのような取り組みを強化すべきと考えますか。



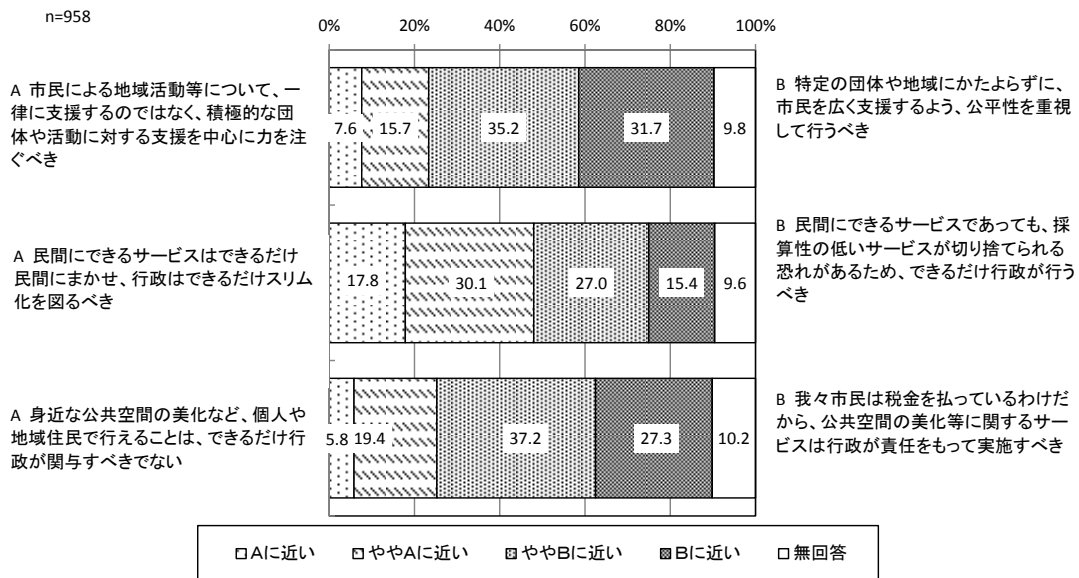




(2) 市民と行政の協働によるまちづくりが求められる中、今後行政が果たすべき役割（特に人材や財源の使い方）に関し、①～③それぞれについて、AとBで、あなたの考え方に近いものに1～4の中から1つだけ○をつけてください。

	A	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	B
①	市民による地域活動等について、一律に支援するのではなく、積極的な団体や活動に対する支援を中心に力を注ぐべき	1	2	3	4	特定の団体や地域にかたよらずに、市民を広く支援するよう、公平性を重視して行うべき
②	民間にできるサービスはできるだけ民間にまかせ、行政はできるだけスリム化を図るべき	1	2	3	4	民間にできるサービスであっても、採算性の低いサービスが切り捨てられる恐れがあるため、できるだけ行政が行うべき
③	身近な公共空間の美化など、個人や地域住民で行えることは、できるだけ行政が関与すべきでない	1	2	3	4	我々市民は税金を払っているわけだから、公共空間の美化等に関するサービスは行政が責任をもって実施すべき

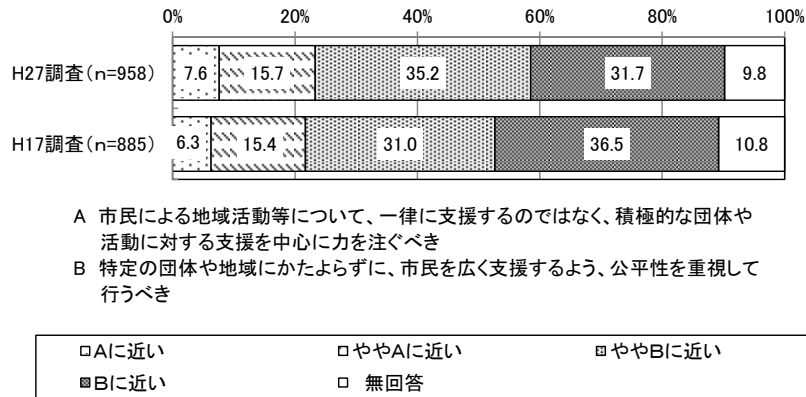
【全体】



①支援の公平性について

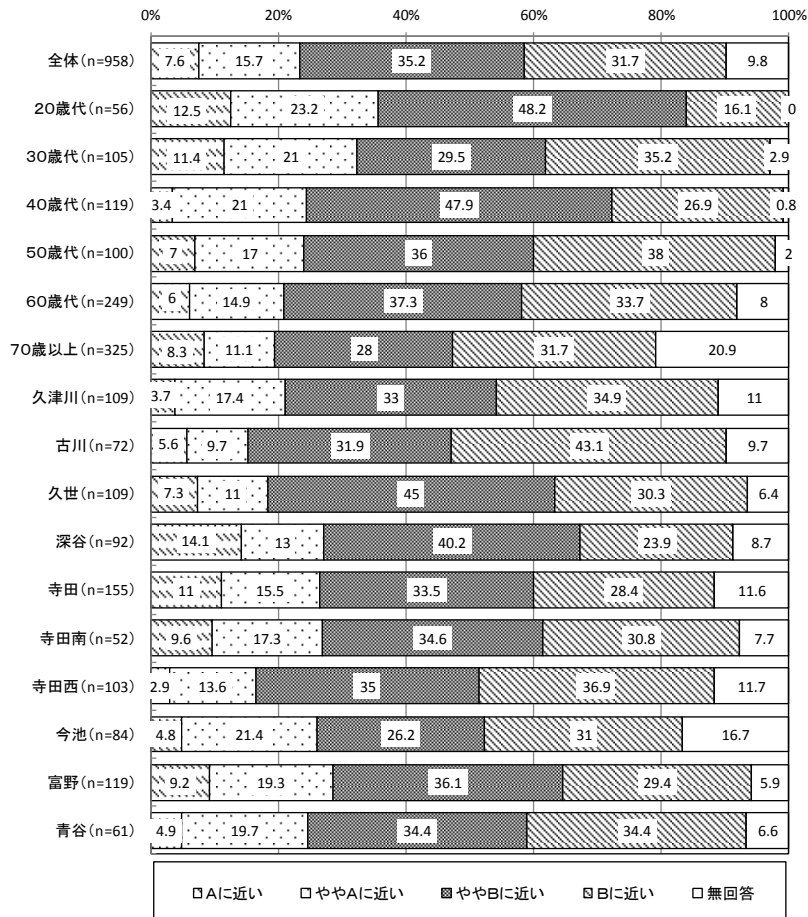
「市民による地域活動等について、一律に支援するのではなく、積極的な団体や活動に対する支援を中心に力を注ぐべき」との意見（Aに近い、ややAに近い）が23.3%、対して「特定の団体や地域にかたよらずに、市民を広く支援するよう、公平性を重視して行うべき」の意見（Bに近い、ややBに近い）が66.9%と、約7割が公平性を重視して支援するべきとなっている。

前回調査と比較すると、「ややBに近い」が4.2ポイント増加、「Bに近い」が4.8ポイント減少しているが、公平性を重視して支援するべきという傾向は変化していない。



年齢別では、全ての年齢で「Bに近い」「ややBに近い」が高くなっているが、若年層ほど全体と比べて「Aに近い」「ややAに近い」が高くなっている。

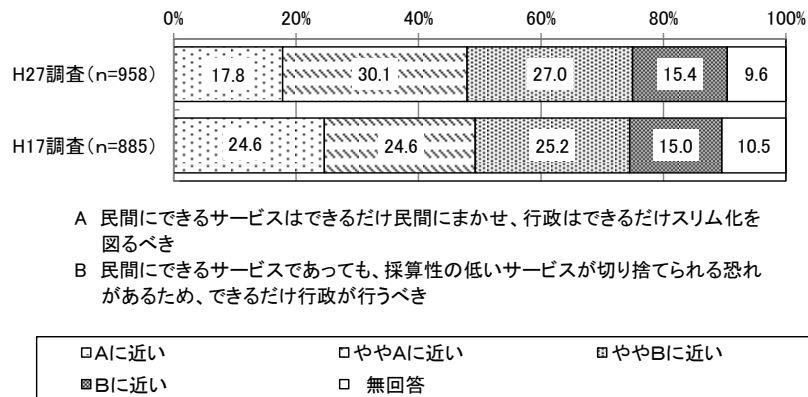
居住地区別では、いずれの地区も全体と同じ傾向になっている。



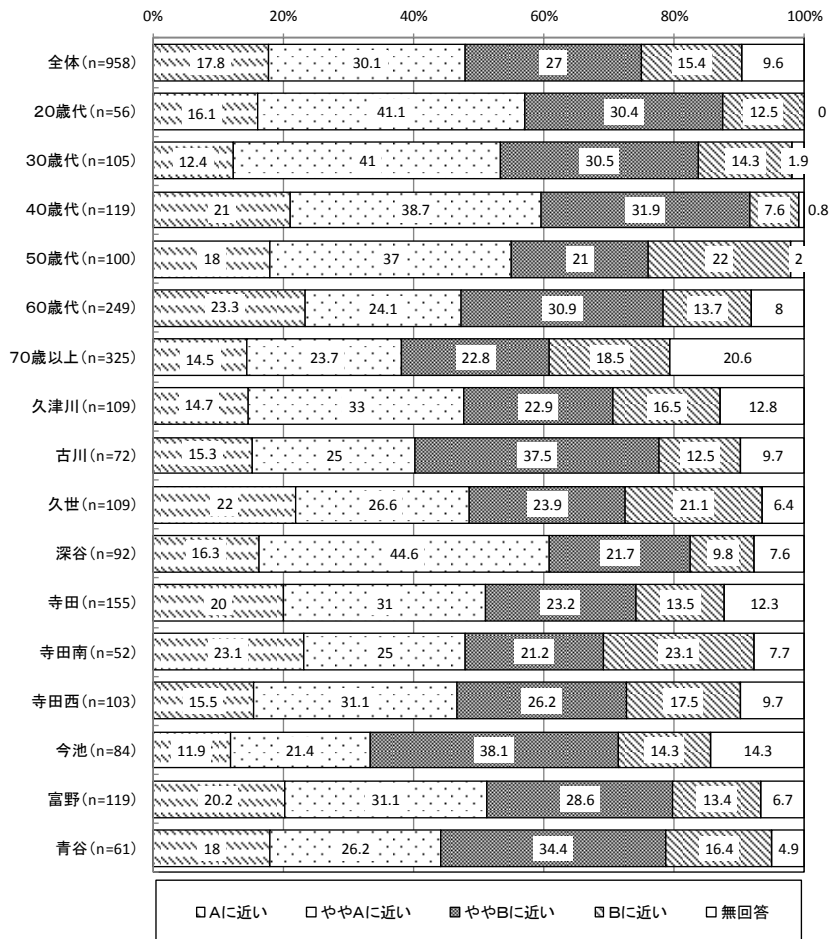
②民間能力の活用について

「民間にできるサービスはできるだけ民間にまかせ、行政はできるだけスリム化を図るべき」との意見（Aに近い、ややAに近い）が47.9%、対して「民間にできるサービスであっても、採算性の低いサービスが切り捨てられる恐れがあるため、できるだけ行政が行うべき」の意見（Bに近い、ややBに近い）が42.4%となっており、やや行政のスリム化に向けた意見が多くなっている。

前回調査と比較すると、「Aに近い」が6.8ポイント減少、「ややAに近い」が5.5ポイント増加しているが、行政のスリム化に向けた意見は1.3ポイント少なくなっている。



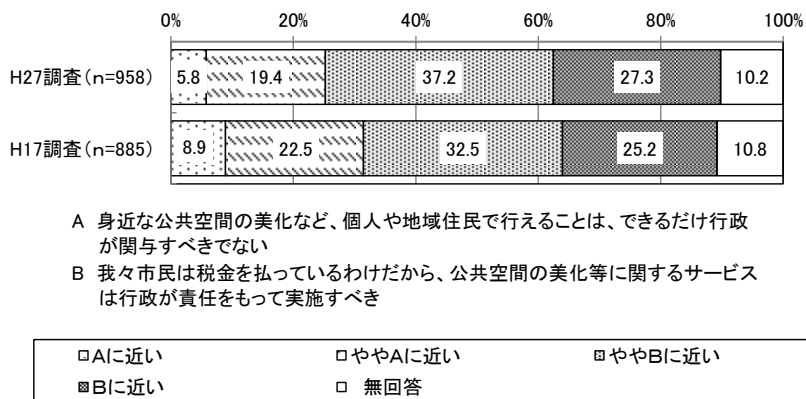
年齢別では、全体と比べて40歳代では「Aに近い」「ややAに近い」が高くなっている。居住地区別では、全体と比べて深谷では「Aに近い」「ややAに近い」が高く、今池では低くなっている。



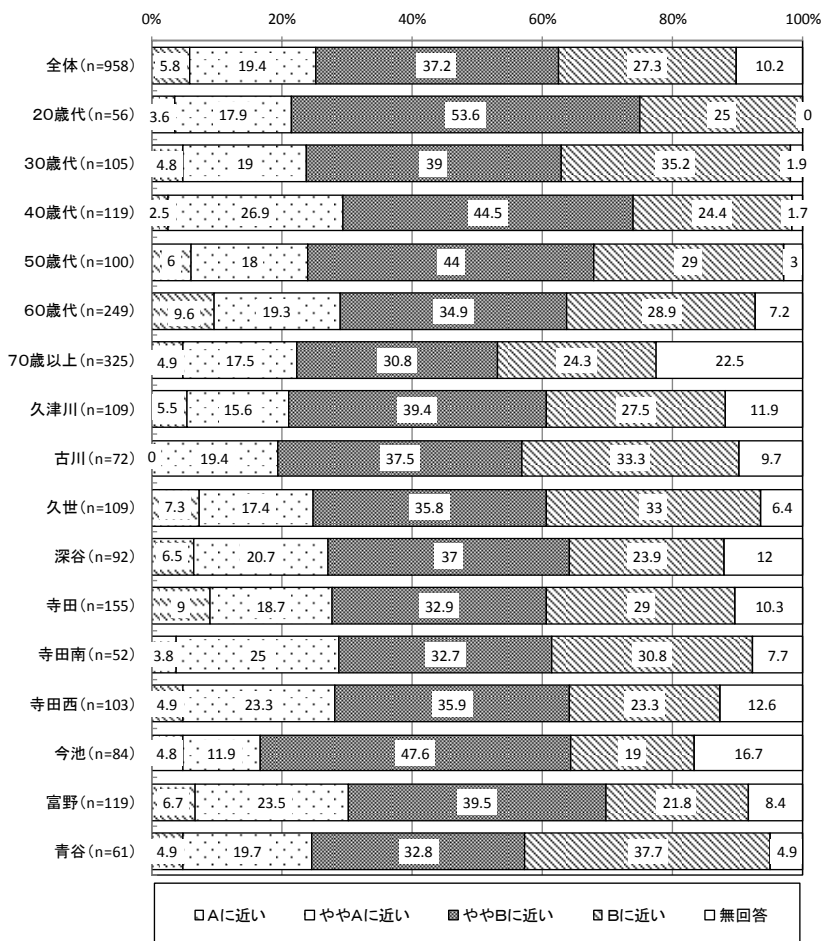
③行政の関与について

「身近な公共空間の美化など、個人や地域住民で行えることは、できるだけ行政が関与すべきでない」との意見（Aに近い、ややAに近い）が25.2%、対して「我々市民は税金を払っているわけだから、公共空間の美化等に関するサービスは行政が責任をもって実施すべき」の意見（Bに近い、ややBに近い）が64.5%となっており、行政が責任を持って実施すべきとの意見が多くなっている。

前回調査と比較すると、「ややBに近い」が4.7ポイント増加しており、行政が責任を持って実施すべきとの意見が多くなっている。



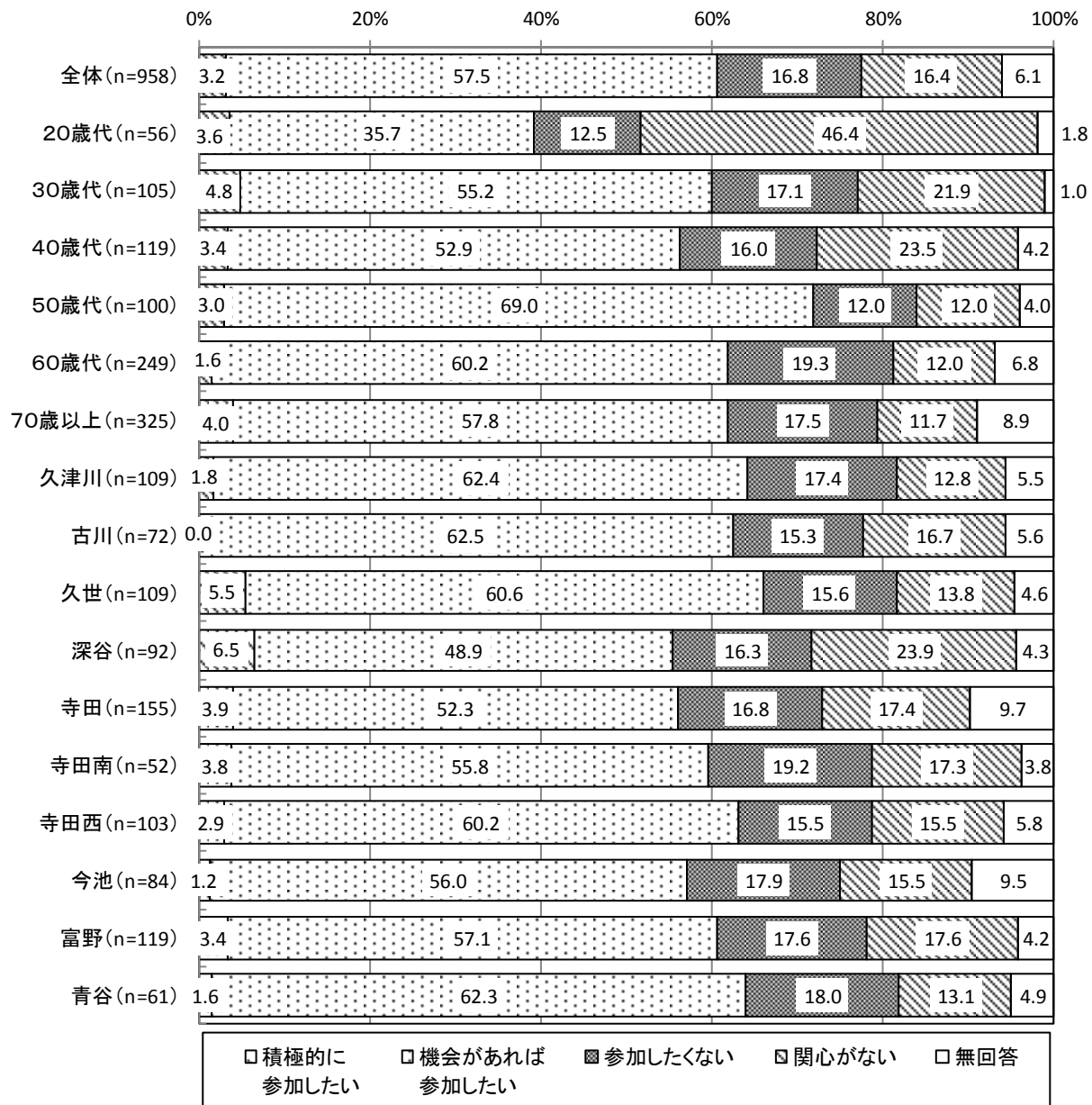
年齢別、居住地区別ともに全体と同じ傾向になっている。



(3) 市政への参加について、あなたのご意向について最も近いものに1つだけ○をつけてください。

市政への参加について、「機会があれば参加したい」が57.5%で最も多くなっている。
 年齢別では、全体と比べて20歳代では「関心がない」が、50歳代では「機会があれば参加したい」が高くなっている。
 居住地区別は、全体と同じ傾向となっている。

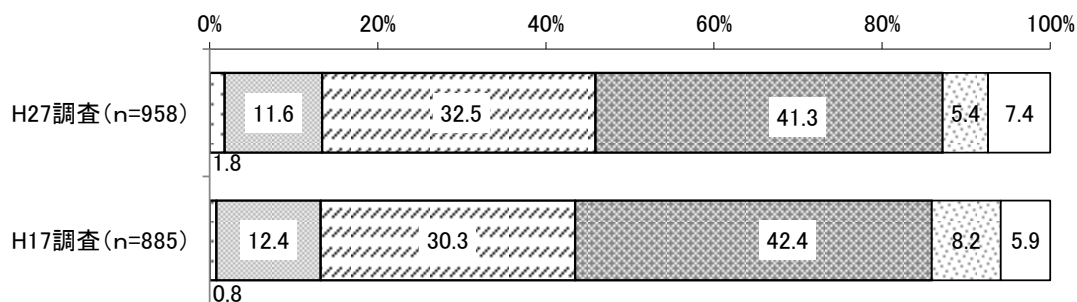
4-3. 市政への参加について、あなたのご意向について最も近いものに1つだけ○をつけてください。



v. 今後の公共サービスのあり方について

(1) 今後、人口減少に伴い、税収の確保などが困難となり財源不足が深刻化する一方、市民ニーズはますます多様化し、行政の担う役割が増加すると考えられます。今後の公共サービスのあり方として、あなたのお考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。

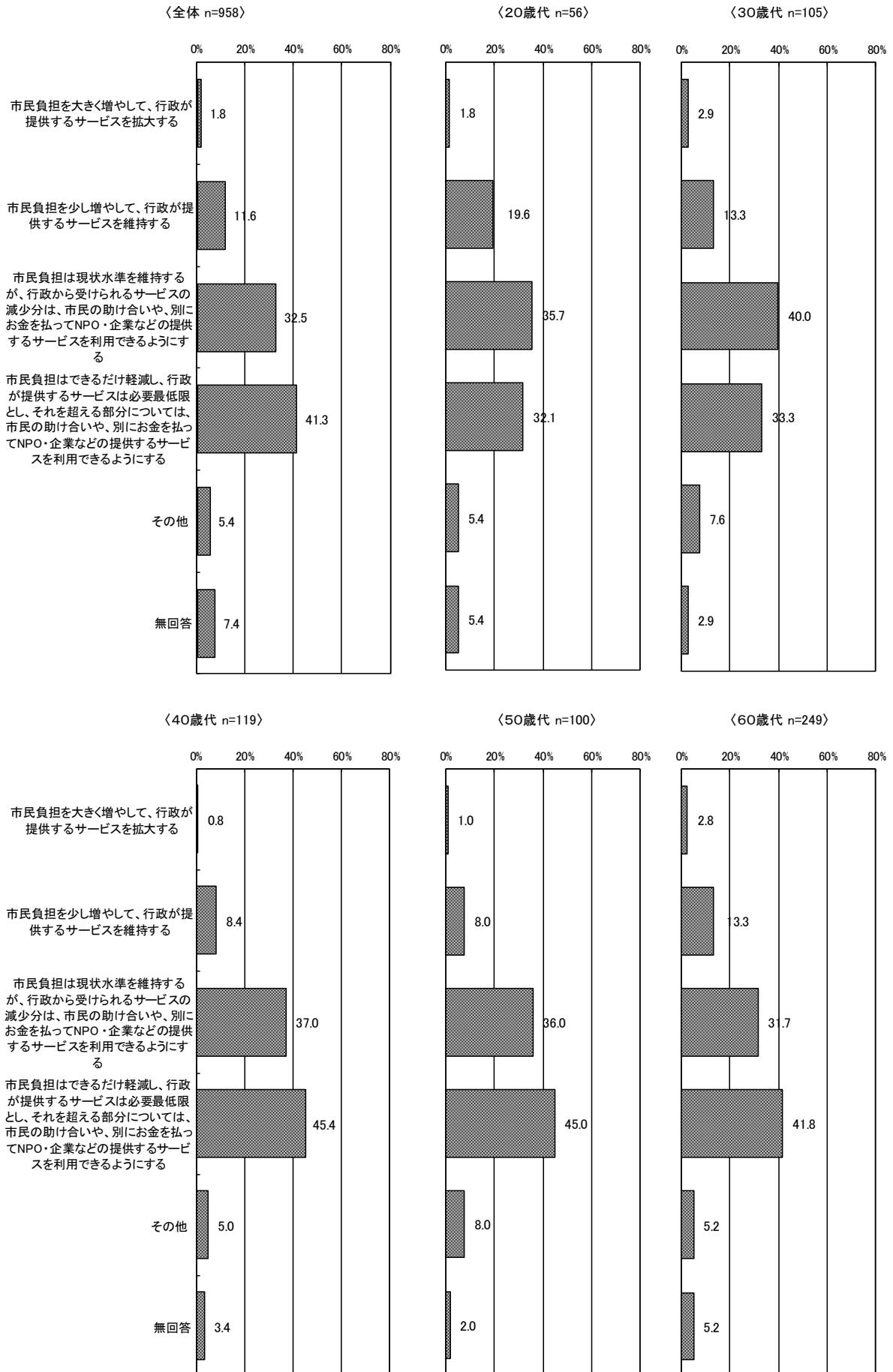
「税や社会保険料等の市民負担はできるだけ軽減し、行政が提供するサービスは必要最低限とし、それを超える部分については、市民の助け合いや、別にお金を払って NPO・企業などの提供するサービスを利用できるようにする」が 41.3%で最も多く、次いで「税や社会保険料等の市民負担は現状水準を維持するが、行政から受けられるサービスの減少分は、市民の助け合いや、別にお金を払って NPO・企業などの提供するサービスを利用できるようにする」が 32.5%、「税や社会保険料等の市民負担を少し増やして、行政が提供するサービスを維持する」が 11.6%となっている。市民負担を増やしてまでも行政サービスを維持、拡大する意向は少ないことがうかがえる。前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。



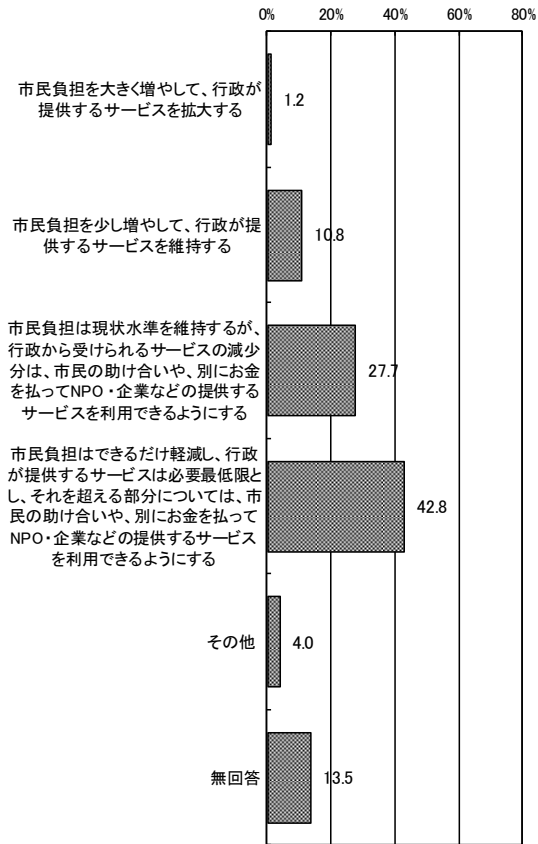
- 税や社会保険料等の市民負担を大きく増やして、行政が提供するサービスを拡大する
- 税や社会保険料等の市民負担を少し増やして、行政が提供するサービスを維持する
- 税や社会保険料等の市民負担は現状水準を維持するが、行政から受けられるサービスの減少分は、市民の助け合いや、別にお金を払ってNPO・企業などの提供するサービスを利用できるようにする
- 税や社会保険料等の市民負担はできるだけ軽減し、行政が提供するサービスは必要最低限とし、それを超える部分については、市民の助け合いや、別にお金を払ってNPO・企業などの提供するサービスを利用できるようにする
- その他

年齢別、居住地区別とも、全体と同じ傾向となっている。

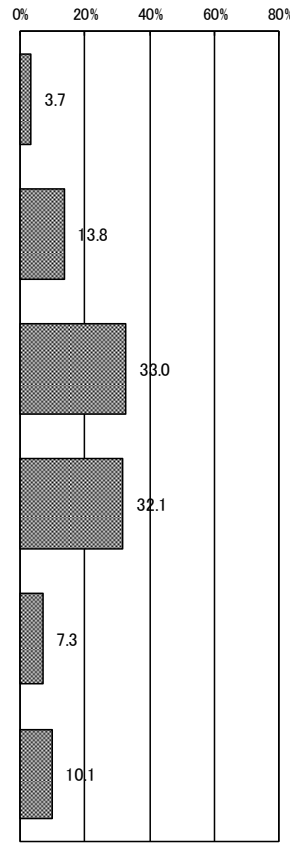
5-1. 今後の公共サービスのあり方として、あなたのお考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。



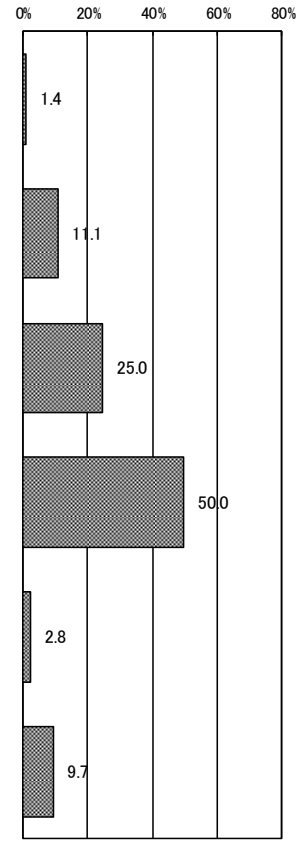
〈70歳以上 n=325〉



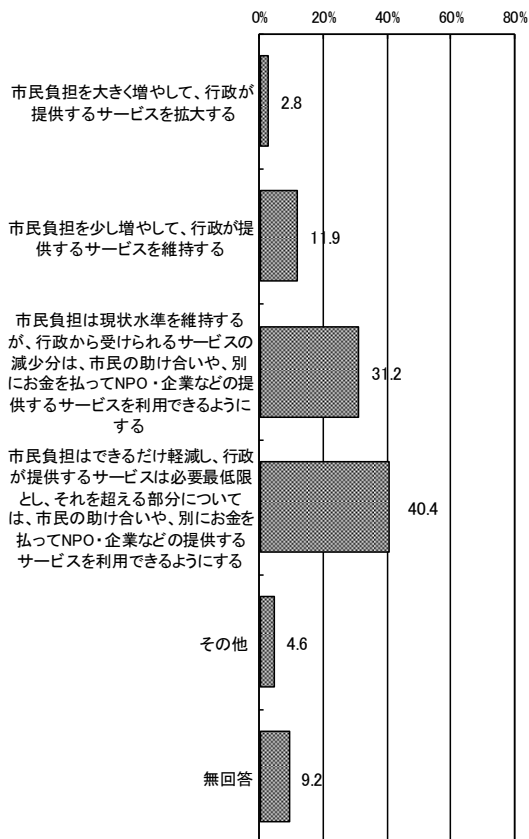
〈久津川 n=109〉



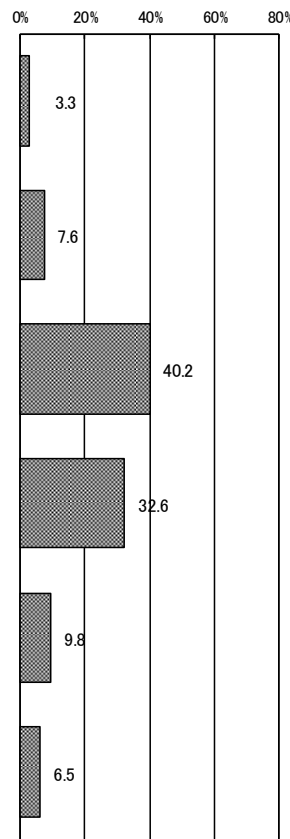
〈古川 n=72〉



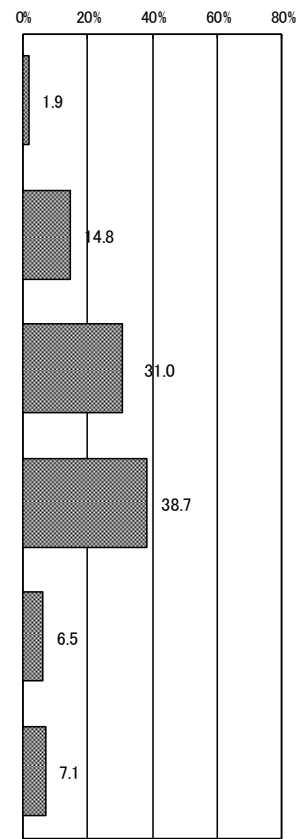
〈久世 n=109〉



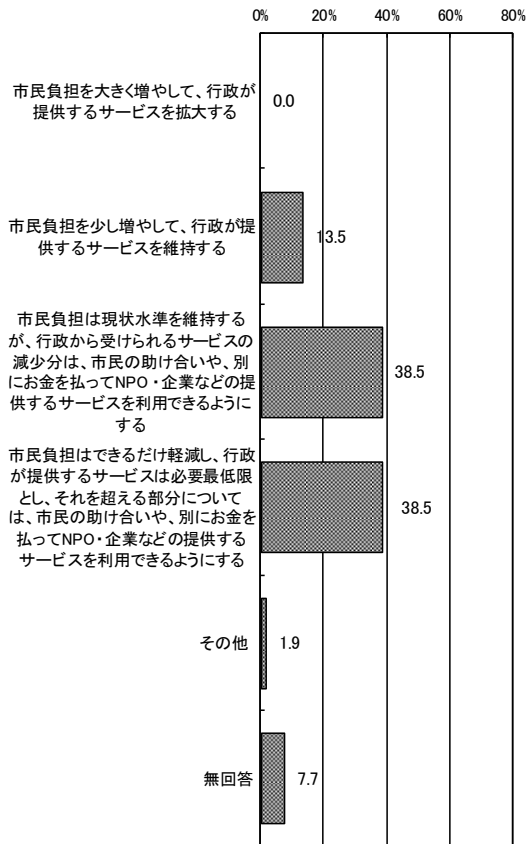
〈深谷 n=92〉



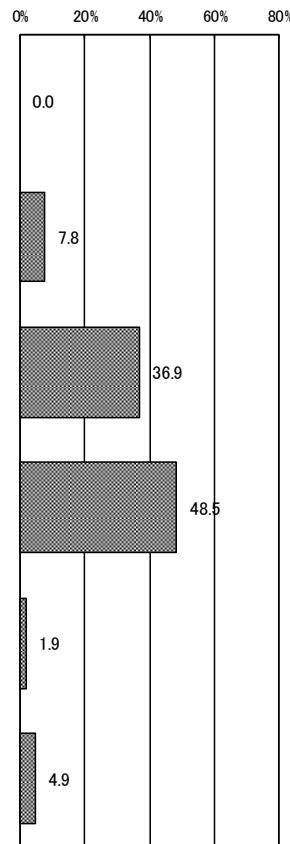
〈寺田 n=155〉



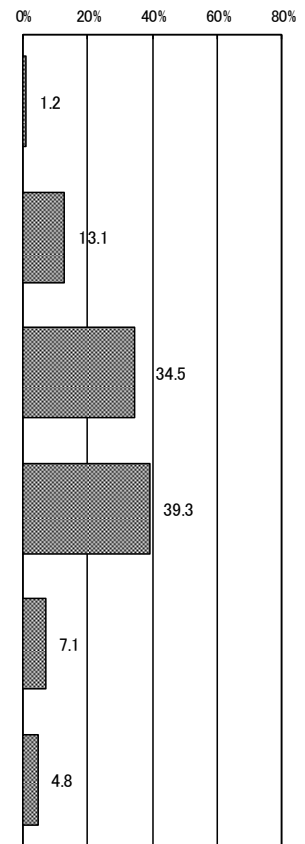
〈寺田南 n=52〉



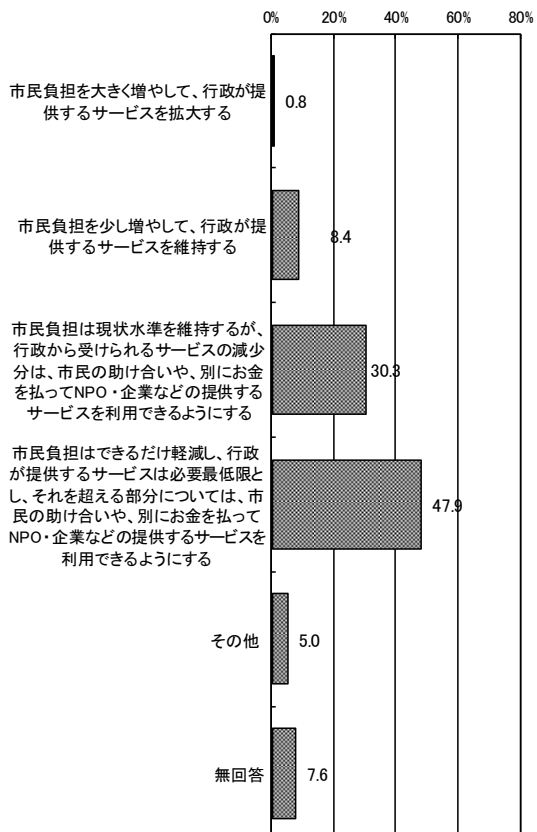
〈寺田西 n=103〉



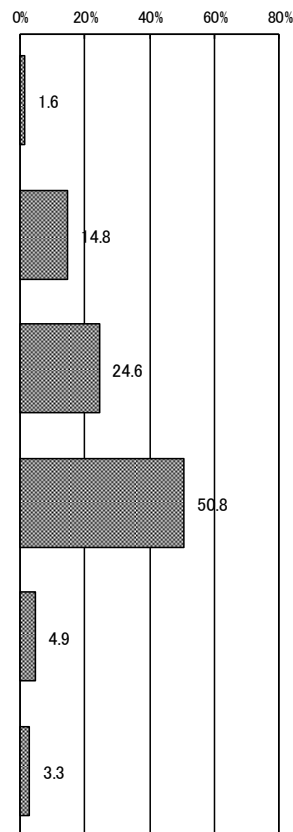
〈今池 n=84〉



〈富野 n=119〉



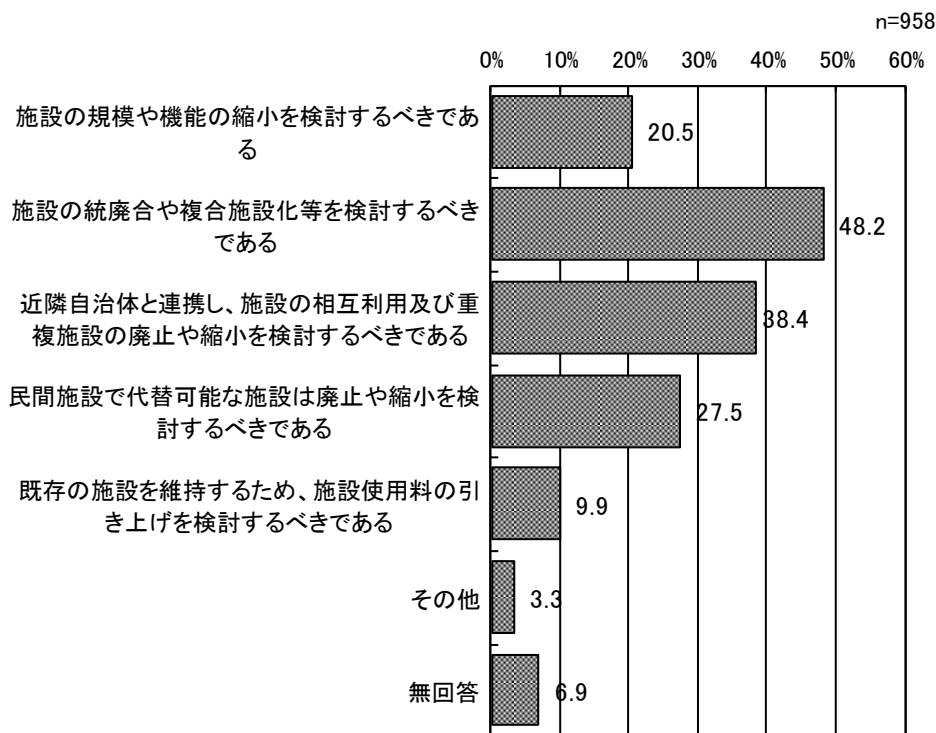
〈青谷 n=61〉



(2) 城陽市では1960年代から1970年代にかけて建設した公共施設の老朽化が進んでおり、部分改修等により施設の延命を図っているものの、今後の10年間で集中的に建替えを検討する時期を迎えます。施設の規模・機能・利用方法などについて現在の水準を維持したまま建替えを行う場合、大きな財政(税)負担を生じることが懸念されます。今後の公共施設のあり方として、あなたのお考えにあてはまるものに2つまで○をつけてください。(複数回答)

「施設の統廃合や複合施設化等を検討すべきである」が48.2%で最も多く、次いで「近隣自治体と連携し、施設の相互利用及び重複施設の廃止や縮小を検討すべきである」が38.4%、「民間施設で代替可能な施設は廃止や縮小を検討すべきである」が27.5%となっている。

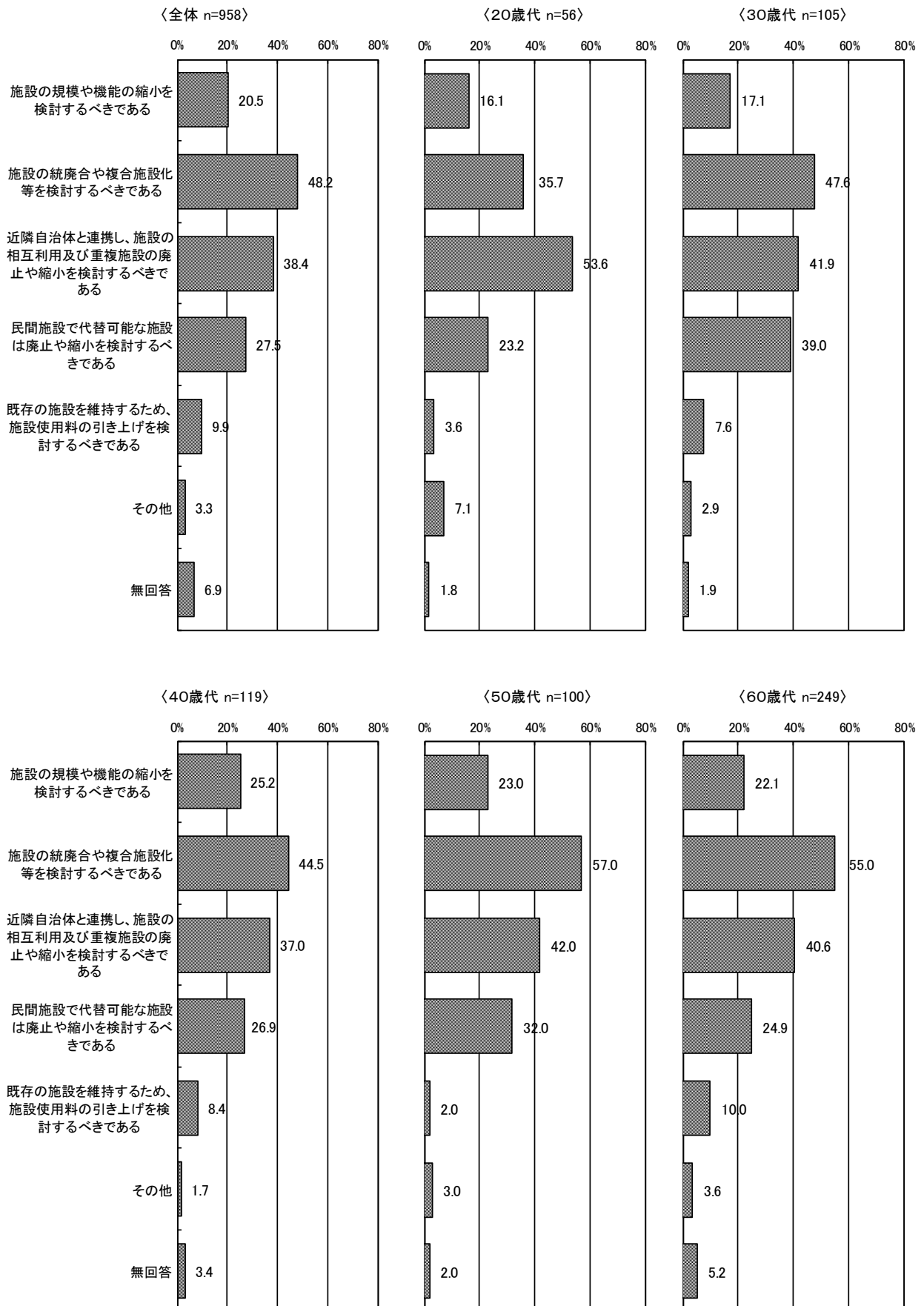
全体としては、単に既存施設の規模・機能を縮小したり、施設使用料等の引き上げにより既存施設を維持するよりも、施設の複合化や近隣自治体との連携、民間代替施設の活用等、合理化による対応を優先する意向がうかがえる。

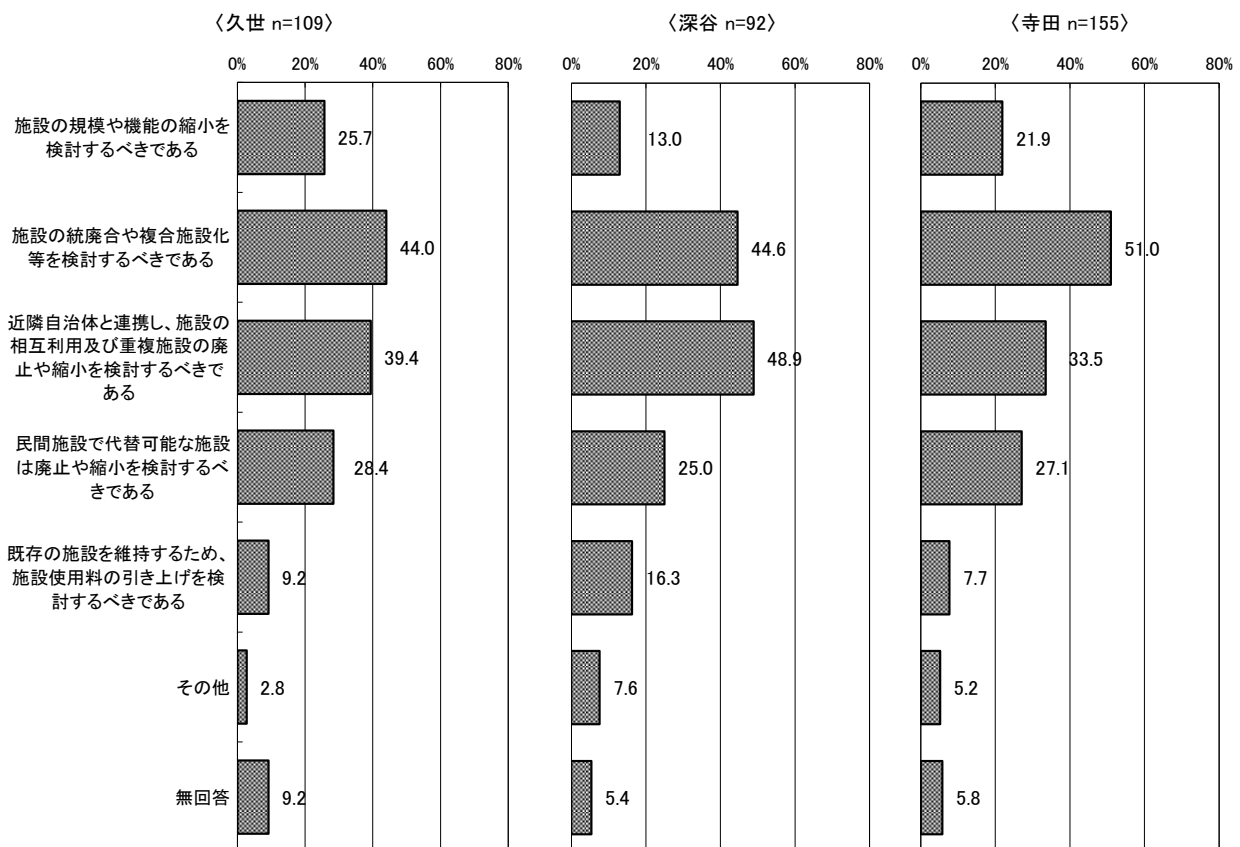
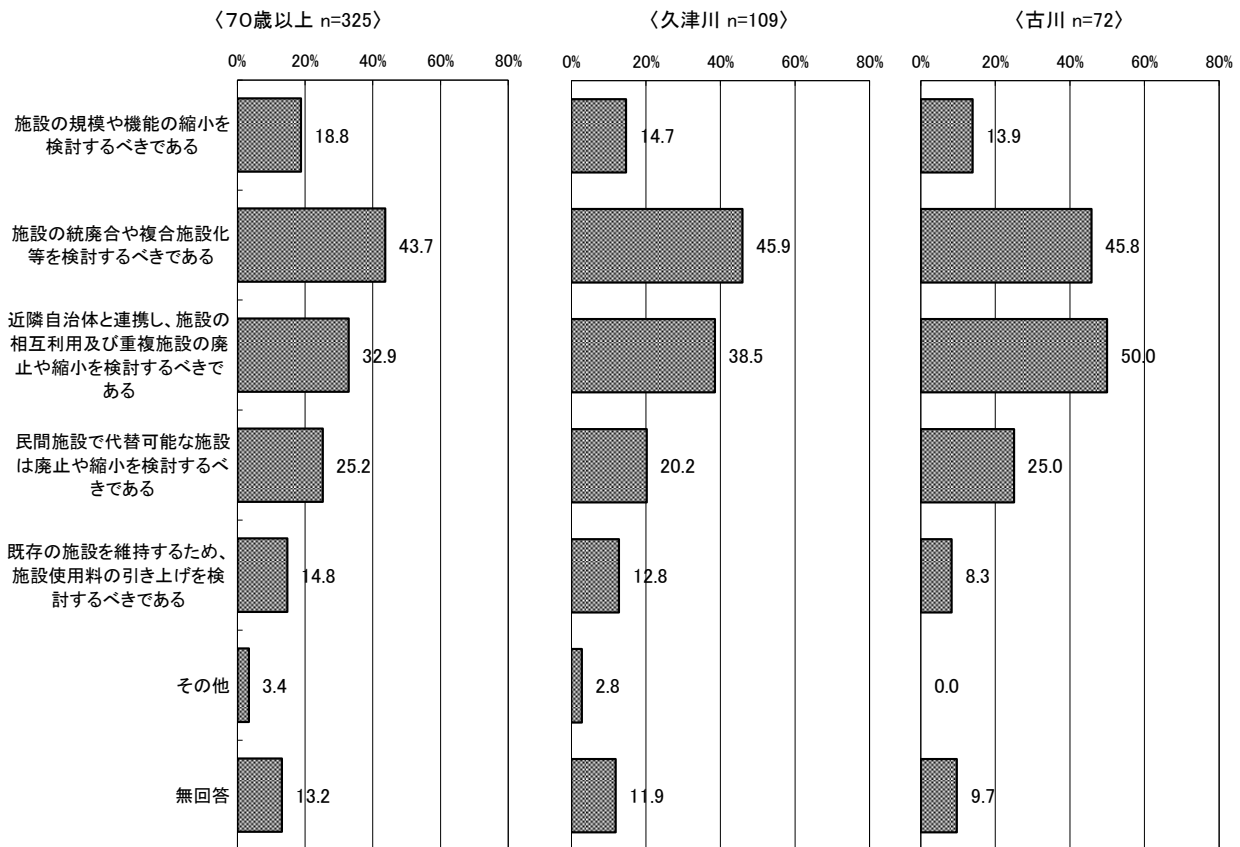


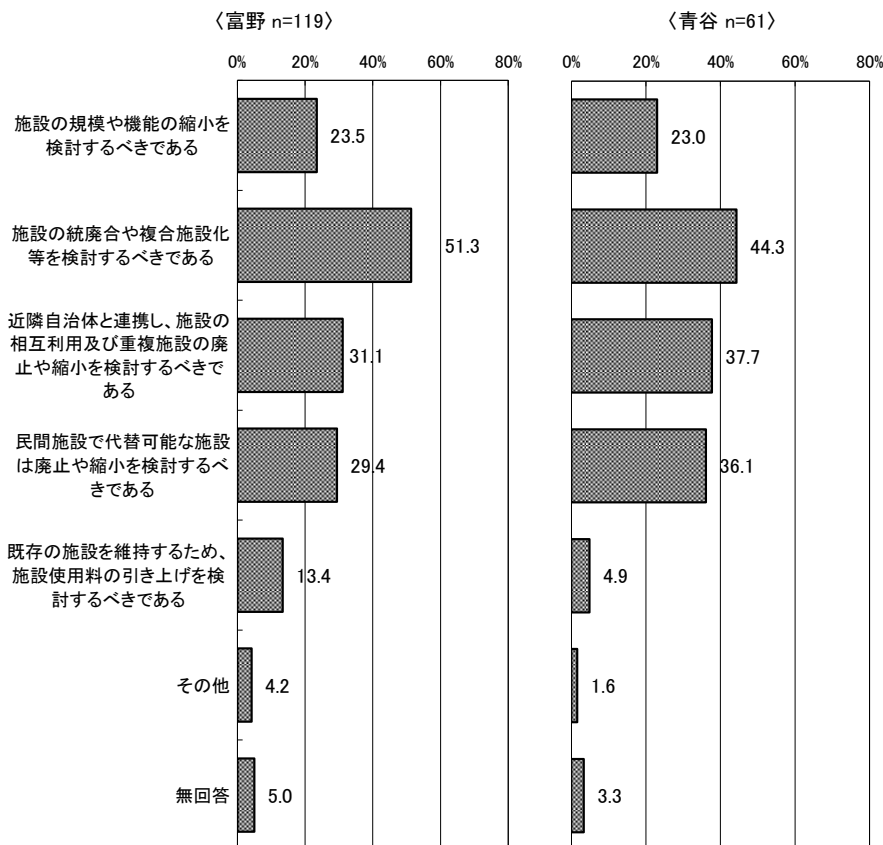
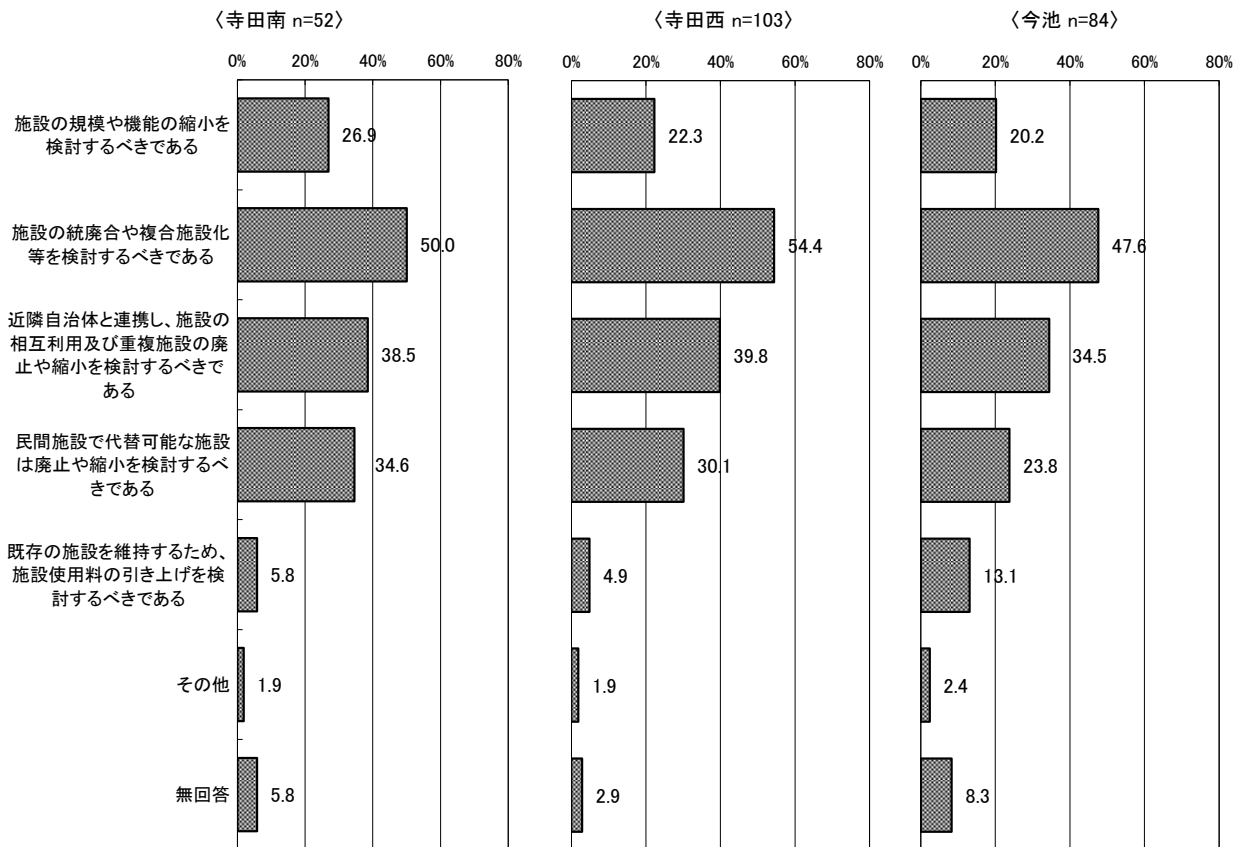
年齢別では、全体と比べて20歳代では「近隣自治体と連携し、施設の相互利用及び重複施設の廃止や縮小を検討すべきである」が、30歳代では「民間施設で代替可能な施設は廃止や縮小を検討すべきである」が高くなっている。

居住地区別では、全体と比べて古川と深谷では「近隣自治体と連携し、施設の相互利用及び重複施設の廃止や縮小を検討すべきである」が高くなっている。

5-2. 今後の公共施設のあり方として、あなたのお考えにあてはまるものに2つまで○をつけてください。





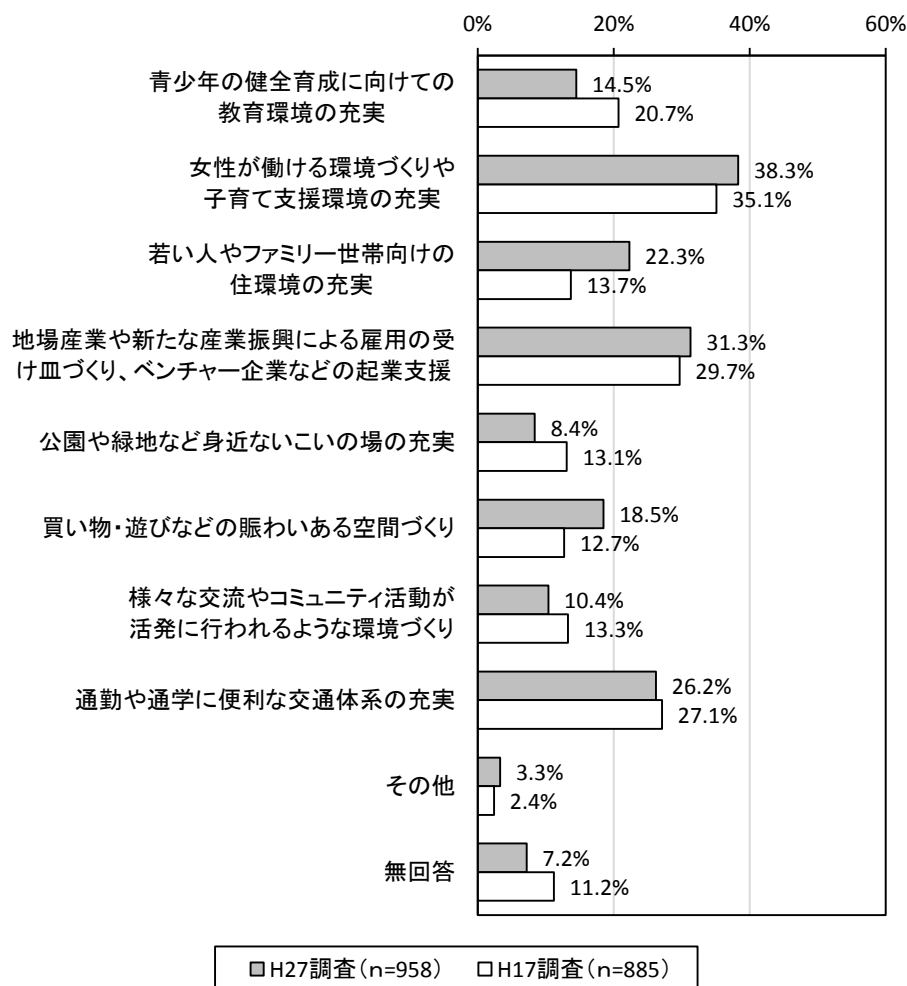


Ⅶ. 若年層の定住化に向けた取り組みについて

(1) 今後、活力ある城陽市を維持していくためには、次代を担う若年層（20代～30代）の定住を促進していくことが必要不可欠と考えられます。若年層が住みたいまちとするために、城陽市では、特にどのような施策を強化すべきだと思いますか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。（複数回答）

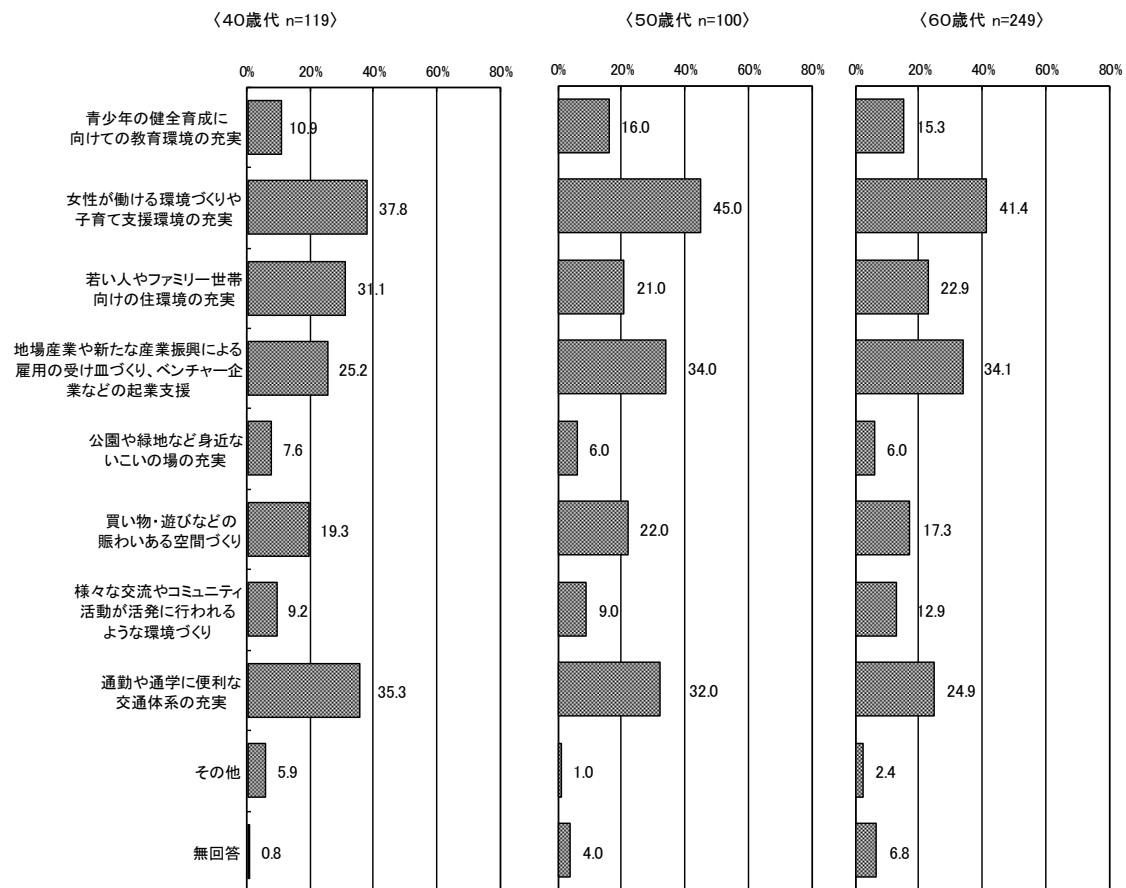
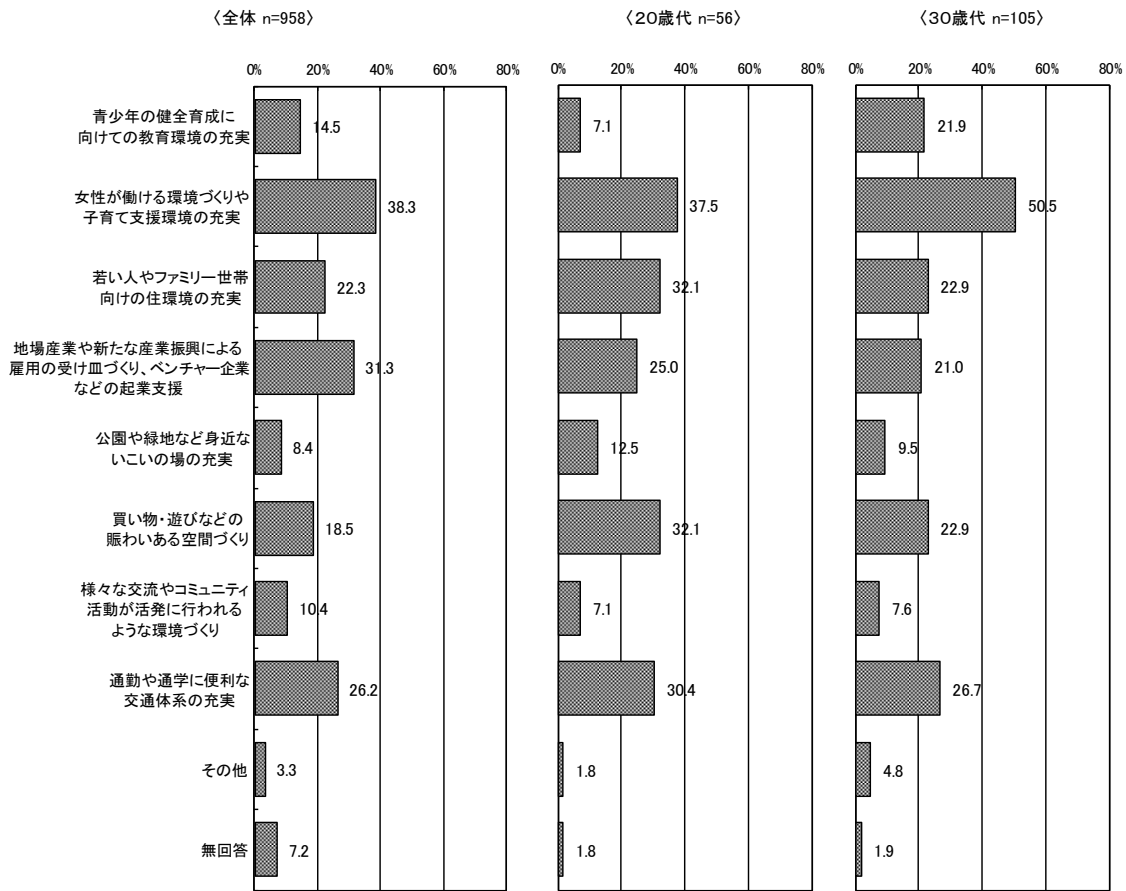
若年層の定住化に向けては、「女性が働ける環境づくりや子育て支援環境の充実」が38.3%で最も多く、次いで「地場産業や新たな産業振興による雇用の受け皿づくり、ベンチャー企業などの起業支援」が31.3%、「通勤や通学に便利な交通体系の充実」が26.2%となっている。

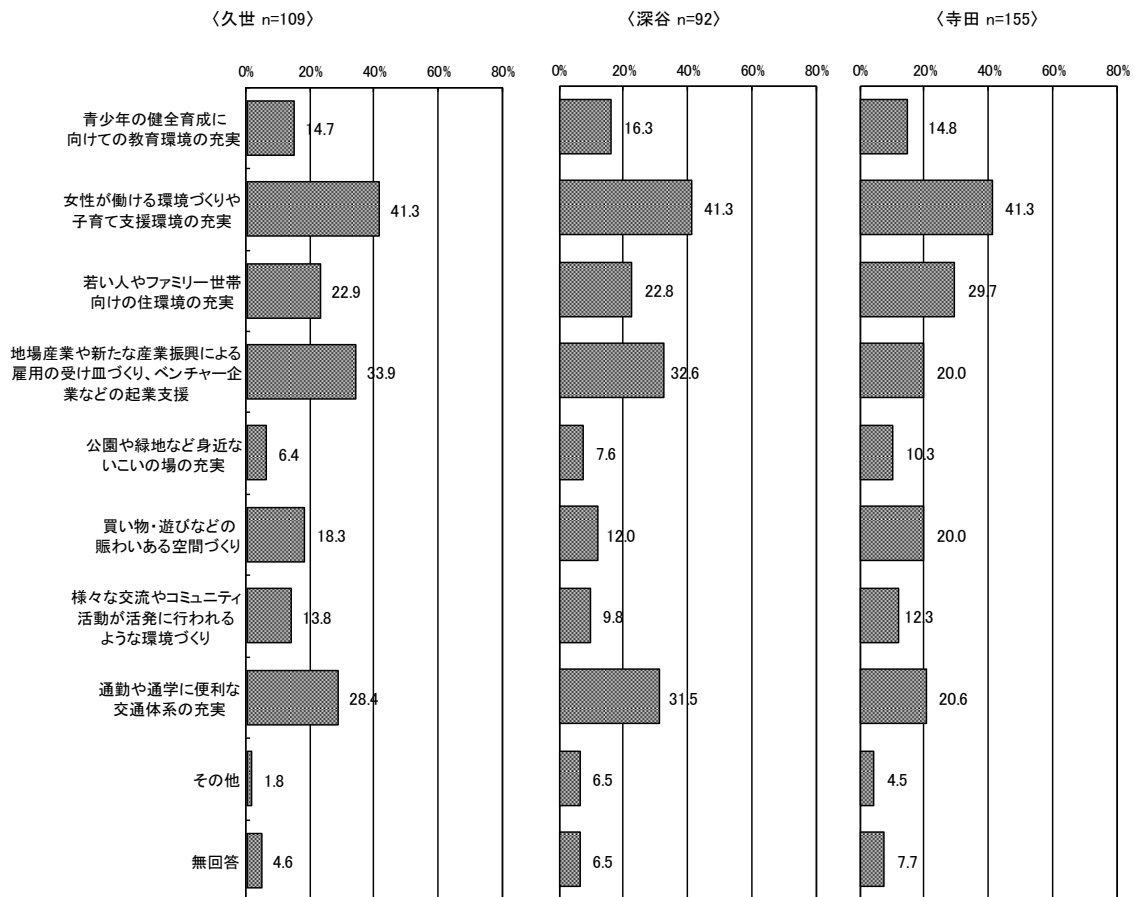
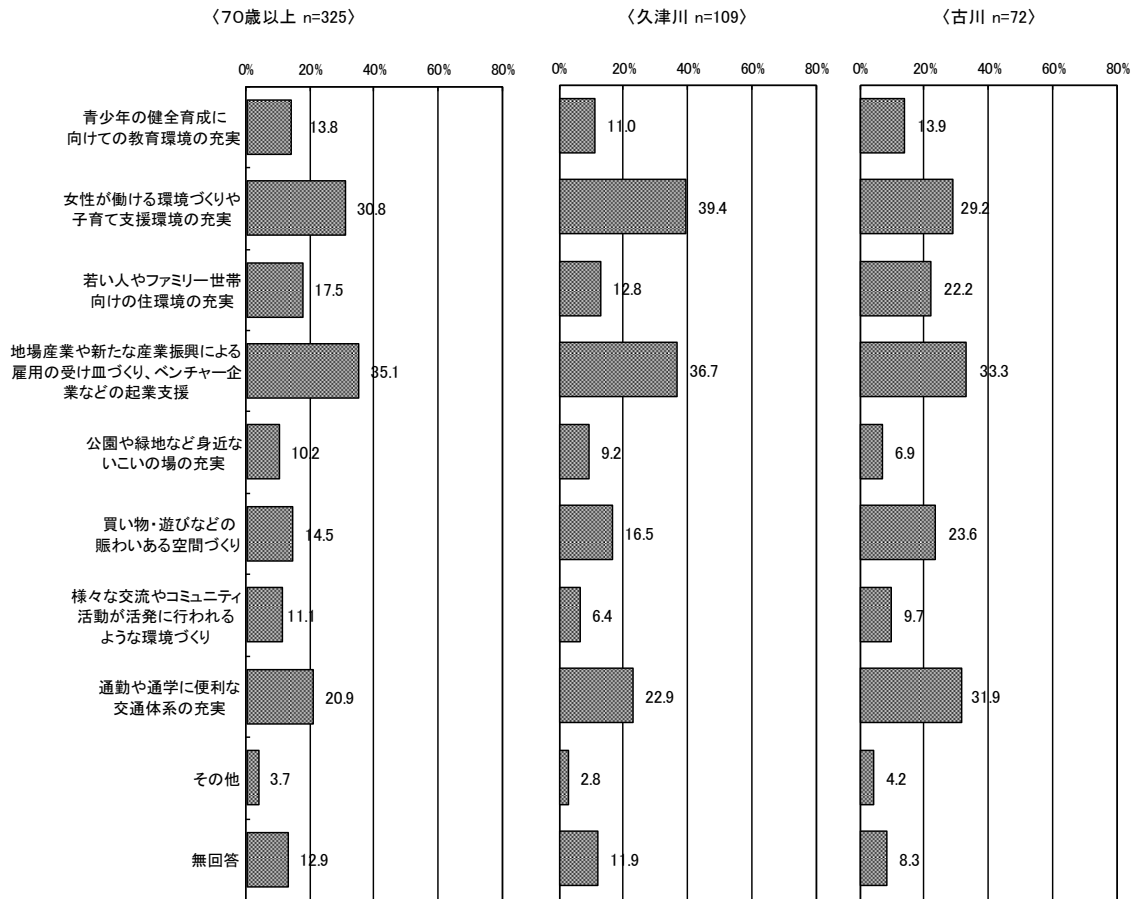
前回調査と比較すると、前回より最も増えたのは「若い人やファミリー世帯向けの住環境の充実」が8.6ポイント、最も減ったのは「青少年の健全育成に向けての教育環境の充実」が6.2ポイントとなっている。

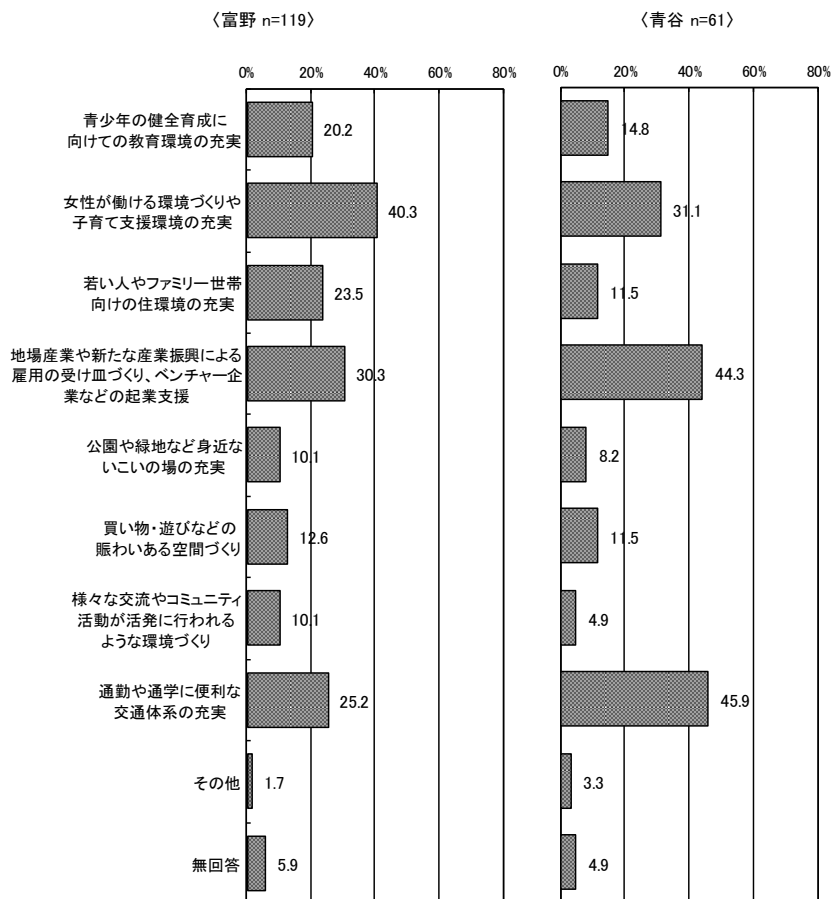
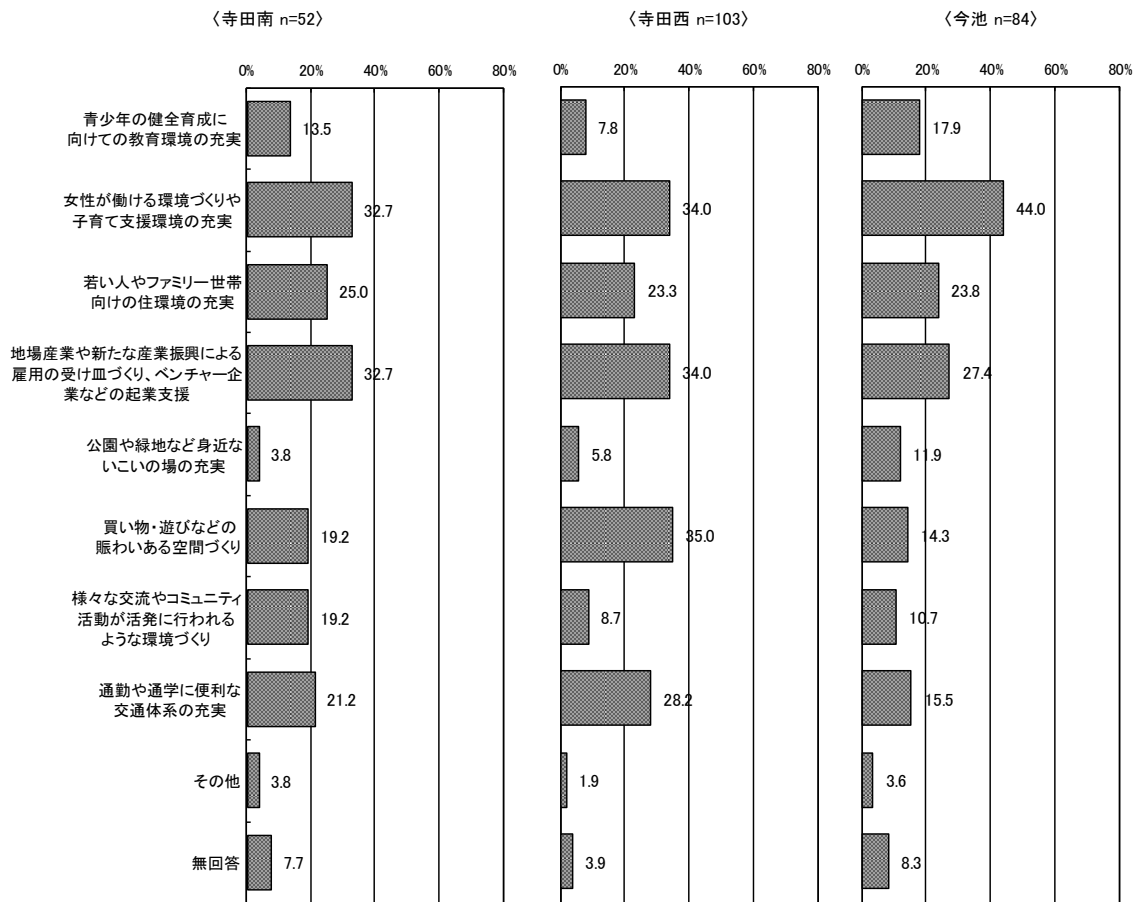


年齢別では、全体と比べて20歳代では「買い物・遊びなどの賑わいある空間づくり」が、30歳代では「女性が働ける環境づくりや子育て支援環境の充実」が高くなっている。

居住地区別では、全体と比べて寺田西では「買い物・遊びなどの賑わいある空間づくり」が、青谷では「通勤や通学に便利な交通体系の充実」と「地場産業や新たな産業振興による雇用の受け皿づくり、ベンチャー企業などの起業支援」が高くなっている。



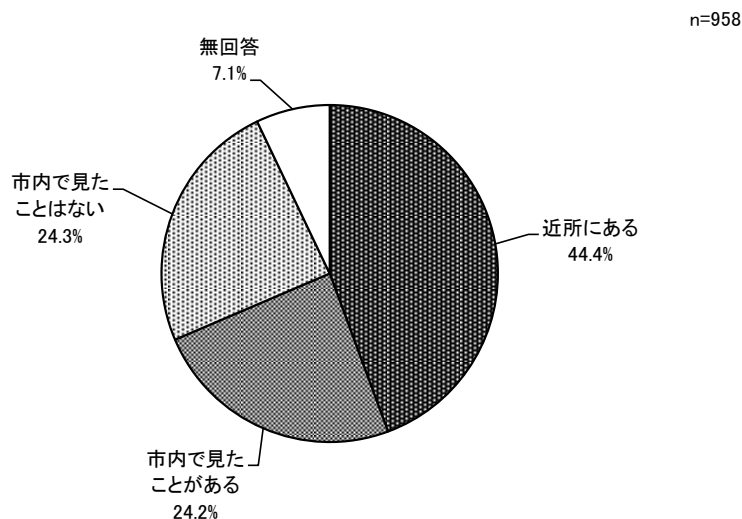




VIII. 空き家対策について

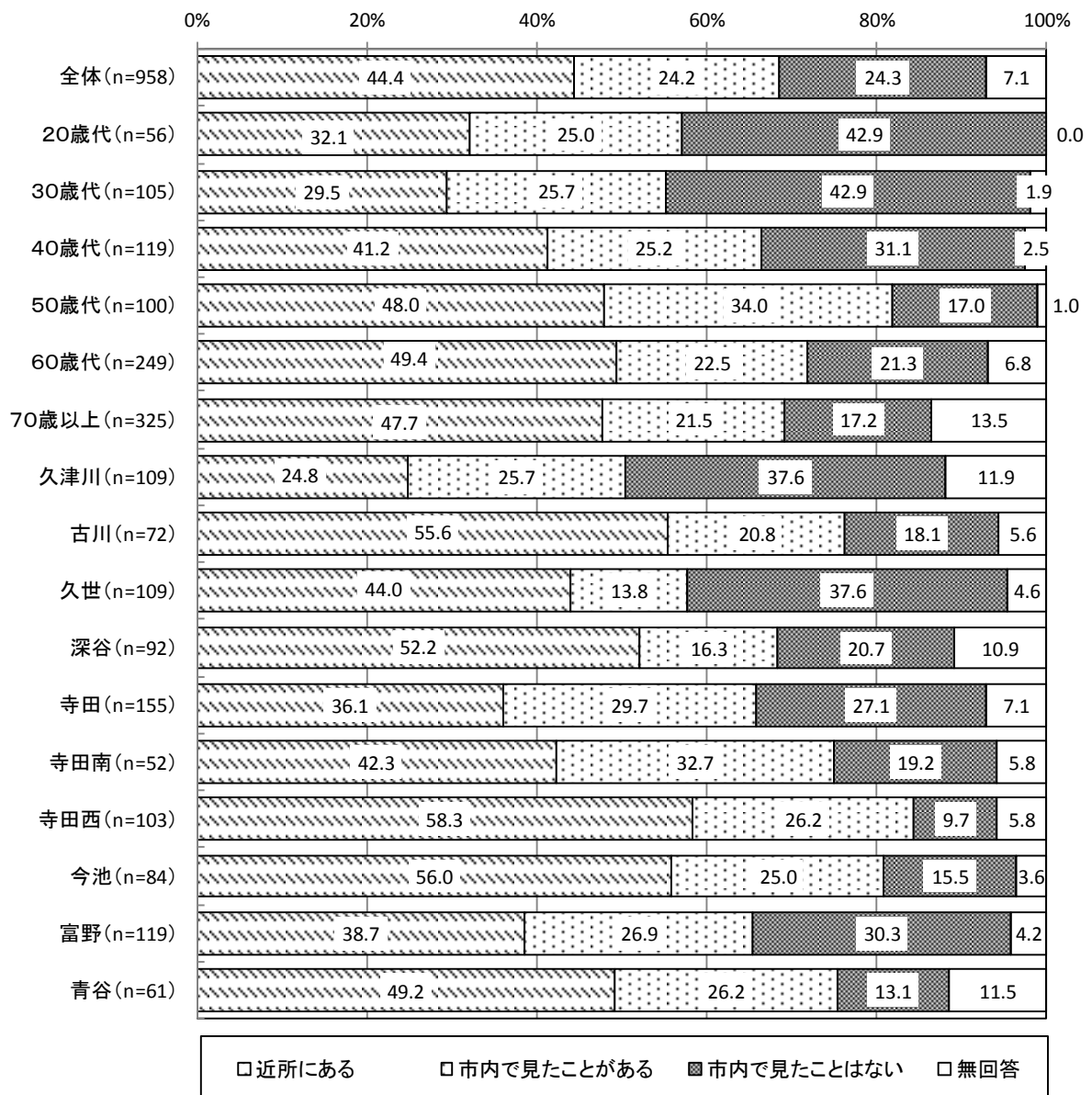
(1) あなたの地域に空き家がありますか。

空き家については、「近所にある」が 44.4%で最も多く、次いで「市内で見たことはない」が 24.3%、「市内で見たことがある」が 24.2%となっており、空き家を見たことがある人が約7割となっている。



年齢別では、全体と比べて20歳代、30歳代では「市内で見たことはない」が高くなっている。居住地区別では、全体と比べて久津川と久世では「市内で見たことはない」が、古川、寺田西、今池では「近所にある」が、高くなっている。

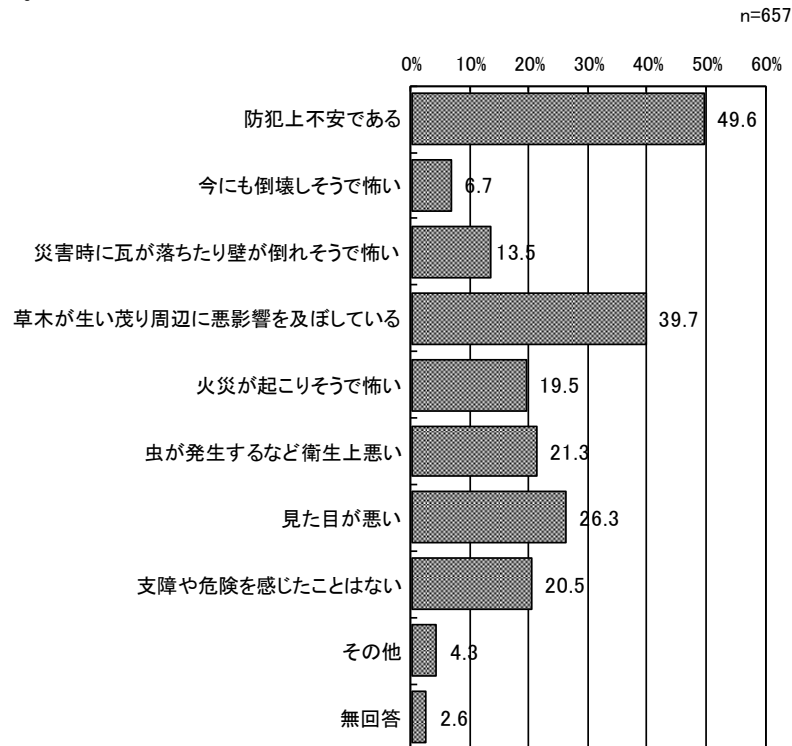
7-1. あなたの地域に空き家はありますか。



(1)－1 (1) で「1. 近所にある」「2. 市内で見たことがある」と回答された方におたずねします。その空き家について、あなたは何らかの支障や危険を感じたことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(複数回答)

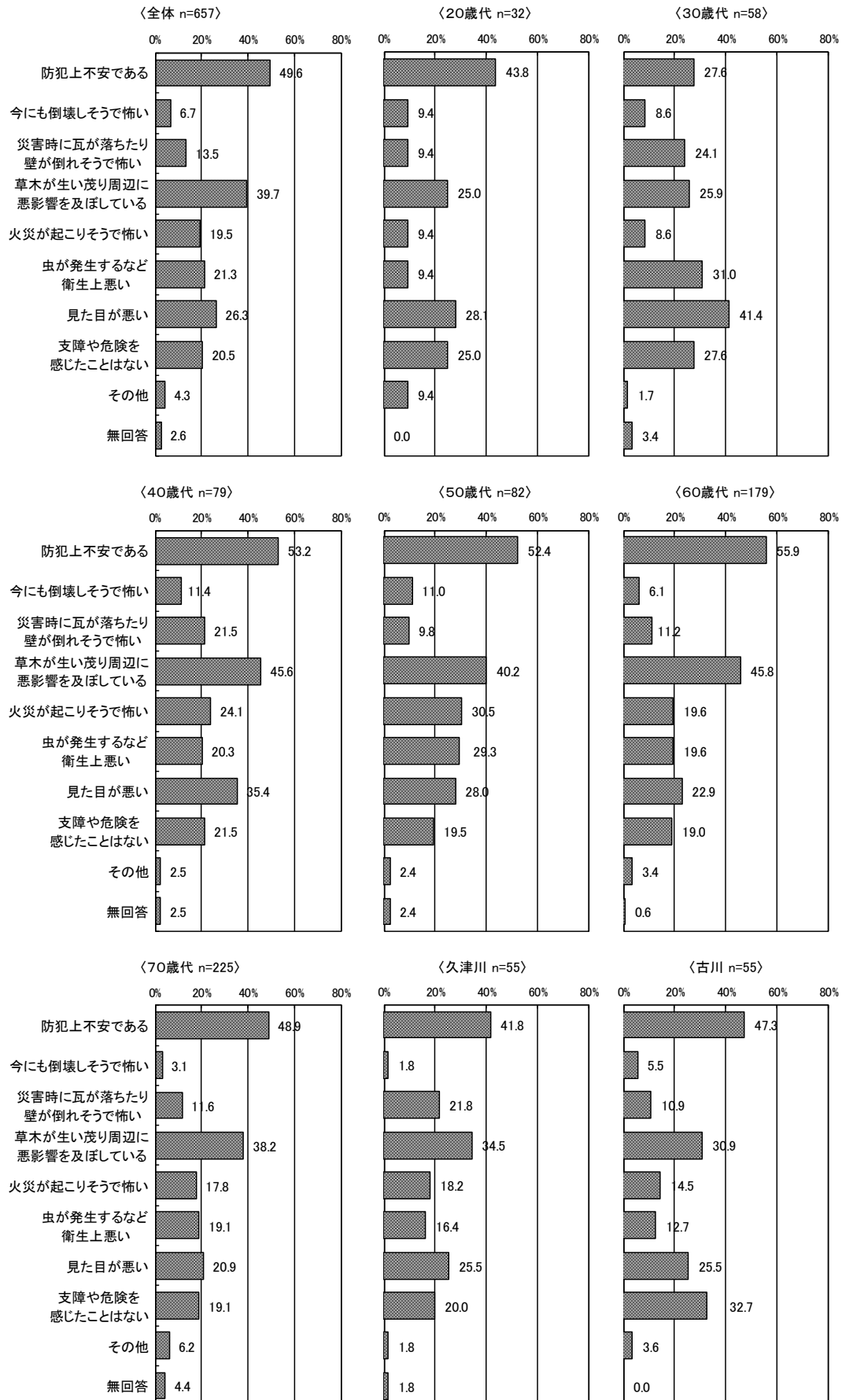
空き家について、何らかの支障を感じたかについては、「防犯上不安である」が 49.6%で最も多く、次いで「草木が生い茂り周辺に悪影響を及ぼしている」が 39.7%、「見た目が悪い」が 26.3%となっている。

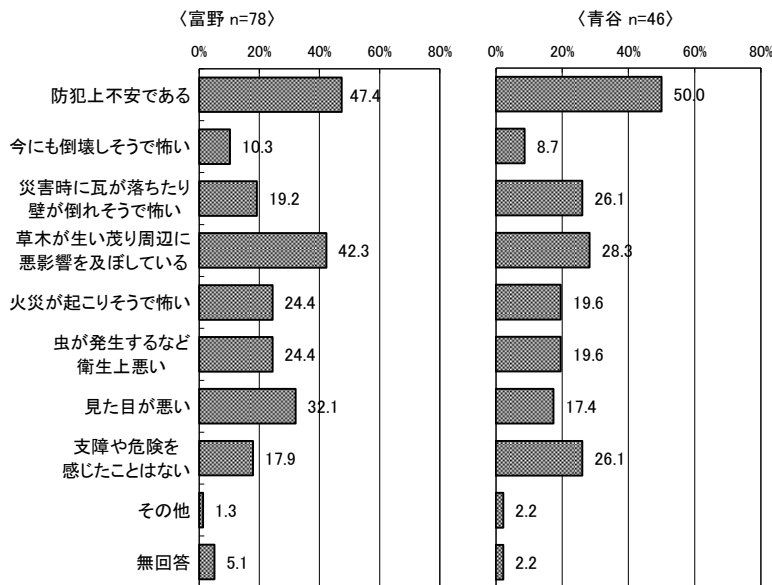
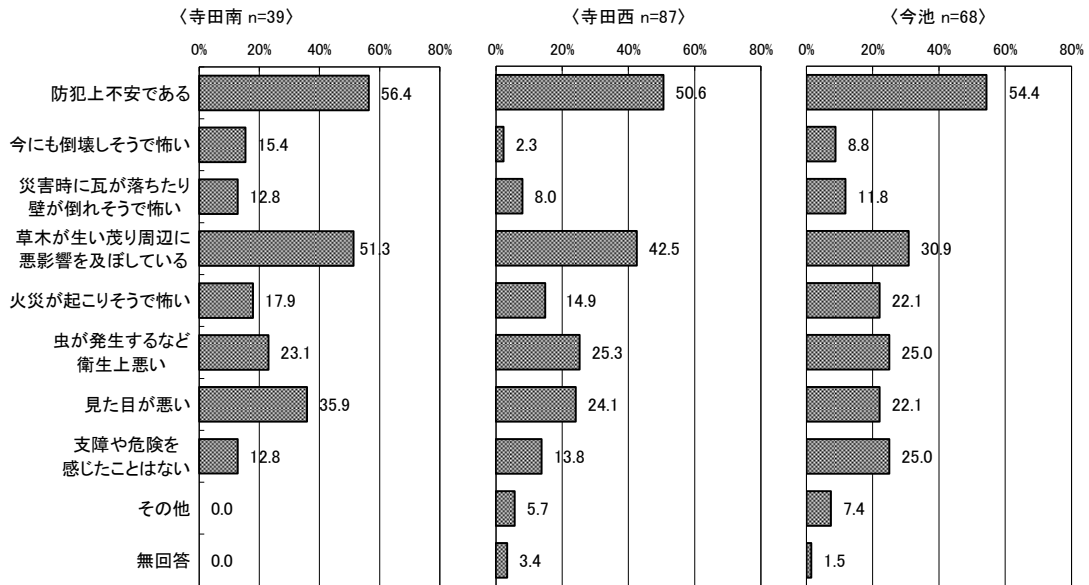
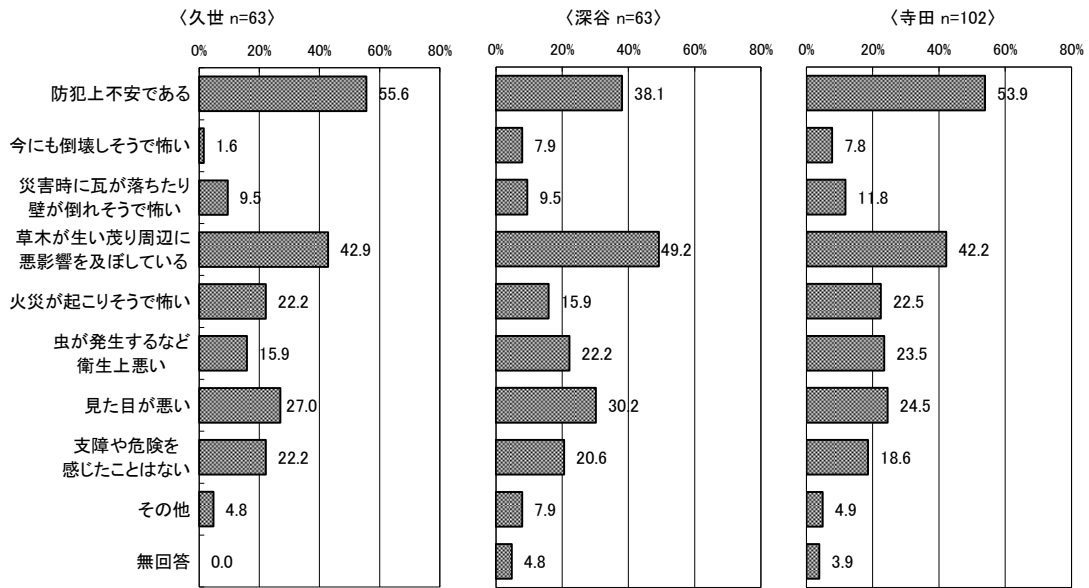


年齢別では、全体と比べて 30 歳代では「見た目が悪い」と「災害時に瓦が落ちたり壁が倒れそうで怖い」が、50 歳代では「火災が起こりそうで怖い」が高くなっている。

居住地区別では、全体と比べて古川では「支障や危険を感じたことはない」が、寺田南では「草木が生い茂り周辺に悪影響を及ぼしている」が、青谷では「災害時に瓦が落ちたり壁が倒れそうで怖い」が高くなっている。

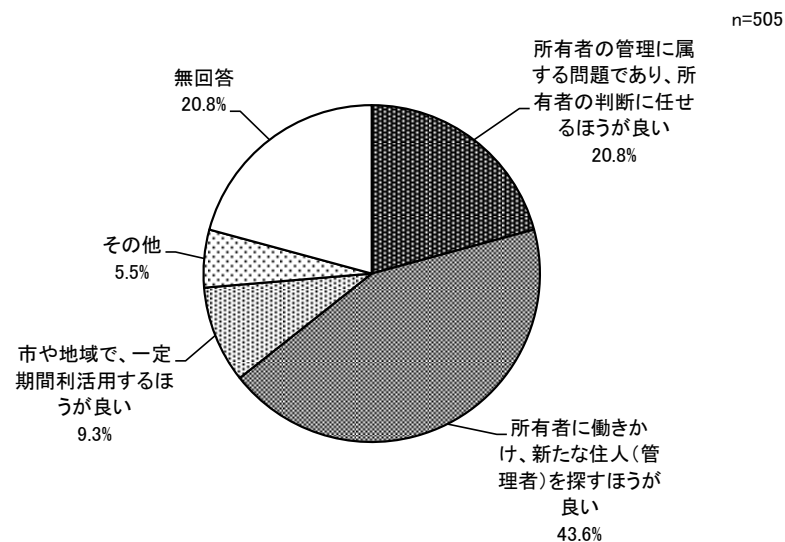
7-1-1. その空き家について、あなたは何らかの支障や危険を感じたことはありますか。





(1)－2 (1)－1で「8. 支障や危険を感じたことはない」と回答された方以外の方におたずねします。このような空き家について、どのように対応すればよいと思いますか。あなたのお考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。

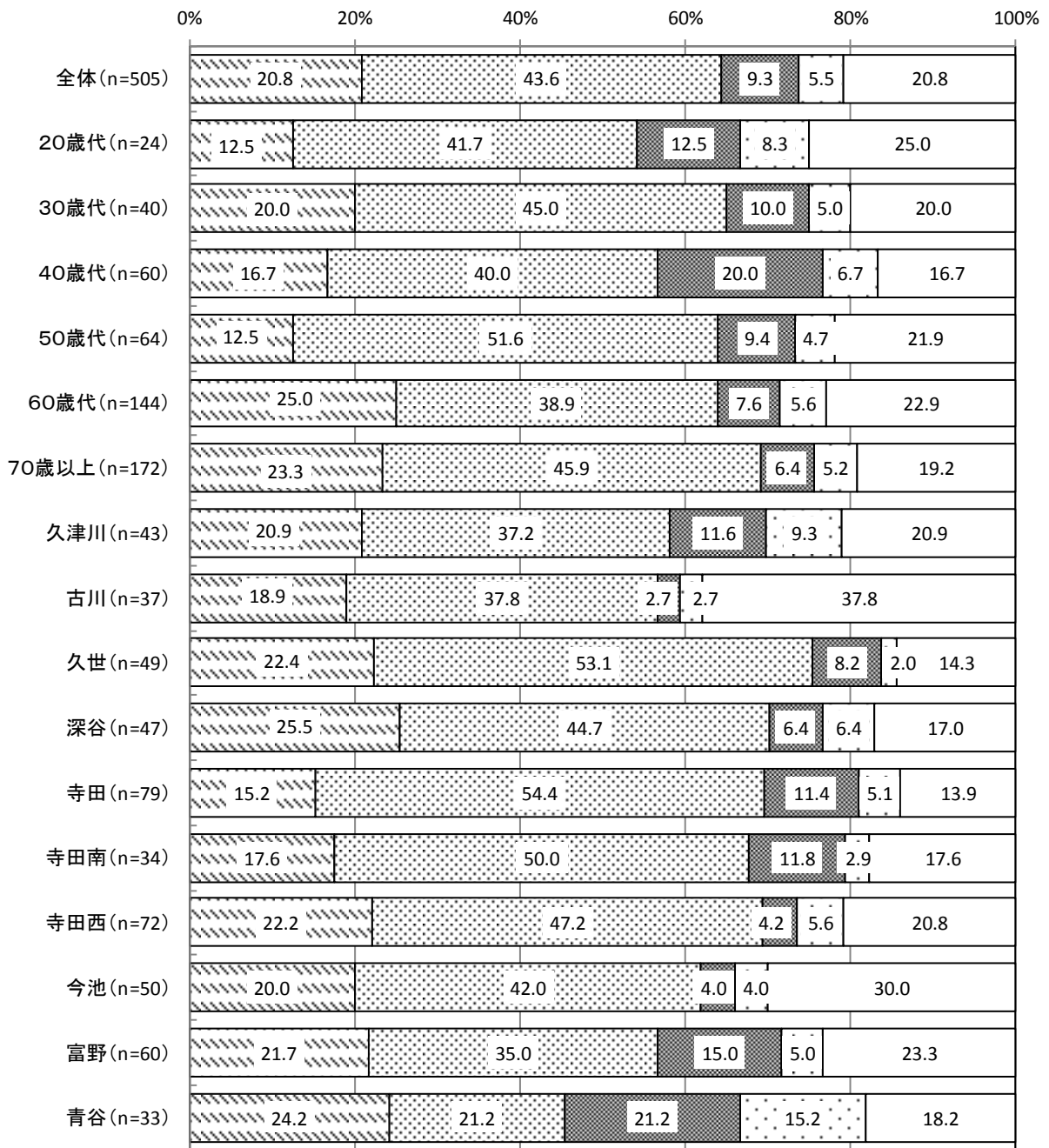
空き家の対応については、「所有者に働きかけ、新たな住人（管理者）を探すほうが良い」が43.6%、「所有者の管理に属する問題であり、所有者の判断に任せるほうが良い」が20.8%となっている。



年齢別では、全体と比べて40歳代では「市や地域で、一定期間利活用するほうが良い」が高くなっている。

居住地区別では、全体と比べて寺田では「所有者に働きかけ、新たな住人（管理者）を探すほうが良い」が、青谷では、「市や地域で、一定期間利活用するほうが良い」が高くなっている。

7-1-2. このような空き家について、どのように対応すればよいと思いますか。

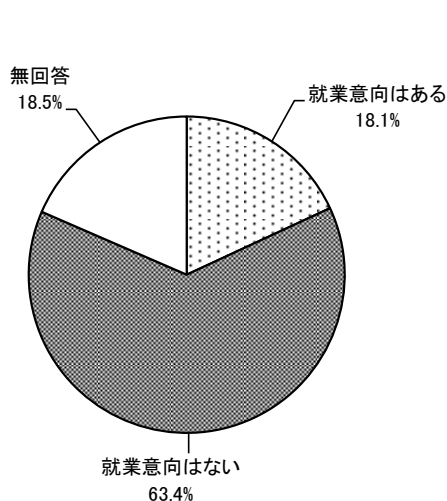


所有者の管理に属する問題であり、所有者の判断に任せるほうが良い
 所有者に働きかけ、新たな住人(管理者)を探すほうが良い
 市や地域で、一定期間利活用するほうが良い
 その他
 無回答

Ⅳ. 就業意向について（※現在就業していない方のみ回答（専業主婦、無職の方））

（１）今後の就業意向をお聞かせください。

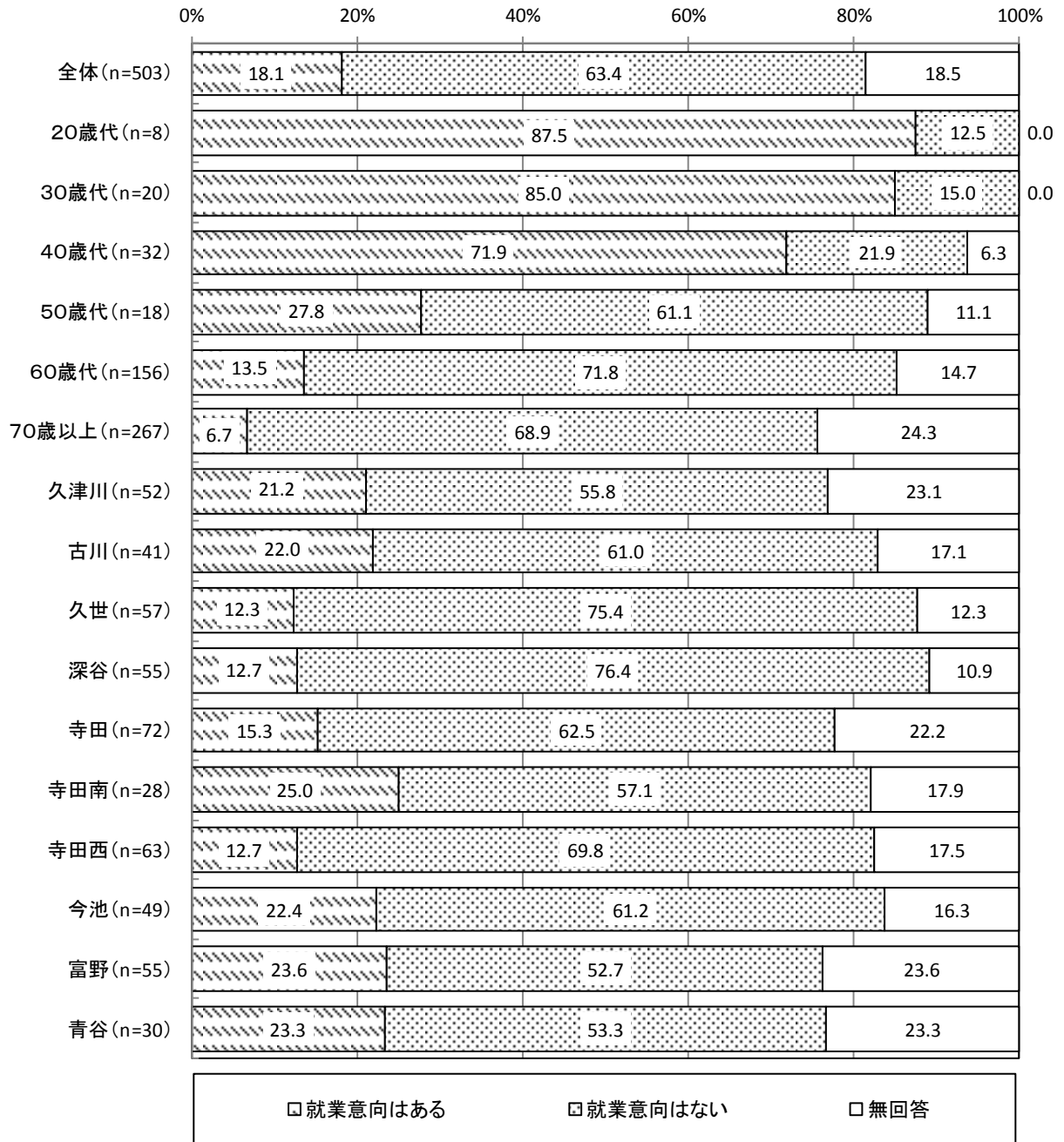
「就業意向はない」が 63.4%、「就業意向はある」が 18.1%となっており、全体に占める割合としては高くはないが、約 2 割が就業意向があると回答している。



年齢別では、全体と比べて 20 歳代、30 歳代、40 歳代では「就業意向がある」が高くなっている。

居住地区別では、全体と比べて久世と深谷では「就業意向はない」が高く、「富野」と「青谷」で低くなっている。

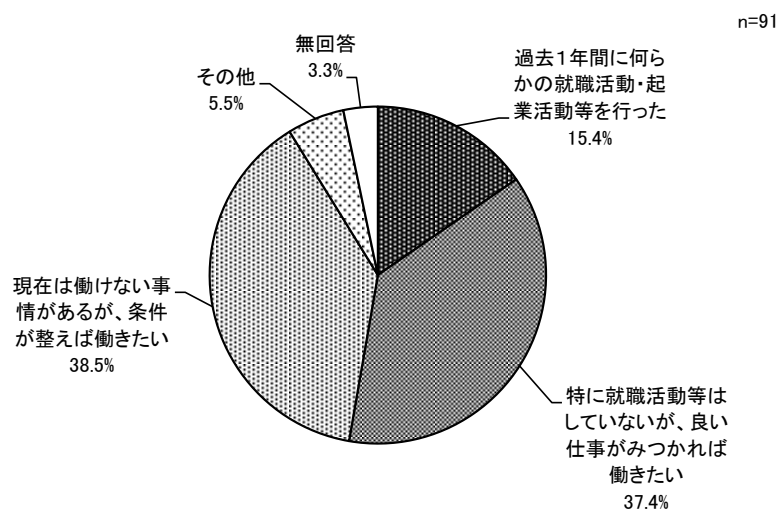
8-1. 今後の就業意向をお聞かせください。



(1)－1 (1)で「1. 就業意向はある」と回答された方におたずねします。現在の状況について最も近いものに1つだけ○をつけてください。

「現在は働けない事情があるが、条件が整えば働きたい」が38.5%で最も多く、次いで「特に就職活動等をしていないが、良い仕事が見つければ働きたい」が37.4%、「過去1年間に何らかの就職活動・起業活動等を行った」は15.4%と少なくなっている。

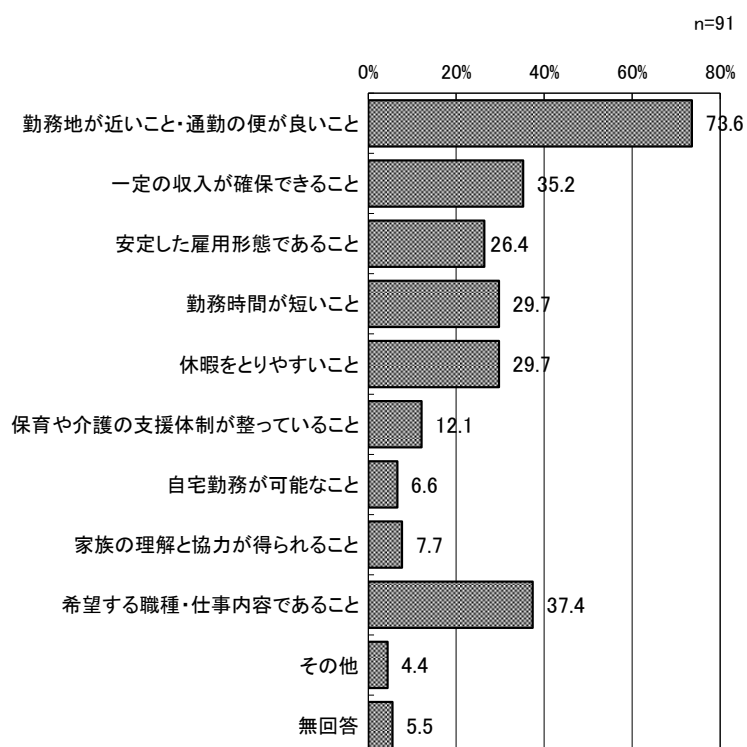
※回答数が少ないため、年齢別・居住地区別の比較は省略している



(1)－2 (1)で「1. 就業意向はある」と回答された方におたずねします。あなたにとって必要な就業条件について次の中から3つまで○をつけてください。
(複数回答)

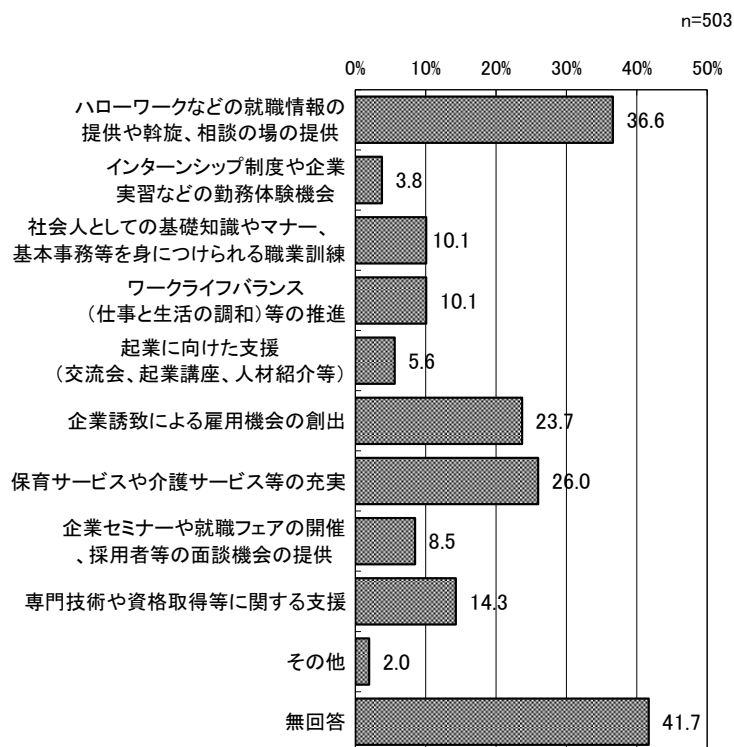
必要な就業条件としては、「勤務地が近いこと・通勤の便が良いこと」が73.6%で最も多く、次いで「希望する職種・仕事内容であること」が37.4%、「一定の収入が確保できること」が35.2%となっている。

※回答数が少ないため、年齢別・居住地区別の比較は省略している



(2) 行政の就業支援として必要である・効果的であると思う支援策について次の中から3つまで○をつけてください。(複数回答)

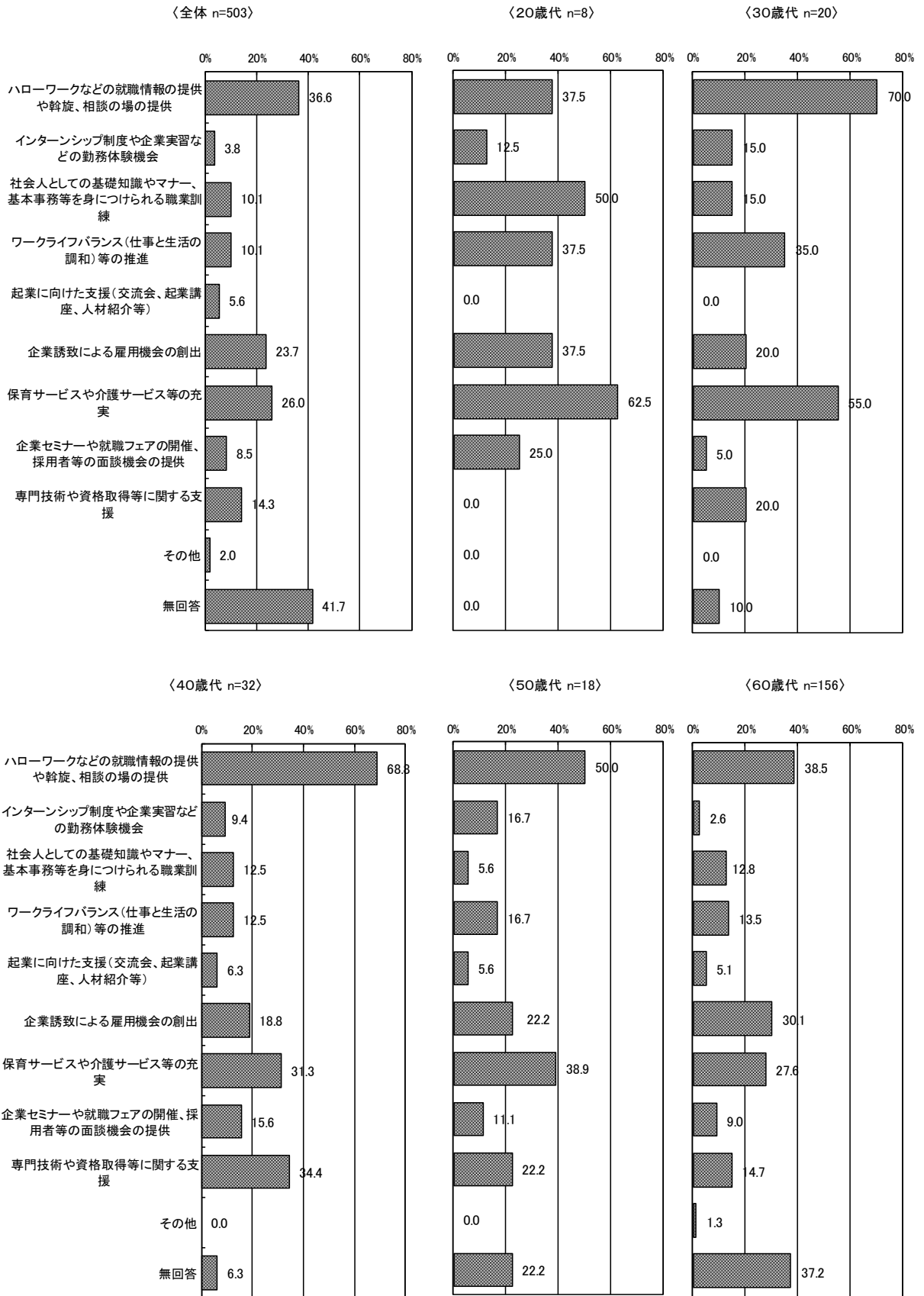
行政の就業支援で必要・効果的であると思う施策については、「ハローワークなどの就職情報の提供や斡旋、相談の場の提供」が36.6%で最も多く、次いで「保育サービスや介護サービス等の充実」が26.0%、「企業誘致による雇用機会の創出」が23.7%となっている。



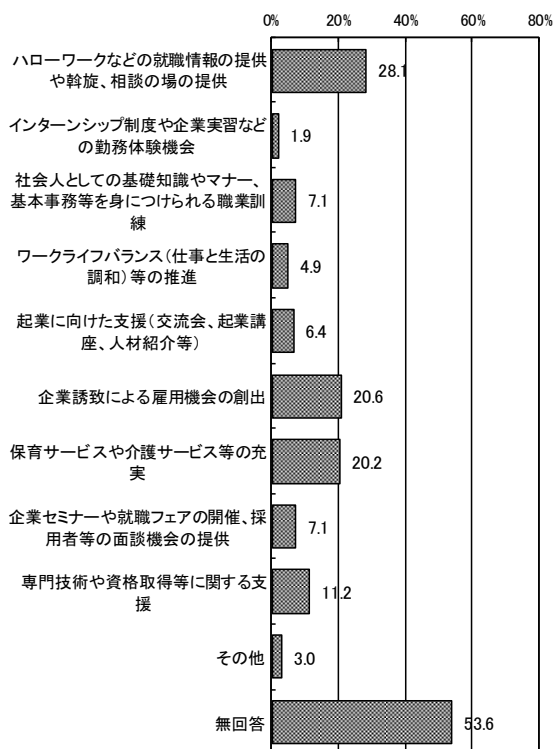
年齢別では、全体と比べて20歳代では「保育サービスや介護サービス等の充実」が、30歳代、40歳代、50歳代では「ハローワークなどの就職情報の提供や斡旋、相談の場の提供」が、加えて40歳代では「専門技術や資格取得等に関する支援」が、高くなっている。

居住地区別では、全体と比べて青谷では「専門技術や資格取得等に関する支援」が高くなっている。

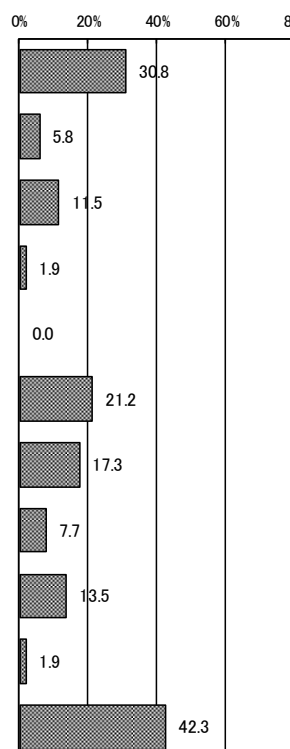
8-2. 行政の就業支援として必要である・効果的であると思う支援策についてお答えください。



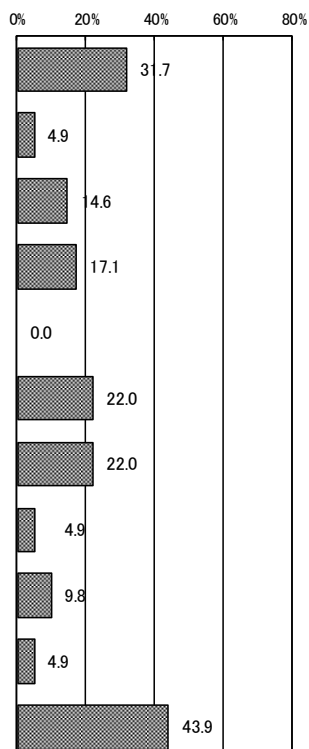
〈70歳代 n=267〉



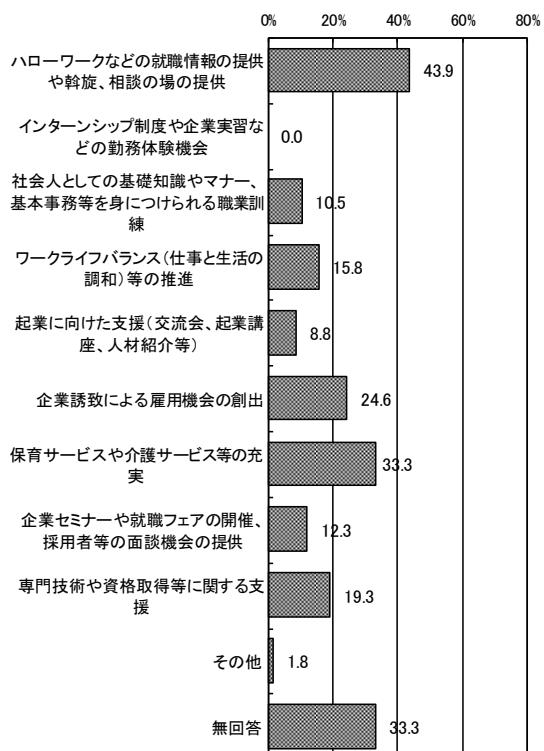
〈久津川 n=52〉



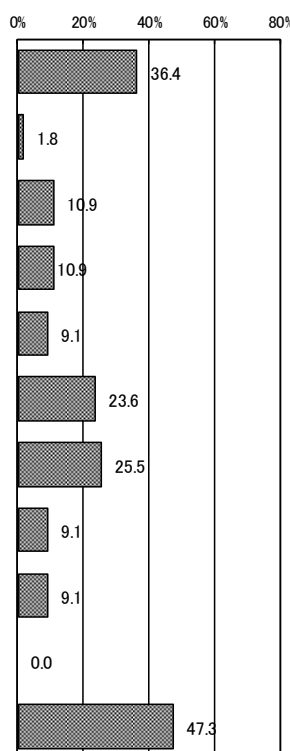
〈古川 n=41〉



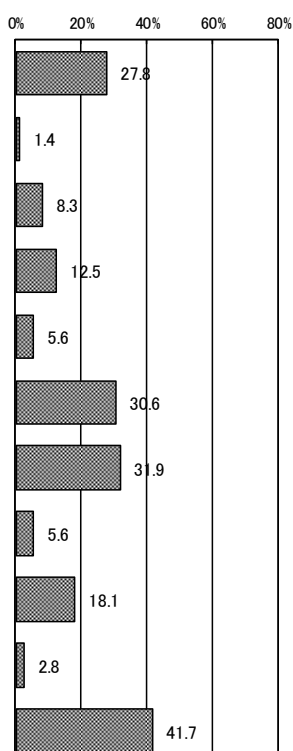
〈久世 n=57〉



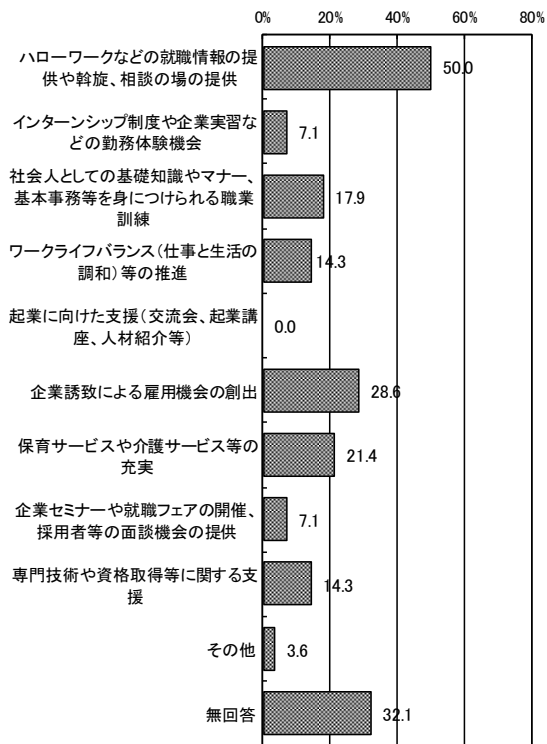
〈深谷 n=55〉



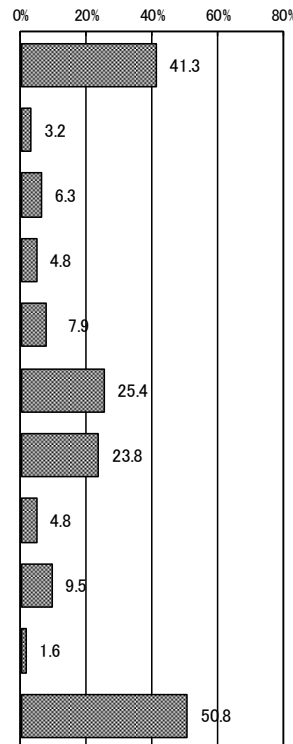
〈寺田 n=72〉



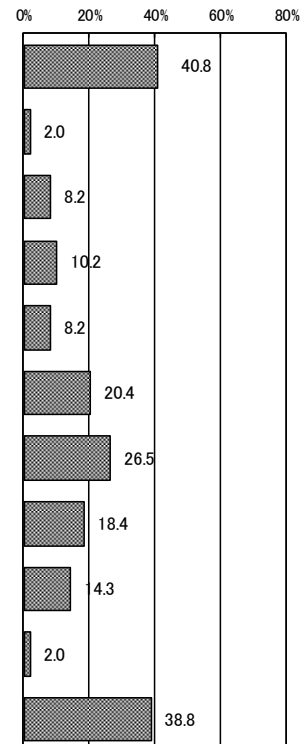
〈寺田南 n=28〉



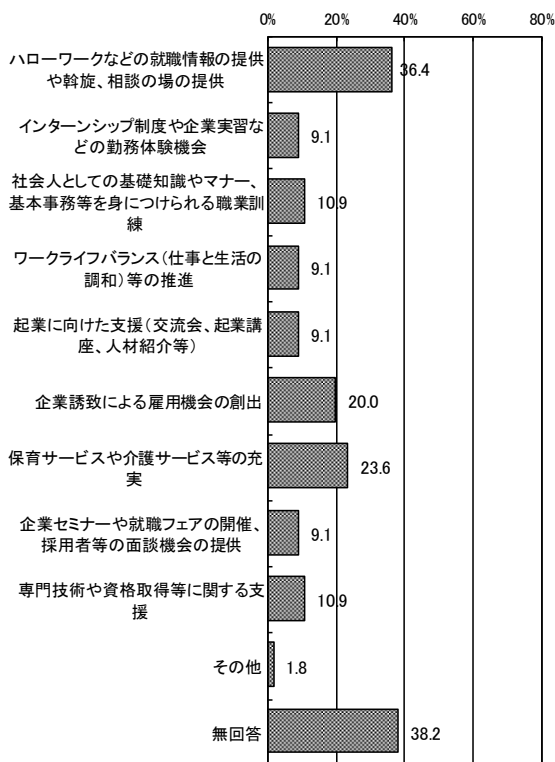
〈寺田西 n=63〉



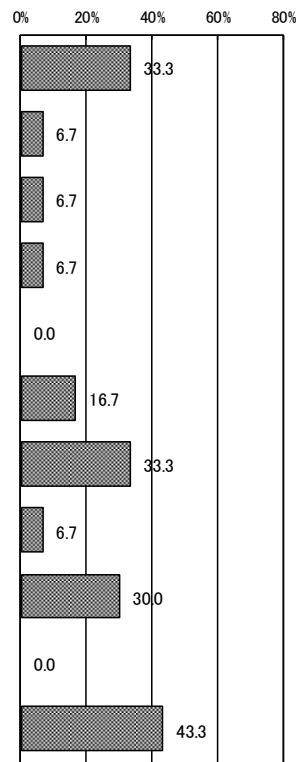
〈今池 n=49〉



〈富野 n=55〉



〈青谷 n=30〉



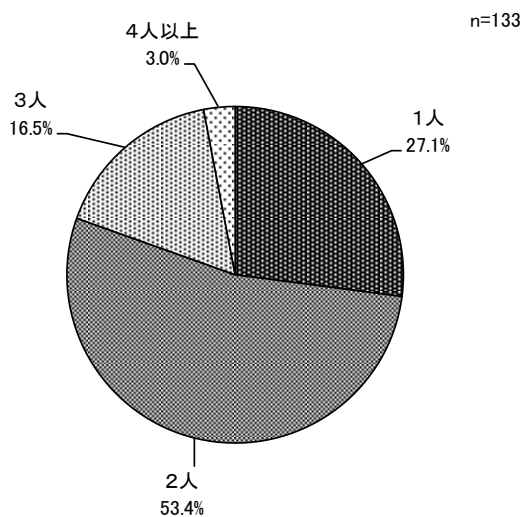
IX. 出産・子育てについて（※未就学児・小学生・中学生の子どもがいる方が回答）

（１）お子さまは何人いますか。また、お子さまの内訳について数字を記入ください。

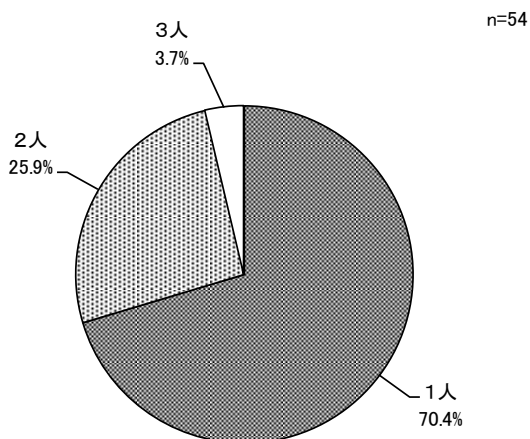
子ども的人数では、「2人」が53.4%で最も多く、次いで「1人」が27.1%、「3人」が16.5%となっている。そのうち未就学児がいる方は54人（40.6%）、小学生がいる方が62人（46.6%）、中学生がいる方が29人（21.8%）となっている。

※本章の設問については回答数が少ないため、年齢別・居住地区別の比較は省略している（以下同様）

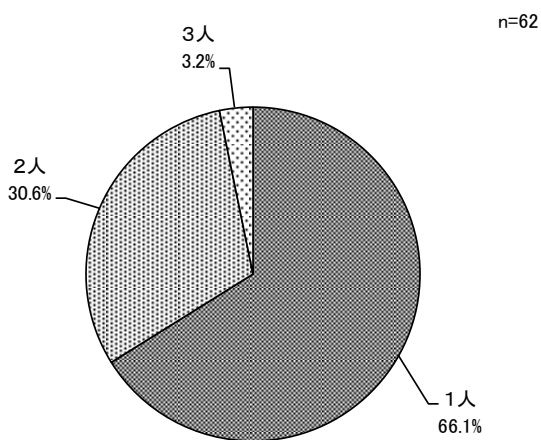
＜子ども的人数＞



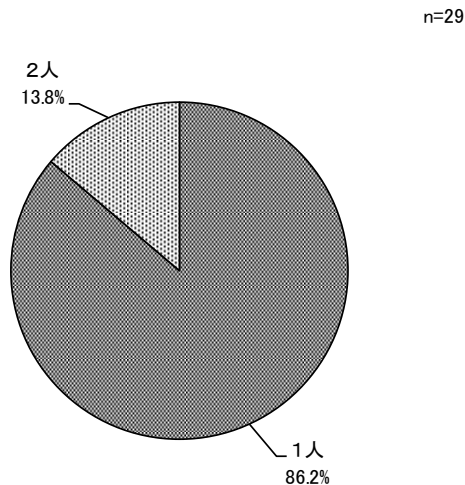
＜そのうち未就学児＞



＜そのうち小学生＞

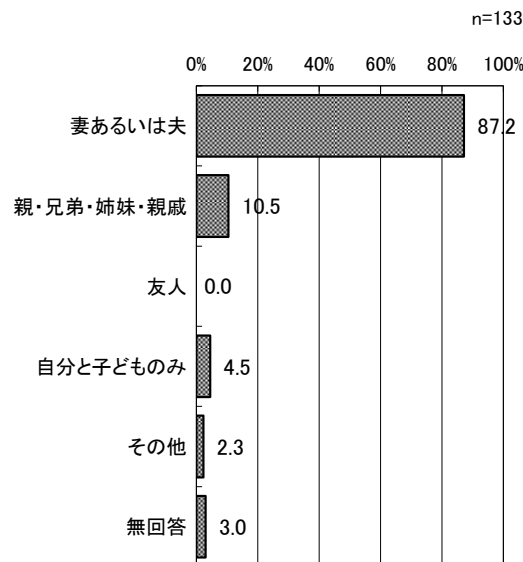


＜そのうち中学生＞



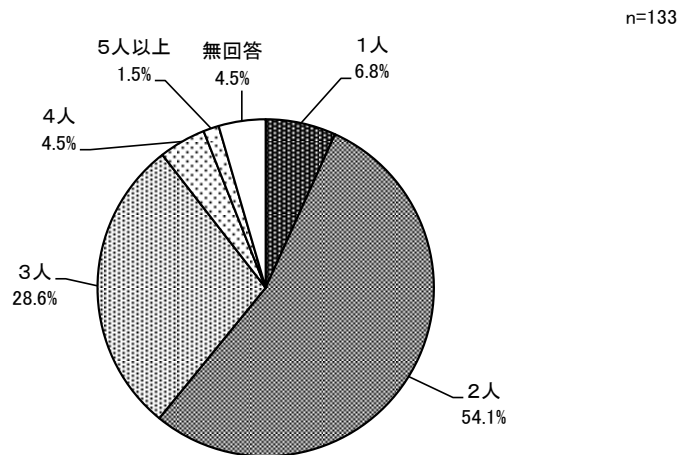
(2) あなたとお子さま以外に同居されている方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。
(複数回答)

同居家族としては、「妻あるいは夫」が87.2%で圧倒的に多くなっており、次いで「親・兄弟・姉妹・親戚」が10.5%、「自分と子どものみ」が4.5%となっている。子育て世帯については、親と子のみで構成された核家族化の進行がうかがえる。



(3)子どもは何人ほしいとお考えですか。あるいは、何人ほしいとお考えでしたか。
(理想とお考えの人数をお答えください。)

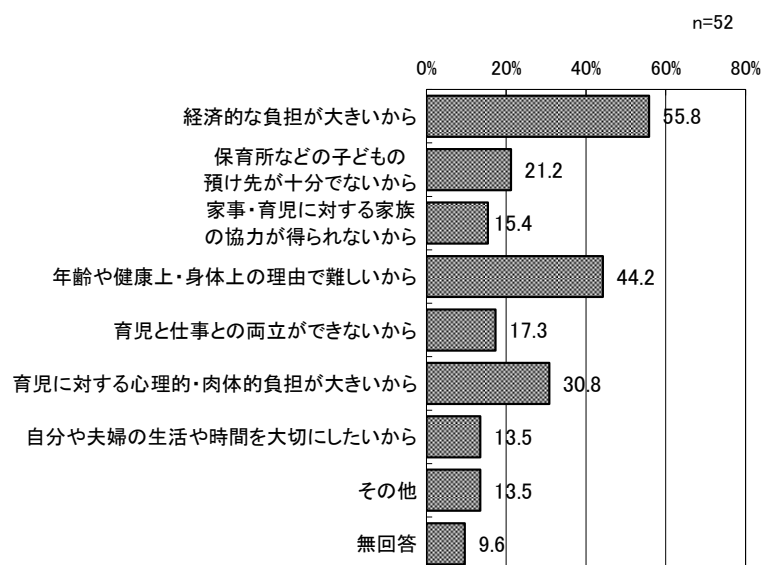
理想の子どもの人数は、「2人」が54.1%で最も多く、次いで「3人」が28.6%となっている。



(4)理想とお考えの子ども的人数が実現できない、あるいは実現できなかった方におたずねします。その原因は何である可能性が高いと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答)

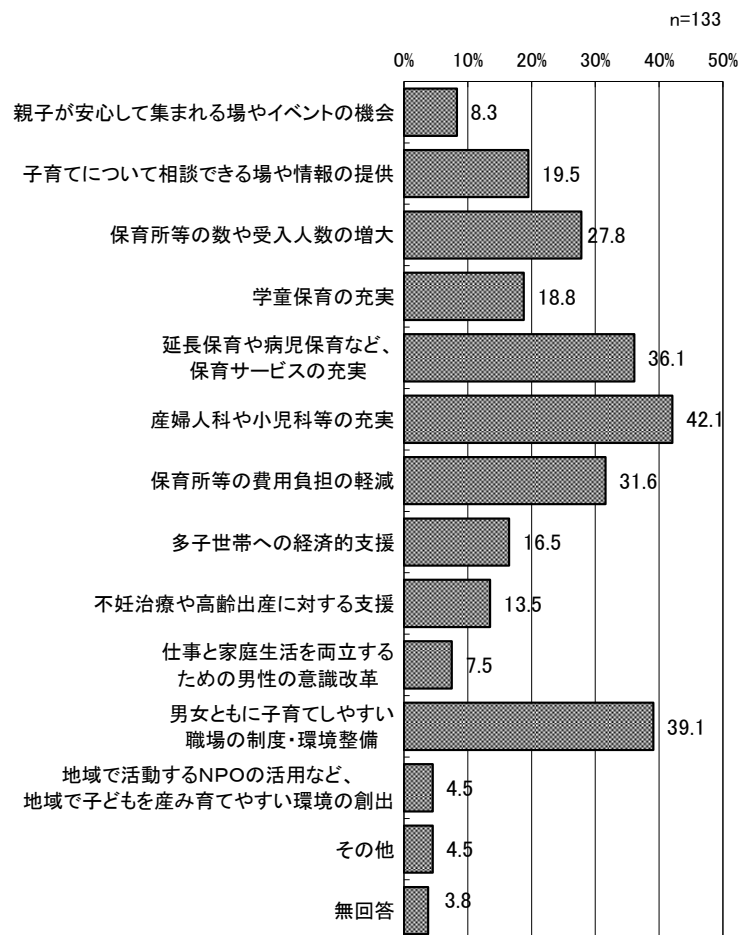
理想の子ども的人数が実現できない理由としては、「経済的な負担が大きいから」が 55.8%で最も多く、次いで「年齢や健康上・身体上の理由で難しいから」が 44.2%、「育児に対する心理的・肉体的負担が大きいから」が 30.8%となっている。

※理想の子ども的人数より実際の子ども的人数が少ない人を抽出して集計している



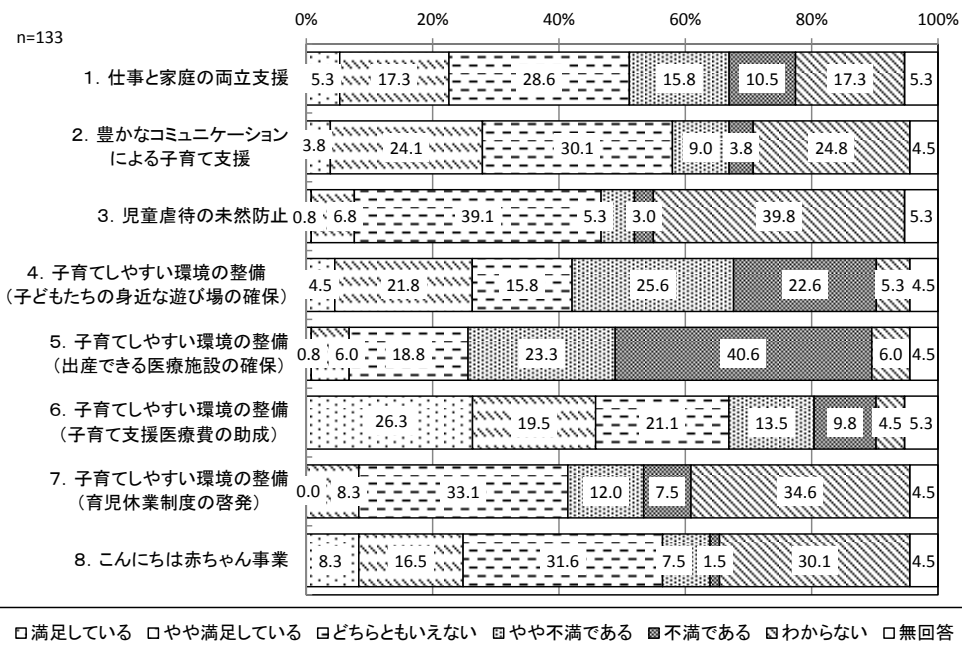
(5)本市で子どもを産み育てやすくするためには何が必要とお考えですか。次の中から3つまで○をつけてください。(複数回答)

子どもを産み、育てやすくするために必要なことは、「産婦人科や小児科等の充実」が42.1%で最も多く、次いで「男女ともに子育てしやすい職場の制度・環境整備」が39.1%、「延長保育や病児保育など、保育サービスの充実」が36.1%となっているが、個人の置かれている状況により必要な施策が左右されるためか、回答は多岐に渡っている。

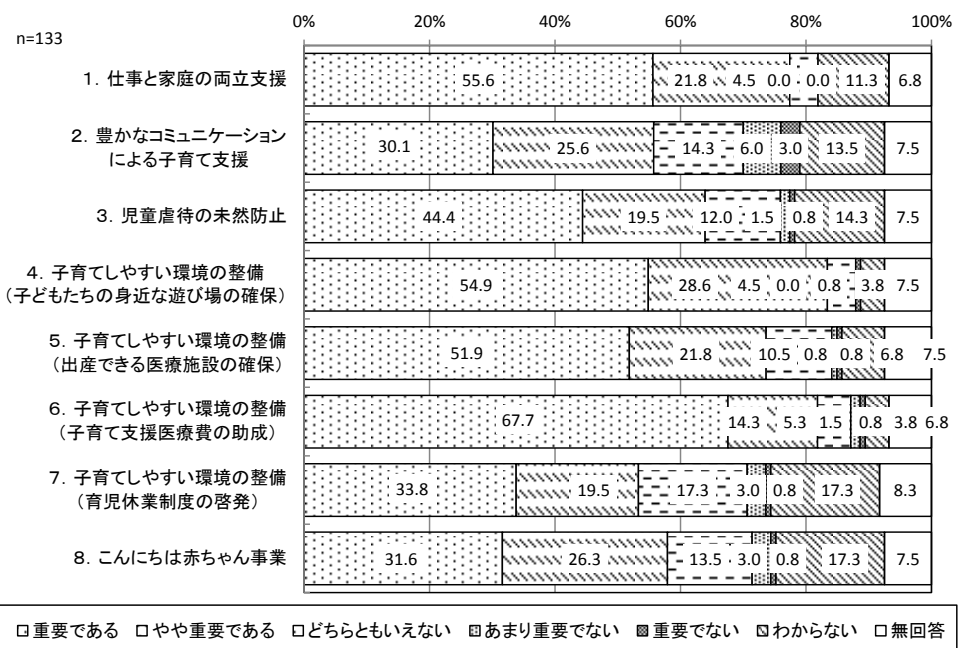


(6)本市の出産・子育てに関する施策について、あなたはどの程度満足し、どの程度重要視していますか。満足度・重要度ともにそれぞれ1~5の中から1つだけ○で囲んでください。(取組の内容を知らない場合や、全く関心がない場合は、「6. わからない」を選んでください。)

出産・子育てに関する施策についての満足度は、「6. 子育てしやすい環境の整備 (子育て支援医療費の助成)」で「満足している」と「やや満足している」の合計が45.8%となっている。一方、「5. 子育てしやすい環境の整備 (出産できる医療施設の確保)」は「不満である」と「やや不満である」の合計が63.9%となっている。

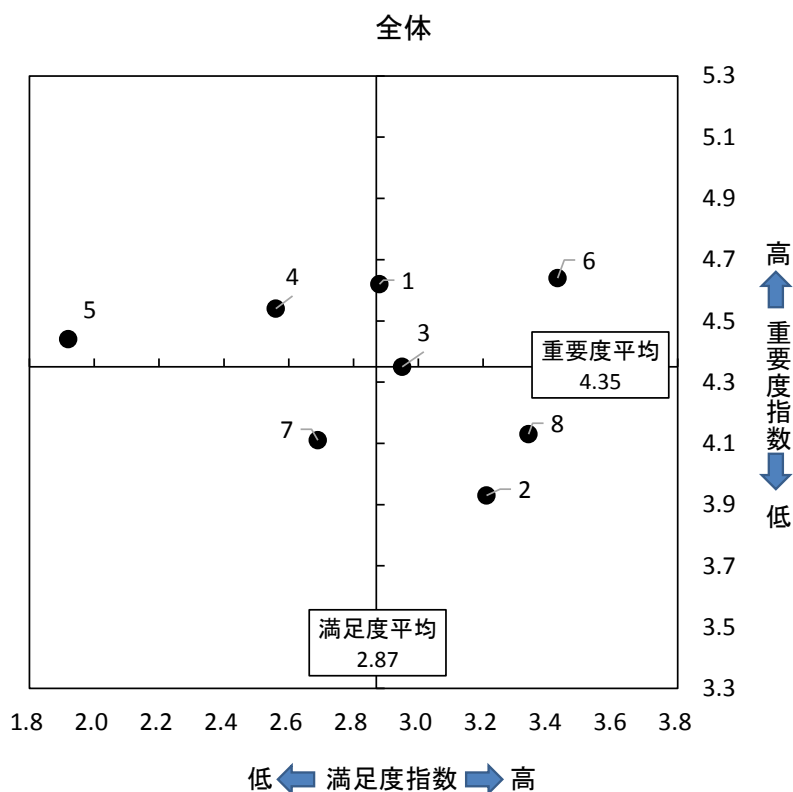


出産・子育てに関する施策についての重要度は、「6. 子育てしやすい環境の整備 (子育て支援医療費の助成)」で「重要である」と「やや重要である」の合計が82.0%と約8割を占めている。



<満足度と重要度>

出産・子育てに関する施策の満足度と重要度については、「4. 子育てしやすい環境の整備（子どもたちの身近な遊び場の確保）」と「5. 子育てしやすい環境の整備（出産できる医療施設の確保）」は満足度が低く、重要度が高くなっているため、必要性が高い取り組みと考えられる。



1. 仕事と家庭の両立支援
2. 豊かなコミュニケーションによる子育て支援
3. 児童虐待の未然防止
4. 子育てしやすい環境の整備（子どもたちの身近な遊び場の確保）
5. 子育てしやすい環境の整備（出産できる医療施設の確保）
6. 子育てしやすい環境の整備（子育て支援医療費の助成）
7. 子育てしやすい環境の整備（育児休業制度の啓発）
8. こんにちは赤ちゃん事業

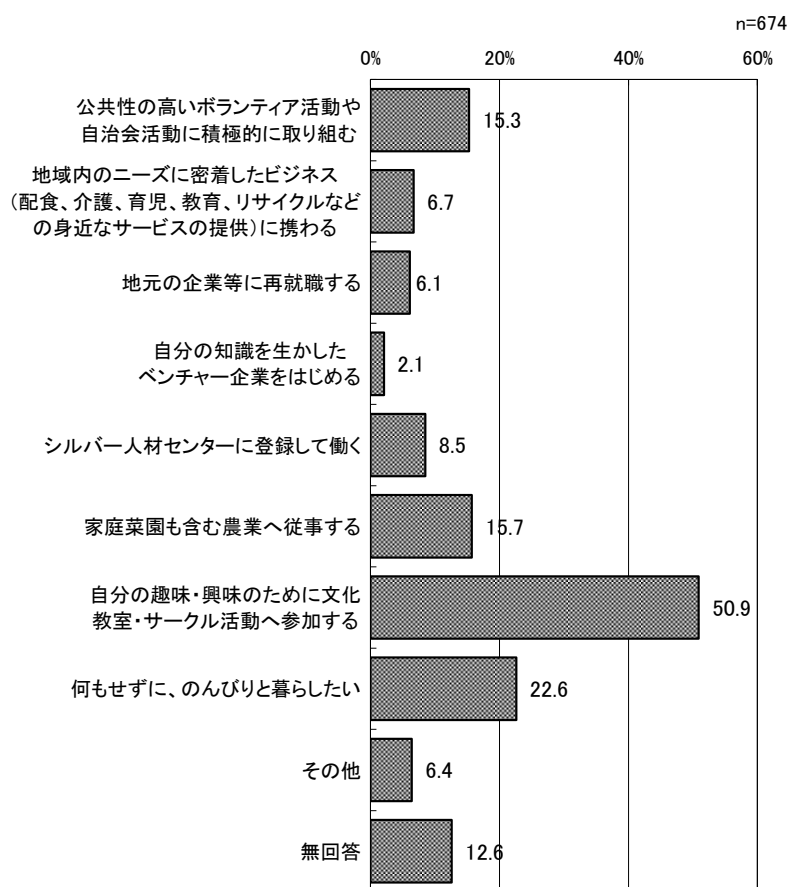
<散佈図の作成方法>

満足度、重要度の選択肢である「満足している」「重要である」を5点、「どちらかといえば満足している」「やや重要である」を4点、「ふつう」を3点、「やや不満である」「あまり重要でない」を2点、「不満である」「重要ではない」を1点とし、8つの取り組みごとに各選択肢の回答数と上記の点数を乗じ、それを回答者数で除することで点数を算出した。散佈図の原点は満足度の平均点（2.87点）と重要度の平均点（4.35点）が交わる部分となり、その交差部分が最も平均的な評価となっている施策とみなすことができる。

X. 定年後の活動について（※50歳以上の方のみ回答）

（1）あなたは、定年を迎えた後に（既に定年している方も含め）、どのような活動に取り組んでいる、または取り組んでみたいですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。（複数回答）

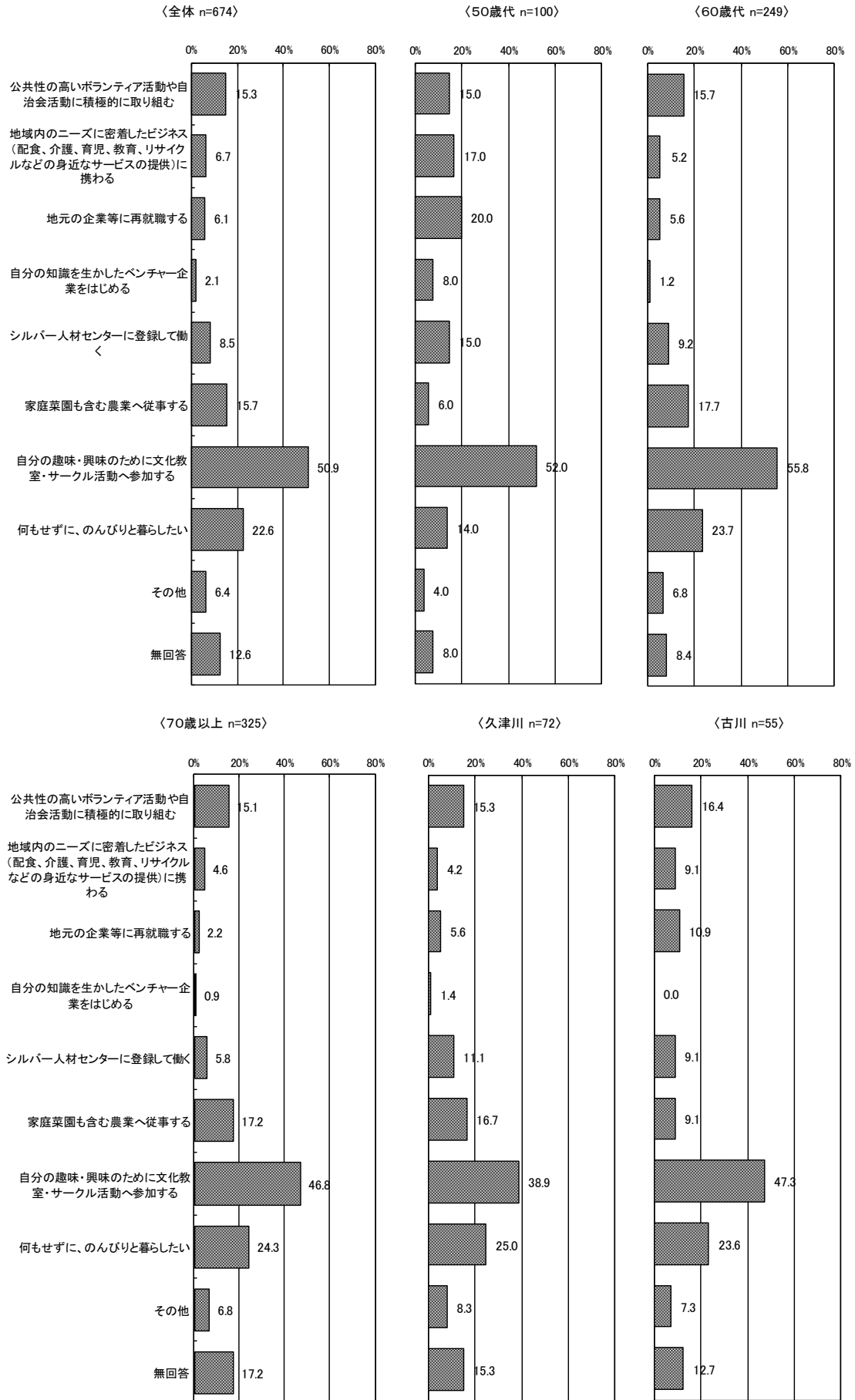
定年後の活動については、「自分の趣味・興味のために文化教室・サークル活動へ参加する」が50.9%で最も多く、次いで「何もせずに、のんびりと暮らしたい」が22.6%、「家庭菜園も含む農業へ従事する」が15.7%、「公共性の高いボランティア活動や自治会活動に積極的に取り組む」が15.3%となっている。

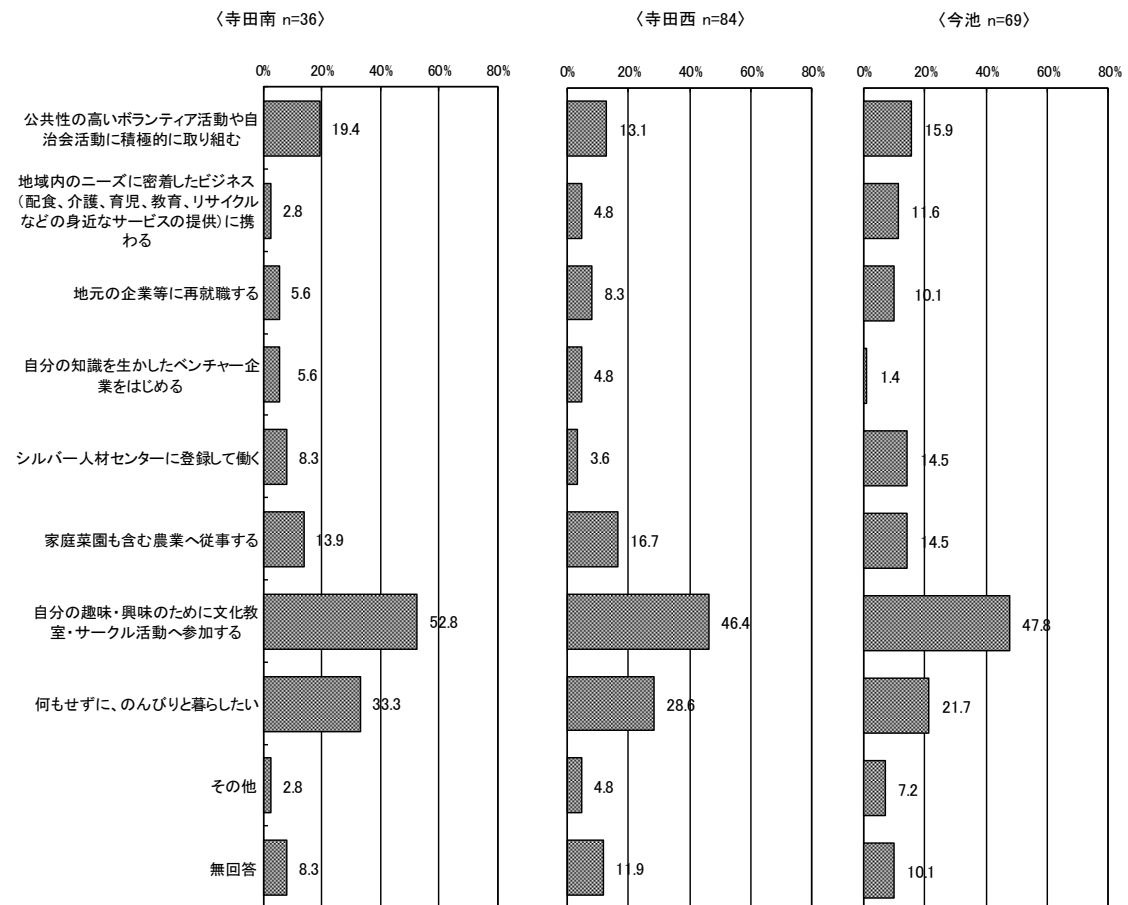
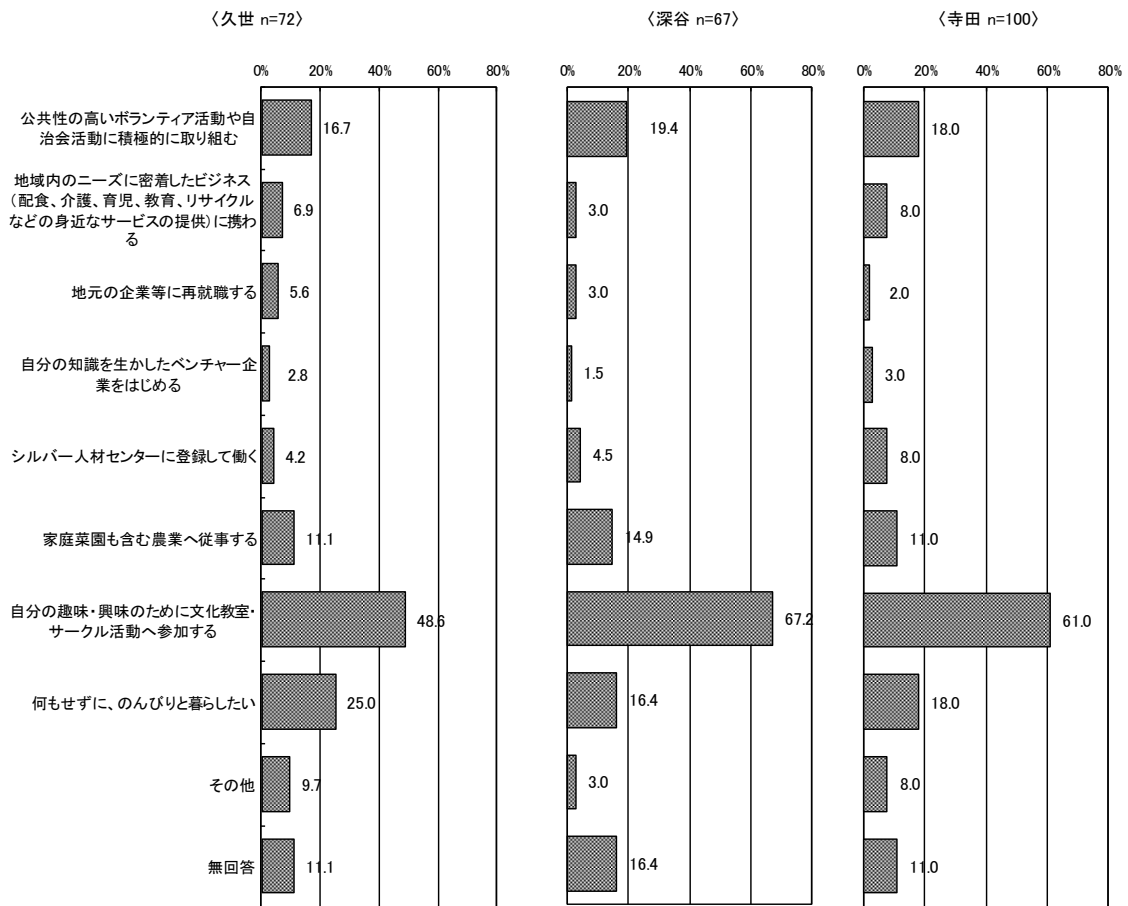


年齢別では、全体と比べて50歳代では「地元の企業等に再就職する」と「地域内のニーズに密着したビジネス（配食、介護、育児、教育、リサイクルなどの身近なサービスの提供）に携わる」が高くなっている。

居住地区別では、全体と比べて深谷と寺田では「自分の趣味・興味のために文化教室・サークル活動へ参加する」が、寺田南では「何もせずに、のんびりと暮らしたい」が、富野では「家庭菜園も含む農業へ従事する」が高くなっている。対して、全体と比べて久津川では「自分の趣味・興味のために文化教室・サークル活動へ参加する」が低くなっている。

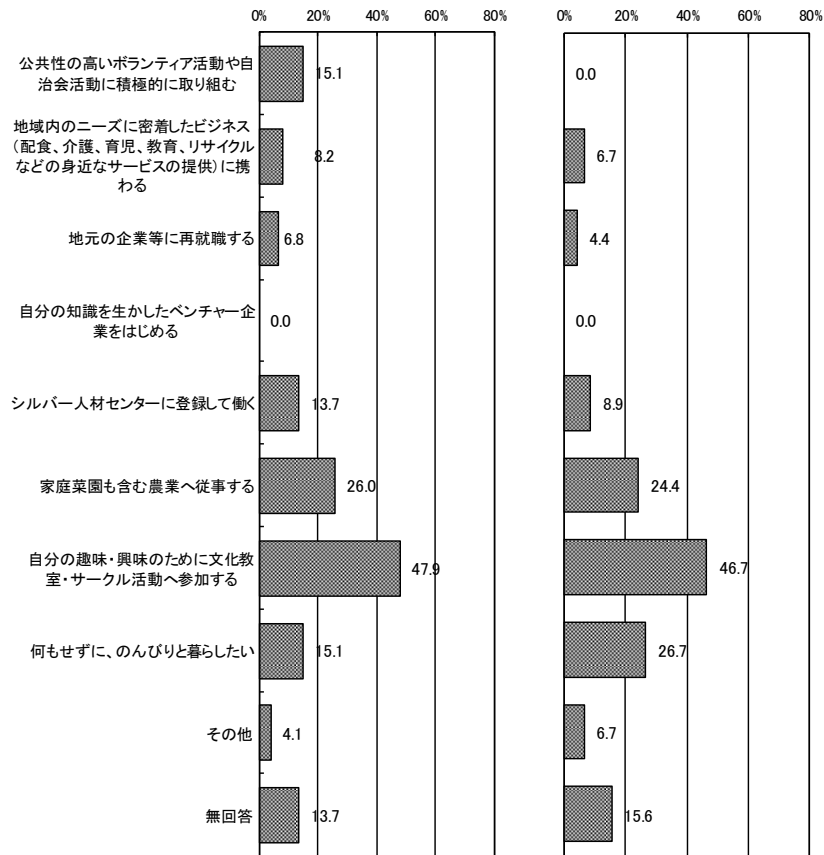
10-1. あなたは、定年を迎えた後に(既に定年している方も含め)、どのような活動に取り組んでいる、または取り組んでみたいですか。





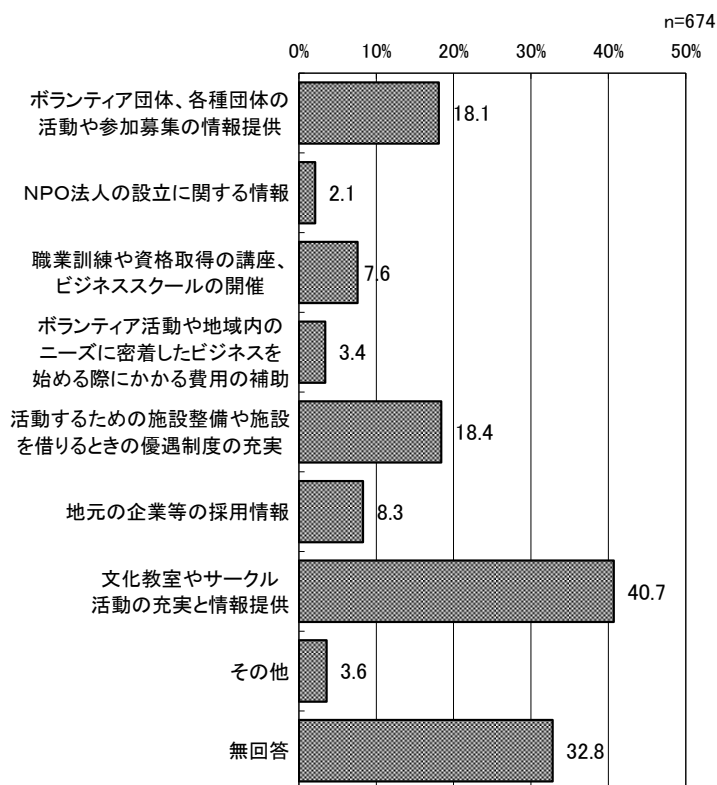
〈富野 n=73〉

〈青谷 n=45〉



(2) その活動に取り組んでいくためには、行政からどのような支援があればよいと思いますか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。(複数回答)

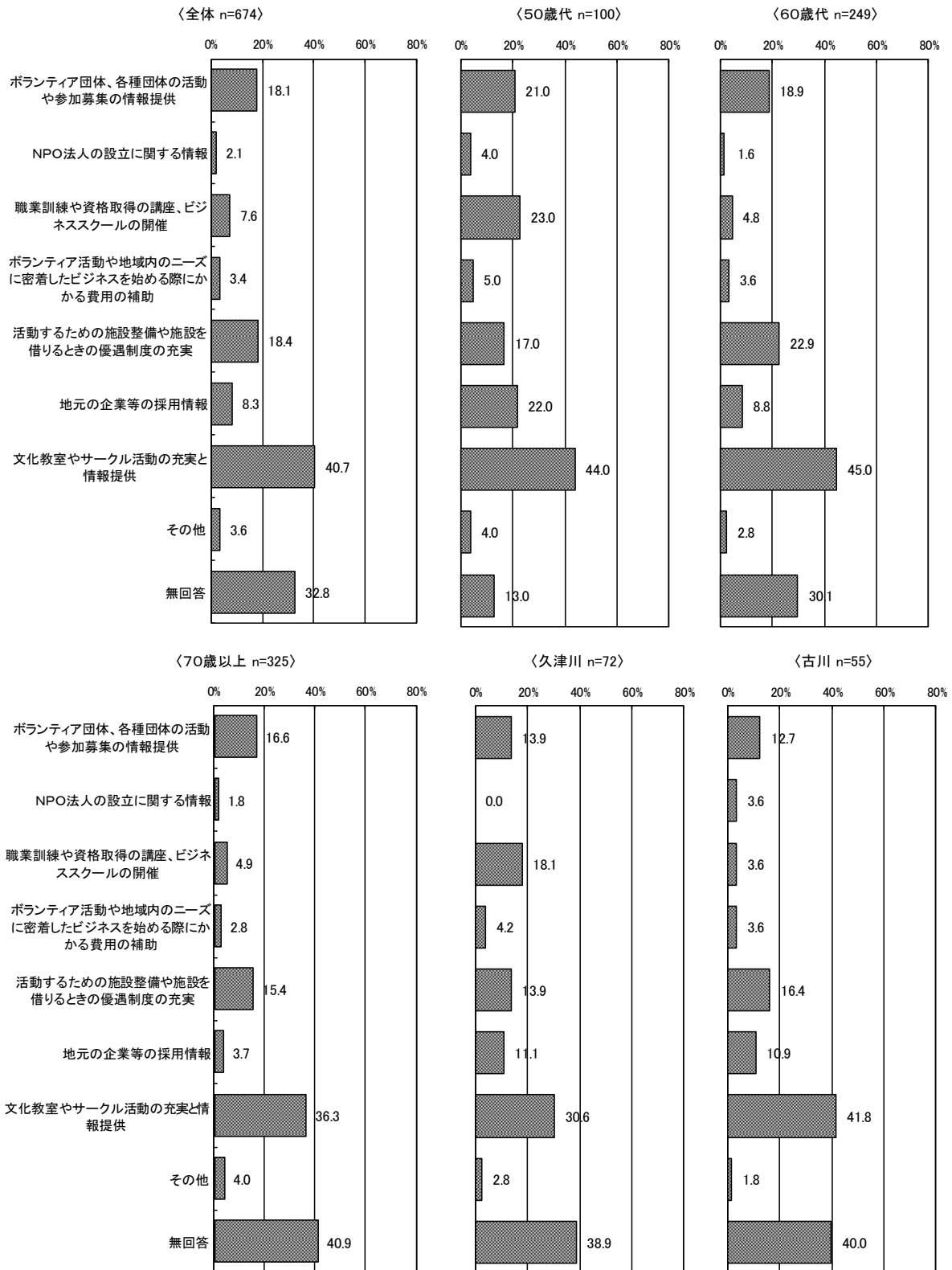
その活動に取り組むために必要な行政からの支援は、「文化教室やサークル活動の充実と情報提供」が40.7%で最も多く、次いで「活動するための施設整備や施設を借りるときの優遇制度の充実」が18.4%、「ボランティア団体、各種団体の活動や参加募集の情報提供」が18.1%となっている。

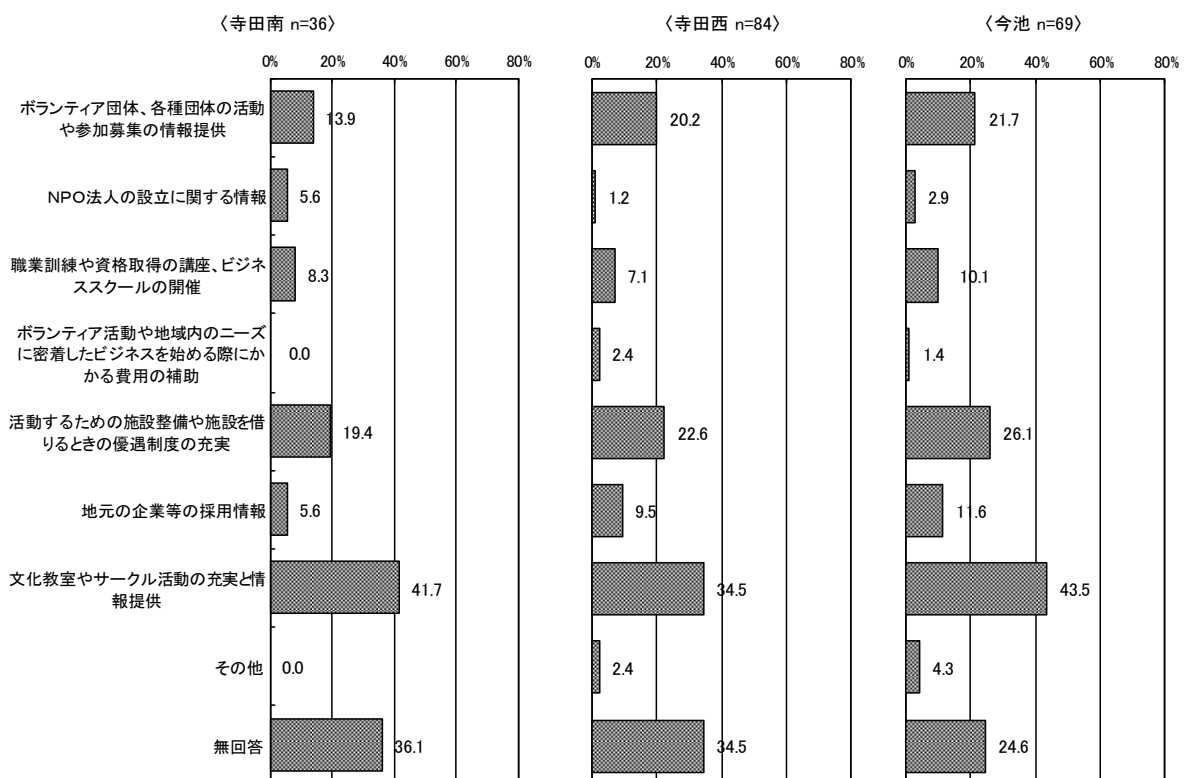
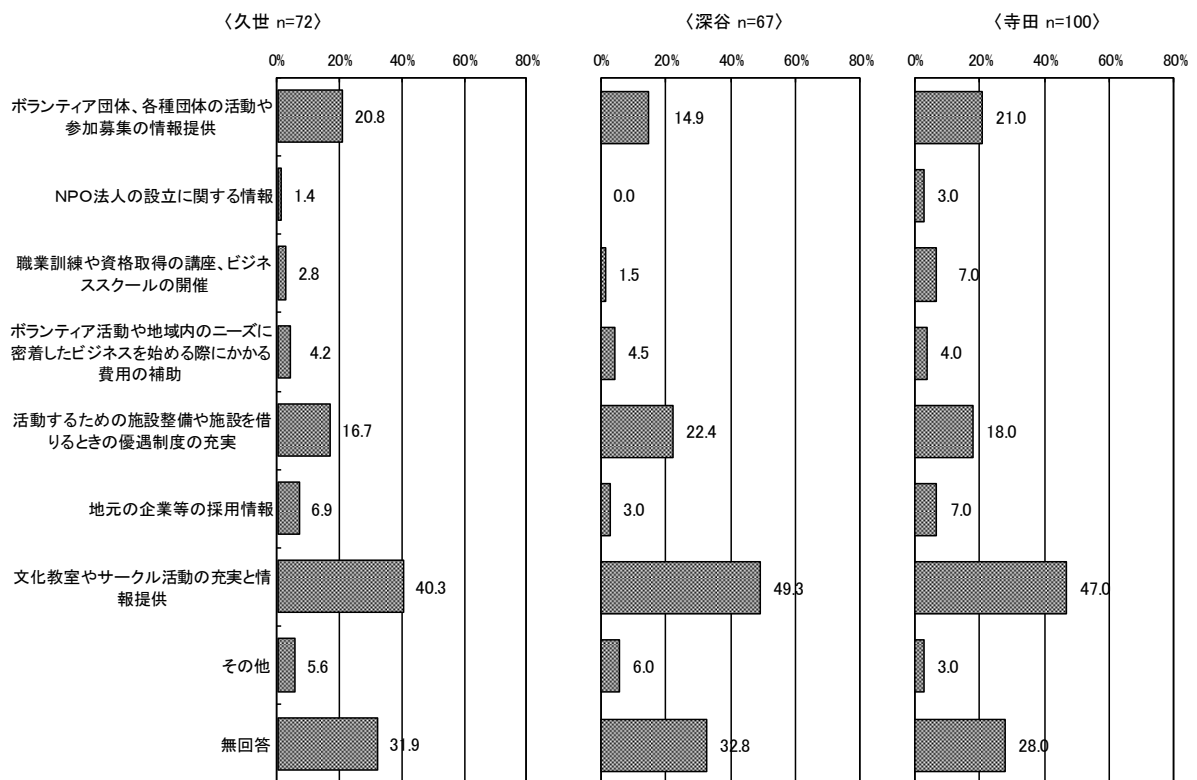


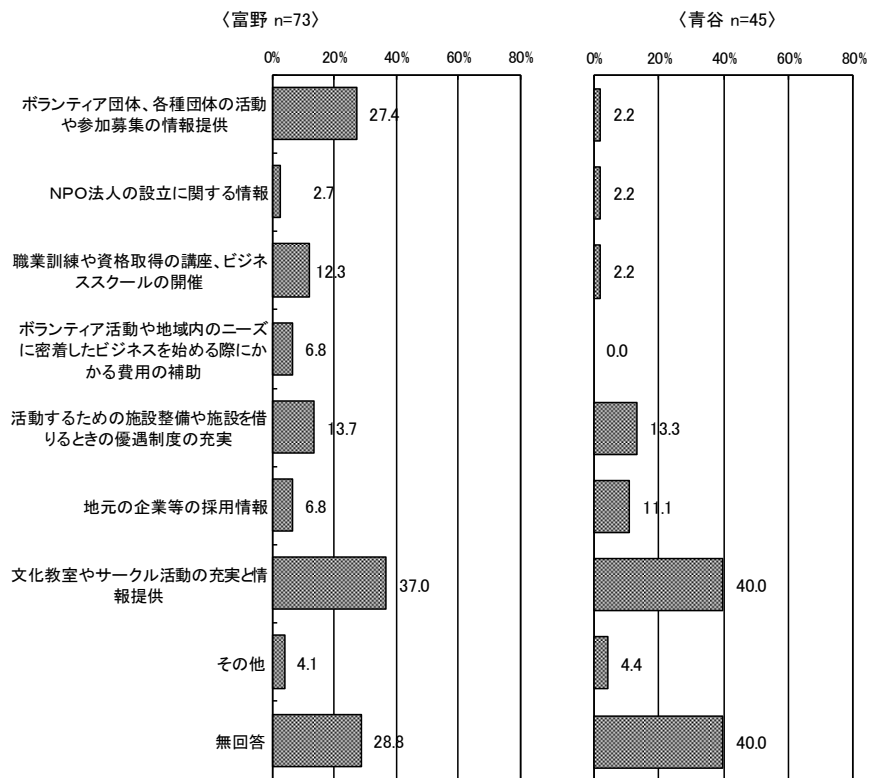
年齢別では、全体と比べて50歳代では「職業訓練や資格取得の講座、ビジネススクールの開催」と「地元の企業等の採用情報」が高くなっている。

居住地区別では、全体と比べて久津川では「職業訓練や資格取得の講座、ビジネススクールの開催」が高くなっており、「文化教室やサークル活動の充実と情報提供」が低くなっている。

10-2. その活動に取り組んでいくためには、行政からどのような支援があればよいと思いますか。







資料
アンケート調査票

「まちづくり市民アンケート」へのご協力をお願い

皆さまには、日頃より市政にご協力いただき、ありがとうございます。

現在城陽市では、市の総合的な指針である「城陽市総合計画」の見直しを行うとともに、国が定めた「まち・ひと・しごと創生法」に基づく「城陽市人口ビジョン・総合戦略」の策定を進めているところです。

「城陽市総合計画」及び「城陽市人口ビジョン・総合戦略」は、少子高齢化や人口減少に歯止めをかけるとともに、地域の特性を活かした暮らしやすい環境を創造し、活力ある城陽市を実現することを目的として策定するものです。

そこで、両計画の策定にあたり、市民の皆さまが日常生活の中で感じられていることや、城陽市のまちづくりについてご意見やご希望をお聞かせいただきたいと考え、アンケート調査を実施することとしました。

設問数が多く恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成 27 年（2015 年）7 月

城陽市長 奥 田 敏 晴

ご記入にあたってのお願い

1. このアンケートの回答は、原則として封筒の宛名ご本人にお願いします。
2. ご回答は、特に指定のない場合は設問ごとにあてはまるものの番号に○印をつけていただくようになっています。また、「その他」にあてはまる場合は、その内容を（ ）内に具体的にご記入ください。
3. ご記入いただいたアンケート票は、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らず、平成 27 年 8 月 7 日（金）までにご投函ください。

なお、このアンケートの対象となられる方は、平成 27 年（2015 年）6 月 1 日現在、市内にお住まいの 20 歳以上の方の中から 2,000 人を無作為に抽出し、選ばせていただきました。

ご記入いただいた内容は統計的に処理して利用させていただきます。また、市政運営以外の目的で使用することはありません。

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします

城陽市役所 企画管理部 企画調整課 電話 0774(56)4041



アンケート調査票

1. あなたご自身のことについておたずねします

(1) あなたの性別は。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(2) あなたのお年は。

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 |
| 4. 50歳代 | 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |

(3) あなたの職業は。

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 会社員、会社役員、公務員 | 2. パートタイマー、内職 |
| 3. 自営業 | 4. 農林漁業 |
| 5. 専業主婦 | 6. 学生 |
| 7. 無職（専業主婦・学生を除く） | |
| 8. その他（具体的に： _____) | |

(4) あなたは城陽市にお住みになって何年になりますか。

- | | | |
|---------------|--------------|---------------|
| 1. 3年未満 | 2. 3年以上10年未満 | 3. 10年以上15年未満 |
| 4. 15年以上30年未満 | 5. 30年以上 | 6. 生まれてからずっと |

(5) あなたのお住まいは。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 持ち家 | 2. 民営の賃貸住宅（一戸建または長屋建） |
| 3. 民営の賃貸住宅（マンションなどの共同住宅） | 4. 公営の賃貸住宅 |
| 5. 給与住宅（社宅・寮など） | |
| 6. その他（具体的に： _____) | |

(6) あなたのお住まいの小学校区は。

- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 久津川 | 2. 古川 | 3. 久世 | 4. 深谷 |
| 5. 寺田 | 6. 寺田南 | 7. 寺田西 | 8. 今池 |
| 9. 富野 | 10. 青谷 | | |



2. 城陽市のことについておたずねします

(1) あなたは城陽市を住みよいと感じておられますか。

1. 住みよい	2. どちらかといえば住みよい
3. どちらかといえば住みにくい	4. 住みにくい
5. わからない	

(2) 城陽市のどのような所に魅力を感じられますか。あてはまるものに**2つまで○**をつけてください。

1. 自然環境に恵まれている	2. 歴史的な建造物や史跡が多く存在している
3. 梅、花しょうぶなどの誇れる特産品がある	4. 住宅地として住みやすい
5. 通勤・通学・買い物などが便利である	6. 地域のつながりが強い
7. 文化・スポーツ活動が盛んである	8. その他（具体的に： _____)

(3) あなたは城陽市に「ふるさと」であるといった感じをお持ちですか。

1. 「ふるさと」感を持っている	2. 「ふるさと」感を持っていない	3. わからない
------------------	-------------------	----------

(4) あなたは今後も現在のところに住みつづけたいと思われませんか。

1. 現在のところにずっと住みつづけたい
2. 市内のどこか適当なところへ移りたい…………… (4) -1 へ
3. 市外へ移りたい…………… (4) -1 へ
4. どちらともいえない

(4)-1 (4)で「2. 市内のどこか適当なところへ移りたい」「3. 市外へ移りたい」と回答された方におたずねします。移りたい理由は何ですか。あてはまるものに**2つまで○**をつけてください。

1. 家が古い、設備が悪い	2. 家が狭い
3. 家賃が高い、ローンの返済が困難	4. 騒音などの公害・日当たりが悪いなど
5. 周辺の自然環境が悪い	6. 周辺の都市施設の整備が遅れている
7. 交通が不便	8. 通勤に時間がかかる
9. 買い物が不便	10. 近所づきあいがうまくいかない
11. 治安が悪い	12. 医療機関の利用が不便
13. 希望する就業場所がない	14. その他（具体的に： _____)



3. 外出される際の移動手段についておたずねします

(1) あなたは①～⑩の目的地に行く際にどのような移動手段を利用されていますか。関係するものすべてに○をつけてください。

(2) ①～⑩へはどのくらいの頻度で行きますか。①～⑩それぞれについて1つまで○をつけてください。

(3) ①～⑩への移動手段には満足していますか。①～⑩それぞれについて1つまで○をつけてください。

		① 市内の 商業施設	② 市外の 商業施設	③ 職場・学校 (市内にある場合)	④ 職場・学校 (市外にある場合)	⑤ 市内の病院・ 医院	⑥ 市外の病院・ 医院	⑦ 市役所等 公共施設	⑧ 公園等 屋外施設	⑨ 老人福祉セ ンター	⑩ 文化パ ルク城陽
(1) 関係するものすべてに○	徒歩	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
	自転車・バイク	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
	車(自分で運転)	C	C	C	C	C	C	C	C	C	
	車(家族等の送迎)	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	タクシー	E	E	E	E	E	E	E	E	E	
	JR	F	F	F	F	F	F	F	F	F	
	近鉄	G	G	G	G	G	G	G	G	G	
	路線バス	H	H	H	H	H	H	H	H	H	
	病院送迎バス・老人福祉センター送迎バス	I	I	I	I	I	I	I	I	I	
↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓											
(2) 1つまで○	1週間に3回以上	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
	1週間に1・2回位	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
	2週間に1回位	C	C	C	C	C	C	C	C	C	
	1ヶ月に1回位	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	ほとんど行かない	E	E	E	E	E	E	E	E	E	
↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓											
(3) 1つまで○	満足している	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
	どちらでもない	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
	所要時間に満足していない	C	C	C	C	C	C	C	C	C	
	費用に満足していない	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
	便数に満足していない	E	E	E	E	E	E	E	E	E	
	その他 具体的に：	F	F	F	F	F	F	F	F	F	

4. 市政運営への市民参画のあり方についておたずねします

(1) 今後の市政運営にかかる情報提供について、どのような取り組みを強化すべきと考えますか。特に重要と考えるものに2つまで○をつけてください。

1. 住民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会を充実する 2. シンポジウムなど、興味を持てるような交流イベントの開催機会を充実する 3. 市長と気軽に対話ができる機会を充実する 4. 市の広報紙、回覧板等による情報提供の充実を図る 5. 市のホームページによる情報提供の充実を図る 6. 市のフェイスブック、ツイッターによる情報提供の充実を図る 7. ラジオ等による情報提供の充実を図る 8. 今のままでよい 9. その他（具体的に： _____）

(2) 市民と行政の協働によるまちづくりが求められる中、今後行政が果たすべき役割（特に人材や財源の使い方）に関し、①～③それぞれについて、AとBで、あなたの考え方に近いものに1～4の中から1つだけ○をつけてください。

	A	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	B
①	市民による地域活動等について、一律に支援するのではなく、積極的な団体や活動に対する支援を中心に力を注ぐべき	1	2	3	4	特定の団体や地域にかたよらずに、市民を広く支援するよう、公平性を重視して行うべき
②	民間にできるサービスはできるだけ民間にまかせ、行政はできるだけスリム化を図るべき	1	2	3	4	民間にできるサービスであっても、採算性の低いサービスが切り捨てられる恐れがあるため、できるだけ行政が行うべき
③	身近な公共空間の美化など、個人や地域住民で行えることは、できるだけ行政が関与すべきでない	1	2	3	4	我々市民は税金を払っているわけだから、公共空間の美化等に関するサービスは行政が責任をもって実施すべき

(3) 市政への参加について、あなたのご意向について最も近いものに1つだけ○をつけてください。

1. 積極的に参加したい 2. 機会があれば参加したい 3. 参加したくない 4. 関心がない



5. 今後の公共サービスのあり方についておたずねします

(1) 今後、人口減少に伴い、税収の確保などが困難となり財源不足が深刻化する一方、市民ニーズはますます多様化し、行政の担う役割が増加すると考えられます。今後の公共サービスのあり方として、あなたのお考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。

1. 税や社会保険料等の市民負担を大きく増やして、行政が提供するサービスを拡大する
2. 税や社会保険料等の市民負担を少し増やして、行政が提供するサービスを維持する
3. 税や社会保険料等の市民負担は現状水準を維持するが、行政から受けられるサービスの減少分は、市民の助け合いや、別にお金を払って NPO（※）・企業などの提供するサービスを利用できるようにする
4. 税や社会保険料等の市民負担はできるだけ軽減し、行政が提供するサービスは必要最低限とし、それを超える部分については、市民の助け合いや、別にお金を払って NPO・企業などの提供するサービスを利用できるようにする
5. その他（具体的に： _____）

※福祉や環境、まちづくりなどのあらゆる分野で活動する市民活動団体などで、行政のような公的な組織ではなく、また、株式会社のような営利を目的とする組織でもないもの

(2) 城陽市では 1960 年代から 1970 年代にかけて建設した公共施設の老朽化が進んでおり、部分改修等により施設の延命を図っているものの、今後の 10 年間で集中的に建替えを検討する時期を迎えます。施設の規模・機能・利用方法などについて現在の水準を維持したまま建替えを行う場合、大きな財政（税）負担を生じることが懸念されます。今後の公共施設のあり方として、あなたのお考えにあてはまるものに2つまで○をつけてください。

1. 施設の規模や機能の縮小を検討するべきである
2. 施設の統廃合や複合施設化等を検討するべきである
3. 近隣自治体と連携し、施設の相互利用及び重複施設の廃止や縮小を検討するべきである
4. 民間施設で代替可能な施設は廃止や縮小を検討するべきである
5. 既存の施設を維持するため、施設使用料の引き上げを検討するべきである
6. その他（具体的に： _____）



6. 若年層の定住化に向けた取り組みについておたずねします

- (1) 今後、活力ある城陽市を維持していくためには、次代を担う若年層（20代～30代）の定住を促進していくことが必要不可欠と考えられます。若年層が住みたいまちとするために、城陽市では、特にどのような施策を強化するべきだと思いますか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

1. 青少年の健全育成に向けての教育環境の充実
2. 女性が働ける環境づくりや子育て支援環境の充実
3. 若い人やファミリー世帯向けの住環境の充実
4. 地場産業や新たな産業振興による雇用の受け皿づくり、ベンチャー企業(※)などの起業支援
5. 公園や緑地など身近ないこいの場の充実
6. 買い物・遊びなどの賑わいある空間づくり
7. 様々な交流やコミュニティ活動が活発に行われるような環境づくり
8. 通勤や通学に便利な交通体系の充実
9. その他（具体的に： _____)

※新技術や高度な知識を軸に、大企業では実施しにくい創造的・革新的な経営を展開する小企業

7. 空き家対策についておたずねします

- (1) あなたの地域に空き家はありますか。

1. 近所にある…………… (1) -1 へ
2. 市内で見たとある…… (1) -1 へ
3. 市内で見たとはない

- (1)-1 (1)で「1. 近所にある」「2. 市内で見たとある」と回答された方におたずねします。
その空き家について、あなたは何らかの支障や危険を感じたことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 防犯上不安である
2. 今にも倒壊しそうで怖い
3. 災害時に瓦が落ちたり壁が倒れそうで怖い
4. 草木が生い茂り周辺に悪影響を及ぼしている
5. 火災が起こりそうで怖い
6. 虫が発生するなど衛生上悪い
7. 見た目が悪い
8. 支障や危険を感じたことはない
9. その他（具体的に： _____)

- (1)-2 (1)-1で「8. 支障や危険を感じたことはない」と回答された方以外の方におたずねします。
このような空き家について、どのように対応すればよいと思いますか。あなたのお考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。

1. 所有者の管理に属する問題であり、所有者の判断に任せるほうが良い
2. 所有者に働きかけ、新たな住人（管理者）を探すほうが良い
3. 市や地域で、一定期間利活用するほうが良い
4. その他（具体的に： _____)

現在就業していない方におたずねします（専業主婦、無職の方のみ）

8. 就業意向についておたずねします

(1) 今後の就業意向をお聞かせください。

1. 就業意向はある…………… (1) -1 へ
2. 就業意向はない

(1)-1 (1)で「1. 就業意向はある」と回答された方におたずねします。現在の状況について最も近いものに1つだけ○をつけてください。

1. 過去1年間に何らかの就職活動・起業活動等を行った
2. 特に就職活動等はしていないが、良い仕事が見つければ働きたい
3. 現在は働けない事情があるが、条件を整えば働きたい
4. その他（具体的に： _____)

(1)-2 (1)で「1. 就業意向はある」と回答された方におたずねします。あなたにとって必要な就業条件について次の中から3つまで○をつけてください。

1. 勤務地が近いこと・通勤の便が良いこと
2. 一定の収入が確保できること
3. 安定した雇用形態であること
4. 勤務時間が短いこと
5. 休暇をとりやすいこと
6. 保育や介護の支援体制が整っていること
7. 自宅勤務が可能なこと
8. 家族の理解と協力が得られること
9. 希望する職種・仕事内容であること
10. その他（具体的に： _____)

(2) 行政の就業支援として必要である・効果的であると思う支援策について次の中から3つまで○をつけてください。

1. ハローワークなどの就職情報の提供や斡旋、相談の場の提供
2. インターンシップ制度や企業実習などの勤務体験機会
3. 社会人としての基礎知識やマナー、基本事務等を身につけられる職業訓練
4. ワークライフバランス（仕事と生活の調和）等の推進
5. 起業に向けた支援（交流会、起業講座、人材紹介等）
6. 企業誘致による雇用機会の創出
7. 保育サービスや介護サービス等の充実
8. 企業セミナーや就職フェアの開催、採用者等の面談機会の提供
9. 専門技術や資格取得等に関する支援
10. その他（具体的に： _____)



未就学児・小学生・中学生のお子さまがいる方におたずねします

9. 出産・子育てについておたずねします

(1) お子さまは何人いますか。また、お子さまの内訳について数字を記入ください。

1. 子どもの人数 () 人
そのうち
ア. 未就学児 () 人 イ. 小学生 () 人 ウ. 中学生 () 人

(2) あなたとお子さま以外に同居されている方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 妻あるいは夫 2. 親・兄弟・姉妹・親戚 3. 友人
4. 自分と子どものみ 5. その他（具体的に：)

(3) 子どもは何人ほしいとお考えですか。あるいは、何人ほしいとお考えでしたか。(理想とお考えの人数をお答えください。)

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

(4) 理想とお考えの子どもの人数が実現できない、あるいは実現できなかった方におたずねします。その原因は何である可能性が高いと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 経済的な負担が大きいから
2. 保育所などの子どもの預け先が十分でないから
3. 家事・育児に対する家族の協力が得られないから
4. 年齢や健康上・身体上の理由で難しいから
5. 育児と仕事との両立ができないから
6. 育児に対する心理的・肉体的負担が大きいから
7. 自分や夫婦の生活や時間を大切にしたいから
8. その他（具体的に：)



(5)本市で子どもを産み育てやすくするためには何が必要とお考えですか。次の中から3つまで〇をつけてください。

1. 親子が安心して集まれる場やイベントの機会
2. 子育てについて相談できる場や情報の提供
3. 保育所等の数や受入人数の増大
4. 学童保育の充実
5. 延長保育や病児保育など、保育サービスの充実
6. 産婦人科や小児科等の充実
7. 保育所等の費用負担の軽減
8. 多子世帯への経済的支援
9. 不妊治療や高齢出産に対する支援
10. 仕事と家庭生活を両立するための男性の意識改革
11. 男女ともに子育てしやすい職場の制度・環境整備
12. 地域で活動するNPOの活用など、地域で子どもを産み育てやすい環境の創出
13. その他（具体的に： _____)



(6)本市の出産・子育てに関する施策について、あなたはどの程度満足し、どの程度重要視していますか。満足度・重要度ともにそれぞれ1～5の中から**1つだけ○**で囲んでください。(取組の内容を知らない場合や、全く関心がない場合は、「6. わからない」を選んでください。)

施策	内容	満 足 度					重 要 度						
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	わからない	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない
仕事と家庭の両立支援	計画的な保育園整備、小学校との連携、多様な保育サービスの拡充、学童保育の充実、一人親家庭の自立支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
豊かなコミュニケーションによる子育て支援	ファミリー・サポート・センター事業の会員増加、地域子育て支援センターの拡充	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
児童虐待の未然防止	児童虐待の未然防止、要保護児童対策地域協議会による地域連携強化	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
子育てしやすい環境の整備	子どもたちの身近な遊び場の確保	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
子育てしやすい環境の整備	出産できる医療施設の確保	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
子育てしやすい環境の整備	子育て支援医療費の助成	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
子育てしやすい環境の整備	育児休業制度の啓発	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
こんにちは赤ちゃん事業	子育ての孤立化対策、乳児の健全な養育環境の確保、子育て相談、ブックスタート事業	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

50歳以上の方におたずねします

10. 50歳以上の方におたずねします

(1) あなたは、定年を迎えた後に（既に定年している方も含め）、どのような活動に取り組んでいる、または取り組んでみたいですか。あてはまるものに**2つまで○**をつけてください。

1. 公共性の高いボランティア活動や自治会活動に積極的に取り組む
2. 地域内のニーズに密着したビジネス（配食、介護、育児、教育、リサイクルなどの身近なサービスの提供）に携わる
3. 地元の企業等に再就職する
4. 自分の知識を生かしたベンチャー企業をはじめる
5. シルバー人材センターに登録して働く
6. 家庭菜園も含む農業へ従事する
7. 自分の趣味・興味のために文化教室・サークル活動へ参加する
8. 何もせずに、のんびりと暮らしたい
9. その他（具体的に： _____)

(2) その活動に取り組んでいくためには、行政からどのような支援があればよいと思いますか。あてはまるものに**2つまで○**をつけてください。

1. ボランティア団体、各種団体の活動や参加募集の情報提供
2. NPO 法人の設立に関する情報
3. 職業訓練や資格取得の講座、ビジネススクールの開催
4. ボランティア活動や地域内のニーズに密着したビジネスを始める際にかかる費用の補助
5. 活動するための施設整備や施設を借りるときの優遇制度の充実
6. 地元の企業等の採用情報
7. 文化教室やサークル活動の充実と情報提供
8. その他（具体的に： _____)

すべての方にお聞きします

11. 自由意見

城陽市のまちづくりについて、ご意見・ご提案がありましたら、下の空欄にご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。



<まちづくり指標編>

1

アンケート調査の概要

(1) 調査目的

市の総合的な指針である「城陽市総合計画」の見直しを行うにあたり、各種施策の進捗状況を把握し、今後の施策計画に反映させていくことを目的として、総合計画で設定している「まちづくり指標」及び「分野別展望」の項目について調査を行った。

(2) 調査対象

- ・市内に居住する20歳以上の男女から無作為抽出で2,000人を抽出

(3) 調査方法

- ・郵送による配布、回収

(4) 調査時期

- ・配布開始：平成27年7月24日
- ・回収終了：平成27年8月7日

(5) 回収状況

- ・回収数：953件
- ・回収率：47.7%

(6) 調査内容

I. 回答者自身について

- (1)性別、(2)年齢、(3)職業、(4)居住年数、(5)住居形態、(6)校区

II. 城陽市のことについて

- (1)満足度

III. 城陽市における施策について

- (1)認知度・満足度・重要

IV. 日常生活について

- (1)普段の生活、(2)災害時、(3)かかりつけ医、(4)地球環境問題、(5)近所との密接性、(6)活動

V. 自由意見

(7) 集計結果について

- 回答は、原則として各質問の回答者数を基礎とした百分率(%)で表示している。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどの程度の比率であるかという見方になるため、比率の合計が100.0%を超える場合がある。

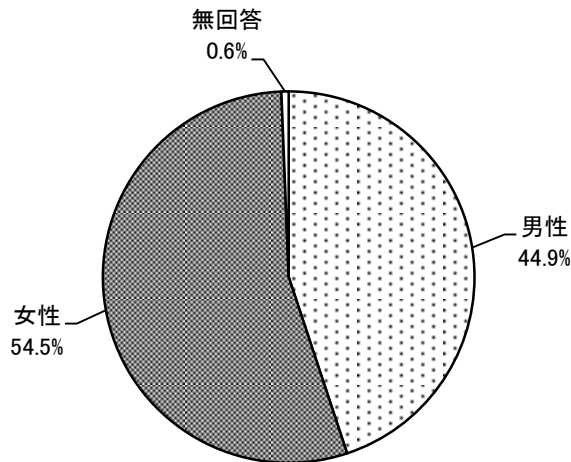
2 アンケート調査結果

I. 回答者自身について

(1) あなたの性別は。

回答者の性別は、「男性」が44.9%、「女性」がやや多くなっている。

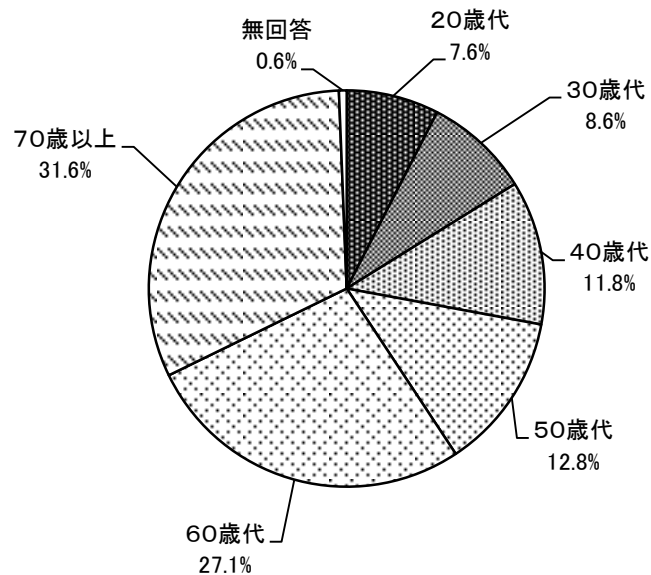
n=953



(2) あなたの年齢は。

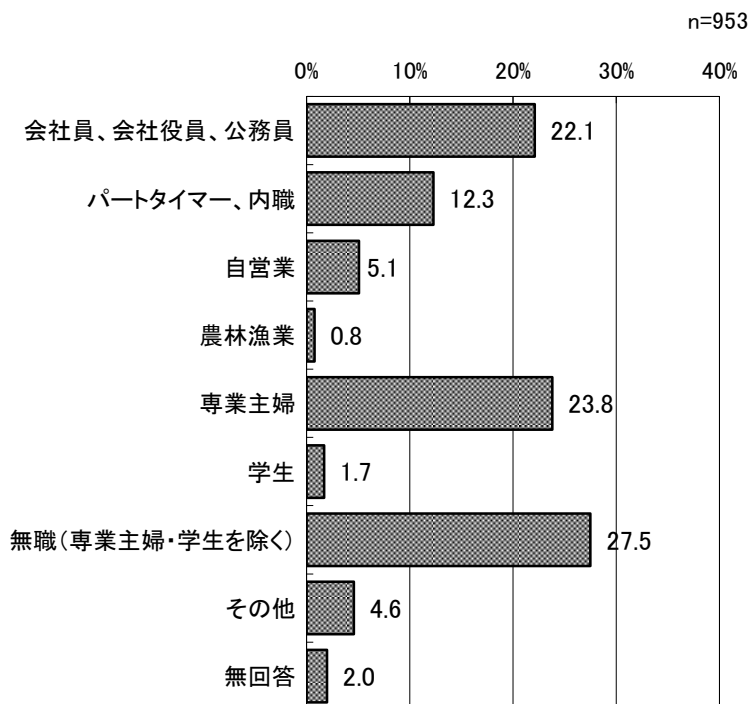
回答者の年齢は、「70歳以上」が31.6%で最も多く、次いで「60歳代」が27.1%、「50歳代」が12.8%、「40歳代」が11.8%となっており、回答者の約6割が60歳以上となっている。

n=953



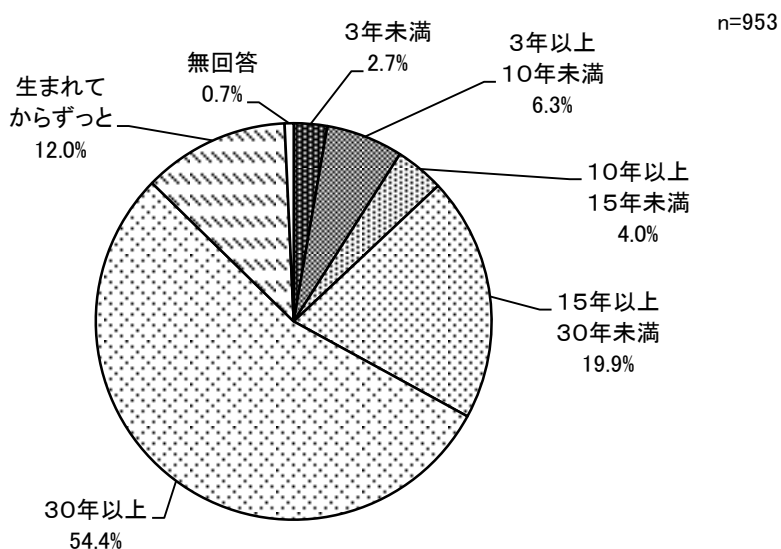
(3) あなたの職業は。

回答者の職業は、「無職(専業主婦・学生を除く)」が27.5%で最も多く、次いで「専業主婦」が23.8%、「会社員、会社役員、公務員」が22.1%となっている。



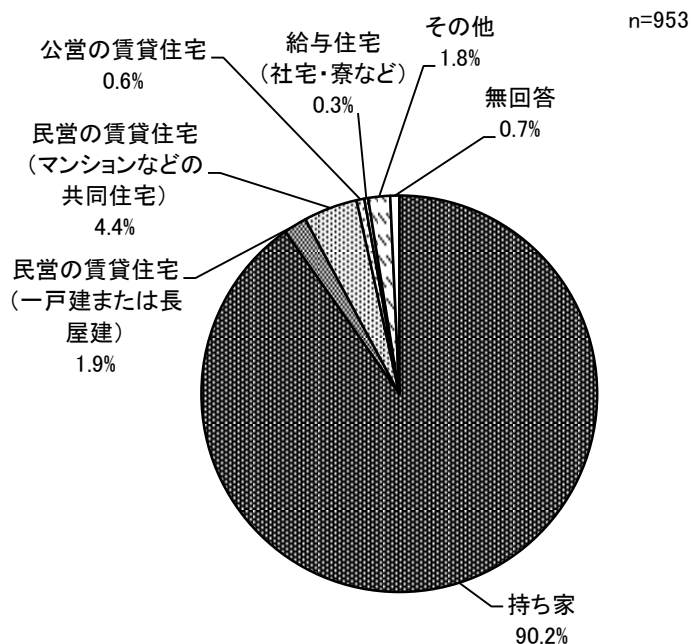
(4) あなたは城陽市にお住みになって何年になりますか。

回答者の居住年数は、「30年以上」が54.4%、「15年以上30年未満」が19.9%であり、回答者の約7割が、15年以上城陽市に住んでいる。



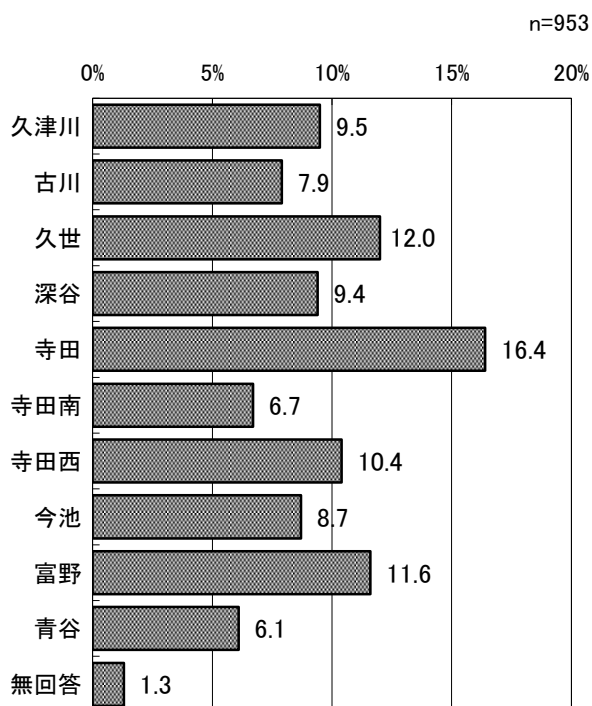
(5) あなたのお住まいは。

回答者の住居の形態は、「持ち家」が90.2%と、約9割を占めている。



(6) あなたのお住まいの小学校区は。

回答者の住んでいる小学校区は、「寺田」が16.4%で最も多く、次いで「久世」が12.0%、「富野」が11.6%となっている。

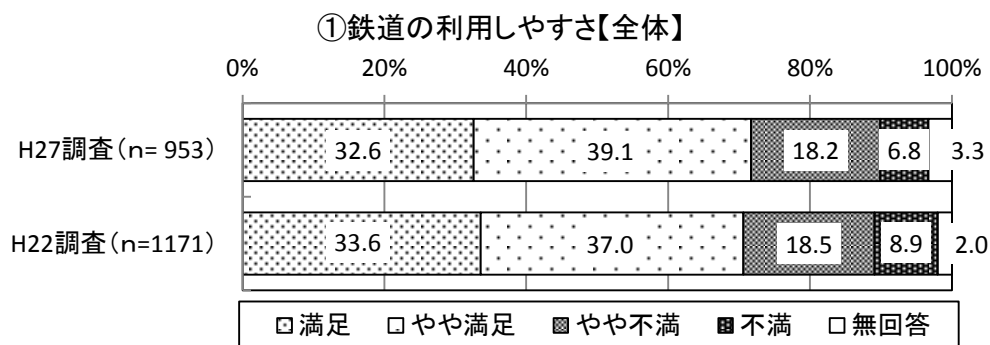


Ⅱ. 城陽市のことについて

(1) あなたが城陽市に住んでいて、次の項目についてどのように感じているのかをお答えください。あてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

①鉄道の利用しやすさ

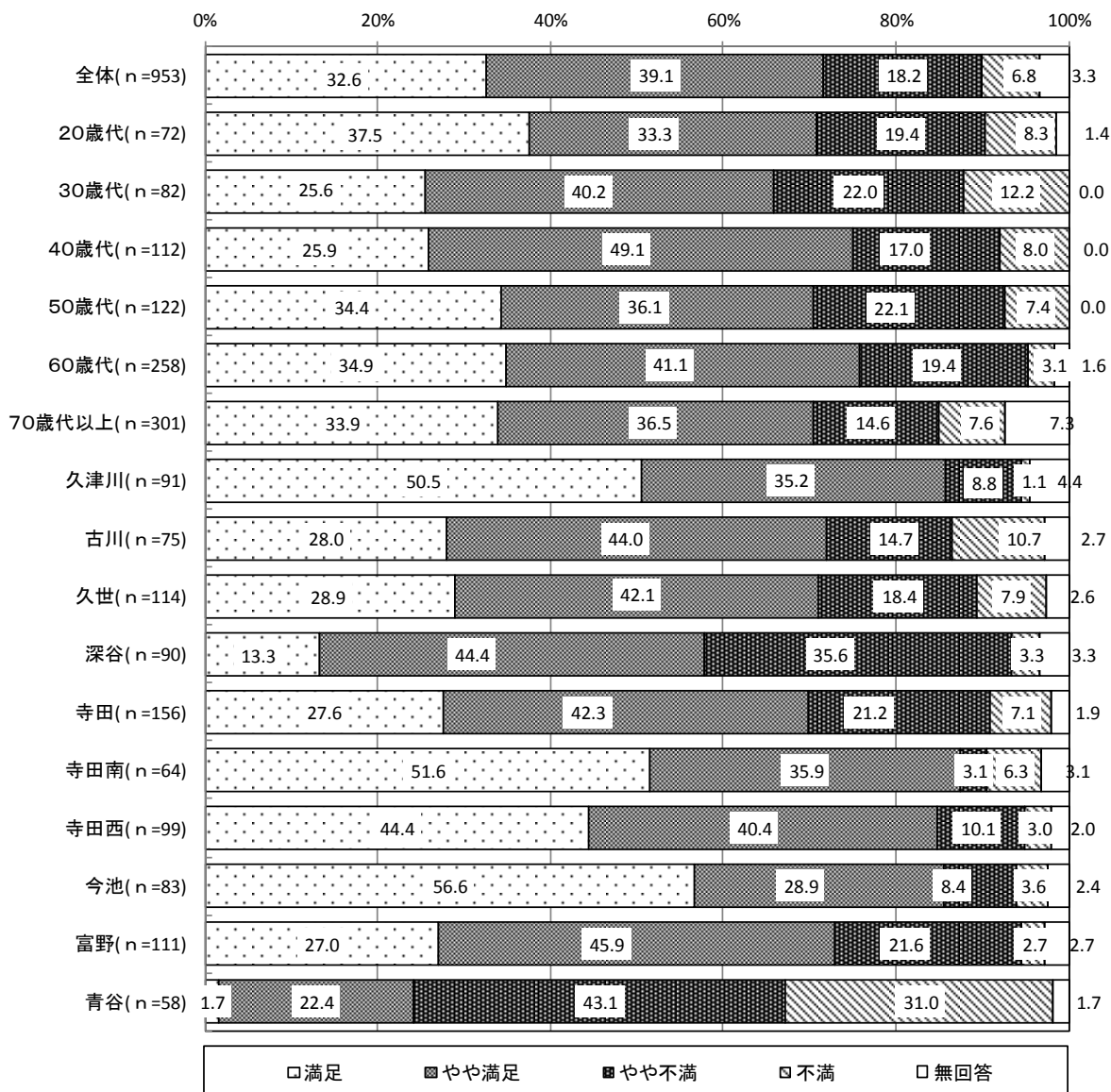
全体では、「やや満足」と回答した人が39.1%で最も多く、次いで「満足」が32.6%となっている。「満足」と「やや満足」を合計すると約7割の人が鉄道の利用しやすさに対して満足と感じている。前回の調査と比較すると、大きな変化はみられない。



年齢別では、いずれの年齢でも全体と同じ傾向となっている。

居住地区別では、久津川、寺田南、寺田西、今池で「満足」と「やや満足」の合計が全体より高くなっている。一方、深谷、青谷で「不満」と「やや不満」の合計が全体より高く、鉄道の利用しやすさに対して不満に感じている人の割合が高くなっている。

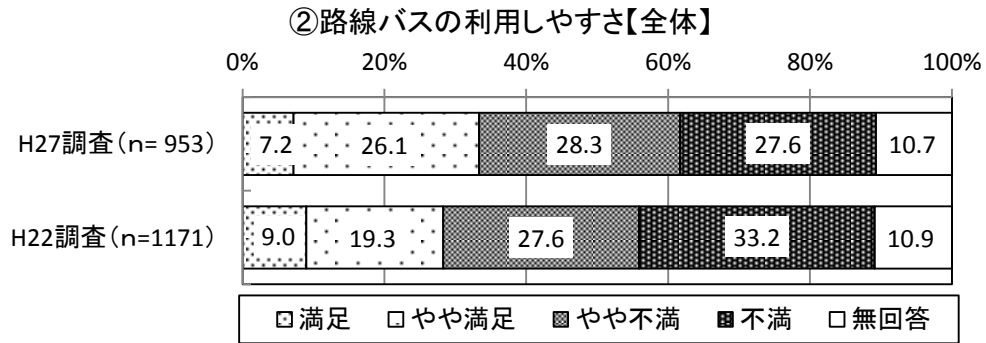
①鉄道の利用しやすさ



②路線バス(※)の利用しやすさ

全体では、「やや不満」と回答した人が28.3%で最も多く、次いで「不満」が27.6%となっている。「不満」と「やや不満」を合計すると約6割の人が路線バスの利用しやすさに対して不満に感じている。

前回の調査と比較すると、「満足」と「やや満足」の合計が5.0ポイント増加、「やや不満」と「不満」の合計が4.9ポイント減少しており、改善している傾向がうかがえる。

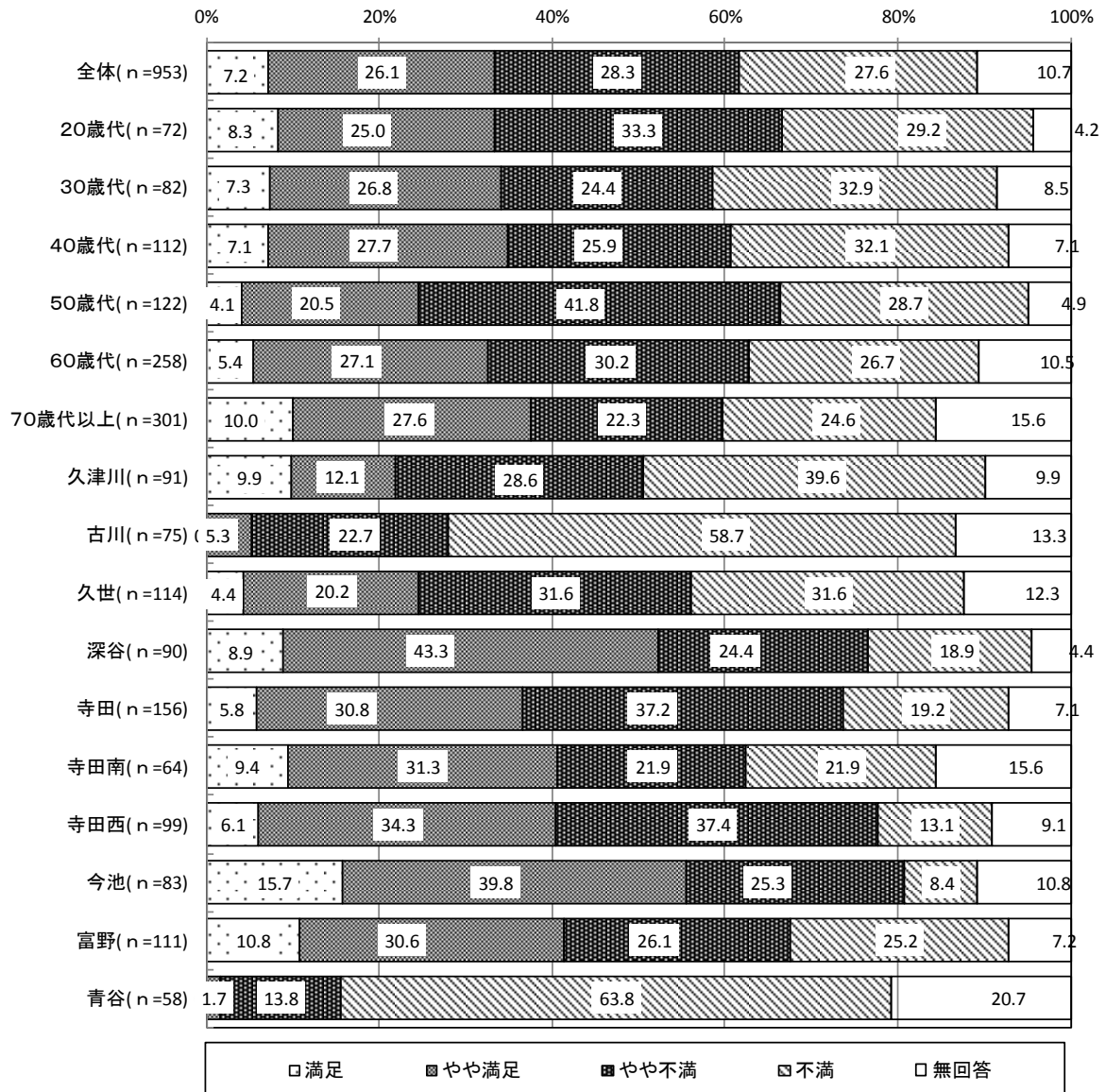


年齢別では、いずれの年齢でも全体と同じ傾向となっており、特に、50歳代で「不満」と「やや不満」の合計が全体より高くなっている。

居住地区別では、久津川、古川、青谷で「不満」と「やや不満」の合計が全体より高くなっている。一方、深谷、今池で「満足」と「やや満足」の合計が全体より高く、他の地域と比較して路線バスの利用しやすさに対して満足と感じている人の割合が高くなっている。

※ 路線バス：市が補助金を交付して運行している近鉄寺田駅と市内北東部、プラムイン城陽を結ぶ路線及びプラムイン城陽と水主地域、長池地域を結ぶ路線をいう。

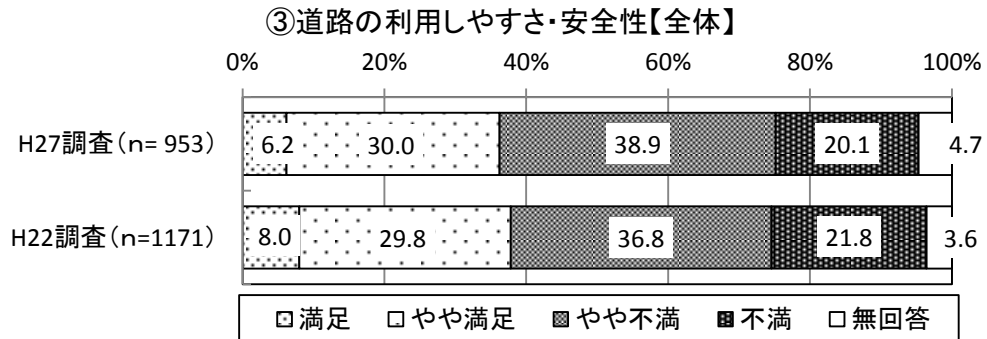
②路線バスの利用しやすさ



③道路の利用しやすさ・安全性

全体では、「やや不満」と回答した人が38.9%で最も多く、次いで「やや満足」が30.0%となっている。「不満」と「やや不満」を合計すると約6割の人が道路の利用しやすさ・安全性に対して不満に感じている。

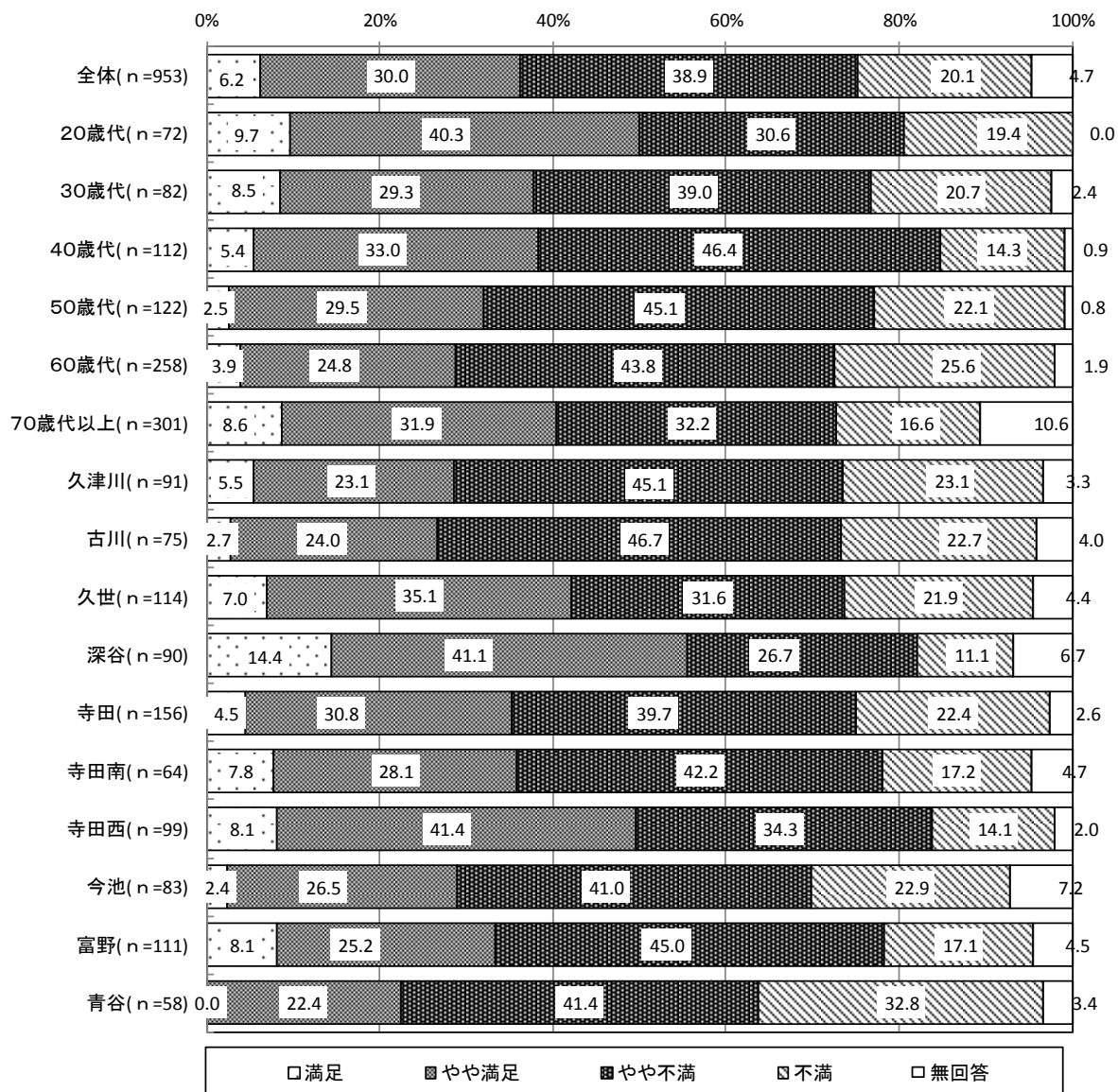
前回の調査と比較すると、大きな変化はみられない。



年齢別では、いずれの年齢でも全体と同じ傾向となっているが、20歳代では「満足」と「やや満足」の合計が全体より高くなっている。

居住地区別では、青谷で「不満」と「やや不満」の合計が全体より高くなっている。一方、深谷、寺田西で「満足」と「やや満足」の合計が全体より高く、他の地域と比較して道路の利用しやすさ・安全性に対して満足と感じている人の割合が高くなっている。

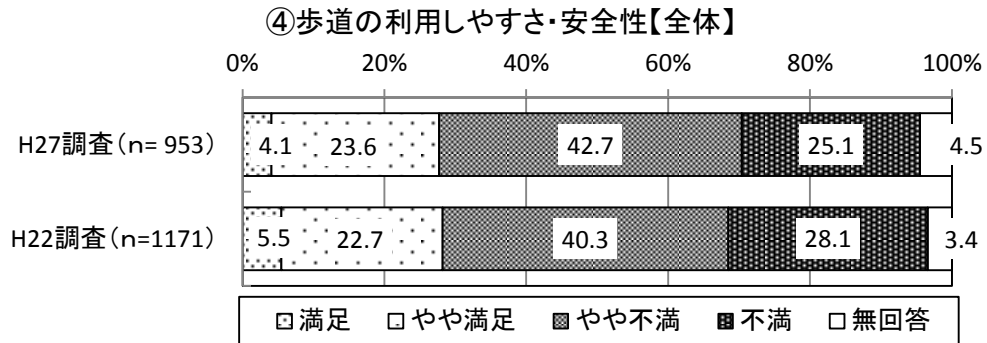
③道路の利用しやすさ・安全性



④歩道の利用しやすさ・安全性

全体では、「やや不満」と回答した人が 42.7%で最も多く、次いで「不満」が 25.1%となっている。「不満」と「やや不満」を合計すると約 7 割の人が歩道の利用しやすさ・安全性に対して不満に感じている。

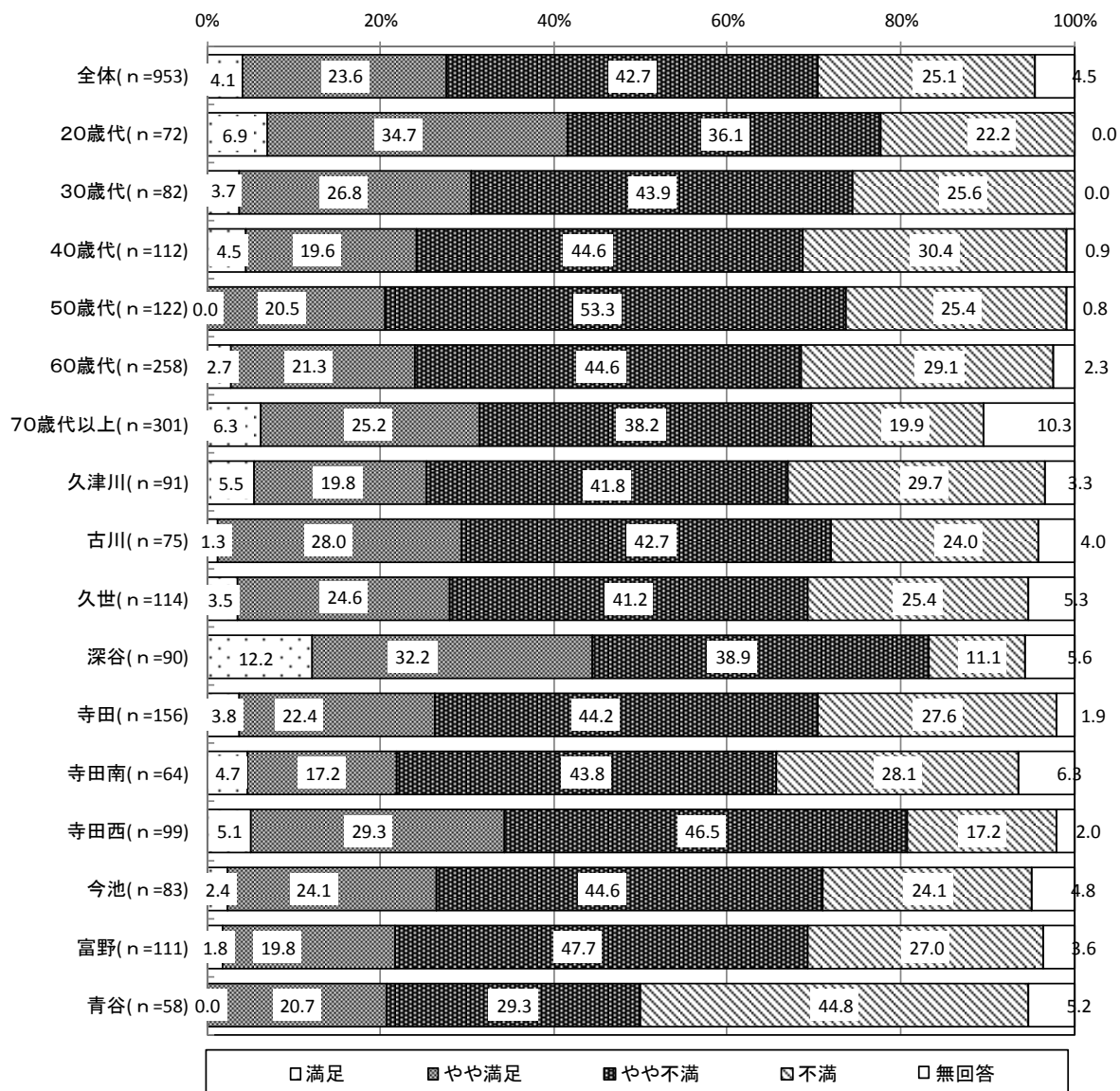
前回の調査と比較すると、大きな変化はみられない。



年齢別では、20歳代で「満足」と「やや満足」の合計が全体より高くなっているが、いずれの年齢でも歩道の利用しやすさ・安全性に対して不満に感じている人の割合が高くなっている。特に 50 歳代では「不満」と「やや不満」の合計が全体より高くなっている。

居住地区別では、深谷で「満足」と「やや満足」の合計が全体より高くなっているが、いずれの地域でも歩道の利用しやすさ・安全性に対して不満に感じている人の割合が高くなっている。

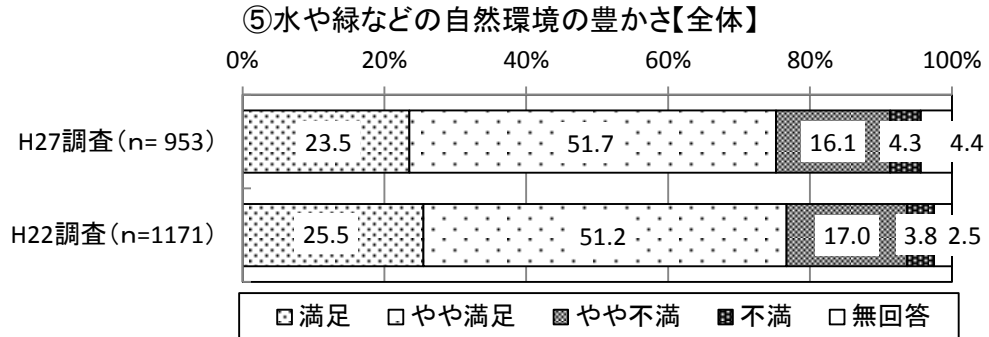
④歩道の利用しやすさ・安全性



⑤水や緑などの自然環境の豊かさ

全体では、「やや満足」と回答した人が51.7%で最も多く、次いで「満足」が23.5%となっている。「満足」と「やや満足」を合計すると約7割の人が水や緑などの自然環境の豊かさに対して満足と感じている。

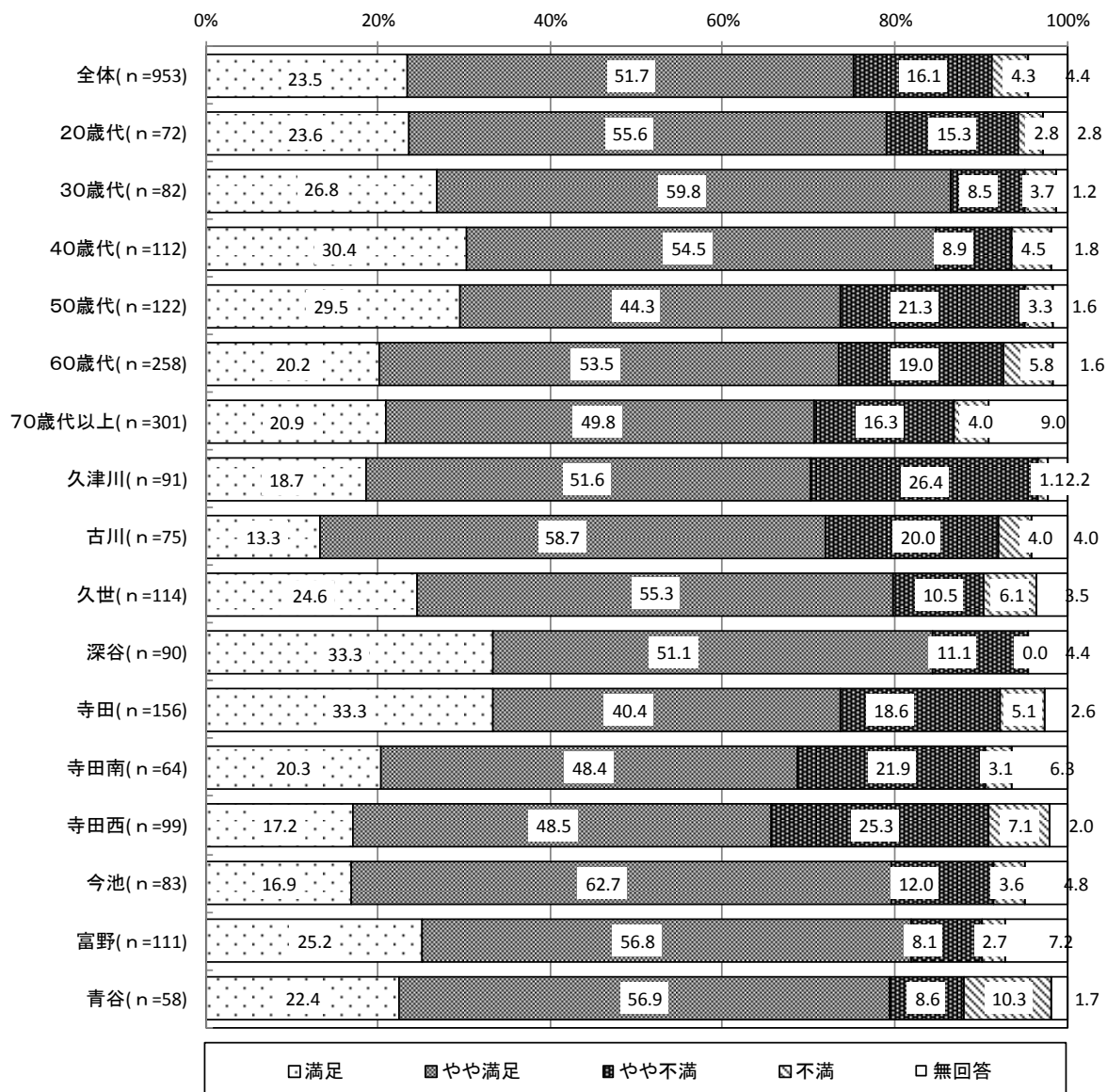
前回の調査と比較すると、大きな変化はみられない。



年齢別では、いずれの年齢でも全体と同じ傾向となっているが、年齢層が上がるに従って「満足」と「やや満足」の合計は低くなっている。

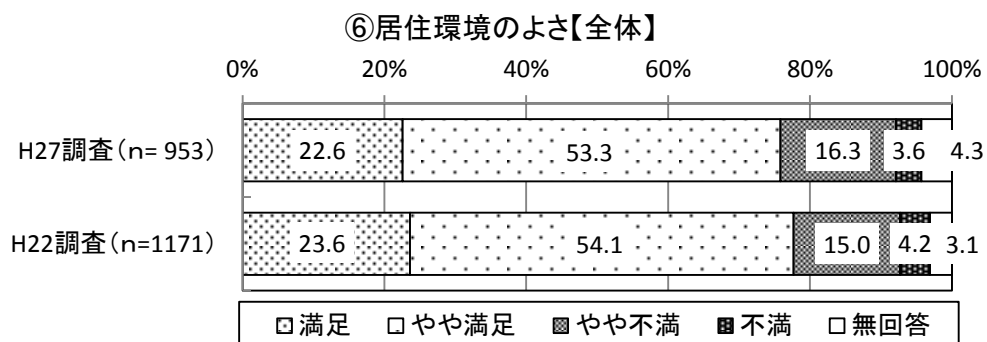
居住地区別では、いずれの地域でも全体と同じ傾向となっている。

⑤水や緑などの自然環境の豊かさ



⑥居住環境のよさ

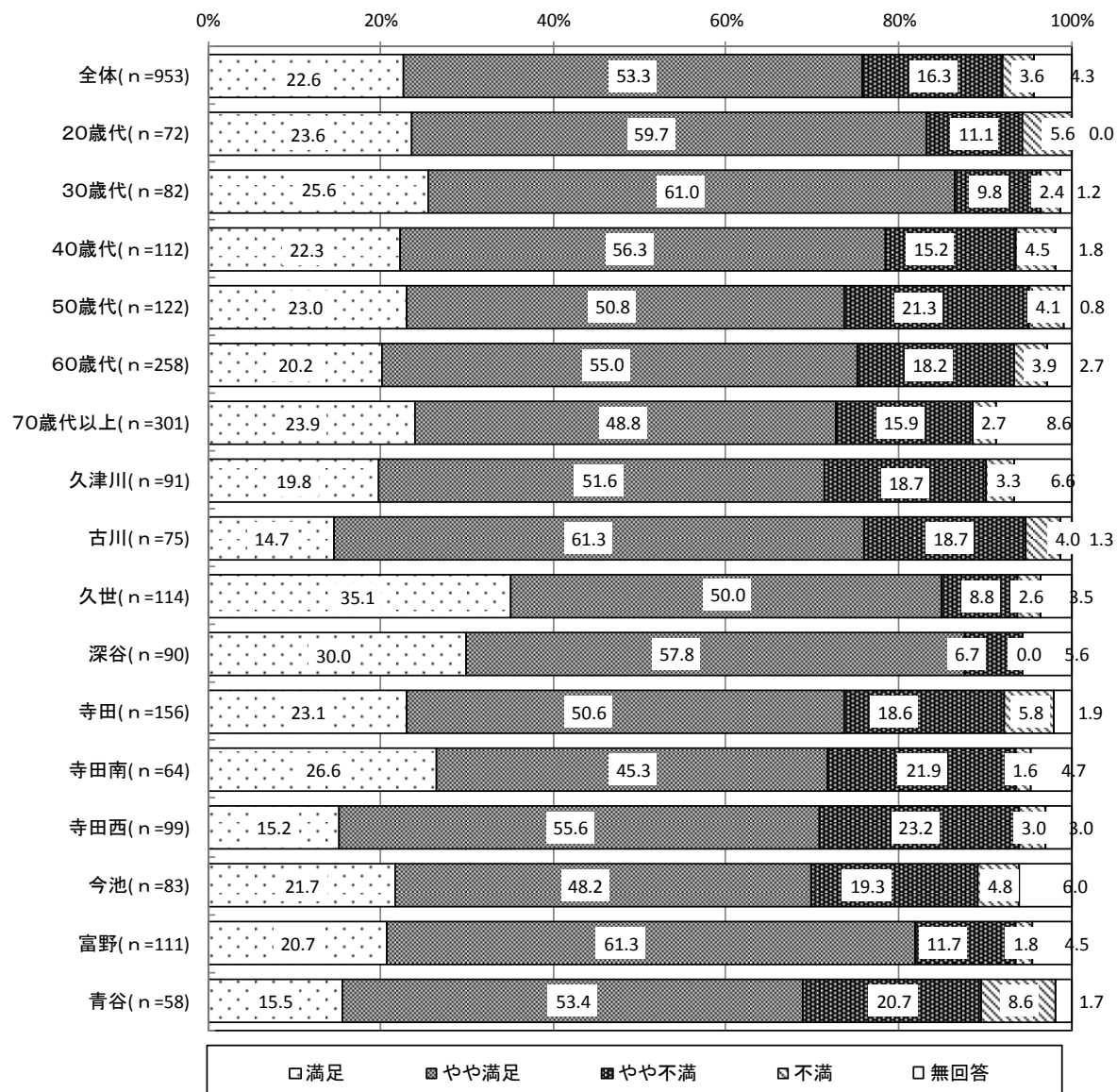
全体では、「やや満足」と回答した人が53.3%で最も多く、次いで「満足」が22.6%となっている。「満足」と「やや満足」を合計すると約8割の人が居住環境のよさに対して満足と感じている。前回の調査と比較すると、大きな変化はみられない。



年齢別では、いずれの年齢でも全体と同じ傾向となっている。

居住地区別では、深谷で「満足」と「やや満足」の合計した割合が全体より高くなっている。

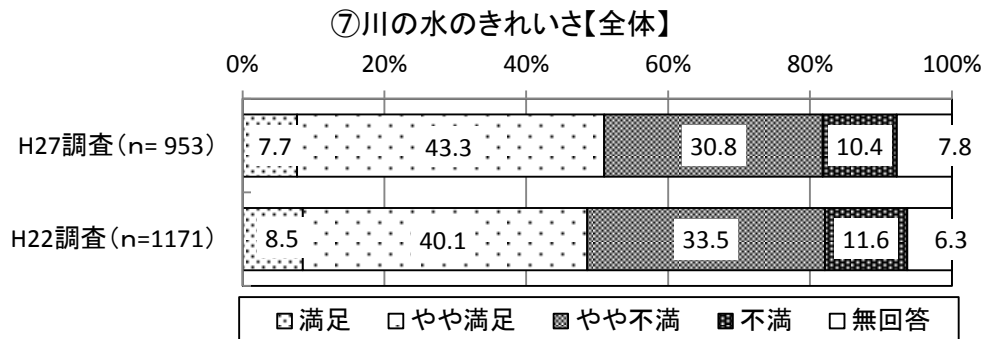
⑥居住環境のよさ



⑦川の水のきれいさ

全体では、「やや満足」と回答した人が43.3%で最も多く、次いで「やや不満」が30.8%となっている。「満足」と「やや満足」を合計すると約5割の人が川の水のきれいさに対して満足と感じているが、「やや不満」と「不満」の合計も約4割となっている。

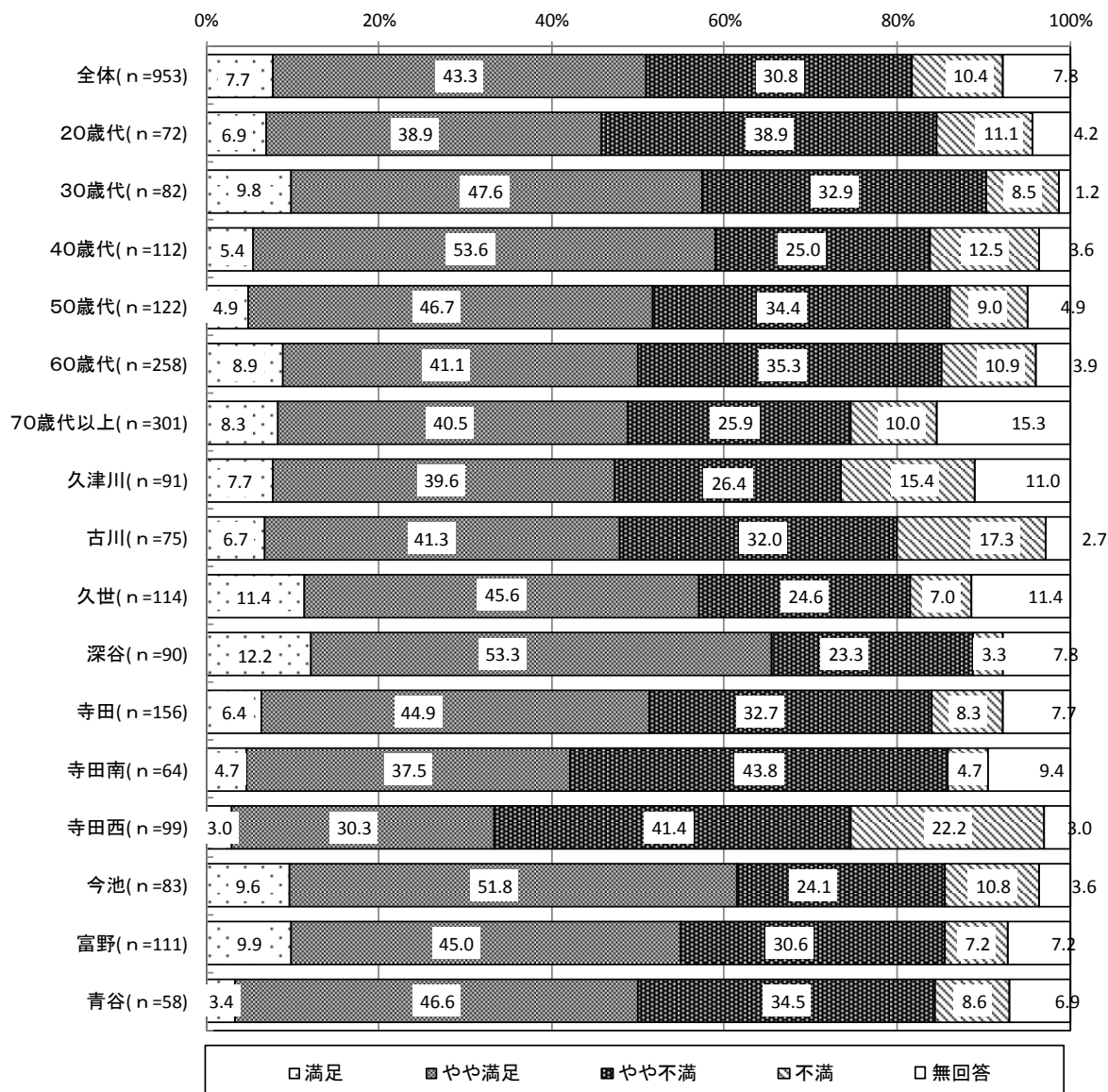
前回の調査と比較すると、大きな変化はみられない。



年齢別では、いずれの年齢でも全体と同じ傾向となっている。

居住地区別では、深谷、今池で「満足」と「やや満足」の合計が全体より高くなっている。一方、寺田西で「不満」と「やや不満」の合計が全体より高く、他の地域と比較して川の水のきれいさに対して不満と感じている人の割合が高くなっている。

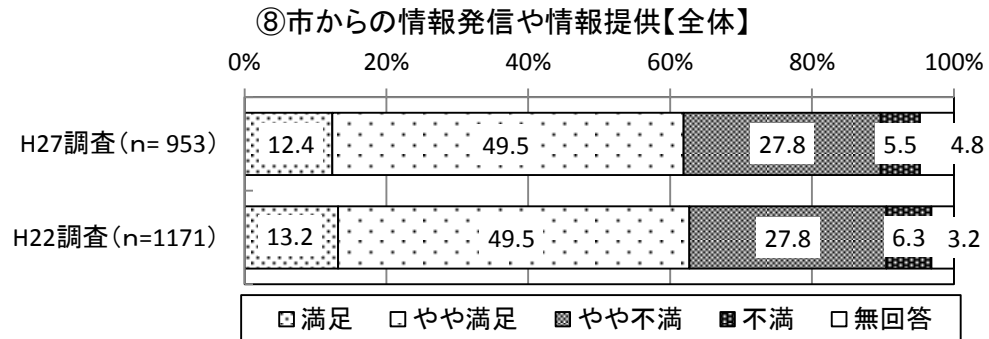
⑦川の水のきれいさ



⑧市からの情報発信や情報提供

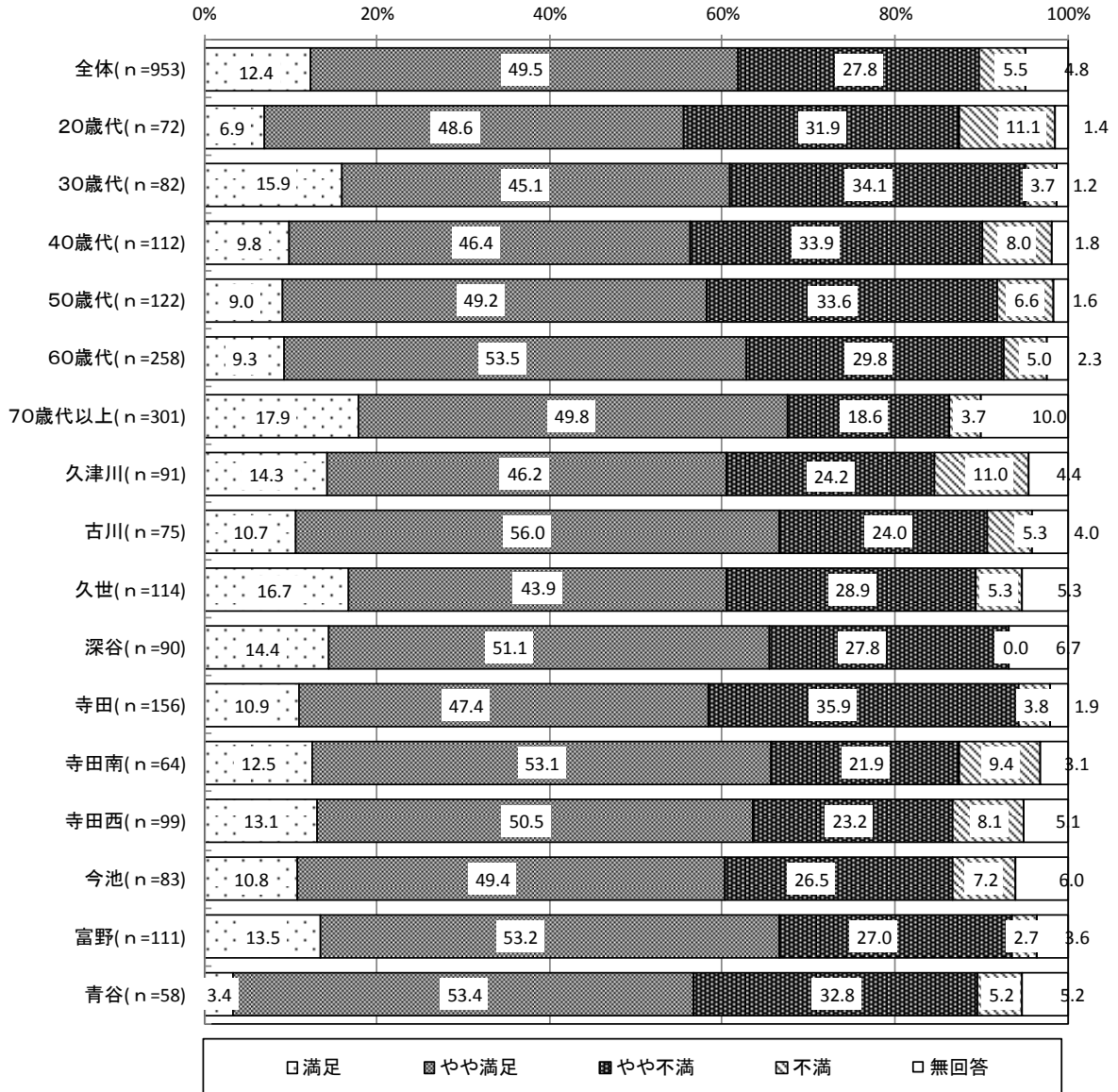
全体では、「やや満足」と回答した人が49.5%で最も多く、次いで「やや不満」が27.8%となっている。「満足」と「やや満足」を合計すると約6割の人が市からの情報発信や情報提供に対して満足と感じている。

前回の調査と比較すると、大きな変化はみられない。



年齢別、居住地区別とも、全体と同じ傾向となっている。

⑧市からの情報発信や情報提供



Ⅲ. 城陽市における施策について

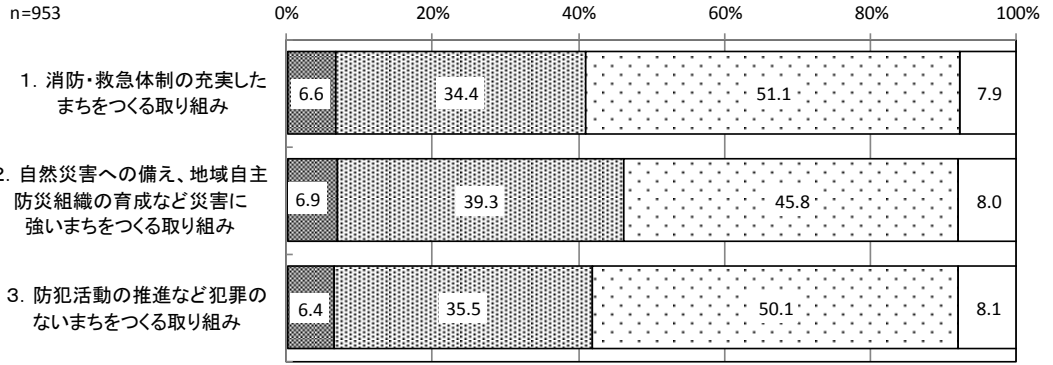
(1) 城陽市における現在の取り組みについてご存知ですか(現在の認知度)。また、その取り組みの現状はどうか(現在の満足度)。そして、そのことが今後どの程度重要であると思いますか(今後の重要度)。あなたの生活実感やイメージに基づいて、あなたのお考えに最も近い番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

①認知度

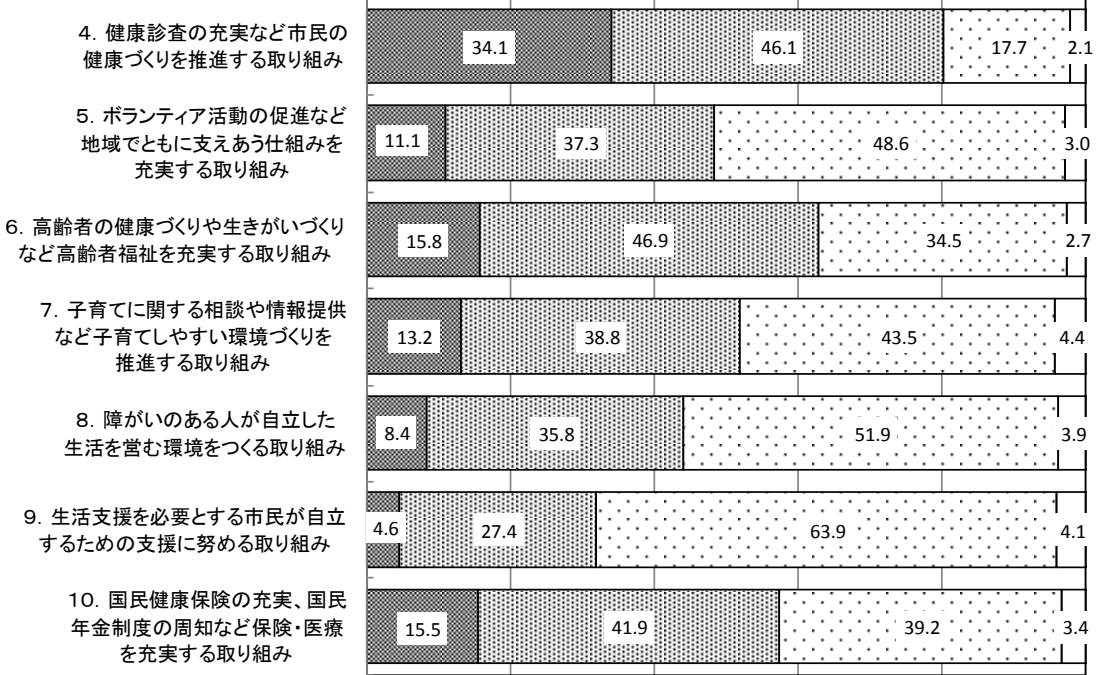
取り組みの認知度では、「(4)健康診査の充実など市民の健康づくりを推進する取り組み」「(6)高齢者の健康づくりや生きがいづくりなど高齢者福祉を充実する取り組み」「(7)子育てに関する相談や情報提供など子育てしやすい環境づくりを推進する取り組み」「(10)国民健康保険の充実、国民年金制度の周知など保険・医療を充実する取り組み」「(17)スポーツ・レクリエーションを振興する取り組み」「(24)下水道の整備を進め生活環境の向上を図る取り組み」「(35)ごみの減量化、再資源化など持続可能な資源循環型社会の構築を推進する取り組み」の7施策で「知っている」「少し知っている」をあわせた割合が5割以上となっており、健康、福祉、環境といった生活に密着した施策の割合が高くなっている。特に、“健康で幸せなまちづくり”では、7施策中4施策が5割以上となっており、健康に関する取り組みが一定認知されていることがわかる。

一方、「(22)老朽化した木造住宅の建替促進など良好な住環境をつくる取り組み」「(25)墓地の確保を検討する取り組み」「(30)農業の振興を図る取り組み」「(33)消費者保護を推進する取り組み」「(43)適正で効率的・効果的な行政運営を推進する取り組み」「(44)持続可能な財政運営を実現する取り組み」「(45)行政評価や進行管理の実施など戦略的に行政経営を推進する取り組み」の7施策で「知っている」「少し知っている」をあわせた割合が2割以下となっており、積極的なPR活動を行う必要があると考えられる。特に、“活力に満ちたまちづくり”では、4施策中2施策が、“信頼される市政運営”では、5施策中3施策が2割以下となっており、産業振興、市政運営に関する取組みが十分に認知されていないことがわかる。

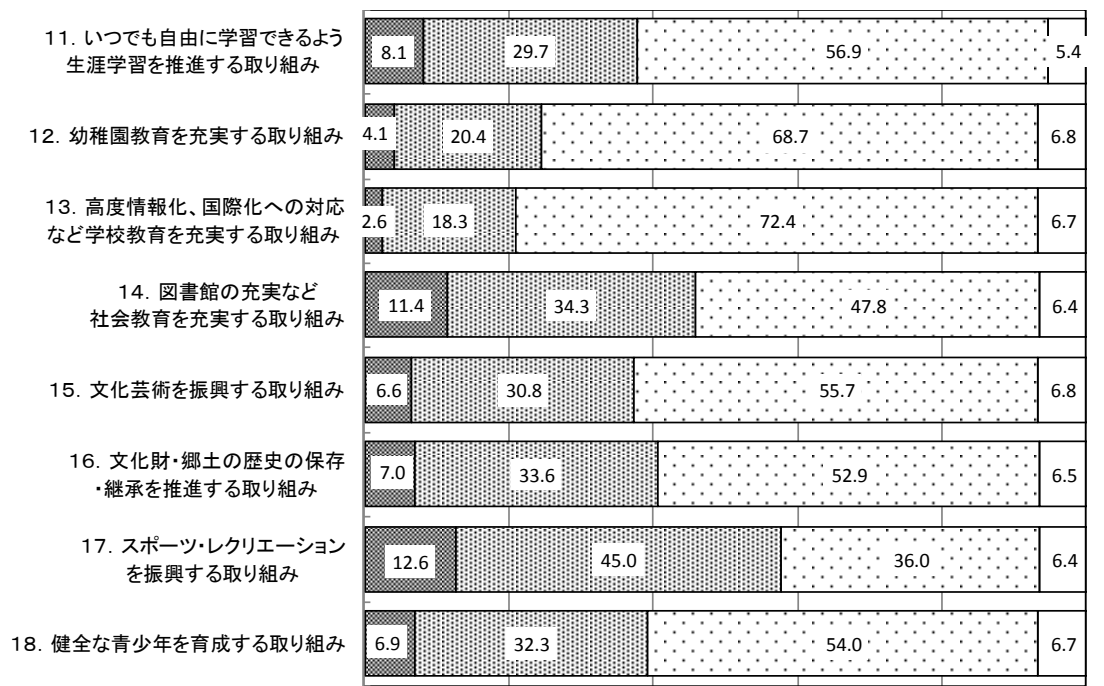
安心・安全のまちづくり



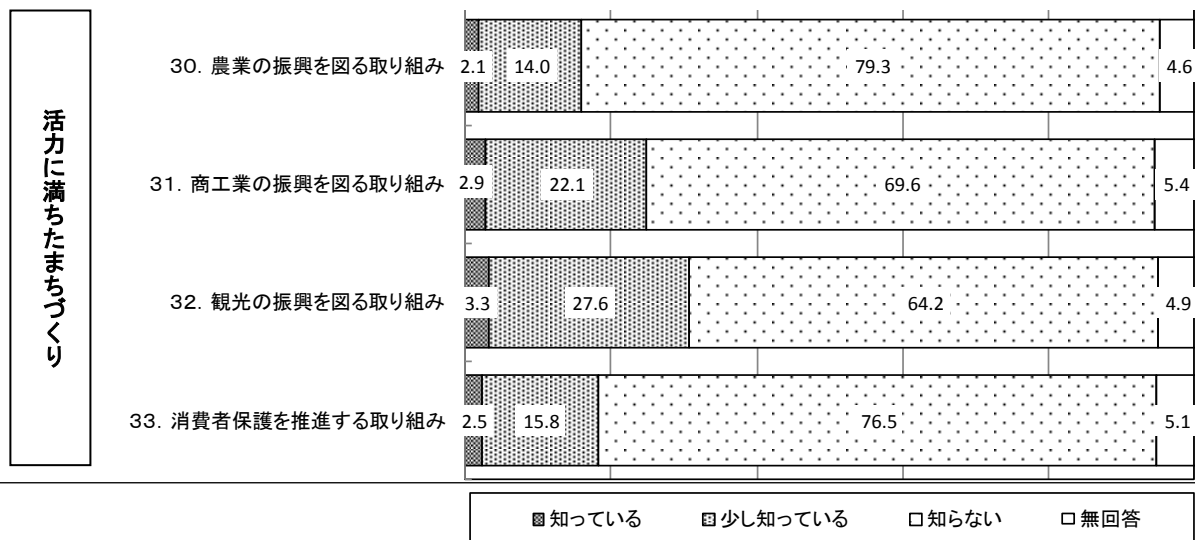
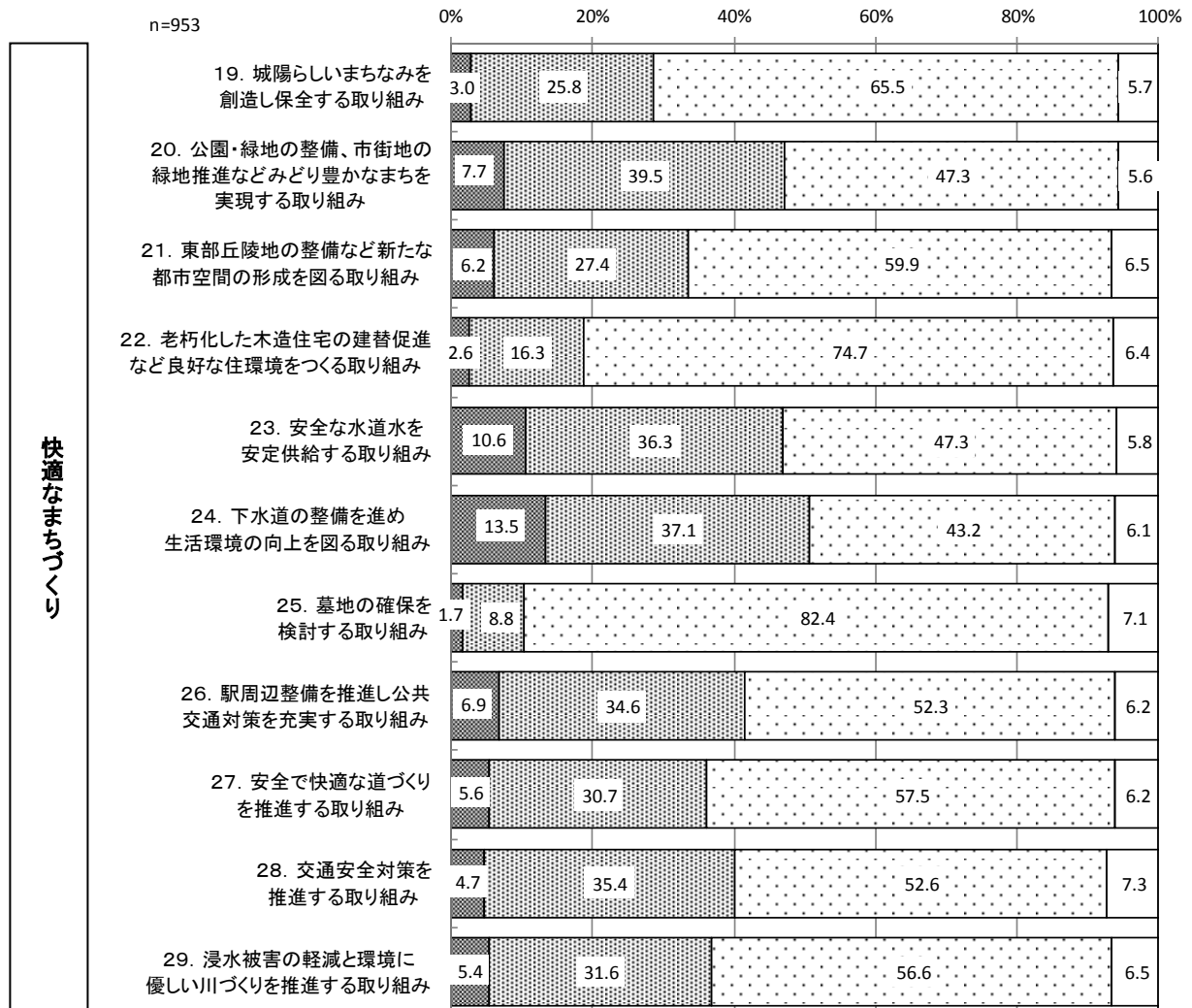
健康で幸せなまちづくり



心がふれあうまちづくり



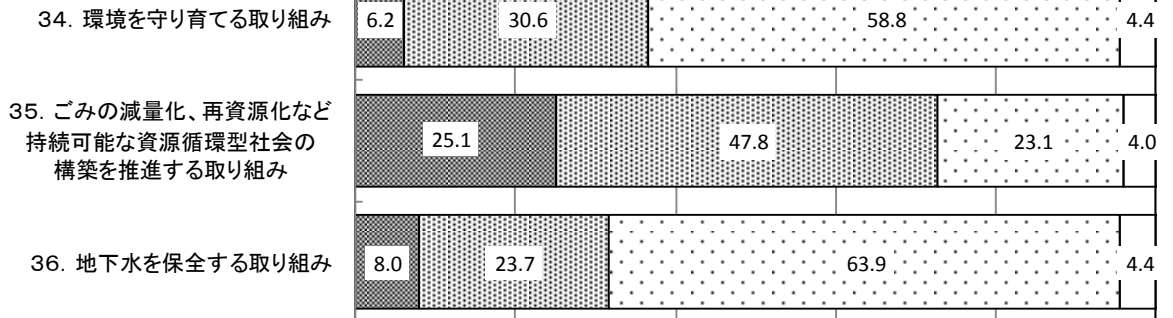
■ 知っている ▨ 少し知っている □ 知らない □ 無回答



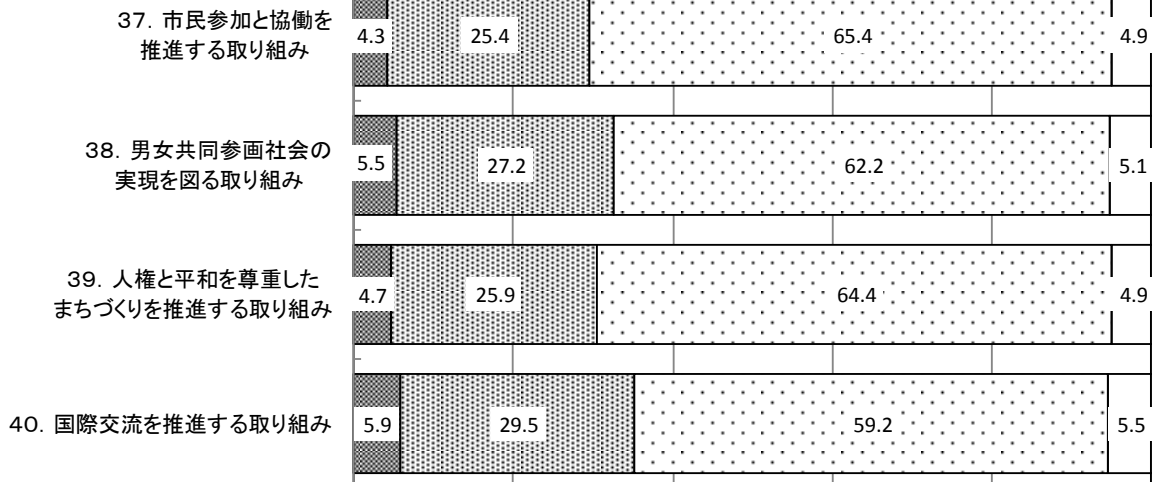
n=953

0% 20% 40% 60% 80% 100%

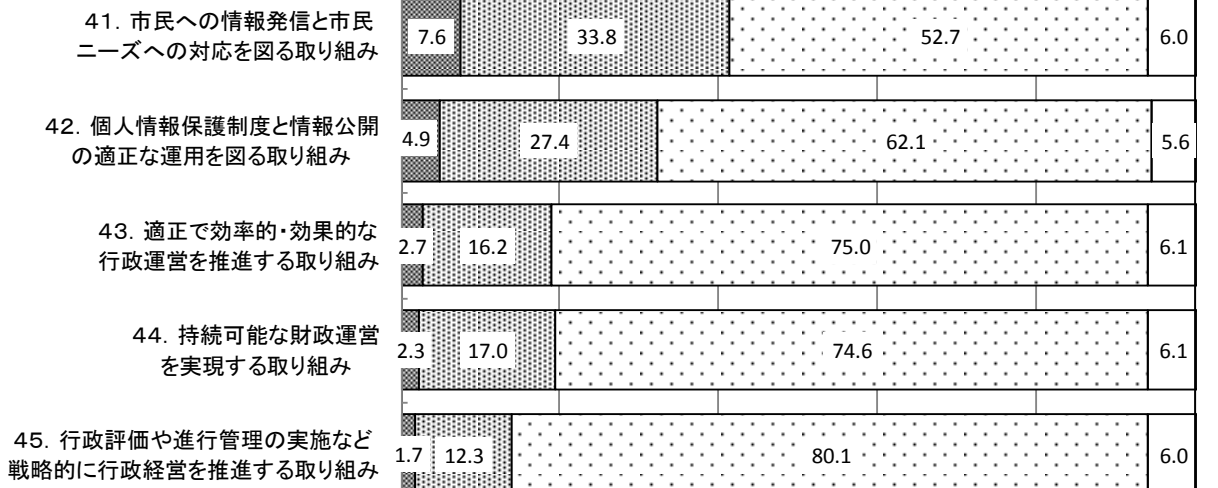
環境にやさしいまちづくり



市民と進めるまちづくり



信頼される市政運営



■ 知っている □ 少し知っている □ 知らない □ 無回答

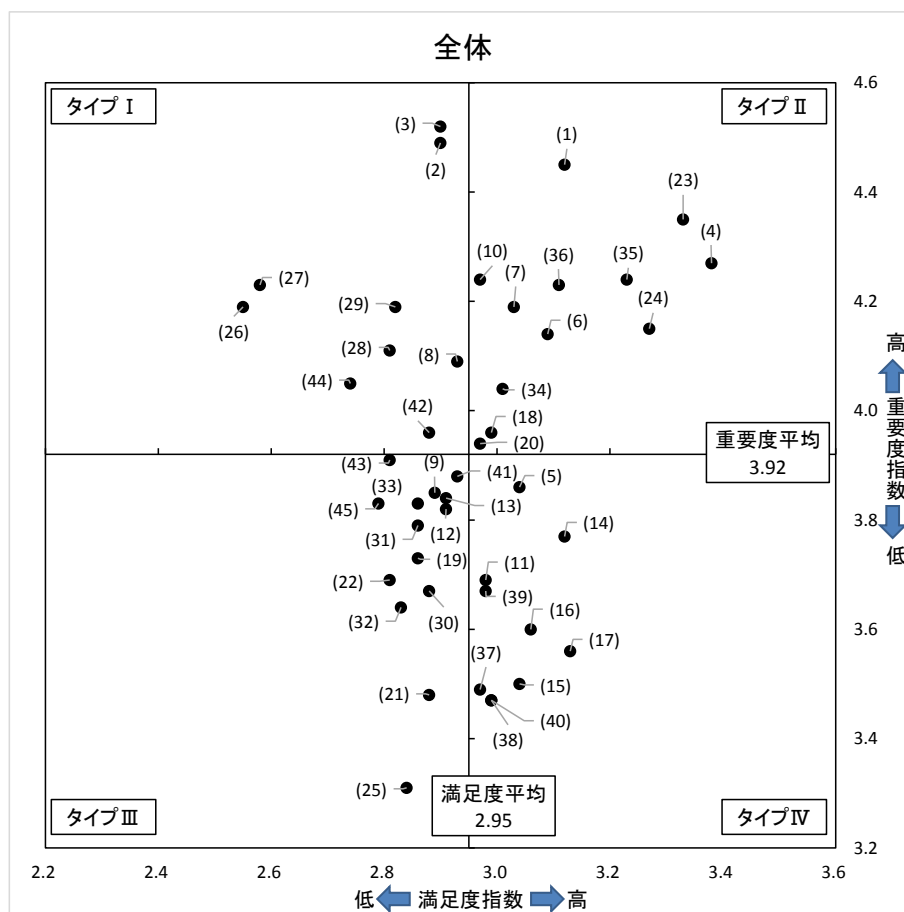
②満足度、重要度

取り組みの満足度、重要度については、満足度を横軸、重要度を縦軸にして、各施策のポジショニングを行った散布図を作成し、施策相互の位置関係を示すことにより特性の把握を行った。

散布図ではタイプⅠ（満足度が低く、重要度が高い施策）に該当する施策が取り組みの必要性が高いものであり、タイプⅡ（満足度が高く、重要度も高い施策）に該当する施策は住民から一定の満足感は得られているが、今後さらに施策を充実していくことが求められているものを表している。

全体を示した散布図では、タイプⅠに該当する施策として9施策があり、特に「(26) 駅周辺整備を推進し公共交通対策を充実する取り組み」「(27) 安全で快適な道づくりを推進する取り組み」「(44) 持続可能な財政運営を実現する取り組み」の3施策が取り組みの必要性が高い施策と考えられる。

また、タイプⅠに属する施策のうちで、特に満足度が低く、重要度が高い7施策(2, 3, 26, 27, 28, 29, 44)について、認知度をあわせて見ると、「(2) 自然災害への備え、地域自主防災組織の育成など災害に強いまちをつくる取り組み」「(3) 防犯活動の推進など犯罪のないまちをつくる取り組み」「(26) 駅周辺整備を推進し公共交通対策を充実する取り組み」「(28) 交通安全対策を推進する取り組み」では、「知っている」「少し知っている」の合計が4割以上となっており、住民に一定認知されているうえで、満足度が低くなっていることから、これらはアンケート調査においては取り組みの必要性が最も高い施策のグループであると考えられる。



<散布図の作成方法>

満足度、重要度の選択肢である「満足している」「重要である」を5点、「どちらかといえば満足している」「やや重要である」を4点、「ふつう」を3点、「やや不満である」「あまり重要でない」を2点、「不満である」「重要ではない」を1点とし、45の取り組みごとに各選択肢の回答数と上記の点数を乗じ、それを回答者数で除することで点数を算出した。散布図の原点は満足度の平均点（2.95点）と重要度の平均点（3.92点）が交わる部分となり、その交差部分が最も平均的な評価となっている施策とみなすことができる。

項目	全体		
	満足度	重要度	
安心・安全のまちづくり	(1) 消防・救急体制の充実したまちをつくる取り組み	3.12	4.45
	(2) 自然災害への備え、地域自主防災組織の育成など災害に強いまちをつくる取り組み	2.90	4.49
	(3) 防犯活動の推進など犯罪のないまちをつくる取り組み	2.90	4.52
健康で幸せなまちづくり	(4) 健康診査の充実など市民の健康づくりを推進する取り組み	3.38	4.27
	(5) ボランティア活動の促進など地域でともに支えあう仕組みを充実する取り組み	3.04	3.86
	(6) 高齢者の健康づくりや生きがいづくりなど高齢者福祉を充実する取り組み	3.09	4.14
	(7) 子育てに関する相談や情報提供など子育てしやすい環境づくりを推進する取り組み	3.03	4.19
	(8) 障がいのある人が自立した生活を営む環境をつくる取り組み	2.93	4.09
	(9) 生活支援を必要とする市民が自立するための支援に努める取り組み	2.89	3.85
	(10) 国民健康保険の充実、国民年金制度の周知など保険・医療を充実する取り組み	2.97	4.24
心がふれあうまちづくり	(11) いつでも自由に学習できるよう生涯学習を推進する取り組み	2.98	3.69
	(12) 幼稚園教育を充実する取り組み	2.91	3.82
	(13) 高度情報化、国際化への対応など学校教育を充実する取り組み	2.91	3.84
	(14) 図書館の充実など社会教育を充実する取り組み	3.12	3.77
	(15) 文化芸術を振興する取り組み	3.04	3.50
	(16) 文化財・郷土の歴史の保存・継承を推進する取り組み	3.06	3.60
	(17) スポーツ・レクリエーションを振興する取り組み	3.13	3.56
	(18) 健全な青少年を育成する取り組み	2.99	3.96
快適なまちづくり	(19) 城陽らしいまちなみを創造し保全する取り組み	2.86	3.73
	(20) 公園・緑地の整備、市街地の緑地推進などみどり豊かなまちを実現する取り組み	2.97	3.94
	(21) 東部丘陵地の整備など新たな都市空間の形成を図る取り組み	2.88	3.48
	(22) 老朽化した木造住宅の建替促進など良好な住環境をつくる取り組み	2.81	3.69
	(23) 安全な水道水を安定供給する取り組み	3.33	4.35
	(24) 下水道の整備を進め生活環境の向上を図る取り組み	3.27	4.15
	(25) 墓地の確保を検討する取り組み	2.84	3.31
	(26) 駅周辺整備を推進し公共交通対策を充実する取り組み	2.55	4.19
	(27) 安全で快適な道づくりを推進する取り組み	2.58	4.23
	(28) 交通安全対策を推進する取り組み	2.81	4.11
	(29) 浸水被害の軽減と環境に優しい川づくりを推進する取り組み	2.82	4.19
活力に満ちたまちづくり	(30) 農業の振興を図る取り組み	2.88	3.67
	(31) 商工業の振興を図る取り組み	2.86	3.79
	(32) 観光の振興を図る取り組み	2.83	3.64
	(33) 消費者保護を推進する取り組み	2.86	3.83
環境にやさしいまちづくり	(34) 環境を守り育てる取り組み	3.01	4.04
	(35) ごみの減量化、再資源化など持続可能な資源循環型社会の構築を推進する取り組み	3.23	4.24
	(36) 地下水を保全する取り組み	3.11	4.23
市民と進めるまちづくり	(37) 市民参加と協働を推進する取り組み	2.97	3.49
	(38) 男女共同参画社会の実現を図る取り組み	2.99	3.47
	(39) 人権と平和を尊重したまちづくりを推進する取り組み	2.98	3.67
	(40) 国際交流を推進する取り組み	2.99	3.47
信頼される市政運営	(41) 市民への情報発信と市民ニーズへの対応を図る取り組み	2.93	3.88
	(42) 個人情報保護制度と情報公開の適正な運用を図る取り組み	2.88	3.96
	(43) 適正で効率的・効果的な行政運営を推進する取り組み	2.81	3.91
	(44) 持続可能な財政運営を実現する取り組み	2.74	4.05
	(45) 行政評価や進行管理の実施など戦略的に行政経営を推進する取り組み	2.79	3.83
平均		2.95	3.92

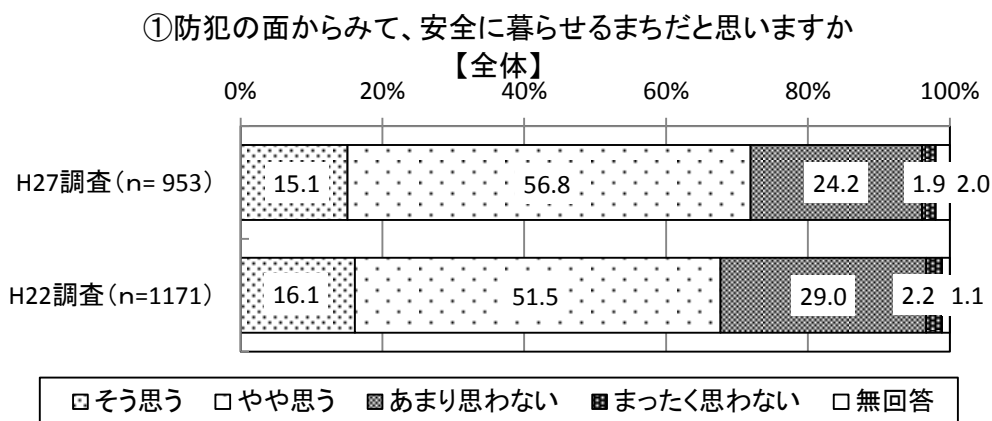
IV. 日常生活について

(1) あなたの普段の生活に関して、次の項目についておたずねします。あなたの実感に最も近い番号を1つ選んで○をつけてください。

①防犯の面からみて、安全に暮らせるまちだと思えますか

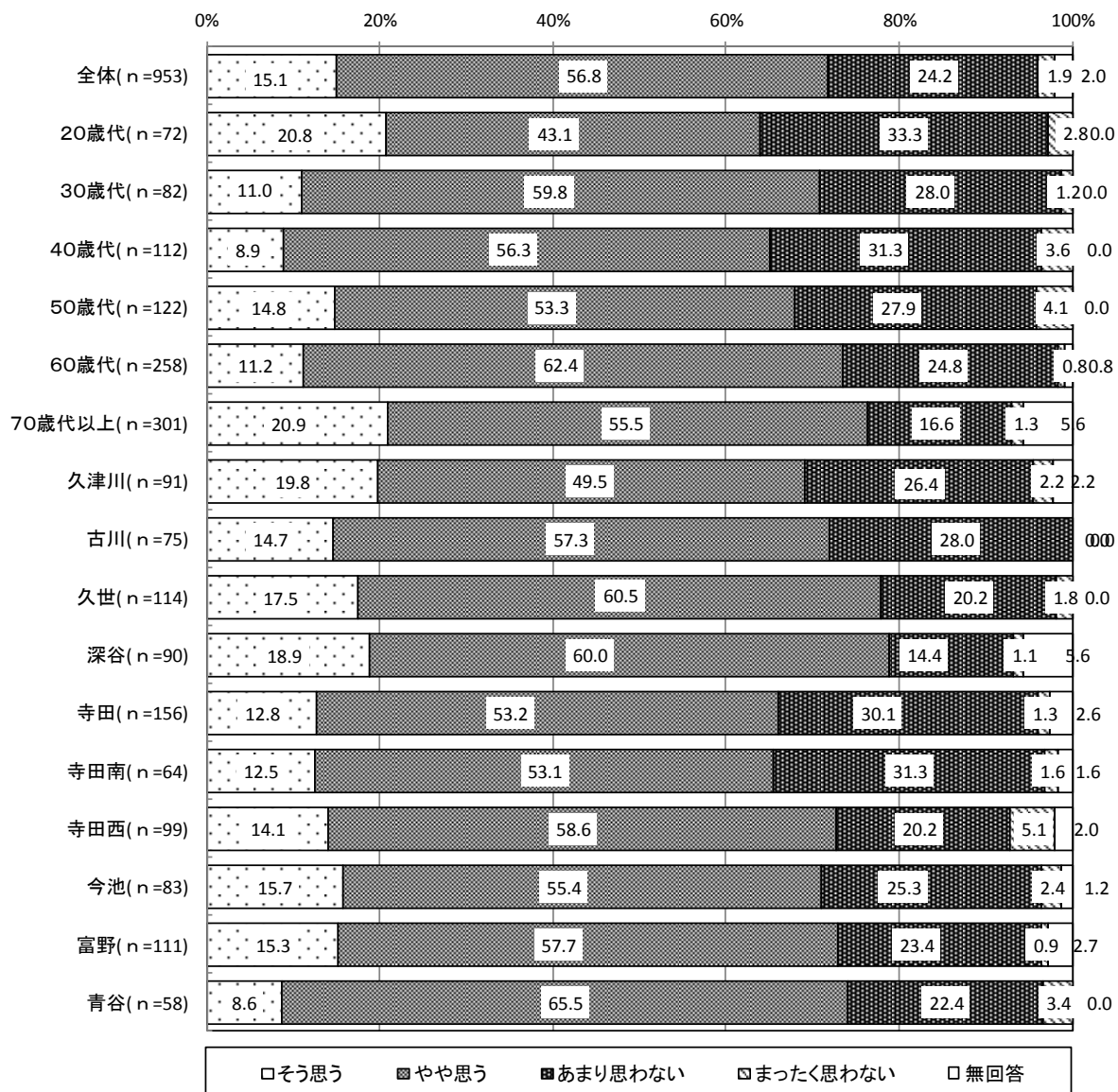
全体では、「やや思う」と回答した人が56.8%で最も多く、次いで「あまり思わない」が24.2%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約7割の人が防犯の面からみて、安全に暮らせるまちであると感じている。

前回の調査と比較すると、「そう思う」と「やや思う」の合計が4.3ポイント増加、「あまり思わない」と「まったく思わない」の合計が5.1ポイント減少しており、改善している傾向がうかがえる。



年齢別、居住地区別とも全体と同じ傾向となっている。

①防犯の面からみて、安全に暮らせるまちだと思いますか

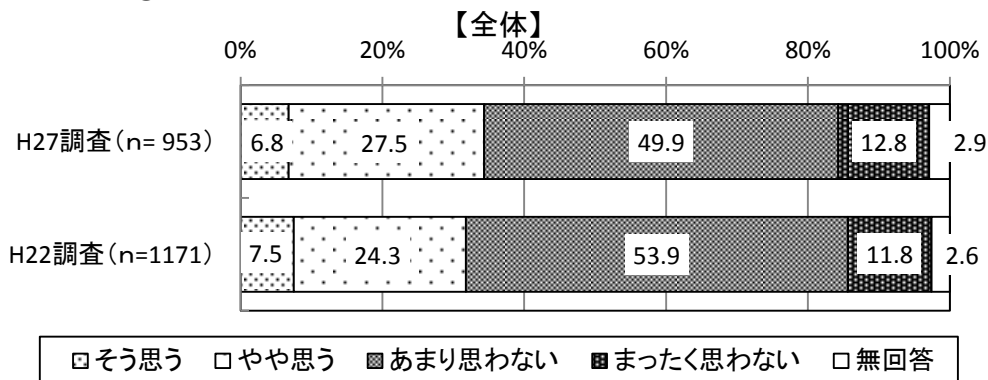


②市内を流れる川について、親しみやすいと感じていますか

全体では、「あまり思わない」と回答した人が49.9%で最も多く、次いで「やや思う」が27.5%となっている。「あまり思わない」と「まったく思わない」を合計すると約6割の人が市内を流れる川について、親しみやすいと感じていない。

前回の調査と比較すると、大きな変化はみられない。

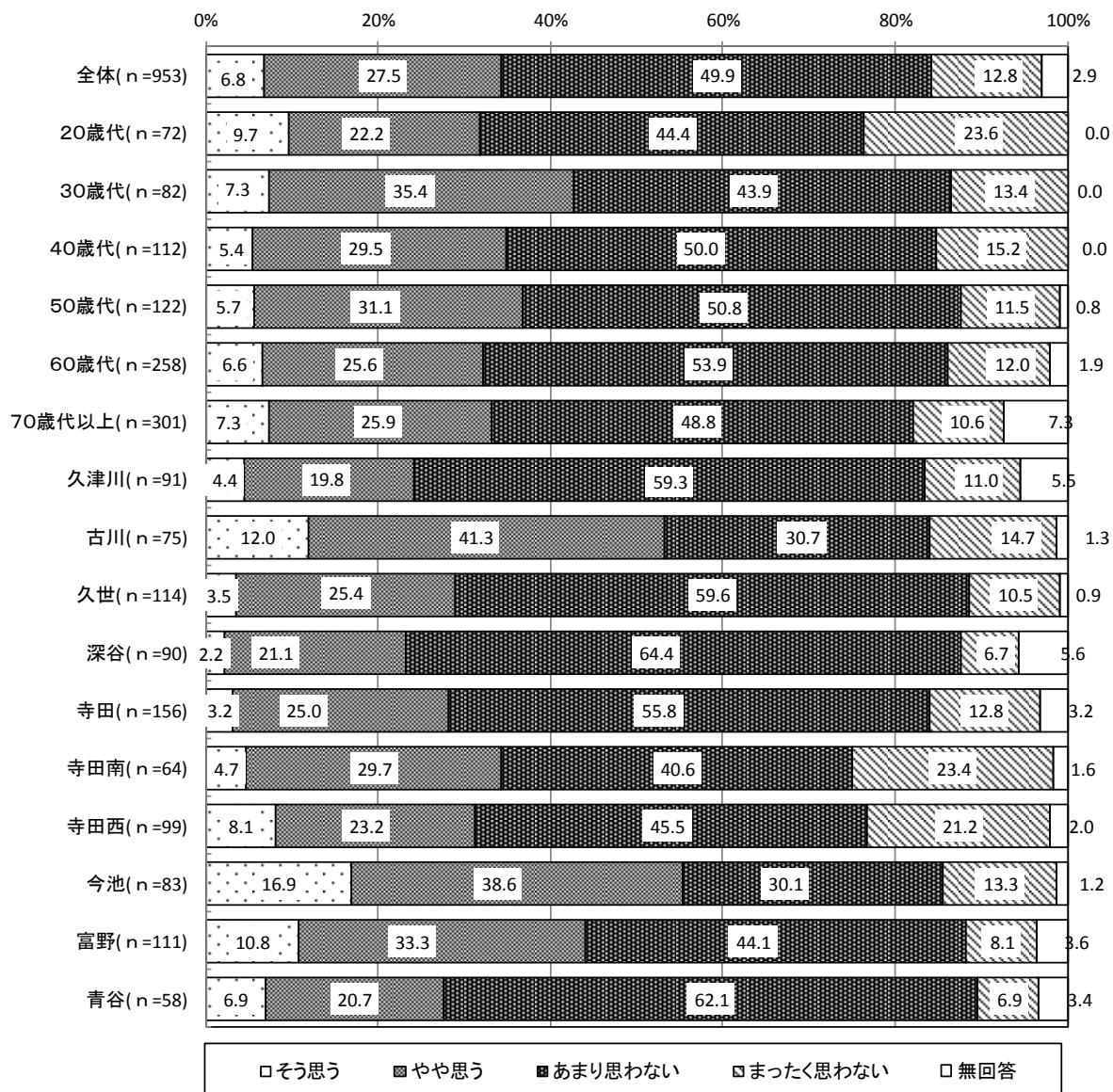
②市内を流れる川について、親しみやすいと感じていますか



年齢別では、いずれの年齢でも全体と同じ傾向となっている。

居住地区別では、今池、古川で「そう思う」と「やや思う」の合計が全体より高くなっている。

②市内を流れる川について、親しみやすいと感じていますか

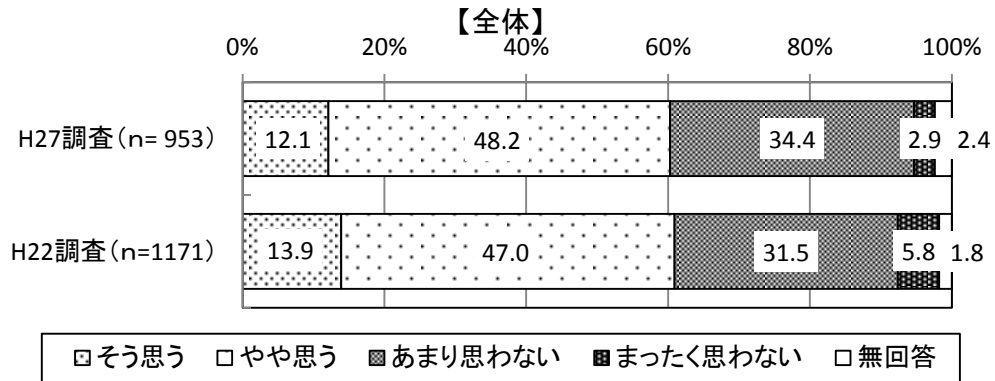


③高齢になっても、地域で安心して暮らせるまちだと思いますか

全体では、「やや思う」と回答した人が48.2%で最も多く、次いで「あまり思わない」が34.4%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約6割の人が、地域で安心して暮らせるまちだと感じている。

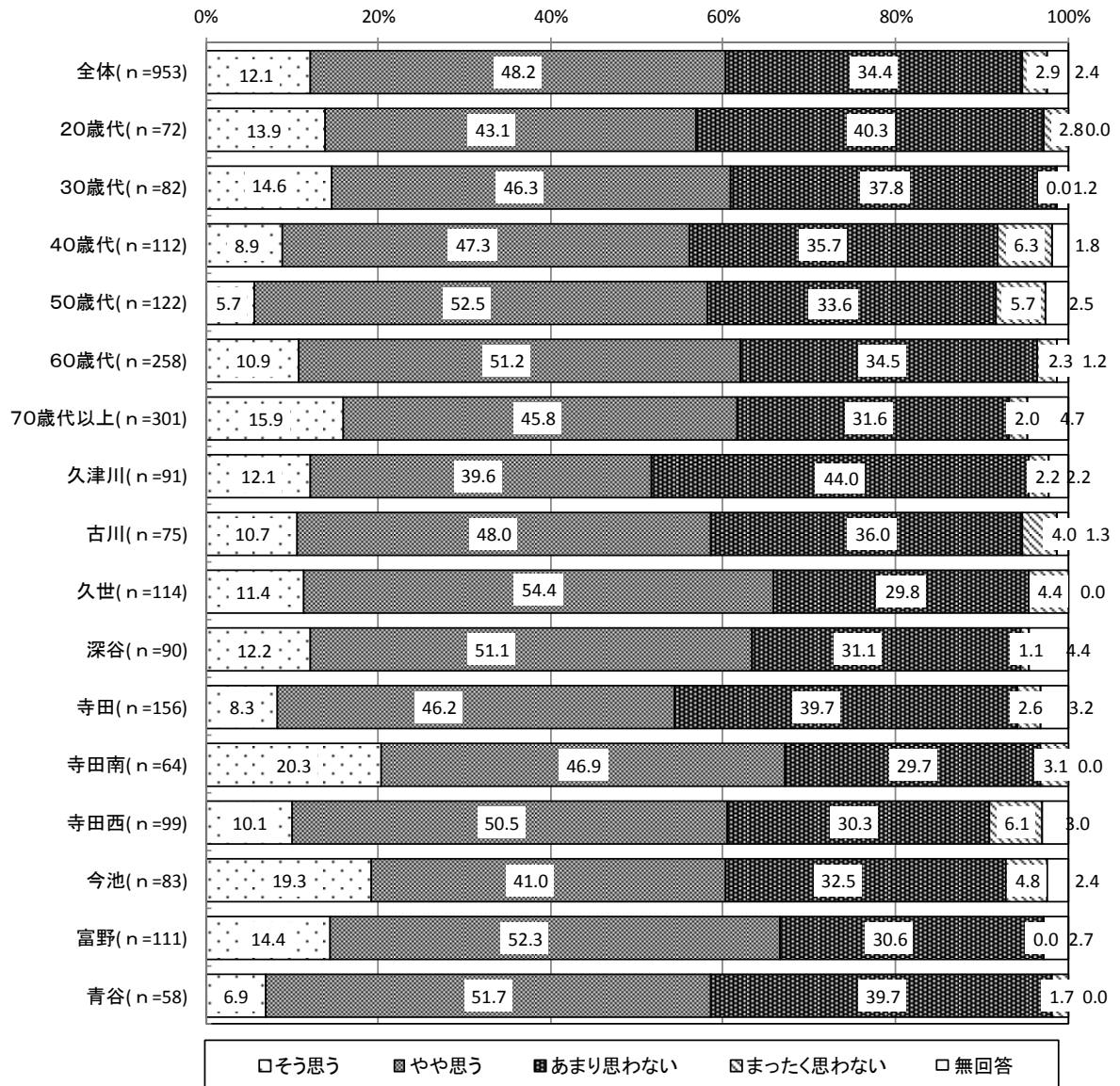
前回の調査と比較すると、大きな変化はみられない。

③高齢になっても、地域で安心して暮らせるまちだと思いますか



年齢別、居住地区別とも、全体と同じ傾向となっている。

③高齢になっても、地域で安心して暮らせるまちだと思いますか

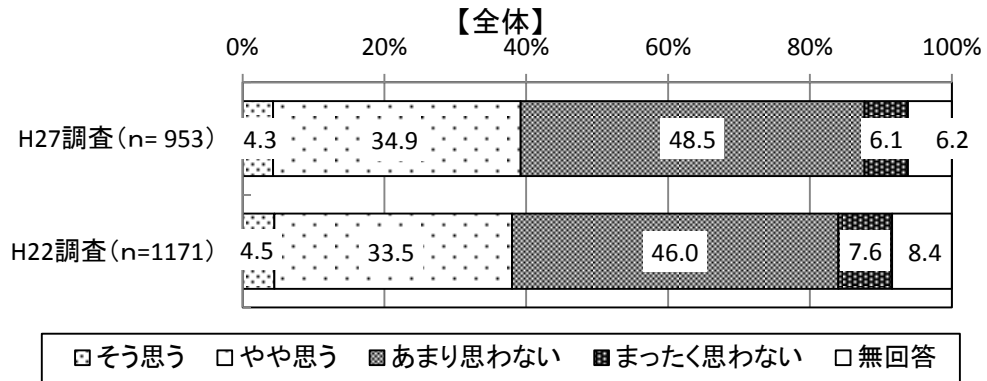


④働くことと子育てが両立できる環境が整っていると思いますか

全体では、「あまり思わない」と回答した人が48.5%で最も多く、次いで「やや思う」が34.9%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約4割の人が働くことと子育てが両立できる環境が整っていると感じている。

前回の調査と比較すると、大きな変化はみられない。

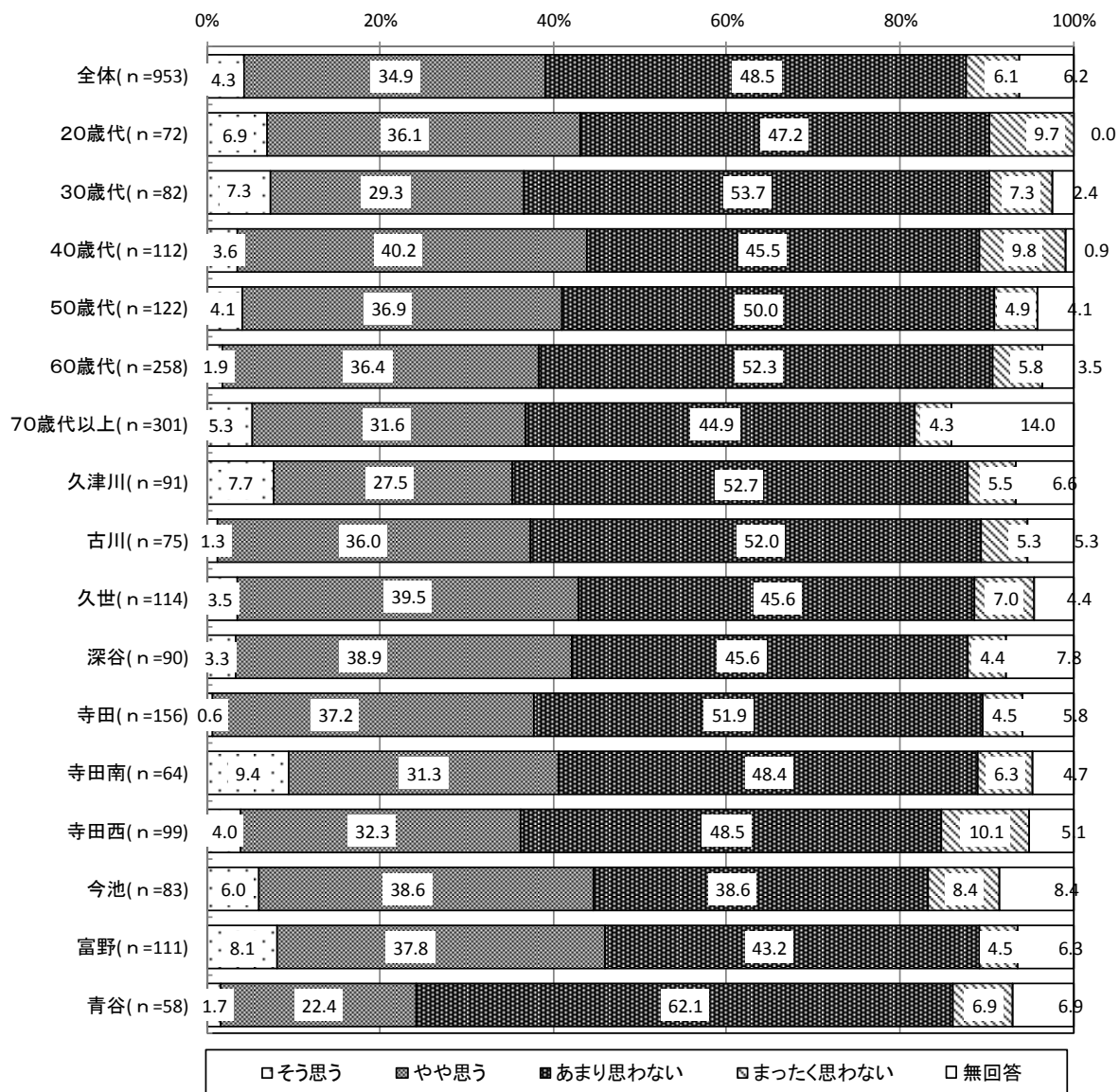
④働くことと子育てが両立できる環境が整っていると思いますか



年齢別では、いずれの年齢でも全体と同じ傾向となっている。

居住地区別では、いずれの居住地区でも全体と同じ傾向となっているが、特に、青谷で「思わない」と「あまり思わない」の合計が全体より高くなっている。

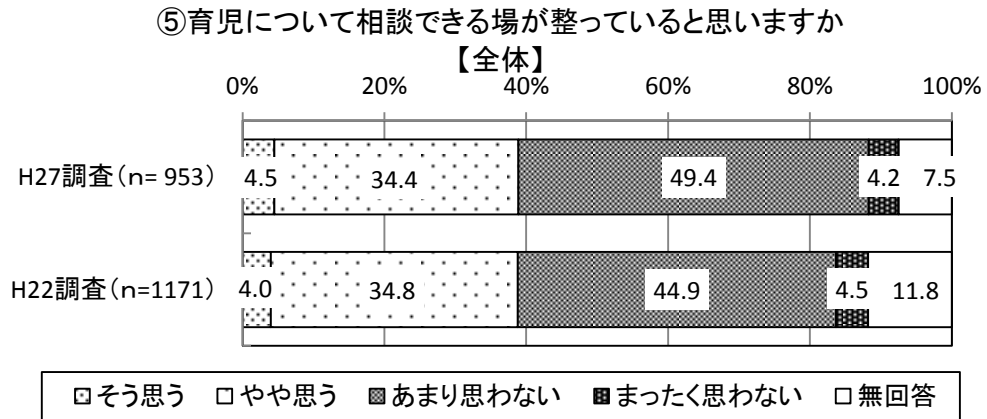
④働くことと子育てが両立できる環境が整っていると思いますか



⑤育児について相談できる場が整っていると思いますか

全体では、「あまり思わない」と回答した人が49.4%で最も多く、次いで「やや思う」が34.4%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約4割の人が育児について相談できる場が整っていると感じている。

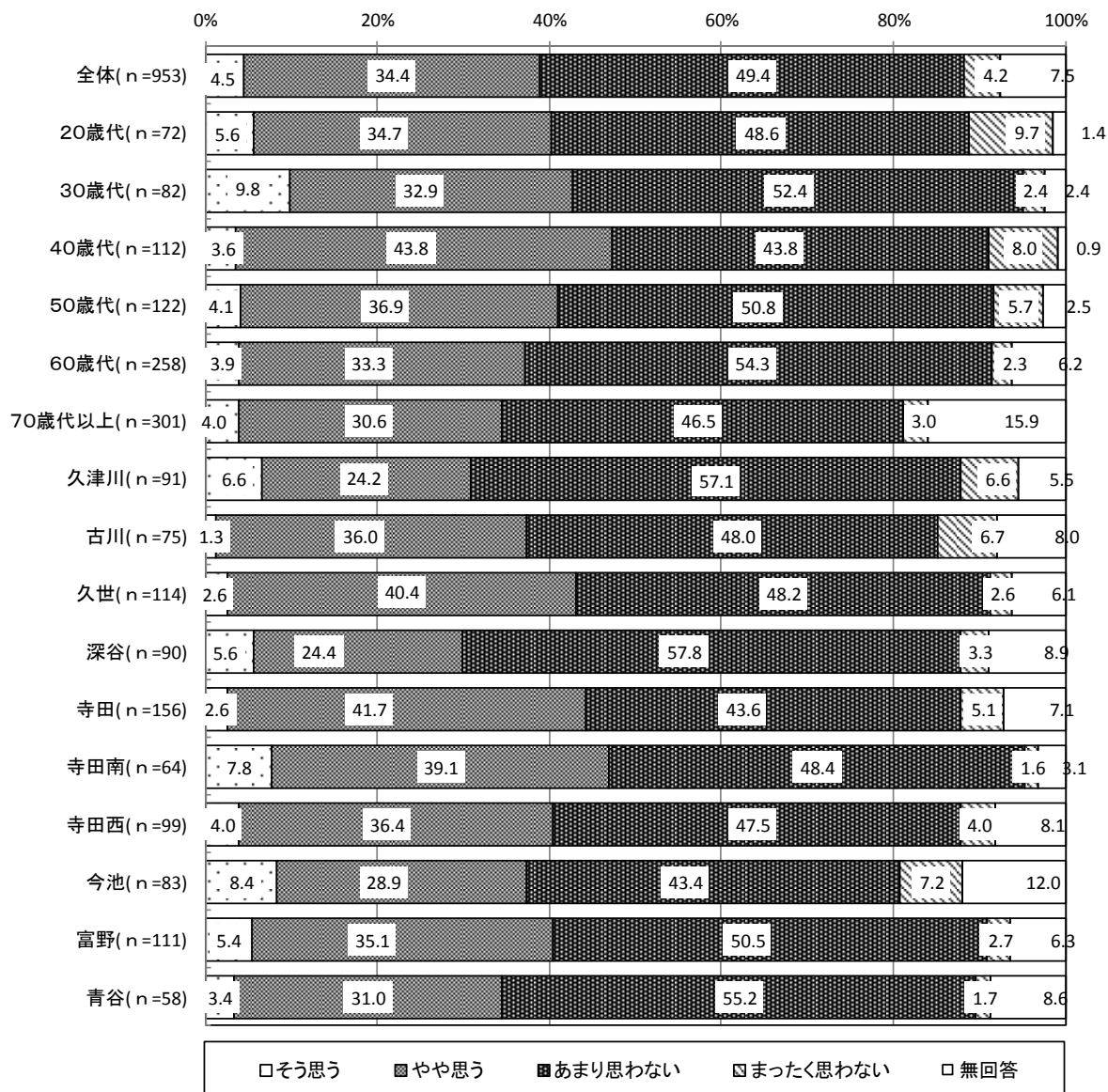
前回の調査と比較すると、大きな変化はみられないが、「あまり思わない」が4.5ポイント増加しており、取り組みの推進に課題があると考えられる。



年齢別では、いずれの年齢でも全体と同じ傾向となっている。

居住地区別では、いずれの居住地区でも全体と同じ傾向となっているが、久津川で「あまり思わない」と「まったく思わない」の合計が全体より高くなっている。

⑤育児について相談できる場が整っていると思いますか

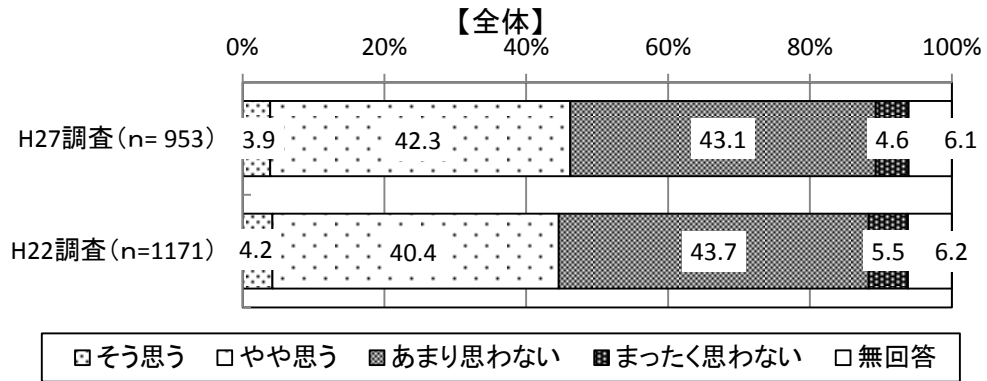


⑥青少年が安全で健やかに育つ環境が整っていると思いますか

全体では、「あまり思わない」と回答した人が43.1%で最も多く、次いで「やや思う」が42.3%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約5割の人で青少年が安全で健やかに育つ環境が整っていると感じている。

前回の調査と比較すると、大きな変化はみられない。

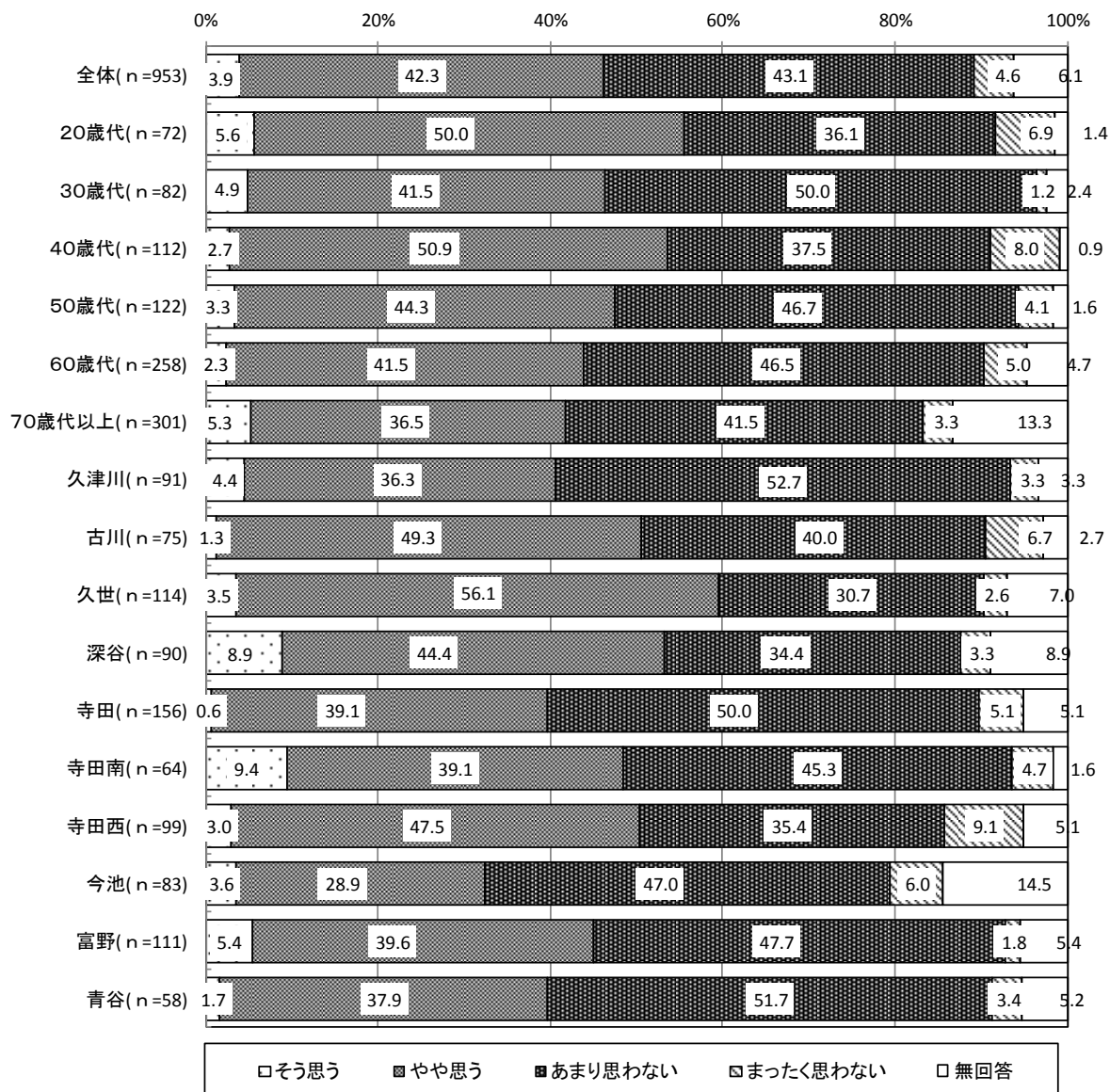
⑥青少年が安全で健やかに育つ環境が整っていると思いますか



年齢別では、いずれの年齢でも全体と同じ傾向となっている。

居住地区別では、いずれの居住地区でも全体と同じ傾向となっているが、久世で「そう思う」と「やや思う」の合計が全体より高く、今池では低くなっている。

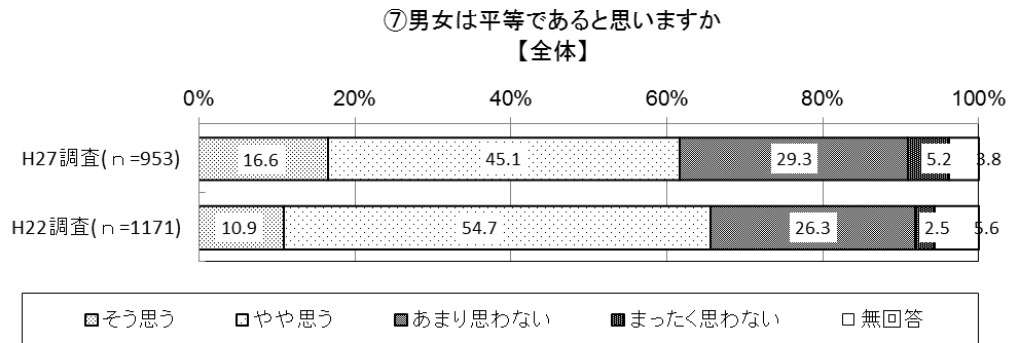
⑥青少年が安全で健やかに育つ環境が整っていると思いますか



⑦男女は平等であると思いますか

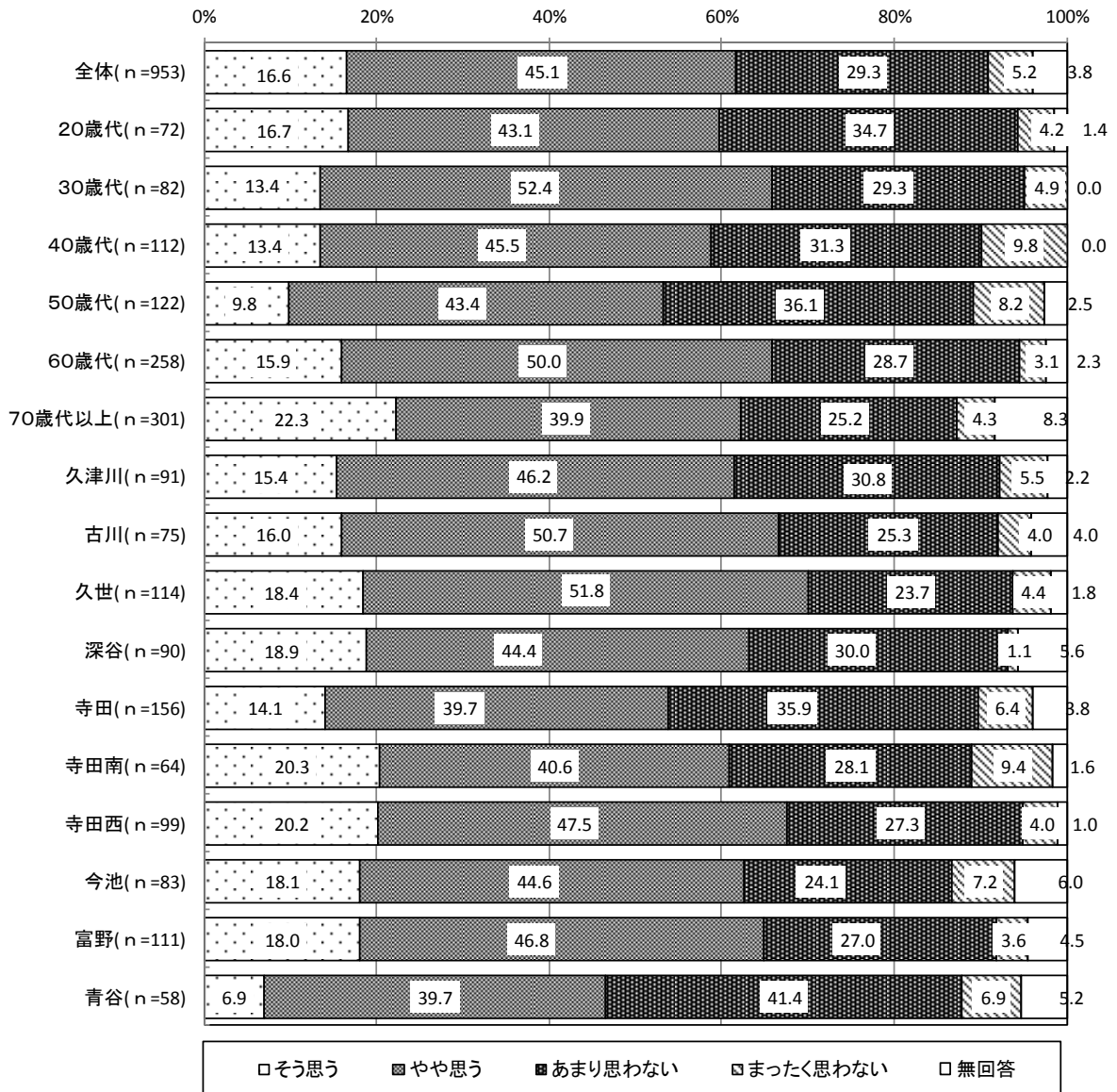
全体では、「やや思う」と回答した人が45.1%で最も多く、次いで「あまり思わない」が29.3%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約6割の人が男女は平等であると感じている。

前回の調査と比較すると、「そう思う」が5.7ポイント増加しているが、一方で「そう思う」と「やや思う」の合計では3.9ポイント減少しており、取り組みの推進に課題があると考えられる。



年齢別、居住地区別とも、全体と同じ傾向となっている。

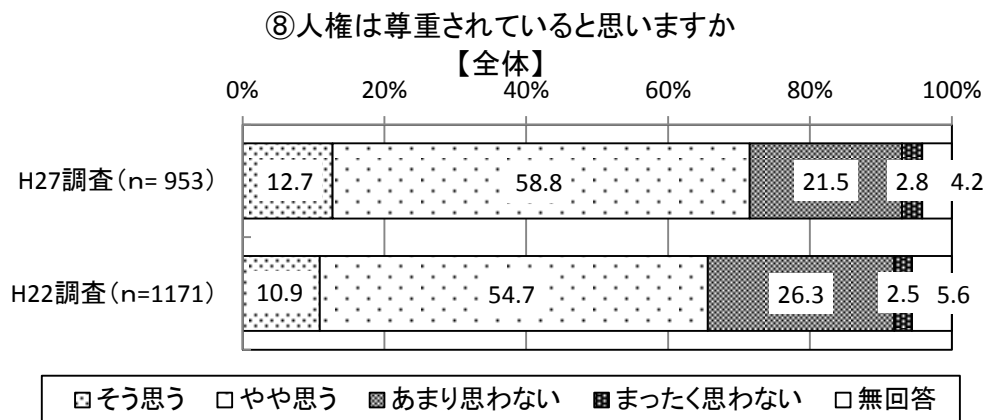
⑦男女は平等であると思いますか



⑧人権は尊重されていると思いますか

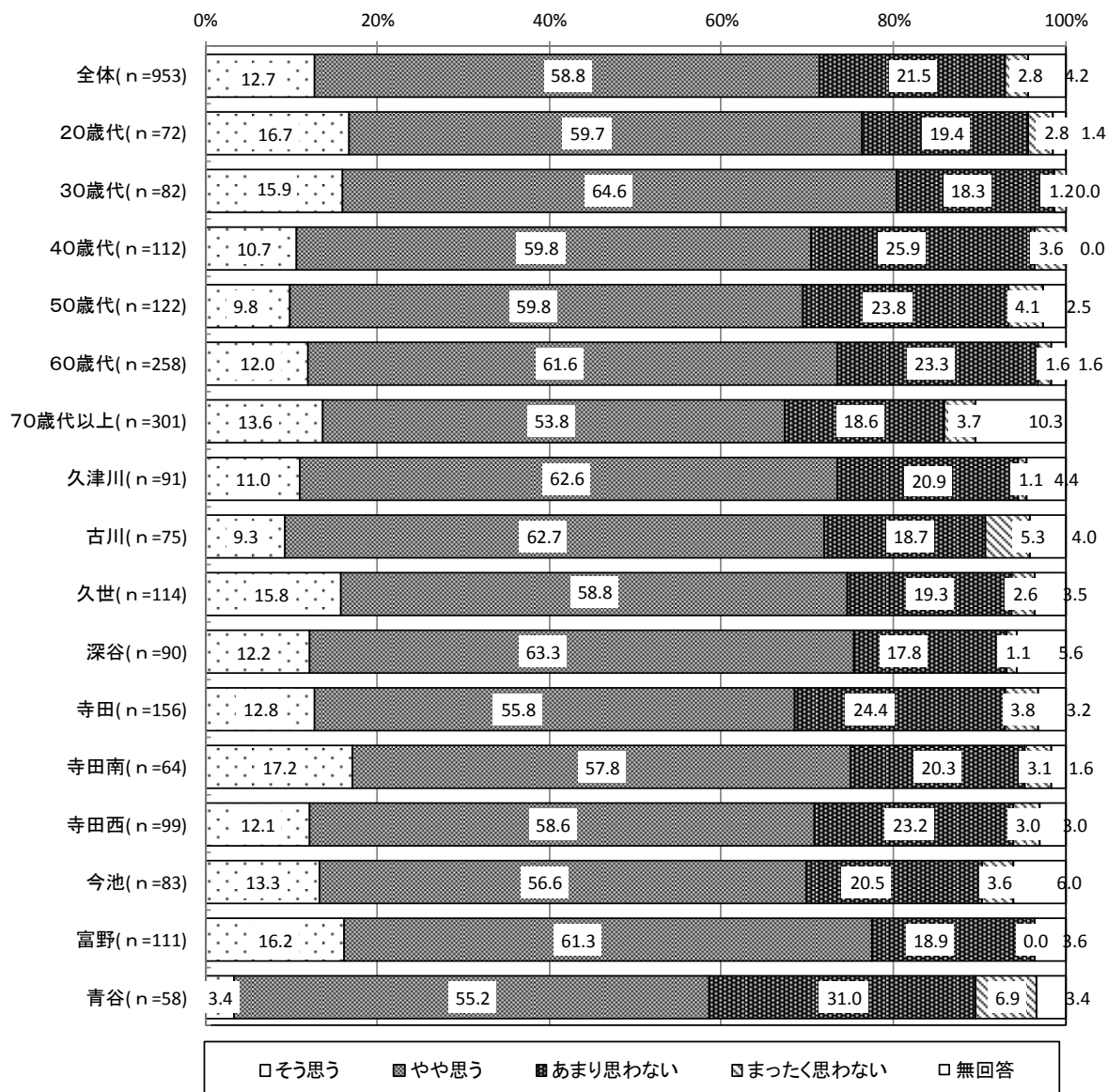
全体では、「やや思う」と回答した人が58.8%で最も多く、次いで「あまり思わない」が21.5%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約7割の人が人権は尊重されていると感じている。

前回の調査と比較すると、「そう思う」と「やや思う」の合計が5.9ポイント増加、「あまり思わない」と「まったく思わない」の合計が4.5ポイント減少しており、改善している傾向がうかがえる。



年齢別、居住地区別とも、全体と同じ傾向となっている。

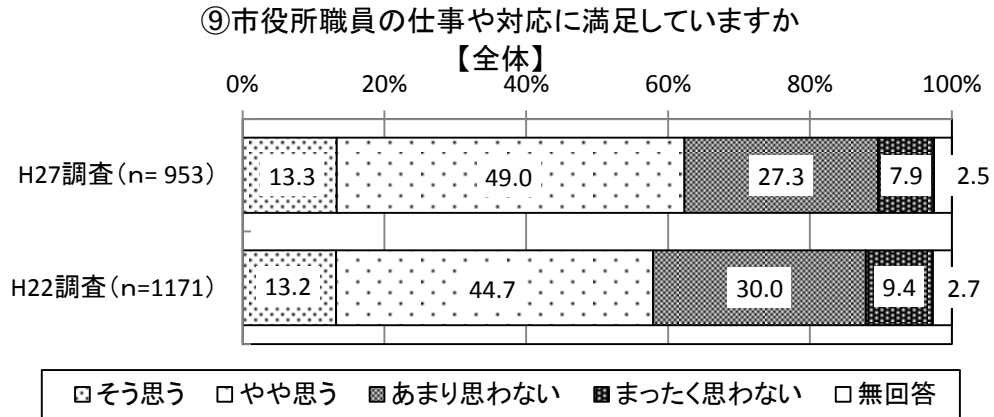
⑧人権は尊重されていると思いますか



⑨市役所職員の仕事や対応に満足していますか

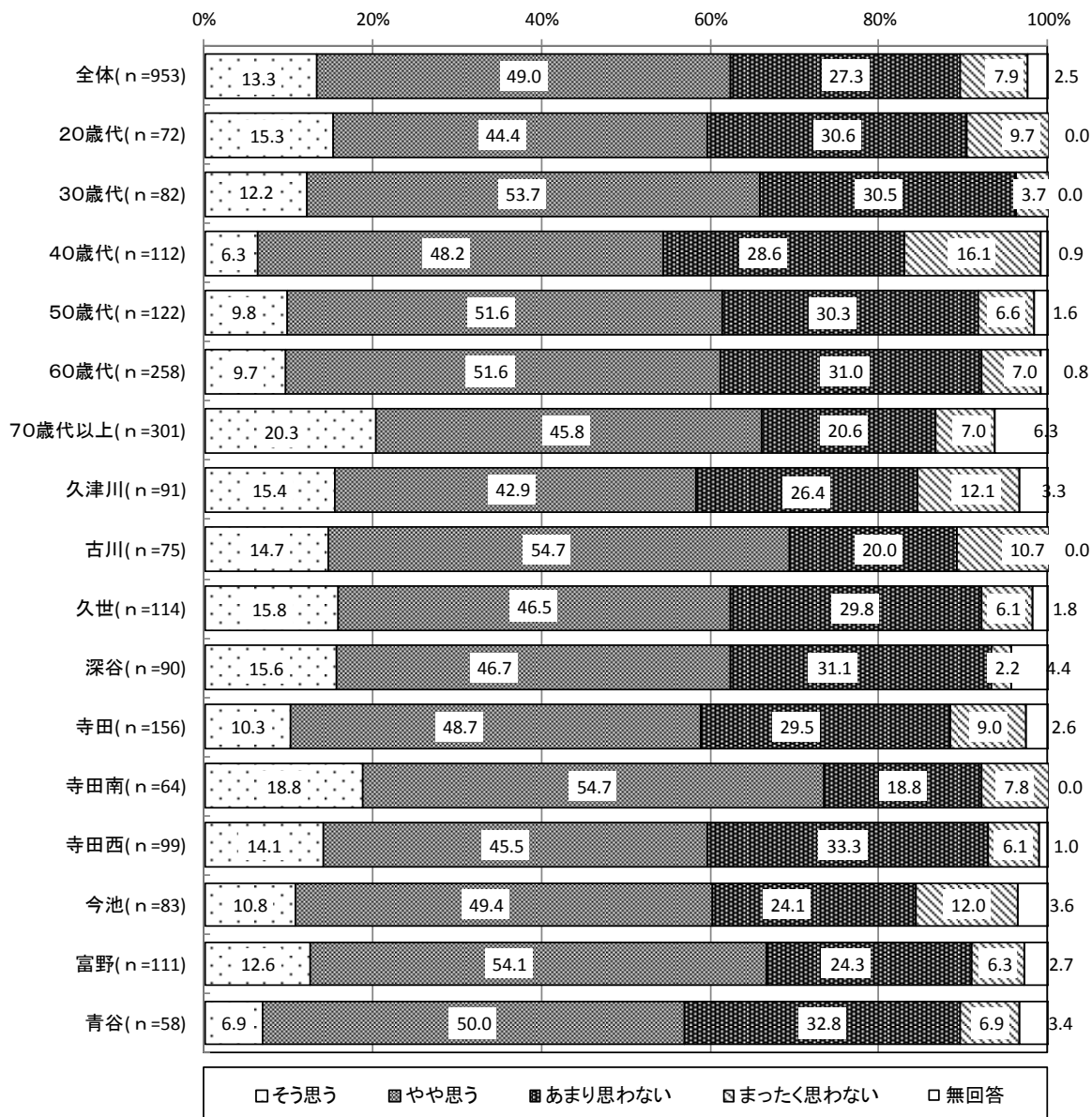
全体では、「やや思う」と回答した人が49.0%で最も多く、次いで「あまり思わない」が27.3%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約6割の人が市役所職員の仕事や対応に満足していると感じている。但し、対応に満足してない人も約4割いるため、取り組みの推進は必要である。

前回の調査と比較すると、大きな変化はみられないが、「そう思う」と「やや思う」の合計が4.4ポイント増加しており、改善の傾向がうかがえる。



年齢別、居住地区別とも、全体と同じ傾向となっている。

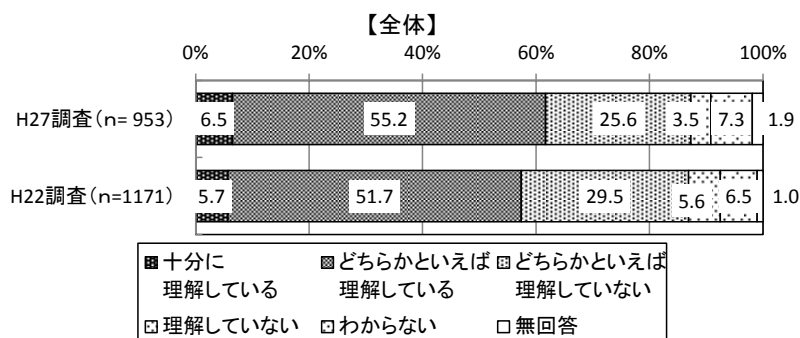
⑨市役所職員の仕事や対応に満足していますか



(2) あなたは地震などの災害が起きたときに、何をすべきか理解していますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

全体では、「どちらかと言えば理解している」と回答した人が55.2%で最も多く、次いで「どちらかと言えば理解していない」が25.6%となっている。「十分に理解している」と「どちらかと言えば理解している」を合計すると、約6割の人が災害時に何をすべきか理解している。

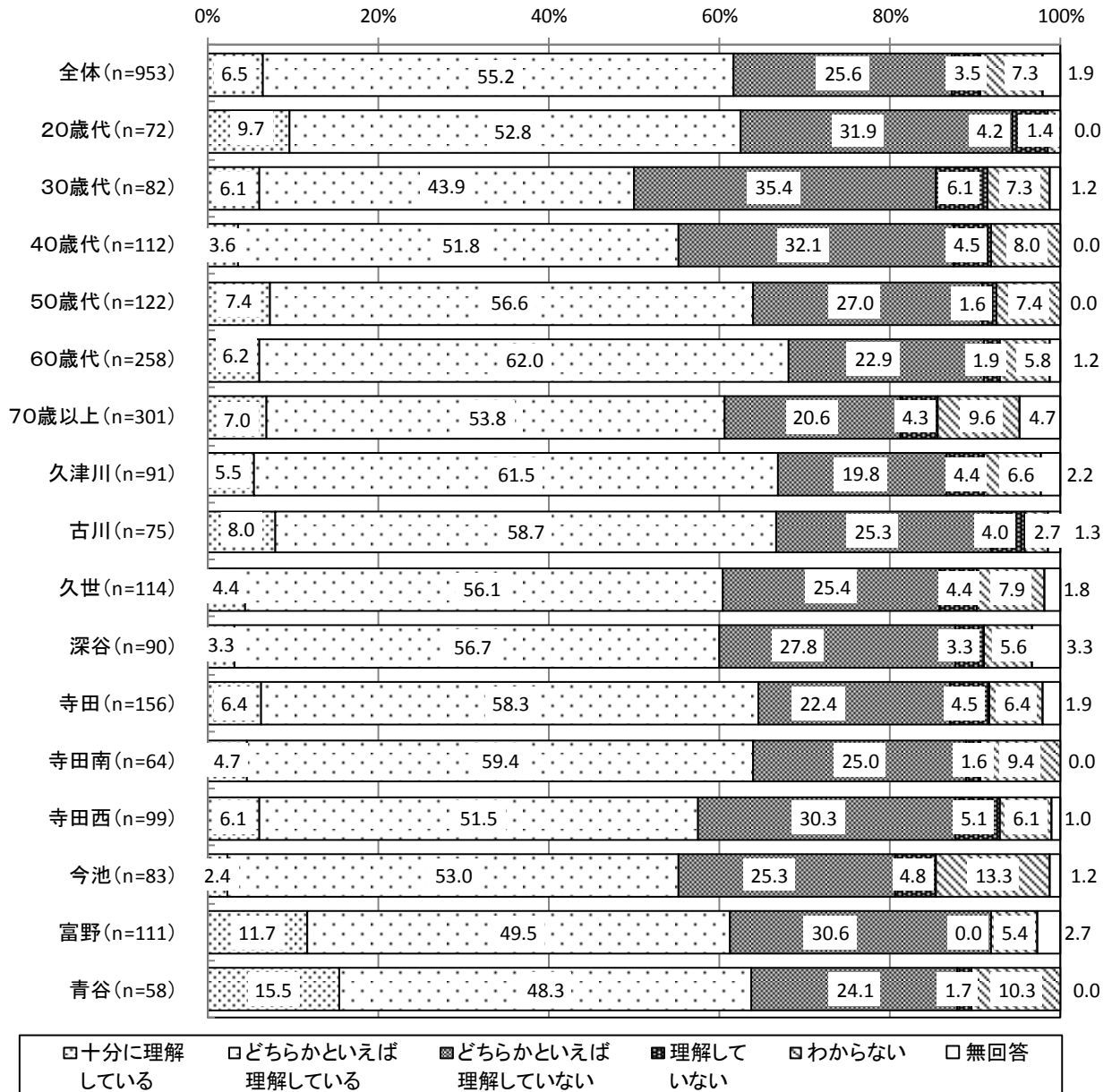
前回の調査と比較すると、「十分に理解している」と「どちらかと言えば理解している」の合計が4.3ポイント増加、「どちらかと言えば理解していない」と「理解していない」の合計が6.0ポイント減少しており、改善している傾向がうかがえる。



年齢別では、いずれの年齢でも全体と同じ傾向となっているが、30歳代で「十分に理解している」と「どちらかと言えば理解している」の合計が、全体より低くなっている。

居住地区別では、いずれの居住地区でも全体と同じ傾向となっている。

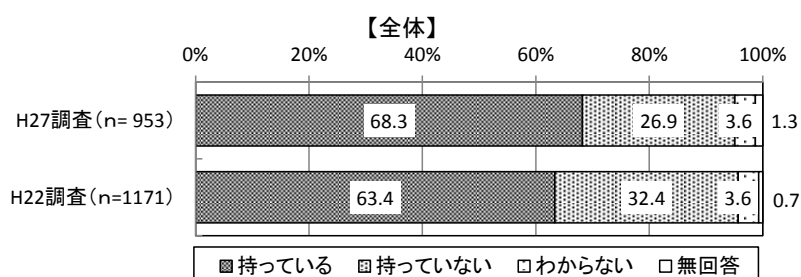
(2) あなたは地震などの災害が起きたときに、何をすべきか理解していますか。



(3) あなたは“かかりつけ医”を持っていますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

全体では、「持っている」と回答した人が68.3%、「持っていない」と回答した人が26.9%となっている。

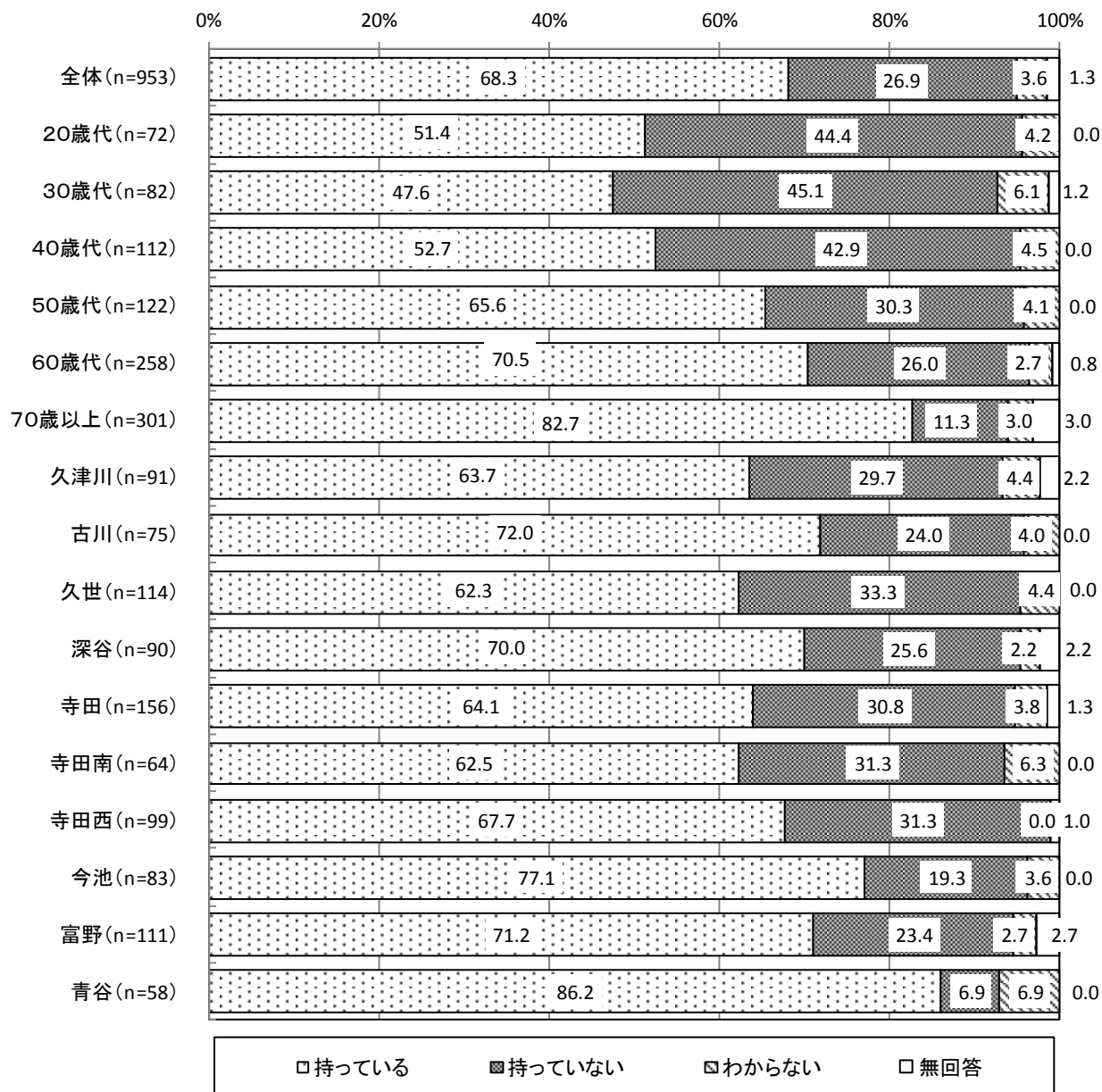
前回の調査と比較すると、「持っている」と回答した人は前回より4.9ポイント増加、「持っていない」と回答した人は前回より5.5ポイント減少しており、改善している傾向がうかがえる。



年齢別では、年齢層が高くなるにつれて「持っている」と回答した人が高くなり、特に50歳代以上では「持っている」と回答した人が「持っていない」と回答した人を大きく上回っている。一方、20歳代、30歳代、40歳代では「持っている」と回答した人と「持っていない」と回答した人が同程度となっている。

居住地区別では、全体と同じ傾向となっているが、青谷で「持っている」と回答した人が全体より高くなっている。

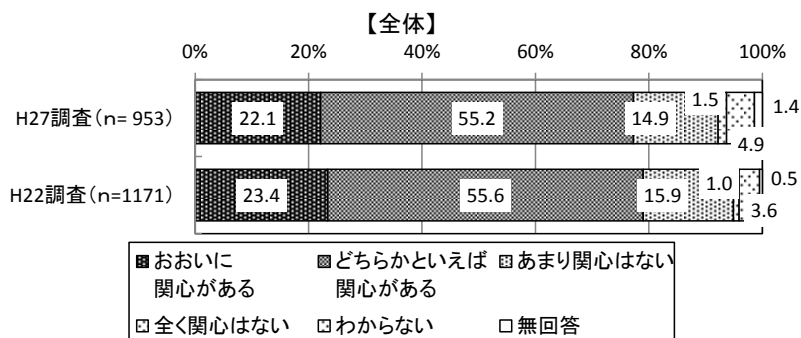
(3) あなたは“かかりつけ医”を持っていますか。



(4) 地球環境問題に対するあなたの関心はどのような状況ですか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

全体では、「どちらかと言えば関心がある」と回答した人が55.2%で最も多く、次いで「おおいに関心がある」が22.1%となっており、「おおいに関心がある」と「どちらかと言えば関心がある」を合計した地球環境問題に関心のある人の割合は約8割となっている。

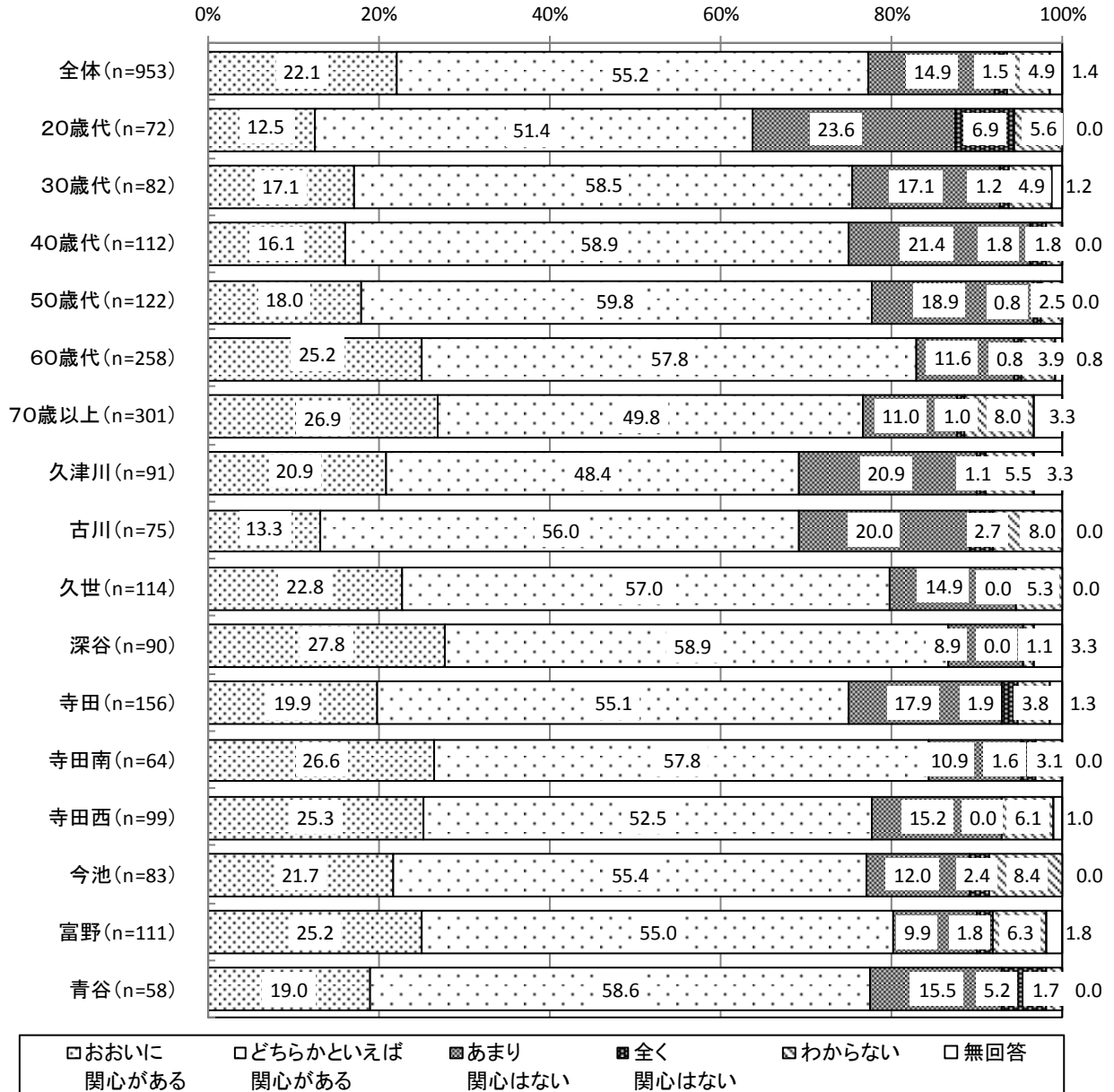
前回の調査と比較すると、大きな変化はみられない。



年齢別では、「おおいに関心がある」と「どちらかと言えば関心がある」を合計した地球環境問題に関心のある人の割合は20歳代で約6割とやや低くなっている。

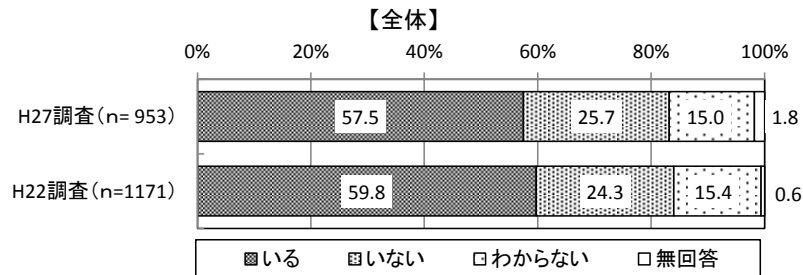
居住地区別では、いずれの居住地区でも全体と同じ傾向となっている。

(4) 地球環境問題に対するあなたの関心はどのような状況ですか。



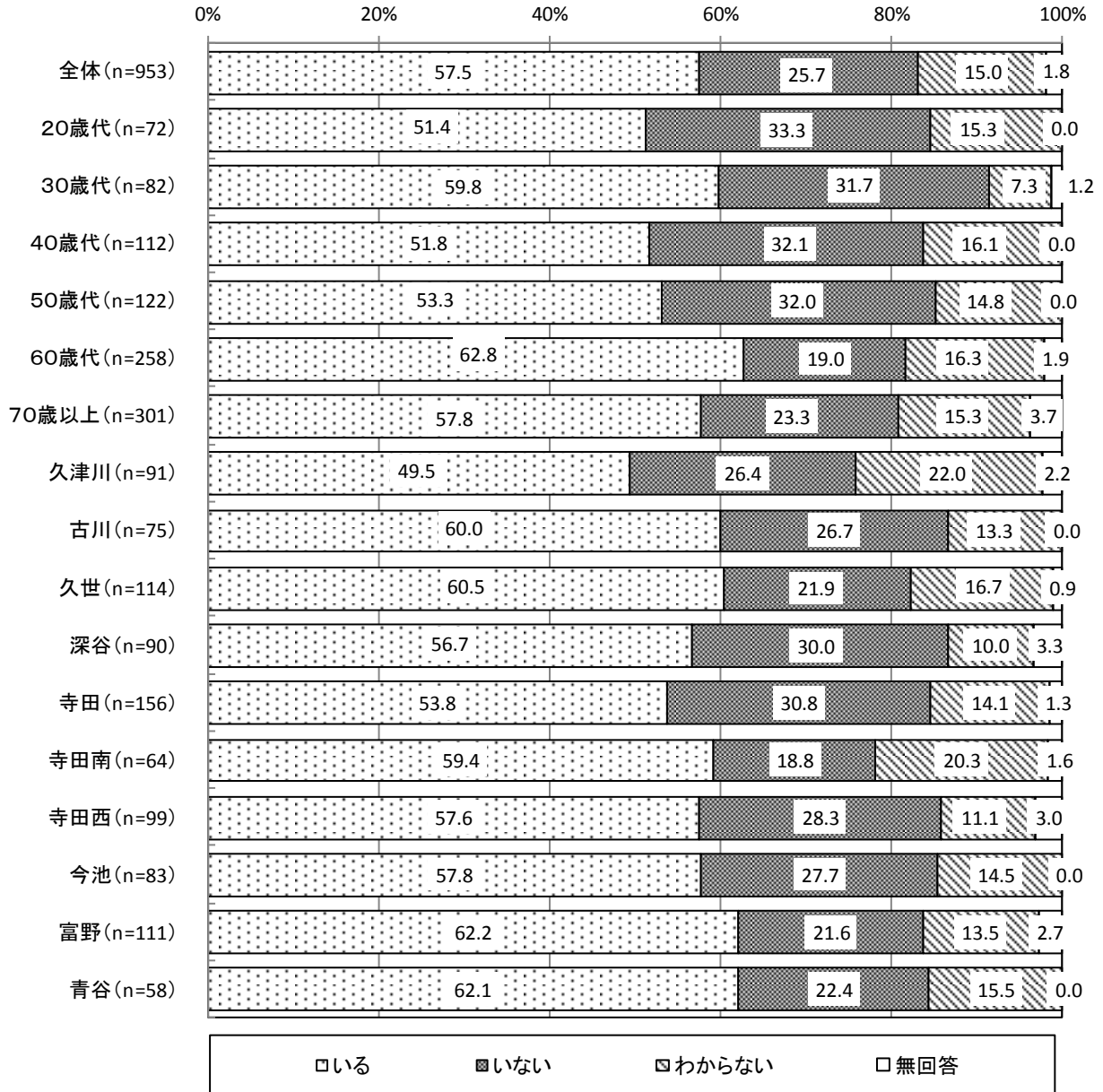
(5) あなたは“困ったときに近所に相談できる人や手助けを求められる人”がいますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

全体では、「いる」と回答した人が57.5%、「いない」が25.7%となっている。前回の調査と比較すると、大きな変化はみられない。



年齢別、居住地区別とも、全体と同じ傾向となっている。

(5) あなたは“困ったときに近所に相談できる人や手助けを求められる人”がいますか。

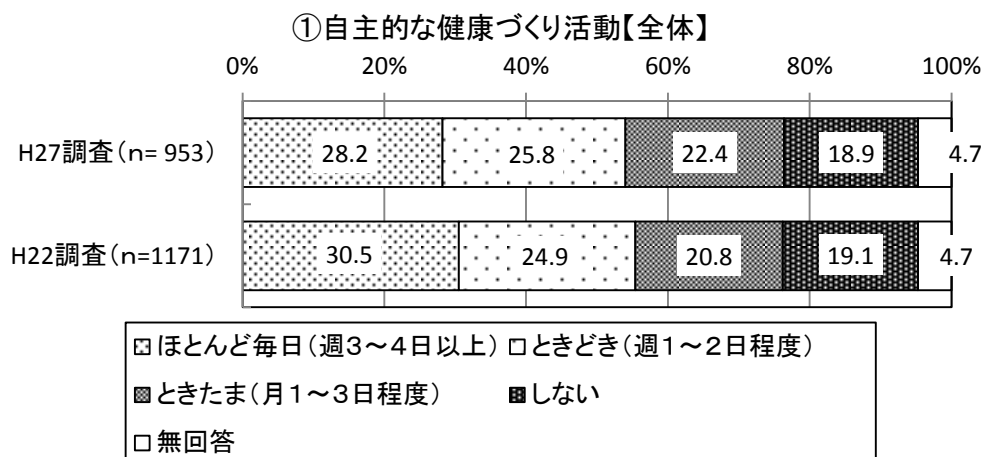


(6) あなたは次の活動をどの程度行っていますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

①自主的な健康づくり活動

全体では、「ほとんど毎日」と回答した人が28.2%で多く、次いで、「ときどき」が25.8%となっている。「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」を合計した自主的な健康づくり活動を行っている人の割合は約8割と高くなっている。

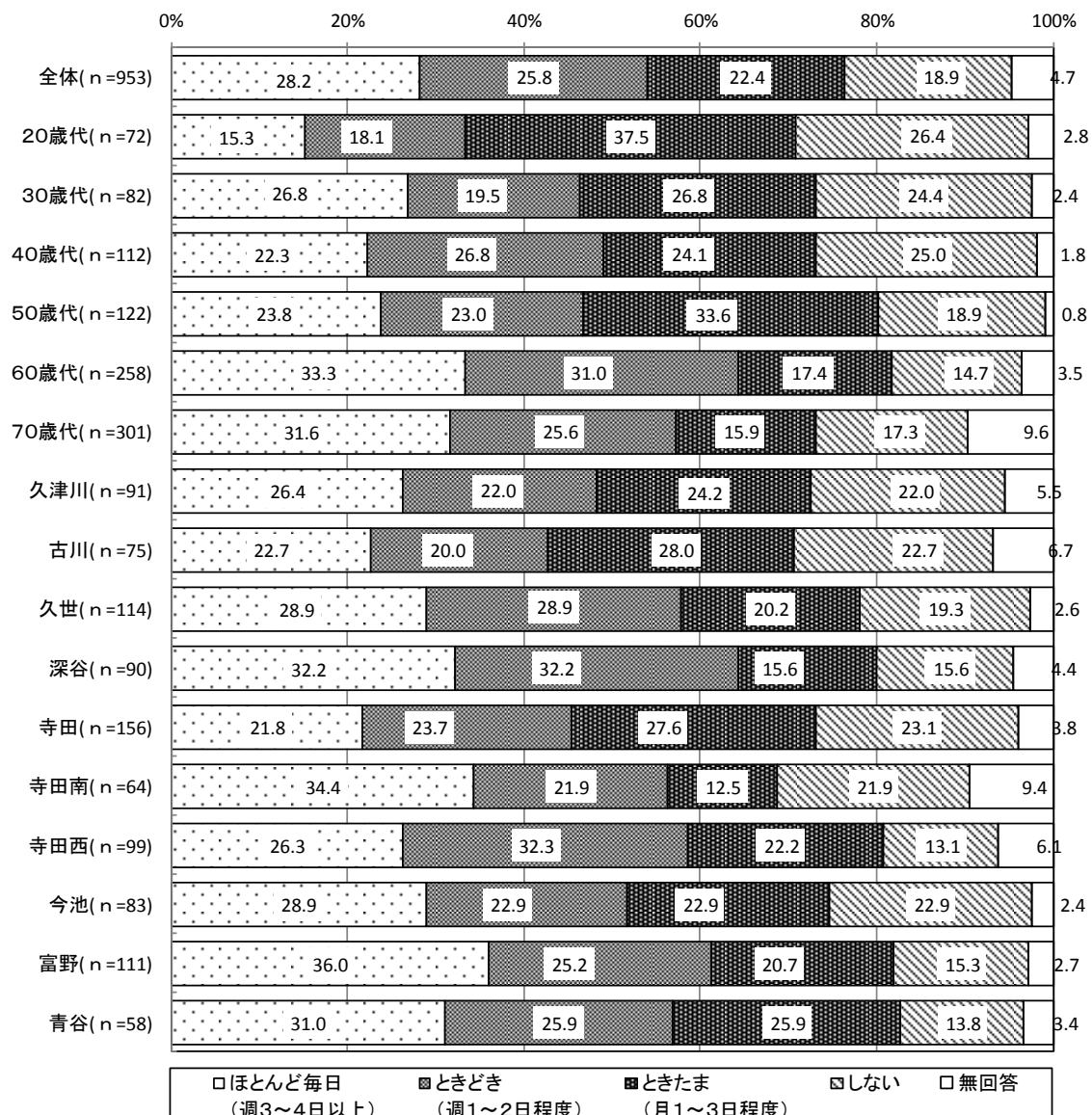
前回の調査と比較すると、大きな変化はみられない。



年齢別では、20歳代で「ほとんど毎日」が15.3%と全体より低く、「ときたま」が37.5%と全体より高くなっている。また、50歳代で「ときたま」が33.6%と全体より高くなっている。自主的な健康づくり活動を「しない」人は50歳代以上で2割以下となっている。

居住地区別では、全体と同じ傾向となっている。

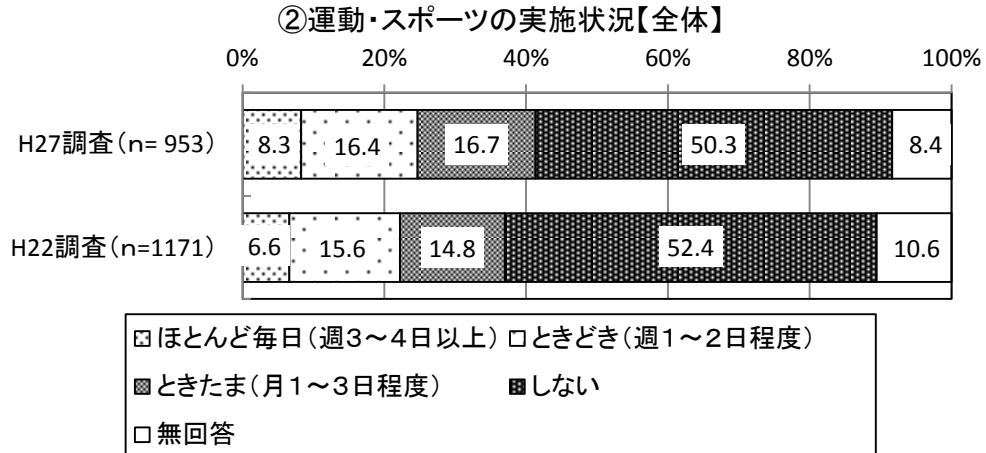
①自主的な健康づくり活動



②運動・スポーツの実施状況

全体では、「しない」と回答した人が50.3%で最も多く、次いで「ときたま」が16.7%となっている。

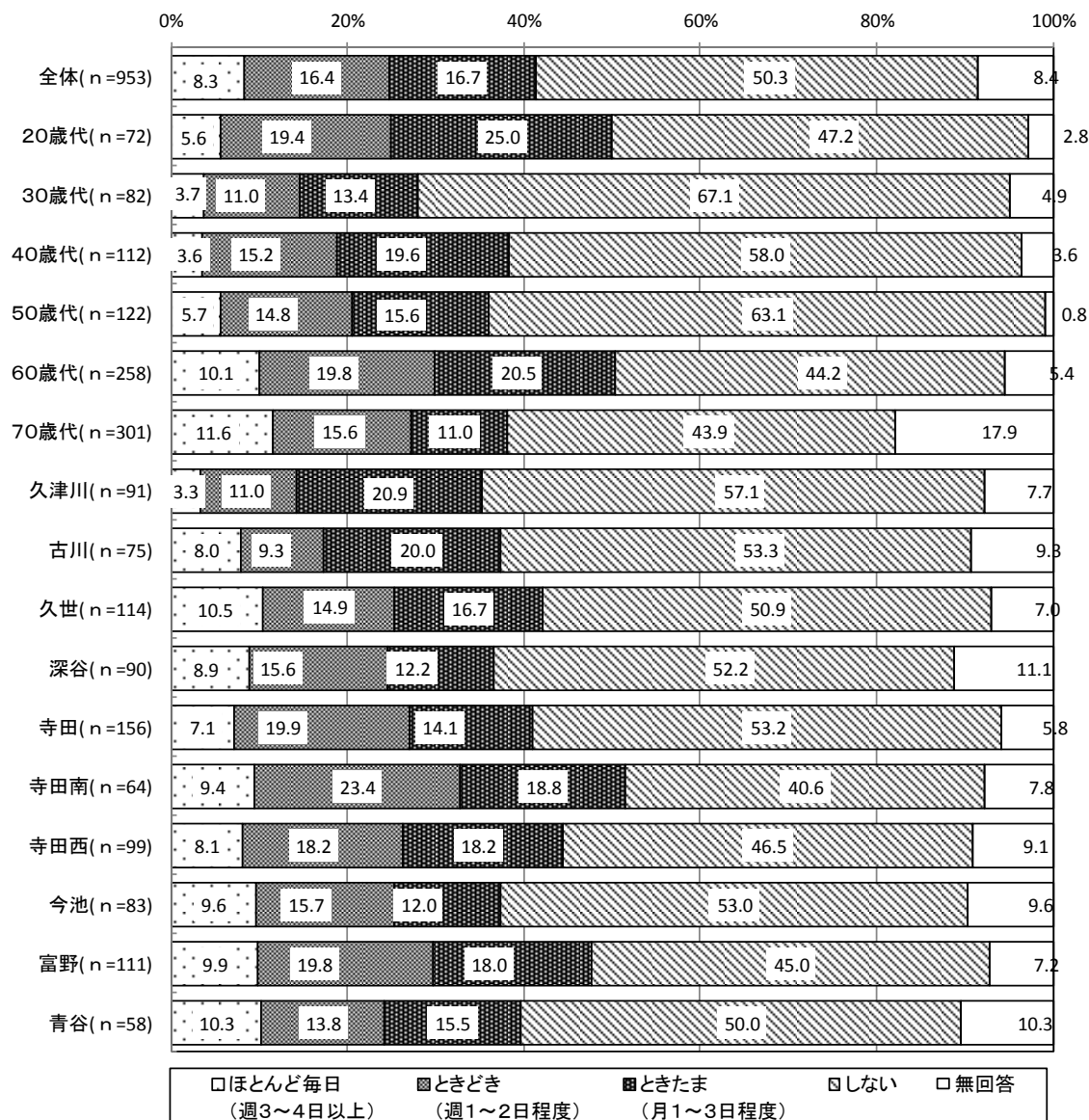
前回の調査と比較すると、大きな変化はみられないが、「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」の合計は、前回より4.4ポイント増加しており、改善している傾向がうかがえる。



年齢別では、「しない」と回答した人が30歳代、50歳代で全体より高くなっている。また、「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」をあわせた運動・スポーツを実施している人の合計は、20歳代、60歳代で5割以上となっている。

居住地区別では、全体と同じ傾向となっている。

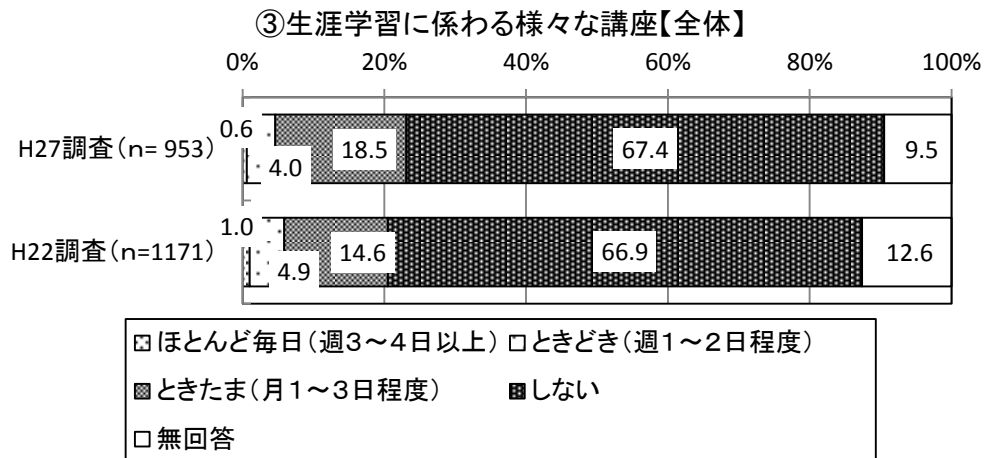
②運動・スポーツの実施状況



③生涯学習に係わる様々な講座

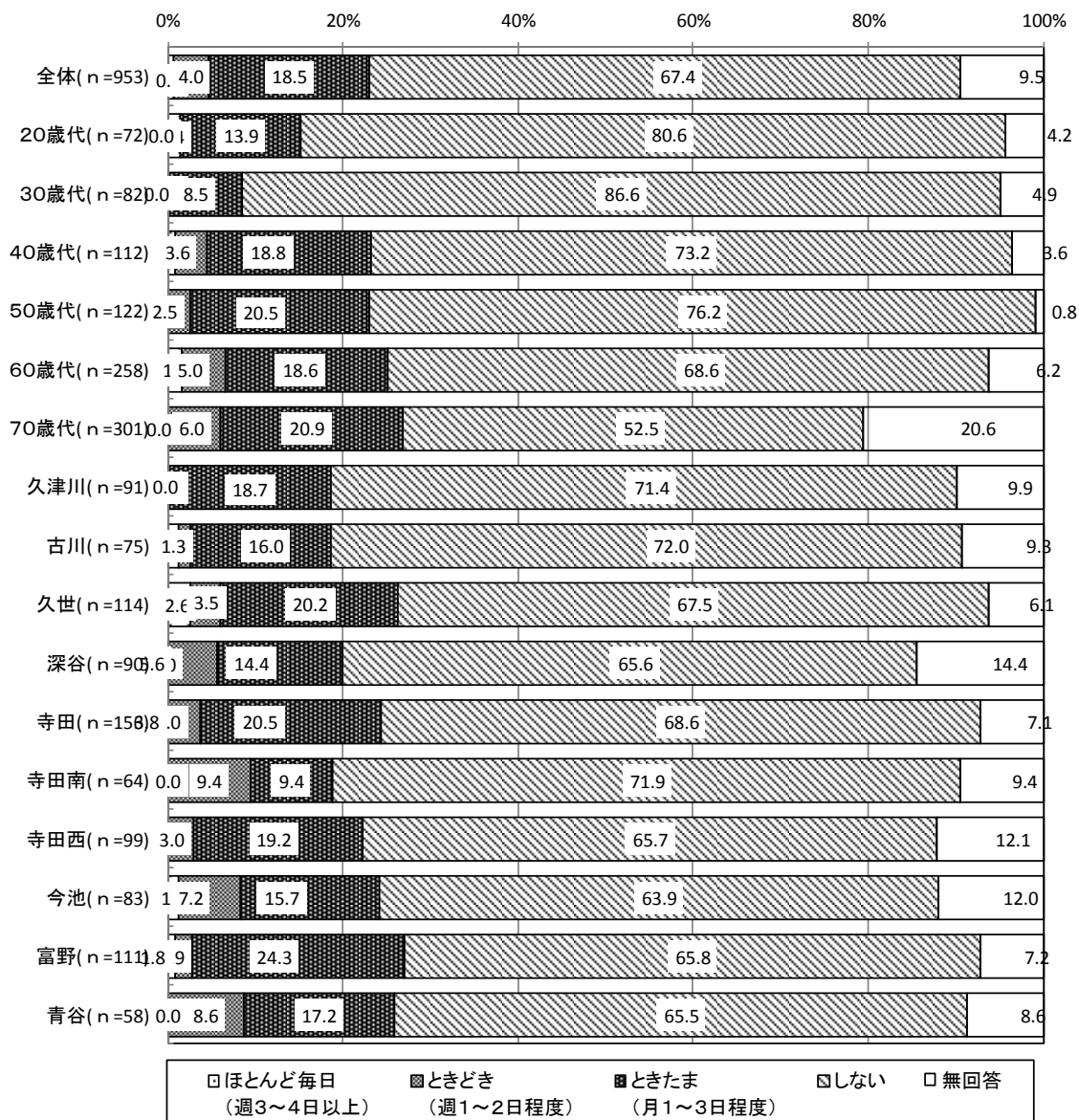
全体では、「しない」と回答した人が67.4%で最も多く、次いで「ときたま」が18.5%となっている。

前回の調査と比較すると、大きな変化はみられない。



年齢別では、「しない」と回答した人が20歳代、30歳代で全体より高くなっている。居住地区別では、全体と同じ傾向となっている。

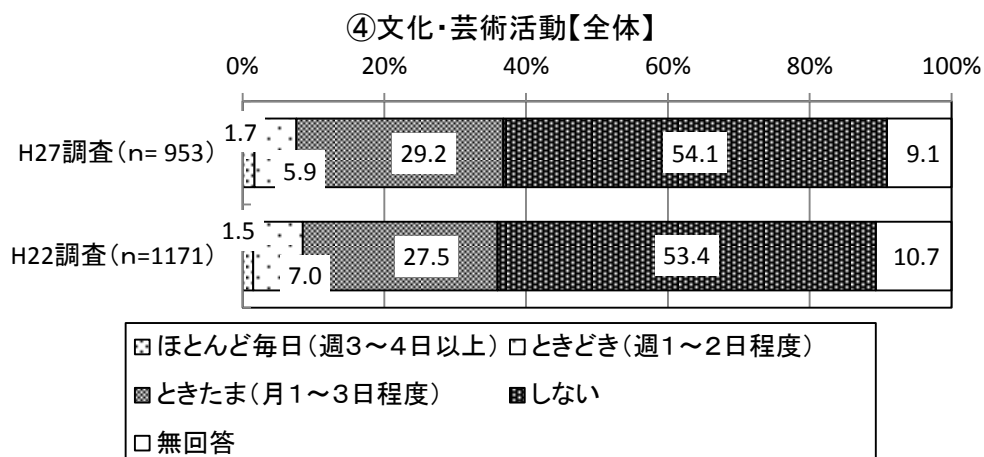
③生涯学習に係わる様々な講座



④文化・芸術活動

全体では、「しない」と回答した人が54.1%で最も多く、次いで「ときたま」が29.2%となっている。

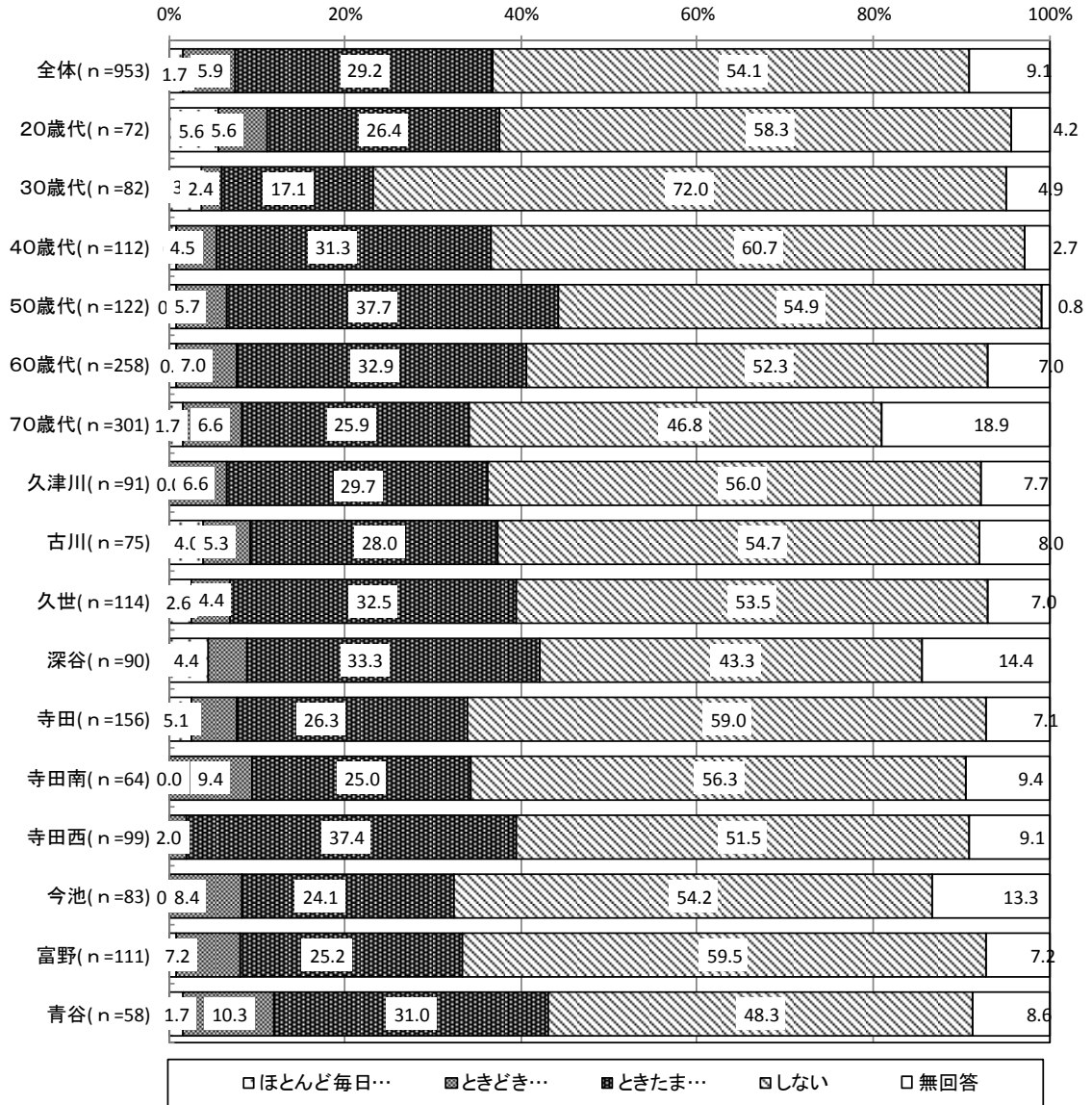
前回の調査と比較すると、大きな変化はみられない。



年齢別では、「しない」と回答した人が30歳代で全体より高くなっている。「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」をあわせた文化・芸術活動をしている人の合計は50歳代で最も高くなっている。

居住地区別では、全体と同じ傾向となっているが、深谷で「しない」が43.3%と全体より低くなっている。

④文化・芸術活動



資料
アンケート調査票

「まちづくり市民アンケート」へのご協力のお願い

平素は、城陽市の市政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

城陽市では現在、平成 19 年に策定した市の総合的な指針である第 3 次城陽市総合計画に基づき各種施策を推進しておりますが、その進捗よく状況を把握し、今後の施策計画に反映させていくため、総合計画で設定しております「まちづくり指標」及び「各施策の分野別展望」の項目について、「まちづくり市民アンケート」を実施することとしました。

活力ある城陽市の実現に向けて、市民の皆さまが日常生活の中で感じられていることや、城陽市のまちづくりについてご意見やご希望をお聞かせいただけましたら幸いです。

設問数が多く恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成 27 年（2015 年）7 月

城陽市長 奥田 敏晴

ご記入にあたってのお願い

1. このアンケートのご回答は、原則として封筒の宛名ご本人にお願いします。
2. ご回答は、特に指定のない場合は設問ごとにあてはまるものの番号に○印をつけていただくようになっています。また、「その他」にあてはまる場合は、その内容を（ ）内に具体的にご記入ください。
3. ご記入いただいたアンケート票は、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らず、平成 27 年 8 月 7 日（金）までにご投函ください。

なお、このアンケートの対象となられる方は、平成 27 年（2015 年）6 月 1 日現在、市内にお住まいの 20 歳以上の方の中から 2,000 人を無作為に抽出し、選ばせていただきました。

ご記入いただいた内容は統計的に処理して利用させていただきます。また、市政運営以外の目的で使用することはありません。

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします

城陽市役所 企画管理部 企画調整課 電話 0774(56)4041



アンケート調査票

I. あなたご自身のことについておたずねします

(1) あなたの性別は。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(2) あなたのお年は。

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 |
| 4. 50歳代 | 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |

(3) あなたの職業は。

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 会社員、会社役員、公務員 | 2. パートタイマー、内職 |
| 3. 自営業 | 4. 農林漁業 |
| 5. 専業主婦 | 6. 学生 |
| 7. 無職（専業主婦・学生を除く） | |
| 8. その他（具体的に： _____) | |

(4) あなたは城陽市にお住みになって何年になりますか。

- | | | |
|---------------|--------------|---------------|
| 1. 3年未満 | 2. 3年以上10年未満 | 3. 10年以上15年未満 |
| 4. 15年以上30年未満 | 5. 30年以上 | 6. 生まれてからずっと |

(5) あなたのお住まいは。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 持ち家 | 2. 民営の賃貸住宅（一戸建または長屋建） |
| 3. 民営の賃貸住宅（マンションなどの共同住宅） | 4. 公営の賃貸住宅 |
| 5. 給与住宅（社宅・寮など） | |
| 6. その他（具体的に： _____) | |

(6) あなたのお住まいの小学校区は。

- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 久津川 | 2. 古川 | 3. 久世 | 4. 深谷 |
| 5. 寺田 | 6. 寺田南 | 7. 寺田西 | 8. 今池 |
| 9. 富野 | 10. 青谷 | | |



Ⅱ. 城陽市のことについておたずねします

(1) あなたが城陽市に住んでいて、次の項目についてどのように感じているのかをお答えください。

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

	満足	やや満足	やや不満	不満
①鉄道の利用しやすさ	1	2	3	4
②路線バス(※)の利用しやすさ	1	2	3	4
③道路の利用しやすさ・安全性	1	2	3	4
④歩道の利用しやすさ・安全性	1	2	3	4
⑤水や緑などの自然環境の豊かさ	1	2	3	4
⑥居住環境のよさ	1	2	3	4
⑦川の水のきれいさ	1	2	3	4
⑧市からの情報発信や情報提供	1	2	3	4

※ 路線バス：市が補助金を交付して運行している近鉄寺田駅と市内北東部、プラムイン城陽を結ぶ路線及びプラムイン城陽と水主地域、長池地域を結ぶ路線をいう。



Ⅲ. 城陽市における施策についておたずねします

(1) 城陽市における現在の取り組みについてご存知ですか（現在の認知度）。また、その取り組みの現状はどうですか（現在の満足度）。そして、そのことが今後どの程度重要であると思いますか（今後の重要度）。あなたの生活実感やイメージに基づいて、あなたのお考えに最も近い番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

○ 安心・安全のまちづくり

認知度・満足度・重要度 それぞれ1つを選択 設 問 項 目		現在の認知度			現在の満足度					今後の重要度				
		知っている	少し知っている	知らない	満足している	どちらかといえば満足している	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
(記入例)	(記入例) ○○○○取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(記入例) □□□○取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(1)	消防・救急体制の充実したまちをつくる取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2)	自然災害への備え、地域自主防災組織の育成など災害に強いまちをつくる取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3)	防犯活動の推進など犯罪のないまちをつくる取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



○ 健康で幸せなまちづくり

設問項目 認知度・満足度・重要度 それぞれ1つを選択		現在の認知度			現在の満足度					今後の重要度				
		知っている	少し知っている	知らない	満足している	どちらかといえば満足している	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
(4)	健康診査の充実など市民の健康づくりを推進する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5)	ボランティア活動の促進など地域でともに支えあう仕組みを充実する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6)	高齢者の健康づくりや生きがいづくりなど高齢者福祉を充実する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7)	子育てに関する相談や情報提供など子育てしやすい環境づくりを推進する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8)	障がいのある人が自立した生活を営む環境をつくる取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9)	生活支援を必要とする市民が自立するための支援に努める取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10)	国民健康保険の充実、国民年金制度の周知など保険・医療を充実する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



○ 心がふれあうまちづくり

設問項目 認知度・満足度・重要度 それぞれ1つを選択		現在の認知度			現在の満足度					今後の重要度				
		知っている	少し知っている	知らない	満足している	どちらかといえは満足している	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
(11)	いつでも自由に学習できるよう生涯学習を推進する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12)	幼稚園教育を充実する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13)	高度情報化、国際化への対応など学校教育を充実する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14)	図書館の充実など社会教育を充実する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15)	文化芸術を振興する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16)	文化財・郷土の歴史の保存・継承を推進する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17)	スポーツ・レクリエーションを振興する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18)	健全な青少年を育成する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



○ 快適なまちづくり

設問項目 認知度・満足度・重要度 それぞれ1つを選択		現在の認知度			現在の満足度					今後の重要度				
		知っている	少し知っている	知らない	満足している	どちらかといえば満足している	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
(19)	城陽らしいまちなみを創造し保全する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20)	公園・緑地の整備、市街地の緑地推進などみどり豊かなまちを実現する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(21)	東部丘陵地の整備など新たな都市空間の形成を図る取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22)	老朽化した木造住宅の建替促進など良好な住環境をつくる取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23)	安全な水道水を安定供給する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24)	下水道の整備を進め生活環境の向上を図る取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25)	墓地の確保を検討する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26)	駅周辺整備を推進し公共交通対策を充実する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27)	安全で快適な道づくりを推進する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28)	交通安全対策を推進する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29)	浸水被害の軽減と環境に優しい川づくりを推進する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



○ 活かに満ちたまちづくり

設問項目 認知度・満足度・重要度 それぞれ1つを選択		現在の認知度			現在の満足度					今後の重要度				
		知っている	少し知っている	知らない	満足している	どちらかといえば満足している	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
(30)	農業の振興を図る取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31)	商工業の振興を図る取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32)	観光の振興を図る取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(33)	消費者保護を推進する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

○ 環境にやさしいまちづくり

設問項目 認知度・満足度・重要度 それぞれ1つを選択		現在の認知度			現在の満足度					今後の重要度				
		知っている	少し知っている	知らない	満足している	どちらかといえば満足している	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
(34)	環境を守り育てる取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(35)	ごみの減量化、再資源化など持続可能な資源循環型社会の構築を推進する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(36)	地下水を保全する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



○ 市民と進めるまちづくり

認知度・満足度・重要度 それぞれ1つを選択 設 問 項 目		現在の認知度			現在の満足度					今後の重要度				
		知っている	少し知っている	知らない	満足している	どちらかといえば満足している	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
(37)	市民参加と協働を推進する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(38)	男女共同参画社会の実現を図る取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(39)	人権と平和を尊重したまちづくりを推進する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(40)	国際交流を推進する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

○ 信頼される市政運営

認知度・満足度・重要度 それぞれ1つを選択 設 問 項 目		現在の認知度			現在の満足度					今後の重要度				
		知っている	少し知っている	知らない	満足している	どちらかといえば満足している	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
(41)	市民への情報発信と市民ニーズへの対応を図る取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(42)	個人情報保護制度と情報公開の適正な運用を図る取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(43)	適正で効率的・効果的な行政運営を推進する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(44)	持続可能な財政運営を実現する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(45)	行政評価や進行管理の実施など戦略的に行政経営を推進する取り組み	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



IV. あなたの日常生活についておたずねします

(1) あなたの普段の生活に関して、次の項目についておたずねします。あなたの実感に**最も近い番号を1つ選んで○**をつけてください。

	そう思う	やや思う	あまり 思わない	まったく 思わない
①防犯の面からみて、安全に暮らせるまちだと思えますか	1	2	3	4
②市内を流れる川について、親しみやすいと感じていますか	1	2	3	4
③高齢になっても、地域で安心して暮らせるまちだと思えますか	1	2	3	4
④働くことと子育てが両立できる環境が整っていると思えますか	1	2	3	4
⑤育児について相談できる場が整っていると思えますか	1	2	3	4
⑥青少年が安全で健やかに育つ環境が整っていると思えますか	1	2	3	4
⑦男女は平等であると思えますか	1	2	3	4
⑧人権は尊重されていると思えますか	1	2	3	4
⑨市役所職員の仕事や対応に満足していますか	1	2	3	4

(2) あなたは地震などの災害が起きたときに、何をすべきか理解していますか。**あてはまる番号を1つ選んで○**をつけてください。

1. 十分に理解している	2. どちらかといえば理解している
3. どちらかといえば理解していない	4. 理解していない
5. わからない	

(3) あなたは“かかりつけ医”を持っていますか。**あてはまる番号を1つ選んで○**をつけてください。

1. 持っている	2. 持っていない
3. わからない	

(4) 地球環境問題に対するあなたの関心ほどのような状況ですか。**あてはまる番号を1つ選んで○**をつけてください。

1. おおいに関心がある	2. どちらかといえば関心がある
3. あまり関心はない	4. 全く関心はない
5. わからない	



(5) あなたは“困ったときに近所に相談できる人や手助けを求められる人”がいますか。**あてはまる番号を1つ選んで○**をつけてください。

1. いる	2. いない
3. わからない	

(6) あなたは次の活動をどの程度行っていますか。**あてはまる番号を1つ選んで○**をつけてください。

①自主的な健康づくり活動
例) 食事や栄養への配慮、定期健診の受診、ウォーキングなどの自主トレーニングなど

②運動・スポーツの実施状況
例) 自主的なスポーツ活動、スポーツチームへの参加、体育協会等での活動など

③生涯学習に係わる様々な講座
例) コミュニティセンター、カルチャーセンターなどでの各種講座の受講など

④文化・芸術活動
例) 文化パルク等での音楽や演劇の鑑賞、神社仏閣などの拝観や見学、サークル活動など

	ほとんど毎日(週3~4日以上)	ときどき(週1~2日程度)	ときたま(月1~3日程度)	しない
①自主的な健康づくり活動	1	2	3	4
②運動・スポーツの実施状況	1	2	3	4
③生涯学習に係わる様々な講座	1	2	3	4
④文化・芸術活動	1	2	3	4

V. 自由意見

城陽市のまちづくりについて、ご意見・ご提案がありましたら、下の空欄にご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

